

# 元総社蒼海遺跡群 (150)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

2024.12

前橋市教育委員会







# 元総社蒼海遺跡群 (150)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

2024.12

前橋市教育委員会





1 4区調査区全景（上が北）



2 4区調査区遠景（樺名山を望む）



1 6区調査区全景（上が東）



2 6区W-1号溝跡全景（上が東）



## はじめに

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、上毛三山の赤城山を背にして利根川と広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、はるか昔から人々が生活を営んできました。そんな先人の息吹を感じられる生活のあとが、市内のいたる所に遺跡や史跡として多く存在しています。

古代において前橋台地には、広大な穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめたくさんの首長墓が連綿と築かれ、上毛野国の中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野国の中枢をなす施設が次々に建てられました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した厩橋城が築されました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する元総社蒼海遺跡群（150）は、上野国府の推定地内に位置しています。今回の発掘調査では国庁に直接関連する遺構を見つけることは出来ませんでした。古墳時代～平安時代の集落跡をはじめ、蒼海城や小見廃寺に関連する遺構等を検出しました。

残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、関係機関や各方面のご配慮や、地元の皆様のご協力や声援の結果といえます。また、酷暑、極寒の中、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申し上げます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

令和6年12月

前橋市教育委員会  
教育長 吉川 真由美

## 例 言

- 1 本報告書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う元総社蒼海遺跡群（150）発掘調査報告書である。
- 2 調査主体は、前橋市教育委員会である。
- 3 発掘調査の要項は次のとおりである。

遺跡名称	元総社蒼海遺跡群（150）（遺跡コード：5A284）
調査場所	群馬県前橋市元総社町ほか
発掘調査期間	令和5年6月1日～令和6年2月14日
整理・報告書作成期間	令和6年3月1日～令和6年12月27日
発掘担当者	齋藤 颯・村越 純子（埋蔵文化財係）
整理担当者	前田和昭・齋藤 颯・村越 純子（埋蔵文化財係）
- 4 本書の原稿執筆・編集は前田・齋藤・村越が行った。
- 5 発掘調査・整理作業にかかわった方々は次のとおりである。





青木あつ子、阿久澤陽子、新井真典、石井均、伊藤良、櫻井一男、代田綾子、都木英之、高澤京子、高橋友美、羽田郁子、平林しのぶ
- 6 発掘調査時の遺構平面測量はアコン測量設計株式会社に委託した。
- 7 出土遺物の注記・接合・遺物観察・遺物実測・トレース・遺物写真撮影については技研コンサル株式会社に委託した。
- 8 発掘調査で出土した遺物および図面・写真は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。

## 凡 例

- 1 挿図中に使用した北は、座標北である。
- 2 挿図に国土交通省国土地理院発行の1：200,000地形図（宇都宮、長野）、1：25,000地形図（前橋）、1：6,000前橋市現形図を使用した。
- 3 遺構及び遺構施設の略称は、次のとおりである。

H…古墳時代～平安時代の堅穴建物跡 A…道路状遺構 W…溝跡 I…井戸跡 O…落ち込み  
D…土坑 P…ピット・柱穴・貯蔵穴
- 4 遺構・遺物の実測図の縮尺は、原則的に次のとおりである。その他、各図スケールを参照されたい。

遺構 全体図…1/200 堅穴建物跡・溝跡・土坑・ピット…1/60 竈・炉断面図…1/30  
遺物 土器…1/3・1/4 石製品…1/1 鉄製品…1/3 古銭…1/1
- 5 本文および表中の計測値については（ ）現存値を表す。
- 6 セクション注記と遺物観察表の色調について新版標準土色帳（小山・竹原1967）を基準とした。
- 7 遺構・遺物実測図におけるトーン表現は以下のとおりである。

遺構 焼土… 粘土… 遺物 須恵器断面（還元焰）… 施釉…

上記以外のトーン表現については、各図に表す。
- 8 主な火山降下物等の略称と年代は次のとおりである。

As-B（浅間B軽石：1108年）Hr-FP（榛名二ヶ岳洪川テフラ：6世紀中葉）  
Hr-FA（榛名二ヶ岳洪川テフラ：5世紀末～6世紀初頭）As-C（浅間C軽石：3世紀末）

# 目次

巻頭図版1

巻頭図版2

はじめに

例言・凡例

I 調査に至る経緯	1
II 遺跡の位置と環境	1
III 調査の方針と経過	7
IV 基本層序	9
V 遺構と遺物	13
VI 発掘調査の成果と課題	97

写真図版

抄録

奥付

## 挿図目次

Fig.1 前橋の地形	1		
Fig.2 元総社者海跡群位置図	3	Fig.29	D-22-24号土坑、W-9・11号溝跡(1)
Fig.3 周辺遺跡図	4		4区H-16・17・21・22号竪穴建物跡、
Fig.4 周辺調査地点とグリッド設定図	8	Fig.30	D-22-24号土坑、W-9・11号溝跡(2)
Fig.5 基本層序	9		4区H-18-21号竪穴建物跡、W-11号溝跡、
Fig.6 1-3区調査区全体図	10		D-24号土坑
Fig.7 4区調査区全体図	11	Fig.31	4区H-18-20号竪穴建物跡
Fig.8 5・6区調査区全体図	12	Fig.32	4区W-1号溝跡(1)
Fig.9 1区H-1・2号竪穴建物跡	40	Fig.33	4区W-1号溝跡(2)
Fig.10 1区H-3・4号竪穴建物跡	41	Fig.34	4区W-1号溝跡(3)
Fig.11 1区H-5号竪穴建物跡、W-1・2・3号溝跡、O-1号 落ち込み、D-6・7号土坑、P-2号ピット	42	Fig.35	4区A-1号道路状遺構、W-2号溝跡
Fig.12 W-3-5号溝跡、O-1号落ち込み	43	Fig.36	4区A-1号道路状遺構、W-3・4号溝跡、 P-18号ピット
Fig.13 1区土坑	44	Fig.37	4区W-7・8・10号溝跡、I-1・3号井戸跡
Fig.14 1区ピット、2区W-1号溝跡、D-1号土坑、 2区ピット(1)	45	Fig.38	4区I-4号井戸跡、土坑(1)
Fig.15 2区ピット(2)	46	Fig.39	4区土坑(2)
Fig.16 2区ピット(3)	47	Fig.40	4区ピット(1)
Fig.17 3区1号竪穴建物跡、P-1号ピット、 4区H-1・2号竪穴建物跡、D-8号土坑	48	Fig.41	4区ピット(2)、5区ピット(1)
Fig.18 4区H-4号竪穴建物跡	49	Fig.42	5区ピット(2)
Fig.19 4区H-5号竪穴建物跡	50	Fig.43	5区ピット(3)
Fig.20 4区H-6号竪穴建物跡(1)	51	Fig.44	5区ピット(4)
Fig.21 4区H-6号竪穴建物跡(2)、P-19号ピット	52	Fig.45	6区J-1、H-1・2号竪穴建物跡、 D-5号土坑(1)
Fig.22 4区H-7・8号竪穴建物跡	53	Fig.46	6区J-1、H-1・2号竪穴建物跡、 D-5号土坑(2)、H-3号竪穴建物跡、 W-1号溝跡(1)
Fig.23 4区H-9・14・15号竪穴建物跡(1)	54	Fig.47	6区H-3号竪穴建物跡、W-1号溝跡(2)、W-2号溝跡、 I-1号井戸跡、O-1号落ち込み
Fig.24 4区H-9・14・15号竪穴建物跡(2)	55	Fig.48	6区土坑、ピット
Fig.25 4区H-10・12号竪穴建物跡、W-5号溝跡、 I-2号井戸跡(1)	56	Fig.49	1区H-1・2・3号竪穴建物跡、W-3号溝跡出土遺物
Fig.26 4区H-10・12号竪穴建物跡、W-5号溝跡、 I-2号井戸跡(2)	57	Fig.50	1区W-5号溝跡、D-5・11号土坑、遺構外、2区遺構外 出土遺物
Fig.27 4区H-11・13号竪穴建物跡、D-14号土坑	58		
Fig.28 4区H-16・17・21・22号竪穴建物跡、			

Fig51	3区H-1号型穴建物跡、道構外、4区H-1-4号型穴建物跡出土遺物	82	Fig60	4区道構外、5区ビット、道構外、6区H-1号型穴建物跡、W-1号溝跡出土遺物(1)	91
Fig52	4区H-6-7号型穴建物跡出土遺物	83	Fig61	6区W-1号溝跡出土遺物(2)	92
Fig53	4区H-7-9号型穴建物跡出土遺物	84	Fig62	6区W-1号溝跡出土遺物(3)	93
Fig54	4区H-9-10号型穴建物跡出土遺物	85	Fig63	6区W-1号溝跡出土遺物(4)	94
Fig55	4区H-11-13号型穴建物跡出土遺物	86	Fig64	6区W-1号溝跡(5)、I-1-1号井戸跡、D-6号土坑、道構外出土遺物	95
Fig56	4区H-13-16-19号型穴建物跡出土遺物	87	Fig65	6区道構外出土遺物	96
Fig57	4区H-19-21号型穴建物跡出土遺物	88	Fig66	4区A-1号道路状遺構と周辺の官衙関連遺構群	98
Fig58	4区W-1-5号溝跡出土遺物	89	Fig67	小見庵寺周辺の状況	100
Fig59	4区I-3号井戸跡、D-14号土坑、道構外出土遺物	90			

## 表目次

Tab.1	周辺道路一覧表	5	Tab.3	元給仕倉庫遺跡群出土遺物観察表	30
Tab.2	土坑・ビット計測表	26			

## 写真図版目次

P.L.1	1	1区H-1号型穴建物跡全景(西から)	2	4区H-19号型穴建物跡遺物出土状況(北から)	
	2	1区H-1号型穴建物跡磁器全景(西から)	3	4区H-20号型穴建物跡全景(上が東)	
	3	1区H-1号型穴建物跡磁器遺物出土状況(西から)	4	4区H-20号型穴建物跡P1遺物出土状況(東から)	
	4	1区H-2号型穴建物跡全景(西から)	5	4区H-21号型穴建物跡全景(東から)	
	5	1区H-3号型穴建物跡全景(西から)	6	4区H-22号型穴建物跡全景(東から)	
	6	1区H-4号型穴建物跡全景(西から)	7	4区A-1号道路状遺構検出状況(東から)	
	7	1区H-5号型穴建物跡土層堆積状況(南西から)	P.L.8	1	4区A-1号道路状遺構全景(東から)
P.L.2	1	1区W-1号溝跡全景(西から)	2	4区A-1号道路状遺構全景(東側調査区)(西から)	
	2	1区W-2号溝跡全景(南から)	3	4区A-1号道路状遺構土層堆積状況(南西から)	
	3	1区W-3号溝跡全景(北から)	4	4区W-1号溝跡全景(上が西)	
	4	1区W-4号溝跡全景(北から)	P.L.9	1	4区W-1号溝跡遺物出土状況(西から)
	5	1区O-1号落ち込み(東から)	2	4区W-1号溝跡土層堆積状況(南から)	
P.L.3	1	1区調査区全景(東から)	3	4区W-2号溝跡全景(東から)	
	2	2区調査区全景(南から)	4	4区W-3号溝跡検出状況(南東から)	
	3	3区調査区全景(西から)	5	4区W-3号溝跡全景(南東から)	
	4	3区H-1号型穴建物跡(西から)	P.L.10	1	4区W-4号溝跡全景(東から)
	5	4区H-1号型穴建物跡(東から)	2	4区W-7号溝跡全景(北から)	
P.L.4	1	4区H-2号型穴建物跡全景(東から)	3	4区W-8号溝跡全景(西から)	
	2	4区H-4号型穴建物跡全景(西から)	4	4区W-5号溝跡全景(西から)	
	3	4区H-5号型穴建物跡全景(南西から)	5	4区W-9号溝跡全景(南西から)	
	4	4区H-6号型穴建物跡全景(西から)	P.L.11	1	4区W-10号溝跡全景(北から)
	5	4区H-6号型穴建物跡磁器全景(西から)	2	4区W-11号溝跡全景(南から)	
	6	4区H-6号型穴建物跡磁器出土状況(北から)	3	4区I-1号井戸跡全景(北から)	
	7	4区H-7号型穴建物跡全景(南西から)	4	4区I-2号井戸跡全景(東から)	
	8	4区H-7号型穴建物跡P5遺物出土状況(南西から)	5	4区I-3号井戸跡全景(東から)	
P.L.5	1	4区H-7号型穴建物跡遺物出土状況(南西から)	6	4区I-3号井戸跡土層堆積状況(南から)	
	2	4区H-7号型穴建物跡炭化物出土状況(北東から)	7	4区礎石出土状況(南西から)	
	3	4区H-8号型穴建物跡全景(南西から)	P.L.12	1	5区調査区全景(北から)
	4	4区H-9号型穴建物跡全景(西から)	2	6区J-1号型穴建物跡全景(西から)	
	5	4区H-10号型穴建物跡全景(西から)	3	6区H-1号型穴建物跡全景(上が西)	
	6	4区H-11号型穴建物跡全景(西から)	4	6区H-2号型穴建物跡全景(上が西)	
	7	4区H-12号型穴建物跡全景(上が北)	5	6区W-1号溝跡土層堆積状況(東から)	
	8	4区H-13号型穴建物跡全景(西から)	6	6区W-2号溝跡全景(西から)	
P.L.6	1	4区H-13号型穴建物跡床面被熱箇所検出状況(西から)	P.L.13	1	4区出土遺物
	2	4区H-14号型穴建物跡全景(西から)	P.L.14	4	区出土遺物
	3	4区H-14号型穴建物跡磁器全景(西から)	P.L.15	4	区出土遺物
	4	4区H-15号型穴建物跡全景(西から)	P.L.16	4	区出土遺物
	5	4区H-16号型穴建物跡全景(西から)	P.L.17	4	区出土遺物
	6	4区H-16号型穴建物跡遺物出土状況(南西から)	P.L.18	4	~6区出土遺物
	7	4区H-17号型穴建物跡全景(北西から)	P.L.19	6	区出土遺物
	8	4区H-18号型穴建物跡全景(上が東)	P.L.20	6	区出土遺物
P.L.7	1	4区H-19号型穴建物跡全景(上が東)			

## I 調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、調査実施年度で25年日にあたる。本調査地は、周辺で埋蔵文化財調査が長年にわたって行われていることから、遺跡地であることが確認されている。

令和5年4月20日付けで、前橋市長山本 龍より前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。前橋市教育委員会では実施について協議を行い、これを受諾し、令和5年4月28日付けで、調査依頼者である前橋市長山本 龍に対し前橋市教育委員会による発掘調査を実施する旨の回答を行った。これを受け令和5年度の元総社蒼海遺跡群の発掘調査は6月1日から開始するに至った。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群 (150)」（遺跡コード：5A284）の「元総社蒼海遺跡群」は、区画整理事業名を採用し、数字の「(150)」は過年度に発掘調査を実施した遺跡と区別するために付したものである。

## II 遺跡の位置と環境

### 1 遺跡の位置

元総社蒼海遺跡群 (150) は、前橋市街地から利根川を隔て西へ約3.6kmの地点、前橋市元総社町地内に所在する。遺跡地の西側には関越自動車道が南北に、南側には国道17号、主要地方道前橋・群馬・高崎線が東西に、また東には市道大友・石倉線が南北にそれぞれ走っている。

遺跡は、榛名山山麓の相馬ヶ原扇状地端部と前橋台地との移行地帯に立地する。遺跡周辺には、相馬ヶ原扇状地の伏流水を水源とする牛池川、染谷川が流れている。これらの河川の開析作用によって細長い微高地と低地が多く形成されており、その比高差は3～5mを測る。遺跡が立地する周辺は主に畑地として利用されていたが、前橋市中心部から続く市街地の西端にあたり、近年では元総社蒼海土地区画整理事業の進展によって宅地や商業施設が立ち並び、市街地化が拡大している。

### 2 歴史的環境

本遺跡地周辺には、古墳時代後期から終末までの上野地域と中央政権との関連をうかがわせる総社古墳群と山王廃寺、古代の中心地であった上野国府、さらに、中世には長尾氏により国府の堀割を利用し築かれたとされる蒼海城があり、歴史的環境に優れている。周辺の埋蔵文化財発掘調査によって、これまで連続と続いてきた歴史を物語る多くの新しい知見が集積されている。

縄文時代の遺跡としては、前期・中期の集落跡が検出された産業道路東・西遺跡や上野国分僧寺・尼寺中間地域が筆頭に挙げられ、縄文文化を考える上で重要な資料といえる。

弥生時代の調査例は少ない。当時の稲作の様子を示す水田・集落跡等が検出された日高遺跡、後期住居跡が検出された上野国分僧寺・尼寺中間地域や桜ヶ丘遺跡、下東西遺跡等に散見するだけである。

古墳時代の遺跡としては、まず本遺跡群の北東に広がる総

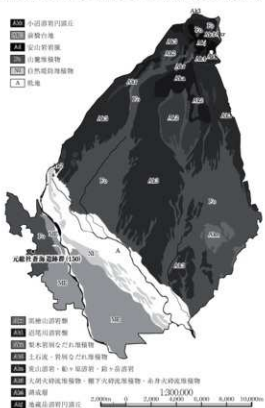


Fig.1 前橋の地形

社古墳群が挙げられる。総社古墳群を代表するものには、大型前方後円墳である逸見山古墳を端緒とし、川原石をふんだんに用いた葺石を施す王山古墳、前方部と後円部にそれぞれ横穴式阿波型の石室が築造された前方後円墳の総社二子山古墳、巨石を用いた巨室横穴式石室をもつ方墳の愛宕山古墳、仏教文化の影響を強く受けたと考えられる家形石棺をもつ方墳の宝塔山古墳、県内古墳最終末期に築造された蛇穴山古墳があり、この地域と中央との関係を考えるうえで重要な意味をもつ古墳群といえる。また、宝塔山古墳の南西 500 mには白鳳期の建立と考えられる山王庵寺跡（放光寺）がある。この寺の塔心礎や石製鳩尾、根巻石等の石造物群は、宝塔山古墳の石棺や蛇穴山古墳の石室と同系統の石造技術を駆使して加工されている。これらのことから、この寺の造営氏族は、宝塔山古墳や蛇穴山古墳の被葬者と同一の首長層と考えられている。なお、山王庵寺跡は平成 18 年度から 5 年計画で山王庵寺範囲内容確認調査が実施され、平成 18 年度は講堂と回廊の北東部分、平成 19 年度は金堂と回廊の西側部分、平成 20 年度は塔の基壇周辺、平成 21 年度は回廊中門と考えられる遺構と回廊の南西部を調査した。平成 22 年度には、回廊北西部付近で北西にやや傾く版築基壇が新たに確認され、昭和の発掘調査時から確認されている同方向に傾く掘立柱建物と一括して、「山王庵寺下層建物群」として捉えられるに至っている。この建物群の性格については車評断など存在するが、いまだその確定には至っていない。

奈良時代になると、上野国分僧寺・尼寺の建立など、本地域は古代の政治的・経済的・文化的中心地としての様相を呈してくる。国分僧寺は大正 15 年に国史跡に指定され、昭和 55～63 年度に群馬県教育委員会によって本格的な発掘調査が行われた。また、平成 24～28 年度にも第 2 期調査が行われ、これらの調査により主要伽藍の配置が確定するとともに、寺域（築垣）の範囲が推定されている。国分尼寺については、昭和 44・45 年度の群馬県教育委員会による調査、平成 12 年度の前橋市埋蔵文化財発掘調査団による南辺の寺域確認調査、平成 28～令和 2 年度の高崎市教育委員会による範囲確認調査などにより、主要伽藍の配置がほぼ確定するとともに、伽藍地の範囲についても推定が可能となった。なお、上野国分僧寺と国分尼寺の中間地域では、関越自動車道建設に伴い発掘調査が行われ、大規模な集落跡や掘立柱建物群が検出されている。

また、上野国府については、その位置が現段階では不明であるが、元総社小校庭遺跡や昌楽寺周辺で実施された確認調査を皮切りに、元総社蒼海道跡群（9）・（95）・（127）・（133）で掘立柱建物跡が確認されており、元総社寺田遺跡から「國厨」「曹司」「国」「邑厨」等と書かれた墨書土器や人形が出土しているほか、元総社明神遺跡や元総社蒼海道跡群で当時の役人が用いたと考えられる門面硯、巡方（腰帯具）、緑釉陶器が出土している。加えて、元総社蒼海道跡群（99）・（127）・（133）・（136）・（146）・（147）や上野国府範囲内容確認調査 28・73・33・35 トレンチで掘込地業を伴う礎石建物跡を相次いで確認している。また、関泉橋遺跡をはじめとして元総社明神遺跡や元総社蒼海道跡群で国府城の区画溝と推定される古代の大溝を確認している。これらの過去からの調査成果の積み重ねにより、元総社町付近に上野国府が設置されていた可能性は非常に高いと考えられる。

なお、高崎市内の調査事例や地割による研究により、本遺跡から約 1.5km 南の地点に N-64°-E 方向の東山道（国府ルート）があることが推定されている。

中世に至り、永享元年（1429）、上野国守護代の長尾氏によって上野国府中（旧国府）に築かれたと伝えられる蒼海城は、県内でも最古級の城郭に位置づけられ、城下町も存在していたと推定されている。しかしながら慶長年間に秋元氏により総社の地へ城および城下町が移転している。

このように総社・元総社地区は特に古代から上野国の中心部として政治の中心として重要な地域であった。特に、中でも上野国府が所在したと推定される元総社町は注目される。元総社町は元総社蒼海土地区画整理事業の進捗に伴い平成 11 年から継続的に発掘調査が行われている。また、平成 23 年度から上野国府等範囲内容確認調査も元総社町内を中心に実施していることから、今後、これらの調査による上野国府の解明が期待される。

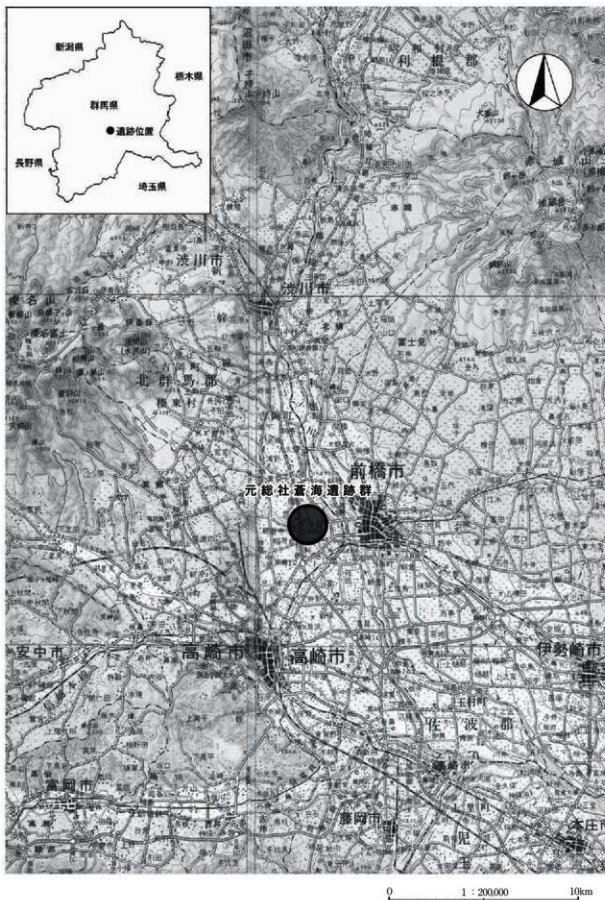


Fig.2 元総社蒼海道跡群位置図

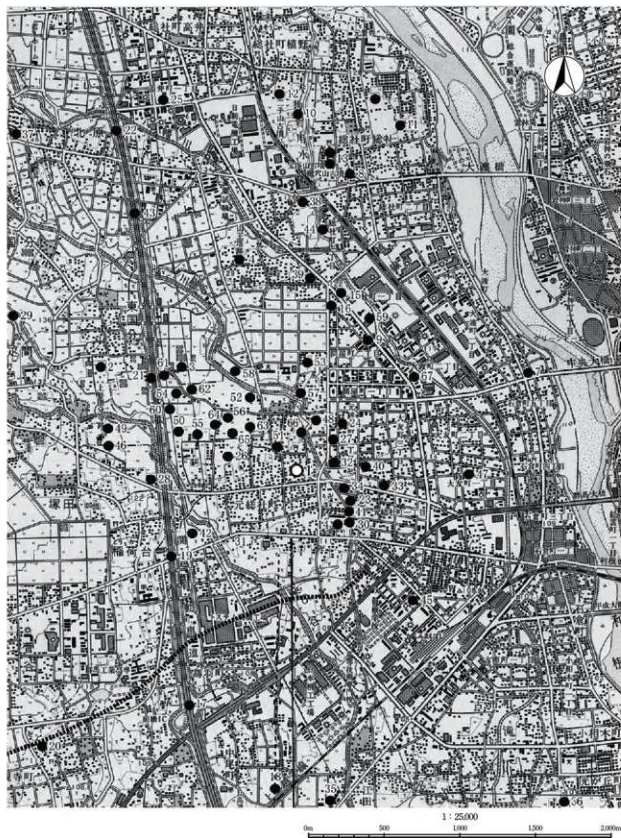


Fig.3 周辺遺跡図



Tab. 1 周辺道路一覧表

番号	道 路 名	開通年度
1	元総社青海道路群(150)	2023
2	上野国分寺跡	1980～88
3	上野国分尼寺跡	(1999)
4	山王庵寺跡	(1974)
5	東山道駅路園府A-ト(推定)	-
6	日高道(推定)	-
7	王山内墳	1972
8	蛇天山古墳	1975
9	稲藪山古墳	1988
10	愛宕山古墳	1996
11	浅見山古墳	-
12	総社二子山古墳	-
13	宝塔山古墳	-
14	元総社小学校校庭道路	1962
15	産業道路東道路	1966
16	産業道路西道路	1966
17	中尾道路	1976
18	日高道路	(1978)
19	鳥羽道路	1978～83
20	正観寺道路Ⅰ～Ⅳ	1979～1981
21	上野国分寺、尼寺中間地域	1980～83
22	北原道路(群馬町)	1982
23	元総社明神道路Ⅰ～ⅩⅢ	1982～96
24	閑泉橋道路	1983
25	椿本道路、Ⅱ道路	1983、88
26	草作道路	1984
27	閑泉橋南道路	1985
28	塚田村東道路(群馬町)	1985
29	後尾間道路Ⅰ～Ⅲ	1985～87
30	寺田道路	1986
31	天神道路、Ⅱ道路	1986、88
32	屋敷道路、Ⅱ道路	1986、95
33	麻穂道路	1987
34	大友屋敷Ⅱ、Ⅲ道路	1987
35	勝呂道路	1987
36	五反田道路	1987
37	熊野谷道路	1988
37	熊野谷Ⅱ道路	1989
38	村東道路	1988
39	昌葉寺廻向道路、Ⅱ道路	1988
40	隈路Ⅱ道路	1988
41	元総社寺田道路Ⅰ～Ⅲ(事業団)	1988～91
42	強助道路、Ⅱ道路	1989、95
43	因分境道路(事業団)	1990
43	因分境Ⅱ道路	1991
43	因分境Ⅲ道路(群馬町)	1991
44	大友屋敷Ⅰ～Ⅳ道路	1992～2000
45	元総社稲藪道路	1993
46	上野国分寺参道道路	1996
47	大友宅地浜道路	1998
48	総社閑泉明神北道路	1999
48	総社閑泉明神北Ⅱ道路	2001
49	元総社西川道路(事業団)	2000
50	元総社小見道路	2000
51	元総社宅地道路Ⅰ～23トレンチ	2000
52	元総社小見内道道路	2001
53	総社甲稲藪塚大道西道路	2001
53	総社甲稲藪塚大道西Ⅱ道路	2001
54	元総社小見Ⅱ道路	2002
54	元総社小見Ⅲ道路	2002
55	元総社草作Ⅴ道路	2002
56	元総社小見内Ⅳ道路	2002
56	元総社小見Ⅳ道路	2003
57	総社甲稲藪塚大道西Ⅲ道路	2002
57	総社閑泉明神北Ⅲ道路	2002
57	総社甲稲藪塚大道西Ⅳ道路	2003
58	元総社北川道路	2002～04
59	稲藪塚東道路	2003

番号	道 路 名	開通年度
60	元総社小見内Ⅴ道路	2002
60	元総社小見内Ⅵ道路	2003
61	元総社小見Ⅶ道路	2003
62	元総社小見内Ⅷ道路	2003
63	元総社小見内Ⅸ道路	2003
64	元総社小見Ⅹ道路	2004
64	元総社小見内Ⅹ道路	2004
65	元総社小見内Ⅺ道路	2004
66	総社閑泉明神北Ⅴ道路	2004
67	大渡道場道路	2005
-	元総社青海道路群(1)	2005
-	元総社青海道路群(2)	2005
-	元総社青海道路群(3)	2005
-	元総社青海道路群(4)	2005
-	元総社青海道路群(5)	2005
-	元総社青海道路群(6)	2005
-	元総社青海道路群(7)	2005
-	元総社青海道路群(8)	2006
-	元総社青海道路群(9) (10)	2006
-	元総社青海道路群(11)	2006
-	元総社青海道路群(12)	2006
-	元総社青海道路群(13)	2008
-	元総社青海道路群(14)	2008
-	元総社青海道路群(15)	2008
-	元総社青海道路群(16)	2008
-	元総社青海道路群(17)	2008
-	元総社青海道路群(18)	2008
-	元総社青海道路群(19)	2008
-	元総社青海道路群(20)	2008
-	元総社青海道路群(21)	2009
-	元総社青海道路群(22)	2009
-	元総社青海道路群(23)	2009
-	元総社青海道路群(24)	2009
-	元総社青海道路群(25)	2009
-	元総社青海道路群(26)	2009
-	元総社青海道路群(27)	2009
-	元総社青海道路群(28)	2009
-	元総社青海道路群(29)	2009
-	元総社青海道路群(30)	2009
-	元総社青海道路群(31)	2009
-	元総社青海道路群(32)	2010
-	元総社青海道路群(33)	2010
-	元総社青海道路群(34)	2010
-	元総社青海道路群(35)	2010
-	元総社青海道路群(36)	2010
-	元総社青海道路群(37)	2011
-	元総社青海道路群(38)	2012
-	元総社青海道路群(39)	2012
-	元総社青海道路群(40)	2013
-	元総社青海道路群(41)	2013
-	元総社青海道路群(42)	2013
-	元総社青海道路群(43)	2013
-	元総社青海道路群(44)	2013
-	元総社青海道路群(45)	2013
-	元総社青海道路群(46)	2013
-	元総社青海道路群(47)	2013
-	元総社青海道路群(48)	2013
-	元総社青海道路群(49)	2013
-	元総社青海道路群(50)	2013
-	元総社青海道路群(51)	2013
-	元総社青海道路群(52)	2013
-	元総社青海道路群(53)	2013
-	元総社青海道路群(54)	2013
-	元総社青海道路群(55)	2013
-	元総社青海道路群(56) (61)	2013
-	元総社青海道路群(57)	2014
-	元総社青海道路群(58)	2014
-	元総社青海道路群(59)	2014

番号	道 跡 名	調査年度
-	元総社青海道路群 (60)	2014
-	元総社青海道路群 (62)	2014
-	元総社青海道路群 (63)	2014
-	元総社青海道路群 (64)	2014
-	元総社青海道路群 (65)	2014
-	元総社青海道路群 (66)	2013
-	元総社青海道路群 (67)	2013
-	元総社青海道路群 (68)	2013
-	元総社青海道路群 (72)	2013
-	元総社青海道路群 (73)	2013
-	元総社青海道路群 (74)	2014
-	元総社青海道路群 (75)	2014
-	元総社青海道路群 (76)	2014
-	元総社青海道路群 (77)	2014
-	元総社青海道路群 (78)	2014
-	元総社青海道路群 (79)	2014
-	元総社青海道路群 (80)	2014
-	元総社青海道路群 (81)	2014
-	元総社青海道路群 (82)	2014
-	元総社青海道路群 (83)	2014
-	元総社青海道路群 (84)	2014
-	元総社青海道路群 (85)	2014
-	元総社青海道路群 (88)	2014
-	元総社青海道路群 (89)	2014
-	元総社青海道路群 (90)	2014
-	元総社青海道路群 (91)	2014
-	元総社青海道路群 (92)	2014
-	元総社青海道路群 (94)	2014
-	元総社青海道路群 (95)	2014
-	元総社青海道路群 (96)	2014
-	元総社青海道路群 (97)	2014
-	元総社青海道路群 (98)	2014
-	元総社青海道路群 (99)	2015
-	元総社青海道路群 (100)	2014
-	元総社青海道路群 (101)	2014
-	元総社青海道路群 (102)	2015
-	元総社青海道路群 (103)	2015
-	元総社青海道路群 (116)	2016
-	元総社青海道路群 (117)	2016
-	元総社青海道路群 (118)	2016
-	元総社青海道路群 (120)	2016
-	元総社青海道路群 (121)	2016
-	元総社青海道路群 (122)	2016
-	元総社青海道路群 (123)	2016
-	元総社青海道路群 (124)	2017
-	元総社青海道路群 (126)	2017
-	元総社青海道路群 (127)	2018
-	元総社青海道路群 (128)	2018
-	元総社青海道路群 (129)	2018
-	元総社青海道路群 (130)	2018
-	元総社青海道路群 (131)	2018
-	元総社青海道路群 (133)	2019
-	元総社青海道路群 (135)	2019
-	元総社青海道路群 (136)	2019
-	元総社青海道路群 (137)	2019
-	元総社青海道路群 (138)	2019
-	元総社青海道路群 (139)	2019
-	元総社青海道路群 (140)	2020
-	元総社青海道路群 (141)	2020
-	元総社青海道路群 (142)	2021
-	元総社青海道路群 (145)	2020
-	元総社青海道路群 (146)	2021
-	元総社青海道路群 (147)	2022
-	元総社青海道路群 (148)	2023
-	元総社青海道路群 (149)	2023
-	元総社青海道路群 (150)	2025
-	元総社青海道路群 (17 街区)	2015
-	元総社青海道路群 (75 街区)	2015
-	元総社青海道路群 (75 街区) No.2	2020

番号	道 跡 名	調査年度
-	元総社青海道路群 (91 街区)	2023
-	元総社青海道路群 (93 街区)	2016
-	元総社青海道路群 (94 街区)	2017
-	元総社小見I道跡	2000
-	元総社小見II道跡	2002
-	元総社小見III道跡	2002
-	元総社小見IV道跡	2003
-	元総社小見V道跡	2003
-	元総社小見VI道跡	2001
-	元総社小見VII道跡	2002
-	元総社小見VIII道跡	2003
-	元総社小見IX道跡	2003
-	元総社小見X道跡	2003
-	元総社小見XI道跡	2004
-	元総社小見XII道跡	2004
-	元総社草作道跡	1984
-	元総社草作V道跡	2002
-	元総社宅地道路1～8トレンチ	2000
-	元総社宅地道路9～18・21トレンチ	2000
-	元総社宅地道路19トレンチ	2000
-	元総社宅地道路20トレンチ	2000
-	元総社宅地道路22～23トレンチ	2000・2012
-	上野国府等範囲内 容積認調査1～7トレンチ	2011
-	上野国府等範囲内容積認調査8～16トレンチ	2012
-	上野国府等範囲内容積認調査17～26トレンチ	2013
-	上野国府等範囲内容積認調査27～34トレンチ	2014
-	上野国府等範囲内容積認調査35～44トレンチ	2015
-	上野国府等範囲内容積認調査45～49トレンチ	2016
-	上野国府等範囲内容積認調査50～54トレンチ	2017
-	上野国府等範囲内容積認調査55～61トレンチ	2018
-	上野国府等範囲内容積認調査62～68トレンチ	2019
-	上野国府等範囲内容積認調査69～74トレンチ	2020
-	上野国府等範囲内容積認調査75～77トレンチ	2021
-	上野国府等範囲内容積認調査78～81トレンチ	2022
-	上野国分尼寺 (上野国分尼寺域確認調査)	1969・1970・1999・2000
-	総社甲稲荷塚大道西道跡	2001
-	総社甲稲荷塚大道西II道跡	2001
-	総社甲稲荷塚大道西III道跡	2002
-	総社甲稲荷塚大道西IV道跡	2003
-	総社関泉明神北道跡	1999
-	総社関泉明神北II道跡	2001
-	総社関泉明神北III道跡	2002
-	総社関泉明神北IV道跡	2002～04
-	総社関泉明神北V道跡	2004
-	関泉橋道跡	1983
-	関泉橋南道跡	1985
-	元総社北川道跡	2002～04
-	元総社牛池川道跡	2002～04
-	元総社中学校道跡	2016
-	元総社北小学校道跡	2020

### Ⅲ 調査の方針と経過

#### 1 調査方針

発掘調査を依頼された箇所は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い新設される道路用地等で、全6箇所、調査面積は合計1,084 m<sup>2</sup>である。遺構番号は、遺跡ごとに個別に付番することとし、150-1-H-1号住居跡のように、遺構の前に必ず遺跡番号を付すこととした。

グリッド座標については国家座標(日本測地系)  $X = +44000$ ・ $Y = -72200$ を基点( $X0$ ・ $Y0$ )とする4mピッチのものを使用し、西から東へX 80、81、82…、北から南へY 255、256、257…と付番し、グリッド呼称は北西杭の名称を使用した。

元総社蒼海遺跡群(150) 1区のX 80・Y 255の公共座標は以下のとおりである。

日本測地系	X = + 42,980.000	Y = - 71,880.000
緯 度	36° 23' 05".0282	経 度 139° 01' 55".3413

調査方法については、表土掘削・遺構確認・方眼杭等設置・遺構掘下・遺構精査・測量・全景写真の手順で行うこととした。このうちの遺構確認については、基本的にAs-C軽石、Hr-FP軽石、As-B軽石が混入する土層を手がかりとした。

図面作成は、平板・簡易遺り方測量を用い、遺構平面図は原則として1/20、住居跡竈は1/10の縮尺で作成した。遺物については平面分布図を作成し、台帳に各種記録を記載しながら収納した。包含層の遺物はグリッド単位で収納し、重要遺物については分布図・遺物台帳の記載を行い収納した。

#### 2 調査経過

1区 前橋・足門線に面した調査区。6月1日に表土掘削を開始。As-B混土直下でAs-C軽石を多く含む黒色土(Ⅲ層)が露出。雨天による作業の中断を挟みつつ、5日に表土掘削が終了。6月29日に調査区の全景写真を撮影。翌日30日にすべての遺構平面測量が完了し、7月3・4日の2日間で埋め戻しを行った。

2区 7月4日に表土掘削を開始。地表面から耕作土が40～50cm程堆積しており、その直下から黒い粘質な総社砂層が露出した。雨天が続いたため、粘質土が広がる調査区はたびたび冠水し、排水に時間を要した。

7月26日に調査区の全景写真を撮影。翌日27日に遺構平面測量を完了し、28日に埋め戻しを行った。

3区 1区の33m程東に位置する。7月18日に重機による表土掘削を開始。住宅跡地であったため、造成等による客土が地表面から1m以上堆積していた。検出遺構は竪穴建物跡を1軒とピット1基のみであり、遺構の多くは削平されてしまっている可能性が考えられた。8月1日に調査区の全景写真を撮影。3日に埋め戻しを行った。

4区 宮銅神社の28m程南に位置し、元総社蒼海遺跡群(147) 1区の西に隣接している。本調査区は西と東で2区画に分割して調査を行った。調査面積の大部分は西側調査区が占めており、東側調査区はアスファルト舗装が施されていた旧道部分にあたる。舗装を除去する必要性が生じていたことから、西側調査区調査終了後、東側調査区に着手した。

7月19日、西側調査区の表土掘削を開始。As-B混土直下で遺構確認を行った。部分的に総社砂層への漸移層(V層)が見られたものの、調査区はほぼ一面が遺構覆土であった。表土掘削時に調査区東部で礎石と見られる巨石が出土したが、調査区内では礎石建物跡と見られる遺構の検出はなかった。調査区西部では総社砂層(VI層)の露出する箇所も見えたため、旧地表面は西へ向かうにつれて標高が高くなっていることが想定された。

7月24日に表土掘削が完了。調査区西部にて、調査区を南北に横断するW-1号溝跡を検出し、遺構の規模から蒼海城堀跡と考えられた。堀跡の掘り下げから着手し、土層観察用のベルトを3本残した。遺構確認面から2m程の深さまで重機による殺掘りを入れたが、溝の底部は検出できなかった。崩落等の危険が予想された



ため、それ以上の掘り下げは行わないものとした。8月29日、W-1号溝跡の空撮を毛野考古学研究所に業務委託した。

調査区全体を通して遺構の重複が著しく、平面での遺構確認が困難だったため、グリッド座標ごとに土層観察用のベルトを設定し、これを基調として面的な掘り下げを行いながら調査にあたった。10月3日に上野国府等調査部会、5日に同調査委員会を開催し、諸氏に現地を視察いただき、多くの助言を賜った。10月29日に地元住民を主な対象として現地説明会を開催。当日は100名を超える来場者数を数え、地元住民の関心の高さがうかがえた。

令和6年1月15日、西側調査区全景を空撮。翌日16日から埋め戻しを開始し、18日に東側調査区の表土掘削を開始した。調査区幅は4m前後と狭いながらも、堅穴建物跡が重複し合っており、遺構密度は西側調査区同様高かった。2月7日に東側調査区空撮を実施。14日に埋め戻しを行い、本年度の調査を終了した。

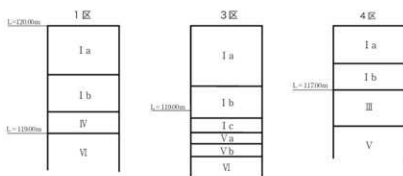
**5区** 2区の北側に面した調査区で、9月14日に表土掘削を行った。2区同様、表土直下は粘質な総社砂層が一面に広がっていた。本調査区調査時にも雨天が続いたため、数回冠水し、そのたびに排水作業を行わなければならなかった。9月29日に調査区の全景写真を撮影。10月6日に遺構平面測量が完了し、11日に埋め戻しを行った。

**6区** 12月4日に表土掘削を開始。調査区北側と南側で総社砂層の土質が異なっており、北側では黄褐色砂質土を主体とし、南側では黒色粘質土が主体としていることが認められた。

調査区中央やや北側で、小見庵寺の南限区画溝と見られる東西に走行する溝跡を検出。覆土からは瓦片が多数出土した。12月25日、毛野考古学研究所へ空中撮影業務を委託し、調査区全景をドローンによって撮影した。翌日26日に埋め戻しを行った。

## IV 基本層序

基本層序は、各調査区に確認用トレンチを設定し、セクション図を元に模式図を作成した。以下に土層説明を掲載する。なお、2区と5区については未計測のため掲載していない。



- Ia層 As-B軽石が混入する灰黄褐色砂質土。現在の表土・耕作土。
- Ib層 As-B軽石が混入する灰黄褐色砂質土。II表土・耕作土。いわゆるAs-B混土。
- Ic層 As-B軽石が混入する灰黄褐色砂質土。
- III層 As-BとHr-PP軽石を含む暗褐色土。場所により粘性が異なる。(奈良・平安時代の遺物包含層)
- IV層 As-C軽石を多量に含む黒褐色砂質土。いわゆるC黒。場所により色調・粘性が異なる。
- Va層 総社砂層への漸移層。黒色土。場所により色調・粘性が異なる。
- Vb層 総社砂層への漸移層。黄褐色土。場所により色調・粘性が異なる。
- VI層 総社砂層。場所により色調・土質が異なり、黄褐色砂質土と明褐色もしくは灰白色粘質土を呈するところがある。

Fig.5 基本層序

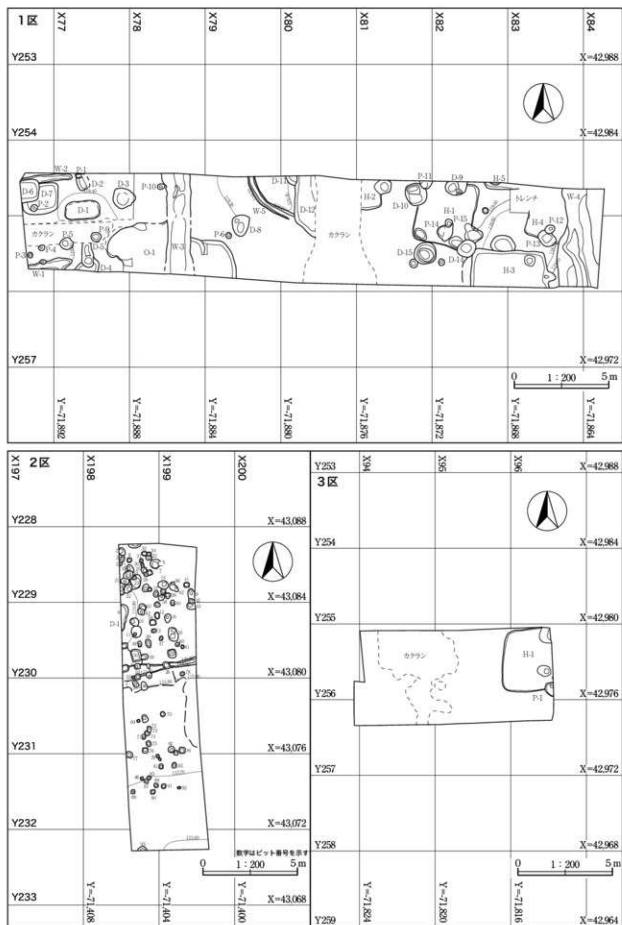


Fig.6 1-3区調査区全体図

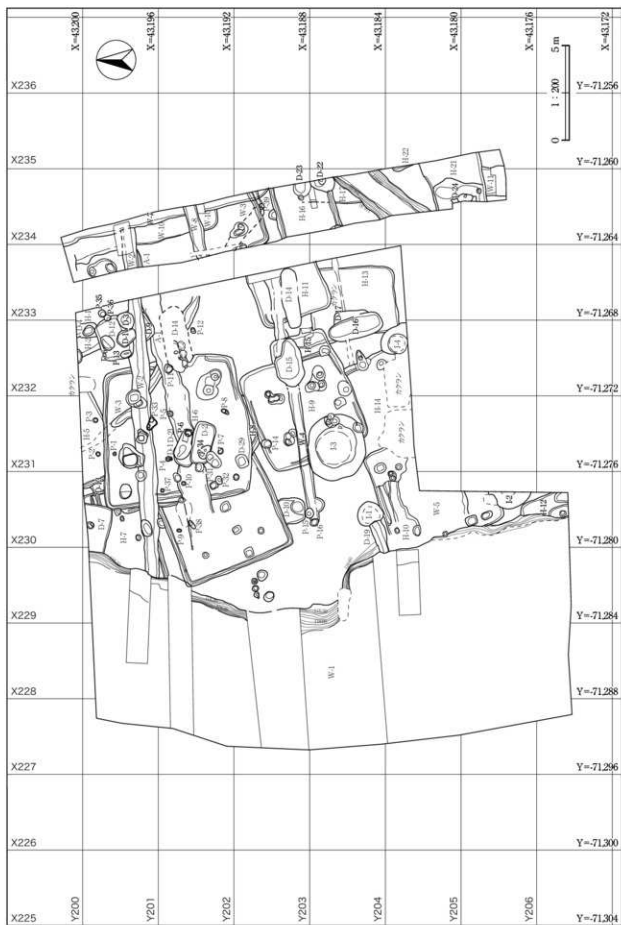


Fig 7 4区調査区全体図

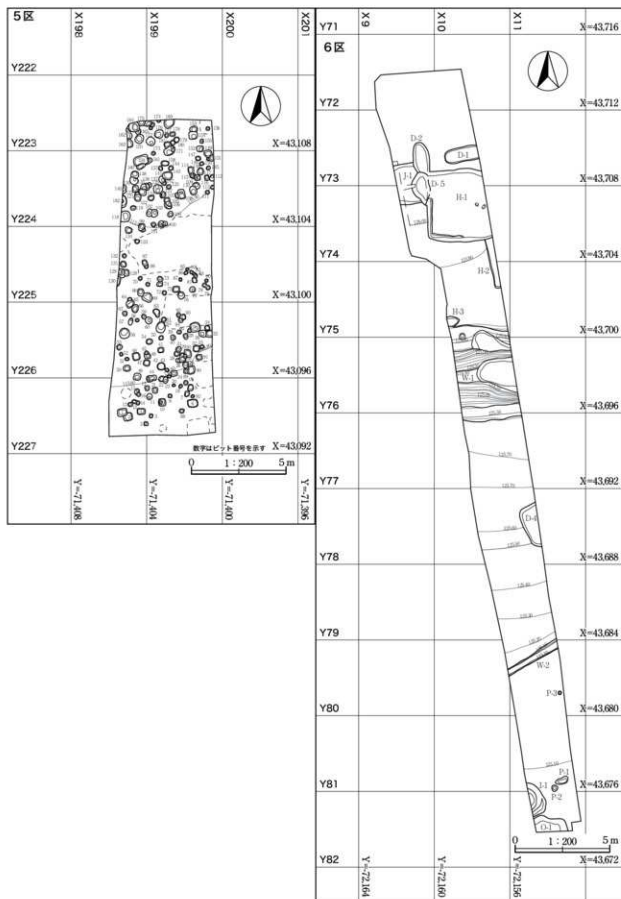


Fig.8 5・6区調査区全体図



## V 遺構と遺物

### 1区

#### 調査区の概要

遺跡群南西部に位置し、県道前橋・足門線の北側に面した調査区。元総社若海道跡群(122)2区の西側に隣接している。調査区中央には旧道が走行していたため、総社砂層(VI層)まで攪乱が及んでいた。

検出遺構は竪穴建物跡5軒、溝跡5条、落ち込み1基、土坑15基、ピット13基。現表土の攪乱を少なからず受けており、平安時代に帰属するH-1・2・4・5号竪穴建物跡の残存状況は良好とは言えなかった。

O-1号落ち込みは東西に長い不整形な楕円形で約7m弱を測る大型のものであることを確認した。性格ははっきりとしないが、本調査区は染谷川に近く、旧表土(V・VI層)が粘質であったことから粘土採掘坑として掘られたものである可能性が考えられる。西壁が大きく抉れているが、覆土中に崩落土は確認できず、採掘の痕跡と思われる。

#### (1) 竪穴建物跡

##### H-1号竪穴建物跡 (Fig. 9・49, PL. 1・13)

位置 X 81・82, Y 254・255 グリッド 主軸方向 N-99°-E 形状・規模 長方形を呈する。北西隅は調査区外のため未検出。東西3.0m、南北3.47m、壁現高0.09mを測る。床面 貼床面 竈 東壁南東隅付近で検出。主軸方向はN-94°-E。全長0.86m、最大幅1.03m、焚口幅0.76mを測る。柱穴・貯蔵穴等 南西隅、南東隅で1基ずつ検出。どちらも貯蔵穴と見られ、使用に時期差があるものと考えられる。規模(長軸×短軸×深さ)は、P1が0.77m×0.48m×0.18m、P2が0.9m×0.61m×0.2mである。壁周溝 検出されず。重複 D-9・10・14号土坑と重複。D-9号土坑よりも古く、D-10・14号土坑よりも新しい。出土遺物 須恵器耳皿(1)、須恵器高台付甕(2)、内面が黒色処理されて螺旋状の暗文が入る酸化焙焼成の須恵器甕(3)、羽釜(4-6)、土師器台付甕(7)が出土している。1は床面直上、2は覆土、3はP1、4・7はP2、5・6は竈からの出土である。時期 出土遺物の傾向から、9世紀末から10世紀初頭と想定される。

##### H-2号竪穴建物跡 (Fig. 9・49, PL. 1・13)

位置 X 81, Y 254 グリッド 主軸方向 N-84°-E 形状・規模 長方形を呈するものと思われる。南東隅と竈のみ検出。東西(1.50)m、南北(1.48)m、壁現高0.08mを測る。床面 平坦地山床 竈 東壁南東隅付近で検出。主軸方向はN-87°-E。全長0.88m、最大幅(0.81)m、焚口幅(0.73)mを測る。壁周溝 検出されず。出土遺物 土師器杯(1・2)が出土している。共に覆土からの出土である。時期 出土遺物の傾向から、7世紀前半と想定される。

##### H-3号竪穴建物跡 (Fig. 10・49, PL. 1・13)

位置 X 82・83, Y 255 グリッド 主軸方向 N-92°-E 形状・規模 正方形を呈するものと思われる。南壁は調査区外のため未検出。東西3.93m、南北(1.89)m、壁現高0.43mを測る。床面 貼床面 竈 東壁中央付近で検出。主軸方向はN-98°-E。全長0.68m、最大幅0.55m、焚口幅0.16mを測る。柱穴・貯蔵穴等 北東隅で1基検出。貯蔵穴と見られる。規模(長軸×短軸×深さ)は、0.57m×0.57m×0.36mである。壁周溝 あり 重複 D-14土坑と重複。本遺構の方が古い。出土遺物 土師器杯(1・2)が出土している。共に覆土からの出土である。時期 出土遺物の傾向から、6世紀後半と想定される。

#### H-4号竪穴建物跡 (Fig.10, PL. 1)

位置 X 83・Y 254・255グリッド 主軸方向 N-102°-E 形状・規模 現表土による削平を受けており、南壁と東西壁の一部、貼床面のみを検出したため形状は不明だが、方形を呈するものと思われる。東西2.66 m、南北(2.60) m、壁現高0.14 mを測る。床面 部分的な貼床面 竈 検出されず。重複するW-4号溝跡に壊されているものと思われる。壁周溝 検出されず。重複 W-4号溝跡と重複。本遺構の方が古い。出土遺物 いずれも小破片で掲載には至らなかった。時期 出土遺物の傾向から判断すると、10～11世紀と想定される。

#### H-5号竪穴建物跡 (Fig.11, PL. 1)

位置 X 82・83、Y 254グリッド 主軸方向 N-95°-E 形状・規模 現表土の擾乱を大きく受けており、南西隅のみを検出したため形状は不明だが、方形を呈するものと思われる。東西(1.56) m、南北(0.27) m、壁現高0.29 mを測る。床面 土層断面にて貼床面を確認 竈 検出せず 柱穴・貯蔵穴等 南西隅で1基検出。貯蔵穴と見られる。規模(長軸×短軸×深さ)は、0.57 m×(0.12) m×0.28 mである。壁周溝 検出されず。出土遺物 いずれも小破片で掲載には至らなかった。時期 出土遺物の傾向から判断すると、10～11世紀と想定される。

### (2) 溝跡

#### W-1号溝跡 (Fig.11, PL. 2)

位置 X 76・77、Y 255グリッド 主軸方向 N-79°-E 形状・規模 東西方向に走行し、西端は調査区外へ続く。断面は逆台形を呈する。上幅(0.62) m、下幅0.28 m、深さ0.17 m、長さ(2.35) mを測る。出土遺物 小破片のため図示には至らず。時期 中世以降と想定される。

#### W-2号溝跡 (Fig.11, PL. 2)

位置 X 76・77、Y 254グリッド 主軸方向 N-84°-E 形状・規模 東西方向に走行し、西端は調査区外へ続く。断面は逆台形を呈する。上幅0.33 m、下幅0.15 m、深さ0.10 m、長さ(2.74) mを測る。重複 D-6号土坑と重複。本遺構の方が古い。出土遺物 小破片のため図示には至らず。時期 中世以後

#### W-3号溝跡 (Fig.11・12・49, PL. 2・13)

位置 X 78、Y 254・255グリッド 主軸方向 N-1°-W 形状・規模 南北方向に走行し、断面は逆台形を呈する。北から南へかけて標高が低下していく。上幅1.21 m、下幅0.71 m、深さ0.73 m、長さ(5.30) mを測る。重複 O-1号落ち込みと重複。本遺構の方が新しい。出土遺物 須恵器蓋(1)、須恵器坏(2)、土師器坏(3・4)、滑石製の臼玉(5)が出土している。すべて覆土中からの出土である。時期 出土遺物の傾向から判断すると、7世紀前半と想定される。

#### W-4号溝跡 (Fig.12, PL. 2)

位置 X 83、Y 254・255グリッド 主軸方向 N-4°-E 形状・規模 南北方向に走行する蒼海城堀跡と推定。溝の中心は調査区外と見られ、検出箇所は西壁の上部と思われる。断面は浅いU字に見えるが、本来は葉研状を呈するものと思われる。上幅(2.24) m、下幅(93.0) m、深さ0.93 m、長さ(5.14) mを測る。重複 H-4号竪穴建物跡と重複。本遺構の方が新しい。出土遺物 なし。時期 中世。蒼海城堀跡と考えられる。

### W-5号溝跡 (Fig.12・49, PL・13)

位置 X 79・80、Y 254・255 グリッド 主軸方向 N-28°-W (北半分)、N-59°-W (南半分) 形状・規模 南北方向に走行するが、検出範囲の中央付近から南半分は東へ湾曲している。断面はU字状を呈し、上幅0.38 m、下幅0.18 m、深さ0.14 m、長さ(3.46) mを測る。重複 D-12号土坑と重複。覆土や遺物より本遺構の方が新しい。出土遺物 覆土中より黒色安山岩製の白玉が出土している。時期 中世以降と想定される。

### (3) 落ち込み・土坑・ピット

落ち込みを1基、土坑を15基、ピットを15基検出。形状・規模等はTab. 2遺構計測表を参照。

## 2区

### 調査区の概要

遺跡群南東部に位置し、元総社蒼海道跡群(138)の北側、本調査5区の南側に隣接している。表土は耕作土が厚く堆積しており、表土直下は総社砂層への漸移層(V層)が広がっていた。遺構の底部から湧水することもあり、旧表土は非常に粘質であることを確認した。古代以前の遺構の検出はなく、検出遺構は全て中世以後のものであった。

### (1) 溝跡

#### W-1号溝跡 (Fig.14)

位置 X 198・199、Y 229 グリッド 主軸方向 N-80°-E 形状・規模 東西に走行し、断面はU字状を呈する。上幅0.61 m、下幅0.43 m、深さ0.12 m、長さ(3.93) mを測る。出土遺物 いずれも小破片で図示には至らず。時期 中世以降と想定される。

### (2) 土坑・ピット

土坑を1基、ピットを89基検出。形状・規模等はTab. 2遺構計測表を参照。

## 3区

### 調査区の概要

元総社蒼海道跡群南西部に位置し、県道前橋・足門線の北側に面した調査区。元総社蒼海道跡群(150)1区から約29m東に、元総社蒼海道跡群(122)2区の東側に隣接している。

表土直下は総社砂層への漸移層(V層)が広がり、調査区西側は近・現代の掘込みを多く受けて遺構の検出は見られなかった。調査区西側で、平安時代に帰属する堅穴建物跡1軒とピット1基を検出した。

### (1) 堅穴建物跡

#### H-1号堅穴建物跡 (Fig.17・51, PL. 3・13)

位置 X 95・96、Y 255 グリッド 主軸方向 N-89°-E 形状・規模 東壁は調査区外のため未検出だが、正方形を呈するものと思われる。東西(2.68) m、南北3.29 m、壁高0.13 mを測る。床面 貼床面 竈 調査区外、東壁に設置されていると考えられる。柱穴・貯蔵穴等 建物跡南東に1基検出。貯蔵穴と思われる。規模(長軸×短軸×深さ)は、0.71 m×0.58 m×0.34 mである。他に北東隅に床下土坑1基検出し、(0.83) m×(0.64) m×0.36 mである。壁周溝 検出されず。重複 P-1と重複。本遺構のほうが新しい。

出土遺物 緑釉陶器皿（1）、須恵器高台付坑（2）が出土している。1は住居覆土、2はP2覆土からの出土である。 時期 出土遺物の傾向から判断すると、10世紀と想定される。

## （2）ピット

ピットを1基検出。形状・規模等はTab.2遺構計測表を参照。

## 4区

### 調査区の概要

元総社蒼海道跡群南東部、牛池川右岸に位置し、元総社蒼海道跡群（147）1区の西側に隣接している。約30m北には宮鍋神社が鎮座している。

近年、宮鍋神社周辺では官衙関連遺構と思われる掘立柱建物や掘込地業を伴う礎石建物跡が相次いで発見されているが、本調査区では検出されなかった。

しかし、元総社蒼海道跡群（91）等で検出された区画溝と考えられる溝跡や、国府28・35トレンチや蒼海道跡群（147）1区で検出された建物跡等と傾きをほぼ同じくする道路状遺構が検出されている。

竪穴建物跡は21軒検出し、その内古墳時代のものは19軒、平安時代のものは1軒であった。溝跡は10条検出し、中でもW-1号溝跡は蒼海城堀跡と考えられる大型の溝跡であることを確認した。

その他、中世以後の井戸跡4基、古代から中～近世までの土坑を25基、同じく古代から中～近世のピットを37基検出した。

### （1）竪穴建物跡

#### H-1号竪穴建物跡（Fig.17・51, PL.3・13）

位置 X 232・233, Y 199・200グリッド 主軸方向 N-64°-E 形状・規模 正方形を呈すると思われるが、正確な形状は不明。東西（1.31）m、南北（3.43）m、壁現高0.41mを測る。床面 貼床面 竈 検出されず。壁周溝 検出されず。重複 H-2号竪穴建物跡と重複。本遺構の方が新しい。出土遺物 覆土中から土師器環（1）、土師器甕（2）が出土している。 時期 出土遺物の傾向から判断すると、6世紀後半と想定される。

#### H-2号竪穴建物跡（Fig.17, PL.4）

位置 X 232, Y 199・200グリッド 主軸方向 N-70°-E 形状・規模 正方形を呈するものと思われるが、正確な形状は不明。東西（1.14）m、南北（1.61）m、壁現高0.37mを測る。床面 貼床面 竈 検出されず。上層遺構に壊されているものと推測する。壁周溝 検出されず。重複 H-1号竪穴建物跡と重複。本遺構の方が古い。出土遺物 いずれも小破片で図示には至らなかった。 時期 出土遺物の傾向から判断すると、6世紀後半と想定される。

#### H-3号竪穴建物跡

欠番

#### H-4号竪穴建物跡（Fig.18・51, PL.4・13・14）

位置 X 229～231, Y 200～202グリッド 主軸方向 N-22°-E 形状・規模 正方形を呈するものと思われる。東西（5.37）m、南北6.05m、壁現高0.23mを測る。床面 貼床面 竈 調査区北壁付近で検出。焼土と灰をわずかに検出したが、粘土の検出はなかった。主軸方向はN-14°-W。全長0.32m、最大幅0.51m、

焚口幅0.26 mを測る。柱穴・貯蔵穴等 北東隅、北西隅、南西隅で1基、南東隅で2基検出。P1～4は主柱穴と見られる。規模(長軸×短軸×深さ)は、P1が0.33 m×0.25 m×-m、P2が0.35 m×0.32 m×0.56 m、P3が0.38 m×0.33 m×0.51 m、P4が0.35 m×0.30 m×0.18 m、P5が0.48 m×0.41 m×0.47 mである。壁周溝あり 重複 H-6号竪穴建物跡と重複。本遺構の方が古い。出土遺物 土師器環(1・2)、土師器甕(3)、鶯編石(4～8)が出土している。4は礫岩、5・6は安山岩、7・8は輝石安山岩である。時期 出土遺物の傾向から判断すると、6世紀後半と想定される。

#### H-5号竪穴建物跡 (Fig.19, PL.4)

位置 X 230～232, Y 199・200グリッド 主軸方向 N-67°-E 形状・規模 正方形を呈するものと思われる。東西(3.42) m、南北(1.24) m、壁現高0.36 mを測る。床面 貼床面 竈 検出されず。調査区北壁付近で焼土・粘土の分布が確認できたため、調査区外にあるものと推定する。壁周溝あり 重複 H-6号竪穴建物跡、D-13号土坑と重複。H-6号竪穴建物跡よりも古い。D-13号土坑との重複関係は不明。出土遺物 いずれも小破片で掲載には至らなかった。時期 出土遺物の傾向から判断すると、6世紀後半と想定される。

#### H-6号竪穴建物跡 (Fig.20・21・52, PL.4・14)

位置 X 230～232, Y 200～202グリッド 主軸方向 N-88°-E 形状・規模 正方形を呈する。東西7.36 m、南北7.77 m、壁現高0.41 mを測る。床面 貼床面 竈 東壁中央やや南寄り検出。上層遺構によって壊されており右袖部のみ検出したが、切石を使用した石組みの竈であることを確認した。礫は2段重なった状態で検出したが、上段の礫は左袖部で使用されていた礫である可能性がある。主軸方向はN-82°-E。全長1.42 m、最大幅(0.72) m、焚口幅0.46 mを測る。柱穴・貯蔵穴等 北東隅、南西隅で2基、北西隅で1基、南東隅で3基検出。P1～4は主柱穴、P5は貯蔵穴と見られる。P2を除いた各主柱穴で2基のピットの重複が見られたため、柱の据替を少なくとも一度行っているものと推測する。規模(長軸×短軸×深さ)は、P1が1.22 m×0.89 m×0.72 m、P2が0.56 m×0.56 m×0.74 m、P3が0.98 m×0.60 m×0.61 m、P4が1.15 m×(0.70) m×0.94 m、P5が(1.31) m×0.83 m×0.78 mである。壁周溝あり 重複 H-4・5・7・8号竪穴建物跡、A-1号道路状遺構、W-2・3号溝跡、D-1・2・13・21号土坑と重複。H-4・5・7号竪穴建物跡、D-13・21号土坑よりも新しく、H-8号竪穴建物跡、A-1号道路状遺構、W-2・3号溝跡、D-1・2号土坑よりも古い。出土遺物 須恵器高盤(1・2)、須恵器高坏(3)、須恵器蓋(4～6)、土師器環(7～16)、土師器甕(17)、鉄炭(18)が出土している。時期 7世紀中葉?

#### H-7号竪穴建物跡 (Fig.22・52・53, PL.4・5・14・15)

位置 X 229～230, Y 200グリッド 主軸方向 N-70°-E 形状・規模 正方形を呈するものと思われる。東西(5.98) m、南北(3.63) m、壁現高0.20 mを測る。床面 貼床面。覆土および床面一帯に焼土・煤・灰が多量に堆積しており、柱・梁材等に使用していたと思われる炭化物の検出もあったため、焼失住居と考えられる。竈 検出されず。上層遺構に壊されているものと思われる。柱穴・貯蔵穴等 調査区北壁付近で1基、南壁付近で2基、中央付近で1基検出。規模(長軸×短軸×深さ)は、P1が0.93 m×0.56 m×0.74 m、P2が0.33 m×0.24 m×-m、P3が0.30 m×0.20 m×-m、P4が0.38 m×0.38 m×-mである。壁周溝等 壁周溝あり。南壁から1条、東壁から2条間仕切り溝を検出。東壁の2条は距離が近いので、どちらか一方は掘り直したものである可能性が考えられる。重複 H-6号竪穴建物跡、W-1・2号溝跡、D-7号土坑と重複。本遺構が最も古い。出土遺物 土師器環(1) 内面に放射状のミガキが施された土師器内斜口縁坏

(2~4)、同じく内斜口縁の高坏(5・6)、土師器小型壺(7)、土師器甕(8~11)、凝灰岩製の砥石(12)が出土している。時期 出土遺物の傾向から6世紀前半と想定される。

#### H-8号竪穴建物跡 (Fig22・53, PL.5・15)

位置 X 231・Y 202 グリッド 主軸方向 N-36°-E 形状・規模 南西隅のみ検出したため正確な形状は不明。正方形あるいは長方形を呈するものと思われる。東西(2.43)m、南北(2.40)m、壁現高0.29mを測る。床面 貼床面 壁周溝 あり 重複 H-6・9号竪穴建物跡と重複。本遺構が最も新しい。出土遺物 掘り方より土師器坏(1)が出土している。時期 出土遺物はやや古相を示すが、重複関係も含めて判断すると7世紀代と想定される。

#### H-9号竪穴建物跡 (Fig23・24・53・54, PL.5・15)

位置 X 231・232, Y 202・203 グリッド 主軸方向 N-71°-W 形状・規模 正方形を呈する。東西5.61m、南北5.39m、壁現高0.55mを測る。床面 貼床面 竈 検出されず。上層遺構に壊されているものと推測する。柱穴・貯蔵穴等 北東隅、北西隅、南西隅、南東隅に3基ずつ検出し、南壁付近で1基検出した。P5についての性格は不明で掘方の一部の可能性が考えられる。それ以外は主柱穴と見られ、ピットが3基ずつ重複していることから柱の据替を少なくとも二度行っているものと考えられる。規模(長軸×短軸×深さ)は、P1が1.06m×0.71m×0.54m、P2が0.91m×0.69m×0.48m、P3が0.80m×0.73m×0.52m、P4が1.48m×1.10m×0.48m、P5が0.65m×0.51m×0.17mである。壁周溝 あり 重複 H-8・14・15号竪穴建物跡、W-4号溝跡、I-3号井戸跡、D-15号土坑と重複。H-14号竪穴建物跡よりも新しく、H-8・15号竪穴建物跡、W-4号溝跡、I-3号井戸跡、D-15号土坑よりも古い。出土遺物 土師器坏(1~3)、土師器甕(4~6)、鷹扁石(7~11)が出土している。7・9・10は安山岩、8は輝石安山岩、11は流紋岩製である。時期 出土遺物の傾向から判断すると、6世紀末から7世紀初頭と想定される。

#### H-10号竪穴建物跡 (Fig25・26・54, PL.5・15)

位置 X 230・231, Y 203~205 グリッド 主軸方向 N-70°-E 形状・規模 正方形を呈する。元総社蒼海遺跡群(133)2号住居跡と同一の遺構と考えられる。東西(4.69)m、南北6.20m、壁現高0.14mを測る。床面 部分的に貼床面を検出 竈 検出されず。元総社蒼海遺跡群(133)にて竈の一部と思われる粘土・焼土の分布を検出している。柱穴・貯蔵穴等 北東隅に3基、北西隅、南西隅に各2基、西壁中央に1基検出。P5が貯蔵穴と見られ、P1~3・6~8は主柱穴と見られる。規模(長軸×短軸×深さ)は、P1が0.56m×0.40m×0.36m、P2が0.57m×0.41m×-m、P3が0.63m×0.38m×0.45m、P4が0.27m×0.24m×-m、P5が0.63m×0.5m×0.41m、P6が0.63m×0.52m×0.41m、P7が0.35m×0.32m×0.29m、P7が0.35m×0.32m×0.29m、P8が0.31m×0.25m×0.32mである。壁周溝 あり 重複 H-14号竪穴建物跡、W-5号溝跡、I-2号井戸跡と重複。W-5号溝跡、I-2号溝跡よりも古い。H-14号竪穴建物跡との重複関係は不明。出土遺物 土師器坏(1)、土師器高坏(2)、角閃石安山岩製の円盤状の石製品(3)、瑪瑙製の粒状礫(4)が出土している。時期 出土遺物の傾向から判断すると、6世紀後半と想定される。

#### H-11号竪穴建物跡 (Fig27・55, PL.5・15・16)

位置 X 232・233, Y 202・203 グリッド 主軸方向 N-68°-E 形状・規模 正方形を呈する。東西(3.07)m、3.87m、壁現高0.35mを測る。床面 貼床面 竈 検出されず。調査区外にあるものと思われる。壁周溝 あり 重複 H-13号竪穴建物跡、W-4号溝跡、D-14号土坑と重複。本遺構が最も古い。出土遺物

土師器坏(1)、薦編石(2~11)が出土している。2・4~7・10は粗粒安山岩、3はチャート、8は玄武岩、9は石英斑岩、11は安山岩製である。時期 出土遺物の傾向から7世紀代と想定される。備考 上層遺構のD-14号土坑覆土内に礎石と思われる大型礎の出土があった。

#### H-12号竪穴建物跡 (Fig.25・26・55, PL.5・16)

位置 X 230, Y 205・206 グリッド 主軸方向 N-72°-E 形状・規模 北東隅のみ検出したため正確な形状は不明。東西(1.47)m、南北(2.67)m、壁現高0.12mを測る。床面 貼床面の検出はなかったが、掘方の凹凸があることから本来は貼床があったものと思われる。竈 調査区東壁土層断面にて焼土・灰・粘土の堆積を確認。竈本体は調査区外にあるものと思われる。壁周溝 検出されず。重複 W-1号溝跡と重複。本遺構の方が古い。出土遺物 滑石製の白玉(1)が出土している。土器はいずれも小破片で図示には至らなかった。時期 出土遺物から判断すると、7世紀前半と想定される。

#### H-13号竪穴建物跡 (Fig.27・55・56, PL.5・6・16)

位置 X 232・233, Y 203・204 グリッド 主軸方向 N-85°-E 形状・規模 長方形を呈する。東西3.50m、南北4.30m、壁現高0.16mを測る。床面 貼床面。床面中央付近に円形の焼土・灰の分布を検出。竈 検出されず。壁周溝 検出されず。重複 H-11号竪穴建物跡、D-16~18号土坑と重複。H-11号竪穴建物跡、D-18号土坑より新しく、D-16・17号土坑より古い。出土遺物 酸化焙焼成の須恵器碗(1~3)、同様の須恵器皿(4~5)が出土している。時期 出土遺物の傾向から判断すると、10世紀と想定される。

#### H-14号竪穴建物跡 (Fig.23・24・56, PL.6・16)

位置 X 231・232, Y 203・204 グリッド 主軸方向 N-69°-E 形状・規模 東壁および竈のみ検出。正方形を呈するものと思われる。床面 貼床面。竈 東壁中央で検出。主軸方向はN-72°-E。全長1.1m、最大幅0.86m、焚口幅0.54mを測る。柱穴・貯蔵穴等 南東隅で1基検出。貯蔵穴と見られる。規模(長軸×短軸×深さ)は、(0.58)m×0.52m×0.50mである。壁周溝 あり。重複 H-9・10号竪穴建物跡、I-3・4号井戸跡と重複。本遺構が最も古い、H-10号竪穴建物跡との重複関係のみ不明。出土遺物 土師器坏(1・2)が出土している。時期 出土遺物の傾向から6世紀後半と想定される。

#### H-15号竪穴建物跡 (Fig.23・24・56, PL.6・16)

位置 X 232, Y 202・203 グリッド 主軸方向 N-75°-E 形状・規模 正方形を呈するものと思われる。東西(1.14)m、南北3.06m、壁現高0.29mを測る。床面 貼床面と思われる。竈 東壁南寄りで検出。主軸方向はN-81°-E。全長(0.22)m、最大幅0.76m、焚口幅0.48mを測る。壁周溝 検出されず。重複 H-9号竪穴建物跡と重複。本遺構の方が新しい。出土遺物 土師器坏(1)が出土している。時期 出土遺物の傾向から判断すると、7世紀前半と想定される。

#### H-16号竪穴建物跡 (Fig.28・29・56, PL.6・16)

位置 X 234, Y 202・203 グリッド 主軸方向 N-76°-E 形状・規模 正方形を呈するものと思われる。東西(2.66)m、南北3.24m、壁現高0.22mを測る。床面 貼床面。竈 検出されず。南西隅に粘土の集中が見られ、竈の一部である可能性が考えられる。壁周溝 あり。重複 H-17号竪穴建物跡、D-22・23号土坑、P-39号ピットと重複。本遺構が最も古い。出土遺物 土師器坏(1~3)、土師器甕が出土している。時期 出土遺物の傾向から、6世紀前半と想定される。

#### H-17号竪穴建物跡 (Fig.28・29, PL.6)

位置 X 234, Y 203 グリッド 主軸方向 N-91°-E 形状・規模 長方形を呈するものと思われる。東西 (1.16) m、南北 (2.98) m、壁現高 0.09 m を測る。床面 貼床面。全体的に灰や炭化物が広がる。竈 検出されず。壁周溝 検出されず。重複 H-16号竪穴建物跡、W-9号溝跡と重複。本遺構が最も新しい。出土遺物 いずれも小片のため、図示には至らなかった。時期 不明。

#### H-18号竪穴建物跡 (Fig.30・31, PL.6)

位置 X 233・234, Y 201・202 グリッド 主軸方向 N-70°-E 形状・規模 正方形を呈するものと思われる。東西 (2.83) m、南北 (3.60) m、壁現高 0.39 m を測る。床面 貼床面。竈 検出されず。調査区外にあるものと思われる。柱穴・貯蔵穴等 南東隅で2基検出。どちらも主柱穴と見られる。規模 (長軸×短軸×深さ) は、P1が1.04 m×0.75 m×0.48 m、P2が(0.35) m×(0.29) m×0.3 mである。壁周溝 あり 重複 H-19号竪穴建物跡、W-3・7号溝跡、D-25号土坑と重複。D-25号土坑よりも新しく、H-19号竪穴建物跡、W-3・7・8・10号溝跡よりも古い。出土遺物 いずれも小片のため、図示には至らなかった。時期 出土遺物の傾向から6世紀後半と想定される。

#### H-19号竪穴建物跡 (Fig.30・31・56・57, PL.7・16・17)

位置 X 233・234, Y 200・201 グリッド 主軸方向 N-84°-E 形状・規模 正方形を呈するものと思われる。東西 (2.64) m、南北 4.36 m、壁現高 0.14 m を測る。床面 貼床面 竈 検出されず。調査区外にあるものと思われる。壁周溝 検出されず。重複 H-18・20号竪穴建物跡、W-2・7・8号溝跡と重複。H-18・20号竪穴建物跡よりも新しく、W-2・7・8・10号溝跡よりも古い。出土遺物 須恵器蓋 (1・2)、須恵器高坏 (3)、土師器坏 (4~19)、土師器甕 (20~22) が出土している。時期 出土遺物の傾向から7世紀前半と想定される。

#### H-20号竪穴建物跡 (Fig.30・31・57, PL.7・17)

位置 X 233・234, Y 199・200 グリッド 形状・規模等 床面のみ検出したため、主軸方向や形状は不明だが、正方形を呈するものと思われる。床面 貼床面 柱穴・貯蔵穴等 調査区西壁付近にて2基検出。貯蔵穴か。規模 (長軸×短軸×深さ) は、P1が(0.60) m×0.44 m×0.36 m、P2が0.48 m×0.37 m×0.62 mである。壁周溝 不明 重複 H-19号竪穴建物跡、W-7・10号溝跡と重複。本遺構が最も古い。H-1号竪穴建物跡とも重複するものと思われるが、重複関係は不明。出土遺物 土師器坏 (1・2)、土師器甕 (3)、土師器甕 (4) が出土している。時期 出土遺物の傾向から判断すると、7世紀初頭と考えられる。

#### H-21号竪穴建物跡 (Fig.28・29・30・57, PL.7・17)

位置 X 234・235, Y 204・205 グリッド 主軸方向 N-81°-E 形状・規模 正方形を呈するものと思われる。東西 (2.61) m、南北 2.84 m、壁現高 0.18 m を測る。床面 平坦な地山床だが、調査区西壁付近は大きく落ち込むため、本来は貼床面だった可能性も考えられる。竈 検出されず。調査区西壁土層断面にて焼土や粘土の堆積を確認し、その付近で竈の構築材として使用された可能性のある土師器甕が出土しているため、西壁に竈があった可能性が考えられる。壁周溝 検出されず。重複 W-11号溝跡と重複。本遺構の方が新しい。出土遺物 土師器甕 (1) が出土している。時期 出土遺物の傾向から7世紀中葉と想定される。



## H-22号竪穴建物跡 (Fig.28・29, PL.7)

位置 X 234・235, Y 204 グリッド 主軸方向 N-70°-E 形状・規模 北東隅のわずかな範囲のみ検出。元総社蒼海遺跡群 (147) 1区H-15号竪穴建物跡と同一の遺構と思われる、場合長方形を呈するものと考えられる。東西 (0.23) m、南北 (1.1) m、壁現高 0.33 mを測る。床面 貼床面と思われる。竈 検出されず。壁周溝 検出されず。重複 無し。出土遺物 いずれも小片のため、図示には至らなかった。時期 今回の調査成果のみでは不明だが、蒼海 (147) H-15号竪穴建物跡の調査成果では、遺物が少ないものの5世紀後半以降とされている。

### (2) 道路状遺構

#### A-1号道路状遺構 (Fig.35・36, PL.7・8)

位置 X 230～233, Y 200・201 グリッド 主軸方向 N-76°-E 形状・規模 東西方向に走行し、南にやや傾く。断面は浅いU字状を呈する。上幅 1.24 m、下幅 0.86 m、深さ 0.22 m、長さ (14.5) mを測る。西端はH-4号竪穴建物跡の覆土内で途切れており、それより西では確認できなかった。旧地表面が東から西へ向かって高くなっているため、現表土に削平されてしまっている可能性も考えられる。東端は重複する上層遺構W-2号溝跡に壊されており、それより東では確認できなかった。重複 H-4・6・19号竪穴建物跡、W-2・3号溝跡と重複。H-4・6・19号竪穴建物跡よりも新しく、W-2・3号建物跡よりも古い。出土遺物 なし。時期 重複関係より8-9世紀頃と考えられる。備考 覆土全体が堅く締まっており、部分的に薄い硬化層が重なって堆積している状況が観察できたため道路状遺構と判断した。硬化層が人為的に施された痕跡は認められなかったため、溝跡が埋没する過程で道路として使用され覆土が硬化していった可能性が考えられる。

### (3) 溝跡

#### W-1号溝跡 (Fig.32～34・58, PL.8・9・17)

位置 X 227～230, Y 200～206 グリッド 主軸方向 N-21°-E (Y 203以北)、N-11°-W (Y 203以南) 形状・規模 南北方向に走行し、蒼海城堀跡と思われる。蛇行しており、Y 203グリッド付近で傾きが変化する。崩落等の危険があったため底部まで覆土を掘り下げることは叶わず、性格な断面の形状は確認できていないが、周辺遺跡での検出状況より葉研状であるものと推測する。壁面はほぼ垂直に切り立っており、掘り直しの痕跡は見られなかった。上幅 (8.17) m、下幅 (6.90) m、深さ (1.88) m、長さ (25.1) mを測る。重複 H-7・10・12号竪穴建物跡、W-2・5号溝跡、D-20号土坑と重複。本遺構が最も新しいと思われるが、W-2号溝跡との重複関係のみ不明。出土遺物 かわらけ (1・2)、内耳鍋 (3)、3枚が融着している判読不明の銅銭 (4) 凝灰岩製の瓦石 (5) が出土している。時期 中世。蒼海城堀跡

#### W-2号溝跡 (Fig.35・58, PL.9・18)

位置 X 229～234, Y 200・201 グリッド 主軸方向 N-85°-E 形状・規模 東西方向に走行し、断面はU字状を呈する。上幅 0.70 m、下幅 0.43 m、深さ 0.49 m、長さ (0.19) mを測る。重複 H-1・6・7・19号竪穴建物跡、W-1・3・7・10号溝跡と重複。H-1・6・7・19号竪穴建物跡、W-3・10号溝跡より新しく、W-7号溝跡より古い。W-1号溝跡との重複関係のみ不明 出土遺物 かわらけ (1・2)、香炉 (3) が出土している。時期 中世以降

#### W-3号溝跡 (Fig.36・58, PL.9・18)

位置 X 231～234, Y 199～202 グリッド 主軸方向 N-124°-E 形状・規模 斜めに走行し、断面は浅

いU字状を呈する。覆土中に細かい土器片や砂利を多量に含み、底面には酸化鉄が凝集した硬化層が見られた。上幅0.62m、下幅0.12m、深さ0.18m、長さ(16.0)mを測る。重複 H-6・18号竪穴建物跡、W-2号溝跡、A-1号道路状遺構と重複。H-6・18、A-1より新しく、W-2より古い。出土遺物 いずれも酸化焙焼成の須恵器皿(1)、須恵器壺(2~6)が出土している。時期 出土遺物の傾向から、11世紀と想定される。

#### W-4号溝跡 (Fig.36・58, PL.10・18)

位置 X 230・233, Y 202・203 グリッド 主軸方向 N-81°-E 形状・規模 東西方向に走行し、断面はU字状を呈する。上幅0.56m、下幅0.38m、深さ0.25m、長さ(13.7)mを測る。重複 H-9・11・15号竪穴建物跡、I-3号井戸跡、D-14・15号土坑と重複。H-9・11・15、D-15より新しく、I-3、D-14よりも古い。出土遺物 酸化焙焼成の須恵器皿(1)、土師器小型甕(2)が出土している。時期 出土遺物の傾向から10世紀代と想定される。

#### W-5号溝跡 (Fig.25・26・58, PL.10・18)

位置 X 230・231, Y 204・205 グリッド 主軸方向 N-79°-E 形状・規模 東西方向に走行し、断面は逆台形を呈する。底部のごくわずかな掘り込みのみを検出した。元総社蒼海遺跡群(133)1号溝跡と同一の遺構であるものと考えられる。西端は上層遺構W-1号溝跡に壊されており、東端はX 231 グリッド付近で攪乱に壊されている。それより東では確認が出来ず、過年度調査での検出範囲から推測すると、表土造成時に削平されてしまっている可能性が高いと考えられる。上幅3.95m、下幅2.94m、深さ0.14m、長さ(4.40)mを測る。重複 H-10号竪穴建物跡、W-1号溝跡と重複。H-10号竪穴建物跡より新しく、W-1号溝跡より古い。出土遺物 酸化焙焼成の須恵器皿(1)が出土している。時期 出土遺物の傾向から11世紀代と想定される。

#### W-6号溝跡

欠番

#### W-7号溝跡 (Fig.37, PL.10)

位置 X 233・234, Y 199~202 グリッド 主軸方向 N-13°-W 形状・規模 南北方向に走行し、断面は葉研状を呈する。蒼海城堀跡として検出している元総社蒼海遺跡群(147)1区W-1号溝跡の西壁上部に相当するものと考えられる。上幅(0.51)m、下幅(0.39)m、深さ(0.52)m、長さ(11.3)mを測る。重複 H-18~20号竪穴建物跡、W-2・8・10号溝跡と重複。H-18~20号竪穴建物跡、W-2・10号溝跡よりも新しく、W-8号溝跡よりも古い。出土遺物 いずれも小破片で図示には至らず。時期 中世。蒼海城堀跡と考えられる。

#### W-8号溝跡 (Fig.37, PL.10)

位置 X 233・234, Y 201 グリッド 主軸方向 N-78°-E 形状・規模 東西方向に走行し、断面はU字状を呈する。上幅0.74m、下幅0.50m、深さ0.22m、長さ(2.80)mを測る。西端は未検出だが、西側調査区で検出がなかったため、西・東両調査区の境界内で終息するものと考えられる。重複 H-19号竪穴建物跡、W-7・10号溝跡と重複。本遺構が最も新しい。出土遺物 いずれも小破片で図示には至らず。時期 中世以降と想定される。

#### W-9号溝跡 (Fig.28・29, PL.10)

位置 X 234, Y 203・204 グリッド 主軸方向 N-38°-E 形状・規模 斜めに走行する溝跡で断面は逆台形を呈する。元総社蒼海道跡群 (133) 2号溝跡、元総社蒼海道跡群 (147) 1区W-2号溝跡と同一の遺構であり、延伸はその他の周辺遺跡でも検出している。上幅1.81m、下幅1.06m、深さ0.65m、長さ(3.40)mを測る。覆土中に硬化層が見られ、過年度調査でも同様の硬化層を確認している。重複 H-17号竪穴建物跡と重複。本遺構の方が古い。出土遺物 いずれも小破片で図示には至らず。時期 7世紀末

#### W-10号溝跡 (Fig.28・29・37, PL.11)

位置 X 233・234, Y 199～201 グリッド 主軸方向 N-14°-W 形状・規模 南北方向に走行し、断面は逆台形を呈する。上幅(0.94)m、下幅(0.88)m、深さ0.23m、長さ(1.10)mを測る。重複 H-18～20号竪穴建物跡、W-2・7・8号溝跡と重複。H-18～20号竪穴建物跡よりも新しく、W-2・7・8号溝跡よりも古い。出土遺物 いずれも小破片で図示には至らず。時期 重複関係から7世紀後半以降11世紀以前と想定される。備考 覆土が全体的に堅く締っており、道路状遺構の可能性も考えられたが、段階的に埋没していったことがうかがえる同調査区A-1号道路状遺構と比較すると、本遺構は一括で溝が埋め戻されているため、本調査においては道路状遺構とは性格が異なるものと結論付けた。ただし、直接的な重複関係は確認できなかったものの、A-1号道路状遺構と直角に交差し、時期も同時期であることが言えるため、この2つの遺構が関連をもつ可能性は否定しきれない。

#### W-11号溝跡 (Fig.28～30, PL.11)

位置 X 234・235, Y 205 グリッド 主軸方向 N-5°-W 形状・規模 東西方向に走行し、断面は浅いU字状を呈する。上幅1.46m、下幅1.26m、深さ0.18m、長さ(1.10)mを測る。重複 H-21号竪穴建物跡と重複。本遺構の方が古い。出土遺物 土師器甕片が4点出土しているが、いずれも小破片で図示には至らず。時期 調査時の所見では、重複関係から7世紀前半以前となるが、蒼海(127)W-6、(132)3区W-1で構成される区画溝と考えられる。これらの遺構では帰属時期を10世紀とされていることを併記しておく。

### (4) 井戸跡

#### I-1号井戸跡 (Fig.37, PL.11)

位置 X 230, Y 203 グリッド 規模 上端部は幅1.31mで逆ハの字状となり、深さ0.56mで井戸本体円柱部へと至る形状。上端から掘り下げた最下面までは0.75mを測るが、安全を考慮して底面までは検出していない。重複 H-10号竪穴建物跡、D-19号土坑と重複し、新旧関係はH-10、D-19→本遺構である。H-10、D-19の新旧関係は不明。出土遺物 須臾器、土師器片が出土しているが、いずれも混入遺物と考えられる。時期 重複関係と覆土から判断すると、中世以降と想定される。

#### I-2号井戸跡 (Fig.25・26, PL.11)

位置 X 230, Y 205 グリッド 規模 上端部は幅3.13mで、深さ0.53m程で段を有して逆ハの字状となる。上端から掘り下げた最下面までは1.24mを測るが、安全を考慮して底面までは検出していない。重複 H-12号竪穴建物跡、W-5号溝跡と重複し、新旧関係はH-12→W-5→本遺構である。出土遺物 掲載には至らなかったが、内耳鍋片が出土している。他に混入と考えられる灰陶陶器、須臾器、土師器片が出土している。時期 重複関係と出土遺物から判断すると、中世以降と想定される。

### I-3号井戸跡 (Fig.37・59, PL11・18)

位置 X 230・231、Y 202・203グリッド 規模 上端部は3.38mで、深さ0.79mまでは緩やかな逆ハの字状で、井戸本体円柱部へと至る形状。上端から掘り下げた最下面までは3.08mを測るが、安全を考慮して底面までは検出していない。上端より深さ2.44m以下は、崩落によって壁面が彫らんでいる。重複 H-9号竪穴建物跡ち重複し、新旧関係はH-9→本遺構である。出土遺物 白磁碗(1)が出土している。他に掲載に至らなかったが、H-9からの混入遺物と考えられる6世紀末から7世紀初頭の遺物が多数出土している。時期 出土遺物から判断すると、9世紀後半以降と想定される。

### I-4号井戸跡 (Fig.38)

位置 X 232、Y 203・204 規模 調査区南壁からの検出で南半は調査区外となるが、検出範囲では上端は(1.32)mで深さ0.68mまでは緩やかな逆ハの字状で井戸本体円柱部へと至る形状。上端から掘り下げた最下面までは1.46mを測るが、安全を考慮して底面までは検出していない。重複 H-13・14号竪穴建物跡と重複して、新旧関係はH-13・14→本遺構である。出土遺物 なし。時期 出土遺物がないうえに判然としなものの、重複関係と覆土から中世以降と想定される。

## (5) 土坑・ピット

土坑を25基、ピットを37基検出。形状・規模等はTab. 2遺構計測表を参照。

## 5区

### 調査区の概要

遺跡群南東部に位置し、元総社蒼海遺跡群(130)の南、本調査2区の北側に隣接する。2区同様表土は粘質で湧水しやすく、豪雨によって冠水することもあった。古代以前の遺構の検出はなく、検出遺構は全て中世以後のピット群であることを確認した。

## (1) 土坑・ピット

ピットを182基検出。形状・規模等はTab. 2遺構計測表を参照。

## 6区

### 調査区の概要

元総社蒼海遺跡群北西部、染谷川左岸、元総社蒼海遺跡群(91街区)の西側に位置する。竪穴建物跡は4軒検出されており、縄文時代のものが1軒、飛鳥時代のものが1軒、平安時代のものが1軒、不明のものが1軒であった。

溝跡は2条検出されており、調査区中央にあるW-1号溝跡は、本調査区の西側の中間地域遺跡や元総社蒼海遺跡群(91街区)で検出された仮称「小見魔寺」の区画溝の一部であると考えられる。

その他、井戸跡1基、落ち込み1基、土坑(壁断面図で確認したものを含める)6基、ピット3基が検出された。

## (1) 縄文竪穴建物跡

### J-1号竪穴建物跡 (Fig.45・46, PL12)

位置 X 9、Y 72・73グリッド 主軸方向 N-84°-E 形状・規模 正方形を呈する。東西(1.77)m、南

北2.16 m、壁現高0.36 mを測る。 炉 検出されず。 柱穴・貯蔵穴等 検出されず。 重複 D-5・6号土坑と重複。本遺構が最も古い。 出土遺物 深鉢の小破片が1点出土したのみである。 時期 縄文時代前期と想定される。

## (2) 竪穴建物跡

### H-1号竪穴建物跡 (Fig.45・46・60, PL.12・18)

位置 X 9・10、Y 72・73グリッド 主軸方向 N-88°-E 形状・規模 東壁は調査区外のため未検出だが、正方形を呈するものと思われる。東西(3.32) m、南北3.72 m、壁現高0.53 mを測る。床面 貼床面 竈 東壁南東隅付近で検出したが、調査区壁面にて袖部のみの検出であったため、本体は調査区外と思われる。最大幅0.82 m、焚口幅0.27 mを測る。 壁周溝 あり 重複 H-2号竪穴建物跡、D-2・3・5号土坑と重複。D-2号土坑よりも新しく、H-2号竪穴建物跡、D-3・5号土坑よりも古い。 出土遺物 須恵器環(1・2)、滑石製の側面全周にわたって面取りされて、八角形状を呈する石製品(3)、磨礪石(4~6)、4は緑泥岩、5は輝石安山岩、6は黒色頁岩製である。 時期 出土遺物の傾向から7世紀後半と想定される。

### H-2号竪穴建物跡 (Fig.45・46, PL.12)

位置 X 10、Y 73・74グリッド 主軸方向 N-78°-E 形状・規模 東壁は調査区外のため未検出だが方形を呈するものと思われる。平面では西壁および南壁の一部のみ検出したが、土層断面にて北壁を検出し、南北の規模が明らかになった。東西0.41 m、南北2.90 m、壁現高0.15 mを測る。床面 平坦な地山床 竈 検出されず。 壁周溝 検出されず。 重複 H-1号竪穴建物跡と重複。本遺構の方が新しい。 出土遺物 いずれも小破片で図示には至らなかった。 時期 出土遺物の傾向と重複関係から10世紀以降と想定される。

### H-3号竪穴建物跡 (Fig.46・47)

位置 X 10、Y 74グリッド 形状・規模等 竈のみ検出。本体は調査区外と想定される。竈の主軸方向はN-80°-E。全長0.64 m、最大幅0.59 m、焚口幅0.41 mを測る。 重複 W-1号溝跡と重複。本遺構の方が古い。 出土遺物 いずれも小破片で図示には至らなかった。 時期 不明。

## (3) 溝跡

### W-1号溝跡 (Fig.46・47・60~64, PL.12・18~20)

位置 X 10・11、Y 74~76グリッド 主軸方向 N-84°-E 形状・規模 東西方向に走行し、断面は葉研状を呈する。覆土中に瓦片を多く含み、特に底部付近から集中して出土している。上野国分僧寺・尼寺中間地域のB1・C1号溝、元総社若海遺跡群(91街区)W-1・2号溝跡で方形区画をなす一連の遺構である可能性が高く、小見庵寺を区画する溝の一部と推定される。上幅5.16 m、下幅0.61 m、深さ1.92 m、長さ(3.05) mを測る。 重複 H-3号竪穴建物跡と重複。本遺構の方が新しい。 出土遺物 かわらけ(1~4)、常滑甕(5)、軒丸瓦(6~9、12)、丸瓦(10・11)、軒平瓦(13)、道具瓦の一種である鬘斗瓦(14・15)と雁振瓦(16)、鬼瓦(17~20)、緑泥片岩製の板碑(21)、玄武岩製の石鉢(22)が出土している。 時期 中世。本遺構の西方に位置する、上野国分僧寺・尼寺中間地域C区1号溝状遺構と同一遺構で、小見庵寺南限区画溝と想定される。区画溝は東側は若海(91街区)W-1・2号溝跡、北側は中間地域B区1号溝状遺構で構成されている。

## W-2号溝跡 (Fig.47, PL12)

位置 X 10・11, Y 78・79グリッド 主軸方向 N-60°-E 形状・規模 斜めに走行する溝跡で、断面はU字を呈する。上幅0.45m、下幅0.25m、深さ0.13m、長さ(3.01)mを測る。出土遺物 小破片のため図示には至らず。時期 中世以後

## (4) 井戸跡

### I-1号井戸跡 (Fig.47・64, PL20)

位置 X 11, Y 80・81 規模 調査区南側西壁からの検出で西半は調査区外となるが、検出範囲では上端は1.79mで緩やかな逆ハの字状で上端から掘り下げた最下面までは0.84mを測るが、安全を考慮して底面までは検出していない。重複 なし。出土遺物 須恵器甕(1)、複数の溝状研磨痕が認められる角閃石安山岩製の砥石(2)が出土している。時期 重複関係がないために判然としえないもの、平安時代と想定される。

## (5) 落ち込み・土坑・ピット

落ち込みを1基、土坑を6基、ピットを3基検出。形状・規模等はTab. 2 遺構計測表を参照。

Tab. 2 土坑・ピット計測表

区	遺構名	位置	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	形状	区	遺構名	位置	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	形状
1	O-1	X 77-79, Y 255	(6.81)	(3.06)	0.64	不明	2	D-1	X 198, Y 229	(1.01)	(0.34)	0.23	不整形
1	D-1	X 77, Y 254	1.89	1.03	0.15	長楕円形	2	P-1	欠番				
1	D-2	X 77, Y 254	0.89	(0.65)	0.26	楕円形	2	P-2	X 198, Y 228	0.43	0.34	0.37	楕円形
1	D-3	X 77・78, Y 254	1.18	1.06	0.16	不整形	2	P-3	X 198, Y 228	(0.38)	(0.17)	0.35	不明
1	D-4	X 77, Y 255	(1.31)	(0.84)	0.31	不明	2	P-4	X 198, Y 228	0.43	(0.19)	0.11	不明
1	D-5	X 77, Y 255	(1.3)	0.61	0.3	不整形	2	P-5	X 198, Y 228	(0.24)	(0.16)	0.3	不明
1	D-6	X 76, Y 254	(1.21)	(1.02)	0.23	長方形	2	P-6	X 198, Y 228	0.25	0.25	0.27	円形
1	D-7	X 76・77, Y 254	1.97	1.75	1.14	長方形	2	P-7	X 198・199, Y 228	0.57	0.46	0.21	楕円形
1	D-8	X 79, Y 254・255	1.14	0.9	0.39	楕円形	2	P-8	X 199, Y 228	(0.65)	0.38	0.33	不明
1	D-9	X 82, Y 254	1.16	(0.74)	0.35	楕円形	2	P-9	X 198, Y 229	(0.43)	(0.37)	0.23	不明
1	D-10	X 81, Y 254	1.16	1.11	0.39	楕円形	2	P-10	X 198, Y 229	0.48	0.4	0.25	楕円形
1	D-11	X 80, Y 254	(0.65)	(0.51)	0.38	不明	2	P-11	X 198, Y 229	0.62	0.52	0.35	楕円形
1	D-12	X 80, Y 254・255	(3.27)	(1.1)	0.45	不明	2	P-12	X 198・199, Y 229	0.37	0.25	0.18	楕円形
1	D-13	X 82・83, Y 255	1.3	(0.92)	0.45	楕円形	2	P-13	X 198, Y 229	0.25	0.2	0.15	長方形
1	D-14	X 82, Y 255	0.96	0.86	0.62	円形	2	P-14	X 198・199, Y 228	0.57	0.44	0.31	楕円形
1	D-15	X 81・82, Y 255	1.16	1.16	0.6	円形	2	P-15	X 198・199, 228・229	0.32	0.26	0.23	楕円形
1	P-1	X 77, Y 254	0.22	0.14	0.1	楕円形	2	P-16	X 199, Y 229	0.46	0.33	0.47	楕円形
1	P-2	X 76, Y 254	0.39	0.38	0.26	円形	2	P-17	欠番				
1	P-3	X 76, Y 255	0.31	0.25	0.18	楕円形	2	P-18	X 199, Y 229	0.76	0.51	0.37	長楕円形
1	P-4	X 76, Y 255	0.33	0.29	0.4	円形	2	P-19	X 198, Y 228	-	-	-	-
1	P-5	X 77, Y 255	0.71	0.65	0.6	不整形	2	P-20	X 198, Y 228	-	-	-	-
1	P-6	X 79, Y 255	0.32	0.31	0.29	円形	2	P-21	X 198, Y 228	0.43	0.32	0.43	楕円形
1	P-7	X 76, Y 254	0.72	(0.33)	0.64	不整形	2	P-22	X 198, Y 228	0.52	0.39	0.58	楕円形
1	P-8	欠番					2	P-23	X 198, Y 228	0.82	0.6	-	楕円形
1	P-9	X 77, Y 255	0.54	0.48	0.24	楕円形	2	P-24	X 198, Y 228	(0.54)	0.47	0.51	楕円形
1	P-10	X 78, Y 254	0.4	0.29	0.13	楕円形	2	P-25	X 198, Y 228	0.31	0.29	0.29	方形
1	P-11	X 81・82, Y 254	0.69	(0.43)	0.55	不明	2	P-26	X 199, Y 229	0.38	0.34	0.33	楕円形
1	P-12	X 83, Y 255	0.51	0.46	0.47	楕円形	2	P-27	X 198, Y 230	0.39	0.28	-	楕円形
1	P-13	X 83, Y 255	0.96	0.74	0.37	楕円形	2	P-28	X 198, Y 229・230	0.28	0.34	-	楕円形
1	P-14	X 82, Y 255	1.03	0.8	0.24	不整形	2	P-29	X 198, Y 228	0.25	0.22	0.32	正方形
1	P-15	X 82, Y 255	0.4	0.37	0.37	円形	2	P-30	X 198, Y 228	0.24	0.16	0.22	長方形

区	道標名	位置	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	形状	区	道標名	位置	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	形状
2	P-31	X 198, Y 228	0.2	0.2	0.16	正方形	2	P-80	X 198, Y 228	0.41	0.3	-	楕円形
2	P-32	X 198, Y 228	0.31	0.24	0.33	長方形	2	P-81	X 198・199, Y 231	0.19	0.12	0.11	楕円形
2	P-33	X 198, Y 228	(0.29)	0.24	0.16	楕円形	2	P-82	X 199, Y 230	0.36	0.34	0.19	円形
2	P-34	X 198, Y 228	0.24	(0.22)	0.18	不明	2	P-83	X 199, Y 230・231	0.26	0.26	0.46	正方形
2	P-35	X 198, Y 228	0.62	0.25	-	不明	2	P-84	X 199, Y 230	0.33	0.33	0.21	正方形
2	P-36	X 199, Y 228	0.29	0.23	-	楕円形	2	P-85	X 198, Y 231	0.23	0.21	0.18	正方形
2	P-37	X 198, Y 228	0.34	0.27	0.18	楕円形	2	P-86	X 198, Y 231	0.19	0.15	0.13	長方形
2	P-38	X 198・199, Y 228	0.36	0.29	0.41	楕円形	2	P-87	X 198, Y 231	0.22	0.22	0.29	正方形
2	P-39	X 199, Y 228	0.33	0.3	0.35	楕円形	2	P-88	X 198, Y 231	0.22	0.21	0.37	正方形
2	P-40	X 199, Y 228・229	0.3	0.24	0.26	楕円形	2	P-89	X 198, Y 231	0.24	0.24	0.24	円形
2	P-41	X 199, Y 228	0.3	0.27	0.25	正方形	2	P-90	X 198, Y 231	0.25	0.25	0.22	正方形
2	P-42	X 199, Y 228・229	0.35	0.25	0.41	楕円形	2	P-91	X 199, Y 231	0.26	0.24	0.1	楕円形
2	P-43	X 199, Y 229	(0.45)	0.41	0.2	不明	2	P-92	X 199, Y 231	0.18	0.12	0.19	楕円形
2	P-44	X 198, Y 228	0.23	0.21	0.4	正方形	2	P-93	X 198, Y 232	0.5	(0.23)	0.16	楕円形
2	P-45	X 198, Y 228	0.48	0.32	0.35	楕円形	3	P-1	X 96, Y 255	0.75	(0.44)	0.31	不整形
2	P-46	X 198, Y 229	0.47	0.29	0.22	楕円形	4	D-1	X 231, Y 201	1.2	(1.12)	0.06	不明
2	P-47	X 199, Y 229	0.24	0.18	-	楕円形	4	D-2	X 231, Y 201	2.28	1.15	0.32	長方形
2	P-48	X 198, Y 229	0.3	0.19	0.29	長方形	4	D-3	X 232, Y 200	0.97	0.8	0.15	楕円形
2	P-49	X 198, Y 229	0.65	0.51	0.24	長方形	4	D-4	X 232, Y 200	(0.97)	0.76	0.35	不明
2	P-50	X 198, Y 229	0.41	0.3	0.23	楕円形	4	D-5	X 230, Y 200	0.77	0.62	0.3	楕円形
2	P-51	X 198, Y 229	(0.29)	0.28	-	方形	4	D-6	X 232, Y 200	0.82	0.61	0.19	楕円形
2	P-52	X 198, Y 229	(0.34)	0.32	-	方形	4	D-7	X 229・230, Y 200	(2.5)	(1.61)	0.61	不明
2	P-53	X 198, Y 229	0.29	0.28	-	正方形	4	D-8	X 232, Y 199	(0.73)	(0.24)	0.45	不明
2	P-54	X 198, Y 229・230	0.31	0.31	0.21	長方形	4	D-9	X 232・233, Y 200	1.39	0.78	0.11	不明
2	P-55	X 198, Y 229・230	0.18	0.15	0.19	楕円形	4	D-10	X 230, Y 202	1.78	1.46	0.12	不整形
2	P-56	X 198, Y 230	0.31	0.26	-	長方形	4	D-11	X 232, Y 200	1.11	0.85	0.28	不整形
2	P-57	X 198, Y 230	0.4	0.29	-	楕円形	4	D-12	X 232・233, Y 200	2.36	1.82	0.8	長方形
2	P-58	X 198, Y 229	0.35	0.3	0.38	長方形	4	D-13	X 230, Y 200	0.82	0.82	0.17	不明
2	P-59	X 199, Y 229	0.46	0.44	0.39	正方形	4	D-14	X 232・233, Y 202	(3.54)	1.4	1.15	楕円形
2	P-60	X 199, Y 229	0.24	0.23	0.24	円形	4	D-15	X 232, Y 202	2.55	1.49	0.59	不整形
2	P-61	X 199, Y 229	0.2	0.16	0.18	楕円形	4	D-16	X 232・233, Y 203	2.0	1.54	0.42	長方形
2	P-62	X 198, Y 229	0.37	0.3	0.25	長方形	4	D-17	X 232・233, Y 203	2.92	1.2	0.69	楕円形
2	P-63	X 198, Y 229	0.4	0.33	0.29	楕円形	4	D-18	X 232, Y 203	個別平面図・断面図なしのため計測不可			
2	P-64	矢香					4	D-19	X 229・230, Y 203・204	(1.74)	0.74	0.41	不明
2	P-65	X 198, Y 228	0.21	0.18	-	楕円形	4	D-20	矢香				
2	P-66	X 199, Y 228	0.45	0.24	0.3	楕円形	4	D-21	X 231, Y 201	1.69	0.84	0.4	不整形
2	P-67	X 199, Y 228	0.38	0.24	0.4	楕円形	4	D-22	X 234, Y 203	(1.15)	(0.76)	0.64	不明
2	P-68	矢香					4	D-23	X 234, Y 202	0.88	0.78	0.63	不明
2	P-69	X 198, Y 230	0.17	0.15	0.15	正方形	4	D-24	X 234, Y 204・205	(2.57)	(1.64)	0.44	不整形
2	P-70	X 199, Y 230	0.27	0.24	0.53	正方形	4	D-25	X 234, Y 202	-	-	-	-
2	P-71	X 198, Y 230	0.26	0.22	0.3	長方形	4	D-26	矢香				
2	P-72	X 198, Y 230	0.25	0.23	0.19	正方形	4	D-27	矢香				
2	P-73	X 198, Y 230	-	-	0.24	不明	4	D-28	矢香				
2	P-74	X 198, Y 230	0.29	0.26	0.39	円形	4	D-29	X 231, Y 202	0.74	0.61	0.54	長方形
2	P-75	X 198, Y 230	0.3	0.24	0.29	長方形	4	P-1	X 231, Y 200	0.19	0.18	0.48	円形
2	P-76	X 198, Y 230	0.30	0.28	0.21	正方形	4	P-2	X 231, Y 200	0.23	0.23	0.37	円形
2	P-77	X 198, Y 230・231	0.37	0.34	0.22	正方形	4	P-3	X 231, Y 200	0.25	0.25	0.17	円形
2	P-78	X 199, Y 229	0.27	0.22	0.2	楕円形	4	P-4	X 231, Y 201	0.35	0.26	0.17	不整形
2	P-79	X 198・199, Y 231	0.19	0.17	0.17	長方形	4	P-5	X 231, Y 201	0.32	0.3	0.16	円形

区	道幅名	位置	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	形状
4	P-6	X 231, Y 201	0.96	0.33	0.26	円形
4	P-7	X 231, Y 201	0.32	0.27	0.25	楕円形
4	P-8	X 231, Y 201	0.43	0.21	0.35	不整形
4	P-9	X 230, Y 201	0.26	0.16	0.19	楕円形
4	P-10	X 230, Y 201	0.23	0.21	0.09	円形
4	P-11	X 232, Y 201	0.47	0.45	0.47	円形
4	P-12	X 232, Y 201	0.32	0.24	0.19	不整形
4	P-13	X 232, Y 200	0.57	0.36	0.34	楕円形
4	P-14	X 231, Y 202	0.53	0.44	0.36	楕円形
4	P-15	X 230, Y 202・203	0.52	0.44	0.3	楕円形
4	P-16	X 230, Y 203	0.49	0.37	0.18	楕円形
4	P-17	欠番				
4	P-18	X 230, Y 203	0.8	0.42	0.17	不明
4	P-19	X 230, Y 200	0.33	0.33	0.61	不整形
4	P-20	X 229, Y 202	0.31	0.27	0.18	円形
4	P-21	X 229, Y 202	0.34	0.29	0.09	楕円形
4	P-22	X 229, Y 202	0.31	0.31	0.11	円形
4	P-23	X 229, Y 202	0.59	0.48	0.6	楕円形
4	P-24	X 229, Y 202	0.57	0.55	0.56	不整形
4	P-25	X 229, Y 202	0.5	0.47	0.34	方形
4	P-26	X 230, Y 201	0.61	0.51	0.4	楕円形
4	P-27	X 230, Y 201	0.53	0.39	0.22	楕円形
4	P-28	X 230・231, Y 201	0.49	0.43	0.48	円形
4	P-29	欠番				
4	P-30	X 231, Y 203	0.6	0.49	0.41	楕円形
4	P-31	X 230, Y 201	0.42	0.37	0.29	方形
4	P-32	X 230, Y 201	0.45	0.35	0.17	楕円形
4	P-33	X 231, Y 200	0.77	0.48	0.39	不整形
4	P-34	X 231, Y 201	0.79	0.51	0.46	不整形
4	P-35	X 233, Y 200	0.39	0.39	0.34	円形
4	P-36	X 232・233, Y 200	(0.35)	0.35	0.2	円形
4	P-37	X 230, Y 201	0.19	0.16	0.16	長方形
4	P-38	X 230, Y 201	0.52	0.21	0.28	不整形
4	P-39	X 234, Y 202	(0.59)	(0.39)	0.26	不明
5	P-1	X 198, Y 226	0.51	0.38	0.34	長方形
5	P-2	X 198, Y 226	0.48	0.43	0.25	長方形
5	P-3	X 198・199	0.23	0.21	0.23	方形
5	P-4	X 198, Y 226	0.42	0.32	0.25	長方形
5	P-5	X 199, Y 226	0.21	0.19	0.15	正方形
5	P-6	X 199, Y 226	0.53	0.42	0.26	長方形
5	P-7	X 199, Y 226	0.52	0.24	0.1	楕円形
5	P-8	X 199, Y 226	0.34	0.3	0.1	方形
5	P-9	X 199, Y 226	0.2	0.2	0.14	正方形
5	P-10	X 199, Y 226	0.39	0.38	0.3	正方形
5	P-11	X 199, Y 226	0.3	0.29	0.12	円形
5	P-12	X 198, Y 226	0.25	0.21	0.1	楕円形
5	P-13	X 198, Y 226	0.26	0.21	0.2	楕円形
5	P-14	X 198, Y 226	0.23	0.21	0.1	不明
5	P-15	X 198, Y 226	0.31	0.22	0.1	楕円形

区	道幅名	位置	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	形状
5	P-16	X 198, Y 226	0.22	0.22	0.1	円形
5	P-17	X 198・199, Y 226	0.26	0.24	0.24	正方形
5	P-18	X 199, Y 226	0.23	0.18	0.05	楕円形
5	P-19	X 199, Y 226	0.25	0.22	0.1	円形
5	P-20	X 199, Y 226	0.17	0.15	0.11	楕円形
5	P-21	X 199, Y 226	0.3	0.28	0.25	長方形
5	P-22	X 199, Y 225・226	(0.32)	0.28	0.15	不明
5	P-23	X 199, Y 225・226	0.35	0.26	0.1	楕円形
5	P-24	X 199, Y 225	0.32	0.31	0.22	正方形
5	P-25	X 199, Y 225	0.32	0.31	0.14	不整形
5	P-26	X 199, Y 225	(0.28)	0.23	0.05	不明
5	P-27	X 199, Y 225	(0.33)	0.28	0.08	方形
5	P-28	X 199, Y 225	(0.31)	0.3	0.08	楕円形
5	P-29	X 199, Y 225	(0.22)	0.2	0.15	方形
5	P-30	X 199, Y 225	0.41	0.36	0.09	長方形
5	P-31	X 199, Y 225	0.3	0.3	0.12	円形
5	P-32	X 199, Y 225	0.33	0.33	0.14	正方形
5	P-33	X 199, Y 225	0.23	0.23	0.12	正方形
5	P-34	X 199, Y 225	0.28	0.26	0.11	方形
5	P-35	X 199, Y 225	(0.36)	(0.32)	0.08	不明
5	P-36	X 199, Y 225	0.38	0.36	0.23	方形
5	P-37	X 199, Y 225	0.23	0.22	0.12	不整形
5	P-38	X 199, Y 225	0.31	0.24	0.1	不整形
5	P-39	X 199, Y 225	0.24	0.22	0.16	円形
5	P-40	X 199, Y 225	0.27	0.25	0.22	円形
5	P-41	X 199, Y 225	0.31	0.27	0.19	長方形
5	P-42	X 199, Y 225	0.43	0.41	0.16	円形
5	P-43	X 199, Y 225	0.21	0.19	0.14	円形
5	P-44	X 198・199, Y 225・226	0.54	0.35	0.21	不整形
5	P-45	X 198, Y 199	0.26	(0.19)	0.06	不明
5	P-46	X 198・199, Y 225	0.33	0.26	0.18	楕円形
5	P-47	X 198・199, Y 225	0.33	0.33	0.25	正方形
5	P-48	X 198, Y 225	0.4	0.4	0.14	正方形
5	P-49	X 198, Y 225・226	0.38	0.37	0.35	方形
5	P-50	X 198, Y 225	0.38	0.32	0.1	楕円形
5	P-51	X 198, Y 225	0.25	0.18	0.08	楕円形
5	P-52	X 198, Y 225	0.19	0.15	0.09	長方形
5	P-53	X 198, Y 225	0.29	0.27	0.26	方形
5	P-54	X 198・199, Y 225	0.37	0.3	0.2	楕円形
5	P-55	X 199, Y 225	0.24	0.22	0.08	方形
5	P-56	X 198, Y 225	0.54	0.53	0.38	円形
5	P-57	X 198, Y 225	0.38	0.24	0.28	楕円形
5	P-58	X 198, Y 225	0.21	0.18	0.31	円形
5	P-59	X 198, Y 225	(0.27)	(0.24)	0.14	楕円形
5	P-60	X 198・199, Y 225	0.38	0.34	0.27	円形
5	P-61	X 199, Y 225	0.59	0.48	0.39	楕円形
5	P-62	X 199, Y 225	(0.27)	0.24	0.09	円形
5	P-63	X 199, Y 225	0.48	0.34	0.07	不整形
5	P-64	X 198, Y 224	0.25	(0.19)	0.1	不明



区	道橋名	位置	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	形状	区	道橋名	位置	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	形状
5	P-65	X 198, Y 224-225	0.44	0.35	0.15	楕円形	5	P-114	X 199, Y 223	0.36	0.31	0.11	長方形
5	P-66	X 198, Y 225	0.45	0.34	0.18	楕円形	5	P-115	X 199, Y 223	(0.33)	0.28	0.12	不明
5	P-67	X 198, Y 225	0.27	0.25	0.19	円形	5	P-116	X 199, Y 223	0.31	0.29	0.3	長方形
5	P-68	X 198, Y 224	0.39	0.34	0.22	長方形	5	P-117	X 199, Y 223	0.3	0.24	0.13	長方形
5	P-69	X 198-199, Y 224	0.55	0.51	0.18	不整形	5	P-118	X 198, Y 223	0.58	0.48	0.43	不明
5	P-70	X 198, Y 224	0.22	0.21	0.07	円形	5	P-119	X 198, Y 223	0.28	0.23	0.35	楕円形
5	P-71	X 198-199, Y 224	0.21	0.21	0.08	円形	5	P-120	X 199, Y 223	0.32	0.28	0.11	不整形
5	P-72	X 199, Y 224	0.25	0.22	0.08	円形	5	P-121	X 198, Y 223	0.37	0.35	0.29	方形
5	P-73	X 199, Y 224	0.28	0.26	0.1	長方形	5	P-122	X 198, Y 223	0.24	0.16	0.25	不明
5	P-74	X 199, Y 224	0.3	0.25	0.19	長方形	5	P-123	X 198, Y 223	0.37	0.31	0.25	長方形
5	P-75	X 199, Y 224	0.38	0.32	0.16	長方形	5	P-124	X 198, Y 223	0.39	0.37	0.39	方形
5	P-76	X 199, Y 224	0.39	0.38	0.09	円形	5	P-125	X 199, Y 223	0.28	0.22	0.15	楕円形
5	P-77	X 199, Y 224	0.34	0.3	0.24	円形	5	P-126	X 199, Y 223	0.5	0.47	0.49	円形
5	P-78	X 199, Y 224 (0.22)	0.22	0.22	0.06	円形	5	P-127	X 199, Y 223	0.36	0.32	0.34	楕円形
5	P-79	X 199, Y 224 (0.25)	0.25	0.11	円形	5	P-128	X 198, Y 224	0.36	0.27	0.2	長方形	
5	P-80	X 199, Y 224	0.18	0.17	0.09	円形	5	P-129	X 198, Y 224	0.48	(0.37)	0.38	不明
5	P-81	X 199, Y 224	0.31	0.25	0.15	長方形	5	P-130	X 198, Y 224	0.57	(0.18)	0.09	不明
5	P-82	X 199, Y 224	0.22	0.19	0.06	円形	5	P-131	X 198, Y 224	0.34	0.34	0.16	円形
5	P-83	X 199, Y 224 (0.19)	(0.18)	0.09	不明	5	P-132	X 198, Y 224	0.22	0.22	0.33	円形	
5	P-84	X 199, Y 224	0.21	0.2	0.19	円形	5	P-133	X 198, Y 224	0.26	0.22	0.1	楕円形
5	P-85	X 199, Y 224	0.18	0.15	0.07	円形	5	P-134	X 198, Y 224	0.37	0.33	0.14	不整形
5	P-86	X 199, Y 224	0.22	0.2	0.07	楕円形	5	P-135	X 198-199, Y 223	0.39	0.33	0.24	不明
5	P-87	X 199, Y 224	0.22	0.19	0.18	楕円形	5	P-136	X 198-199, Y 223	0.37	(0.19)	0.19	不明
5	P-88	X 199, Y 226	0.28	0.22	0.11	楕円形	5	P-137	X 199, Y 223 (0.27)	(0.27)	(0.21)	0.18	不明
5	P-89	X 199, Y 225 (0.24)	0.22	0.16	方形	5	P-138	X 198, Y 223	0.4	(0.36)	0.13	円形	
5	P-90	X 199, Y 225	0.43	0.37	0.18	長方形	5	P-139	X 198, Y 223	0.43	0.39	0.19	楕円形
5	P-91	X 199, Y 225	0.32	0.28	0.18	長方形	5	P-140	X 198, Y 223	0.49	(0.19)	0.17	不明
5	P-92	X 199, Y 226	0.19	0.16	0.1	楕円形	5	P-141	X 199, Y 223	0.39	0.32	0.15	楕円形
5	P-93	X 199, Y 225 (0.32)	0.31	0.07	不整形	5	P-142	X 199, Y 223	0.27	(0.24)	0.12	不明	
5	P-94	X 199, Y 225	0.26	0.23	0.1	不明	5	P-143	X 199, Y 223	0.53	0.44	0.33	楕円形
5	P-95	X 199, Y 225	0.23	0.23	0.27	方形	5	P-144	X 199, Y 223	0.25	0.24	0.23	円形
5	P-96	X 199, Y 225	0.51	0.5	0.27	方形	5	P-145	X 199, Y 223	0.21	0.21	0.11	円形
5	P-97	X 198-199, Y 224	0.23	0.22	0.06	不明	5	P-146	X 199, Y 223	0.23	0.19	0.11	長方形
5	P-98	X 198-199, Y 224	0.34	0.36	0.15	楕円形	5	P-147	X 199, Y 223	0.28	0.23	0.12	不整形
5	P-99	X 198, Y 223-224	0.45	0.36	0.3	不整形	5	P-148	X 199, Y 223	0.38	0.35	0.23	楕円形
5	P-100	X 199, Y 223	0.5	0.31	0.25	不整形	5	P-149	X 199, Y 222-223	0.44	0.41	0.17	不整形
5	P-101	X 199, Y 223-224	0.36	0.25	0.22	円形	5	P-150	X 199, Y 223	0.2	(0.15)	0.12	不明
5	P-102	X 199, Y 223	0.41	0.35	0.17	楕円形	5	P-151	X 199, Y 223	0.32	0.24	0.28	不明
5	P-103	X 198-199, Y 223	0.42	0.3	0.16	楕円形	5	P-152	X 199, Y 222-223	0.37	0.3	0.15	長方形
5	P-104	X 199, Y 223	0.3	0.3	0.26	円形	5	P-153	X 199, Y 222	0.43	0.32	0.23	不明
5	P-105	X 199, Y 223	0.3	(0.28)	0.19	不明	5	P-154	X 199, Y 222	0.45	0.42	0.59	長方形
5	P-106	X 199, Y 223	0.41	0.38	0.26	円形	5	P-155	X 199, Y 222	0.22	0.18	0.32	長方形
5	P-107	X 199, Y 223	0.33	0.19	0.15	不明	5	P-156	X 199, Y 222	0.22	0.19	0.14	円形
5	P-108	X 199, Y 223	0.51	0.37	0.34	長方形	5	P-157	X 199, Y 223	0.25	0.22	0.18	楕円形
5	P-109	X 199, Y 223	0.57	0.35	0.29	方形	5	P-158	X 199, Y 223	0.41	0.27	0.22	楕円形
5	P-110	X 199, Y 223	0.48	0.37	0.39	楕円形	5	P-159	X 198-199, Y 223	0.8	0.49	0.3	長方形
5	P-111	X 199, Y 223	0.23	0.21	0.21	円形	5	P-160	X 198, Y 223	0.5	0.27	0.25	楕円形
5	P-112	X 199, Y 223	0.35	(0.25)	0.14	楕円形	5	P-161	X 198-199, Y 223 (0.44)	(0.27)	0.16	不明	
5	P-113	X 199, Y 223	0.25	0.2	0.12	円形	5	P-162	X 198, Y 222	0.44	0.3	0.06	不明

区	遺構名	位置	長軸 (m)	短軸 (m)	高さ (m)	形状	区	遺構名	位置	長軸 (m)	短軸 (m)	高さ (m)	形状
5	P-163	X 198, Y 222	0.59	0.29	0.31	不明	5	P-178	X 199, Y 222	0.31	0.24	0.08	楕円形
5	P-164	X 198, Y 222	0.57	0.5	0.24	円形	5	P-179	X 199, Y 222	0.35	0.31	0.17	不明
5	P-165	X 198, Y 222	0.3	0.24	0.15	不明	5	P-180	X 199, Y 222	0.27	0.26	0.16	不明
5	P-166	X 198, Y 222	0.96	0.27	0.14	不明	5	P-181	X 199, Y 222	0.3	0.3	0.12	円形
5	P-167	X 199, Y 222	0.24	0.22	0.15	円形	5	P-182	X 198, Y 223	0.66	0.24	0.24	不明
5	P-168	X 198・199, Y 222	0.43	0.31	0.12	不明	6	O-1	X 11, Y 81	(1.82)	(0.89)	0.64	不明
5	P-169	X 199, Y 222	0.55	0.46	0.16	不明	6	D-1	X 10, Y 72	(1.78)	0.79	0.14	楕円形
5	P-170	X 198, Y 222	0.47	0.46	0.23	楕円形	6	D-2	X 9, Y 72	(1.79)	0.88	0.19	楕円形
5	P-171	X 199, Y 222-223	0.64	0.45	0.2	楕円形	6	D-3	X 10, Y 73	1.21	1.0	0.25	楕円形
5	P-172	X 198・199, Y 222	0.45	0.43	0.28	円形	6	D-4	X 11, Y 77	(2.31)	(1.14)	0.58	不明
5	P-173	X 199, Y 223	0.23	0.2	0.17	円形	6	D-5	X 9, Y 72-73	1.77	[0.96]	0.57	不整形
5	P-174	X 199, Y 222	(0.22)	(0.12)	0.21	不明	6	D-6	X 9, Y 73	0.54	-	0.38	不明
5	P-175	X 199, Y 222	0.21	0.17	0.23	楕円形	6	P-1	X 11, Y 80	0.71	0.35	0.18	不整形
5	P-176	X 199, Y 222	0.45	0.45	0.37	円形	6	P-2	X 11, Y 80	0.32	0.32	0.17	円形
5	P-177	X 199, Y 222	0.26	0.21	0.2	不整形	6	P-3	X 11, Y 79	0.18	0.18	0.25	円形

Tab. 3 元能社若海道跡群 (150) 出土遺物観察表  
1区

H-1

No	出土位置	種類、遺構	口径	経径	高さ	胎土	焼成	色調	胎形、底・胴形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	No. 1	灰砂層 灰層	直径 (22)	46	(34)	白色粘質胎、灰層、灰胎	還元焼	褐色	外面セラミクス状、底・胴はほぼ円筒状へ切り直し、底面は底面にセラミクス状、口縁はセラミクス状。	3/4残存。
2	覆土	灰砂層 灰層	欠陥	60	(37)	白・灰・灰胎	還元焼	灰白	外面セラミクス状、底面は底面を切り直し、高台部だけ。	底部中央-底面2/3残存。
3	ビレット1 覆土、覆土	灰砂層 灰	32.3	52	37	白・灰・灰胎	還元焼	黄褐色	外面セラミクス状、底面は底面を切り直し、多方向のセラミクス状、内面はセラミクス状、ペラペラによる瓦割れも。底面は底面にセラミクス状。	1/2残存、白色灰胎。
4	ビレット2 No. 2	灰層	(39.4)	欠陥	(72)	白・灰胎	還元焼	褐色	外面セラミクス状、口縁は口縁に内周し、口縁部は平直で内周し、底面は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状。	口縁-胴部1/4残存、口径約 124.0 cm。
5	覆土 No. 3	灰層	(39.0)	欠陥	(93)	白胎、灰胎、セラミクス	還元焼	灰黄褐色	外面セラミクス状、口縁は内周して口唇部直上、底面は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状。	口縁-胴部1/4残存、口径約 123.4 cm。
6	覆土 No. 10、覆土 No. 2	灰層	(39.0)	欠陥	(12.3)	白胎、灰胎、セラミクス	還元焼	灰黄褐色	外面セラミクス状、口縁は内周して口唇部直上、底面は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状。	口縁-胴部1/4残存、口径約 124.0 cm。
7	ビレット2 No. 1	土砂層 石付層	31.8	欠陥	(34.6)	灰胎、灰胎、セラミクス	良好	褐色	外面セラミクス状、口縁は内周して口唇部直上、底面は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状。	底面2/3残存、白色灰胎。

H-2

No	出土位置	種類、遺構	口径	経径	高さ	胎土	焼成	色調	胎形、底・胴形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	覆土	土砂層 灰層	(35.0)	欠陥	(31)	白胎、灰胎、セラミクス	良好	褐色	外面セラミクス状、口縁は内周して口唇部直上、底面は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状。	口縁-胴部1/4残存。
2	覆土	土砂層 灰層	(32.0)	欠陥	(23)	白胎、灰胎、セラミクス	良好	褐色	外面セラミクス状、口縁は内周して口唇部直上、底面は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状。	口縁-胴部1/4残存。

H-3

No	出土位置	種類、遺構	口径	経径	高さ	胎土	焼成	色調	胎形、底・胴形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	覆土	土砂層 灰層	(35.0)	欠陥	(43)	白・灰・灰胎、セラミクス	良好	褐色	外面セラミクス状、口縁は内周して口唇部直上、底面は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状。	1/2残存。
2	覆土	土砂層 灰層	(34.0)	欠陥	(44)	白胎、灰胎、セラミクス	良好	褐色	外面セラミクス状、口縁は内周して口唇部直上、底面は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状。	2/5残存。

W-3

No	出土位置	種類、遺構	口径	経径	高さ	胎土	焼成	色調	胎形、底・胴形、文様等の特徴	保存状況・備考	
1	覆土	灰砂層 灰層	(25.5)	欠陥	(23)	白色粘質胎、灰胎	還元焼	灰	外面セラミクス状、底面は底面を切り直し、高台部から底面1/4部は底面にセラミクス状、内面はセラミクス状。	底部1/4-口縁部、	
2	覆土	灰砂層 灰層	(11.0)	(24)		白色粘質胎、灰胎	還元焼	灰	外面セラミクス状、底面は底面を切り直し、高台部内面はセラミクス状、内面はセラミクス状。	底部下段-灰層部、	
3	覆土、覆土	土砂層 灰層	(33.0)	欠陥	(44)	白・灰・灰胎、セラミクス	良好	褐色	外面セラミクス状、口縁は内周して口唇部直上、底面は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状。	2/5残存。	
4	覆土	土砂層 灰層	(16.6)	欠陥	(36)	白胎、灰胎、セラミクス	良好	褐色	外面セラミクス状、口縁は内周して口唇部直上、底面は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状、口縁部は底面にセラミクス状。	口縁-胴部1/4残存。	
No	出土位置	種類、遺構	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	胎形、底・胴形、文様等の特徴	保存状況・備考
5	No. 1	石製品 凹玉	1.3	1.3	0.9	滑石	-	-	2.8	全面磨製、縦溝は縦及び横に彫り込まれて、横溝の間に縦溝が通る。	完全。長さ約 0.3 cm。

## W-5

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	現状状況・備考
1	甕土	石製品 白土	1.8	1.85	0.75	黒色安山岩	-	-	39	全周縁部、底・蓋面共に筒状に張り込み付帯。縁部は縁部跡の地に張り認められる。内径は上面に準じたものにてい。	3片 内径 0.25cm

## D-5

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	現状状況・備考
1	甕土	土製品 磁器片	(11.3)	丸底	39	黒・灰白色 厚石	良好	藍		外縁1周部コナテ、1周外縁、底面との間に繋ぎを持ち、以下ヘラテズ。 内縁1周部コナテ、以下ヘラテズ。縁部付着。	1・2片着。

## D-11

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	現状状況・備考
1	甕土	緑釉陶器 甕	欠底	(80)	(15)	胎土質、白色 磁器質、黒色	整熟	オリーブ 灰		外縁コナテテ、底面跡の目出し、全周縁部縁部、内縁コナテテ。見込み中央に内径未満、全周縁部縁部。	縁部中央～底面付。 縁部縁部。

## 遺構外

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	現状状況・備考
1	W-3 甕土	甕土上部 磁器片	(48)	(73)	(99)	石質、黒色 磁器質、黒・灰白色	良好	藍		外周部に縁部の広い斜縁部付着文(1) 施文。縁及び底縁部縁部付着文。 内縁コナテズ。	縁部付。 底文縁部、縁部付。
2	X30 V205 アクリル 甕土	甕土上部 磁器片	(49)	(59)	(14)	石質、黒色 磁器質、白色磁器 質、オリーブ	良好	1・2・3 灰		外周部に縁部付着文(1) 施文。縁部付着文施文。 内縁コナテズ。	縁部付。 底文縁部、加付物E1。
3	全周縁土	甕土上部 磁器片	(70)	(73)	(13)	石質、黒色 磁器質、白色磁器 質、オリーブ	良好	1・2・3 灰		外周縁部付着文内縁部付着文(1) 施文。	縁部付。 底文縁部、加付物E1。
4	X30 V205 アクリル 甕土	磁器片	(134)	丸底 欠底	(18)	白色磁器質。 黒・灰白色	黄化藍	灰		外縁コナテテ。外周縁部中央縁部コナテテ。内縁部付着。 内縁コナテテ。1周から1.1cm以内で内縁部付着。	縁部中央～1周部付。
5	D-11 甕土	磁器片	(120)	丸底	(28)	石質、黒色 磁器質、白・灰白色	黄化藍	灰白 陶質		外縁コナテテ。底面跡部付着。縁部上部縁部コナテテ。 内縁コナテテ。蓋受け部高0.6cm位置から1周部付着。	1・4片着。 蓋受け部付 (100) cm。
6	X78 V205 アクリル 甕土	土製品 磁器片	(138)	欠底	(37)	黒・灰白色 厚石	良好	藍		外縁1周部コナテ、1周縁部に内縁部、縁部との間に繋ぎを持ち、以下ヘラテズ。 内縁1周部コナテ、以下ヘラテズ。	1周部～底面付。
7	X78 V205 アクリル 甕土	土製品 磁器片	(130)	丸底	(27)	黒色磁器 質、オリーブ、黒 色	良好	藍		外縁1周部コナテ、1周縁部付着。底面との間に繋ぎを持ち、以下ヘラテズ。 内縁1周部コナテ、以下ヘラテズ。	1周部～底面付。
No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	現状状況・備考
8	全周縁土	石製品 封	(71)	15	12	黒	-	-	11.7	筒形封。断面形状方形。黄化陶質。	先周縁欠底。
9	全周縁土	石製品 白土	15	15	97	厚石	-	-	23	全周縁部、縁部は縁及び斜縁部が顕著で、縁部跡の地に僅かに張り認められる。	3片着。 内径 0.3cm。
10	全周縁土	石製品 白土	(13)	13	(830)	厚石	-	-	14	全周縁部、縁部は縁部跡が顕著で、蓋を持たない筒状を呈する。	1・2片着。 内径 0.3cm。

## 2区

## 遺構外

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	現状状況・備考
1	X199 V209 アクリル No.4	磁器片 坏	欠底	61	(13)	白色磁器質。 黒・灰・赤色	黄化藍	1・2・3 灰		外縁コナテテ。底面跡部付着。 内縁コナテテ。	底面縁部。
2	X199 V209 アクリル No.2-3	陶器	(34.0)	欠底	(116)	石質、黒色 磁器質、オリーブ 厚石、黒・赤 色	黄化藍	明赤陶		外縁部コナテ、1周縁部に内縁部、縁部跡付着文縁部付着文 内縁部付着文。中央中央で突出する。1周縁部付着。断面縁部 付着文。 内縁部コナテ。	1周部～底面付。 縁部付 (30) cm。
No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	現状状況・備考
3	甕土	石製品 磁器片	21	19	95	黒色安山岩	-	-	30	全周縁部、縁部は縁部跡が顕著で、蓋を持たない筒状を呈する。	1片着。
4	X199 V209 アクリル 甕土	石製品 磁器片	(74)	(103)	(57)	玄武岩	-	-	3008	蓋面付。正面上縁縁部は1.6～2.0cmの幅部を持ち、縁部跡に張り認められる。以下ヘラテズ。	蓋面下角片。

## 3区

## H-1

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	現状状況・備考
1	甕土・ 全周縁土	緑釉陶器 甕	(14.0)	(66)	26	胎土質	整熟	オリーブ 灰		外縁コナテテ。底面跡部付着文 高台付着文。高台付着文 付着文。底面跡部付着文。底面跡部付着文。底面跡部付着文。 内縁コナテテ。見込み中央に内径未満の縁部跡が認められる。全周 縁部縁部。	1・5片着。 縁部縁部。
2	ビト-1 No.1	磁器片 高台付着	欠底	73	(80)	黒・灰白色	黄化藍	灰白		外縁コナテテ。底面跡部付着文。高台付着文。 内縁コナテテ。	底面跡部～底面縁部。 中央部縁部。

## 遺構外

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	現状状況・備考
1	甕土-磁	緑釉陶器 甕	欠底	(80)	(26)	胎土質	整熟	灰白		外縁コナテテ。底面跡部付着文 高台付着文。高台付着文 付着文。底面跡部付着文。底面跡部付着文。底面跡部付着文。 内縁コナテテ。見込み中央に内径未満の縁部跡が認められる。全周 縁部縁部。	縁部中央～底面付。

## 4区

## H-1

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	現状状況・備考
1	甕土	土製品 磁器片	(14.0)	丸底	(34)	白・灰・赤色 磁	良好	灰陶 明赤陶		外縁1周部コナテ、1周縁部付着文(1) 施文。縁部中央に内縁部、底面との間に繋ぎを持ち、以下ヘラテズ。 内縁1周部コナテ、以下ヘラテズ。	1・5片着。

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
2	覆土	土師器 壺	(28.0)	欠損	0.60	白土、黄褐色、灰白、灰、赤褐色	良好	黄褐色	外周1周部コナナ。口縁外側、底部に磨光し、以下ヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ。	口縁1割欠け。底面有り。

H-4

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	No. 3	土師器 瓶	33.8	欠損	4.8	白土、黄褐色、灰、赤褐色	良好	暗赤褐色	外周1周部コナナ。口縁外側、底部との間にヘラによる磨光面を帯びて磨光面を有し、以下ヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ後ヘラコナナ。	5・6残存。
2	No. 4	土師器 罎	33.7	欠損	5.0	白土黄褐色、灰、灰白色	良好	浅黄褐色	外周1周部コナナ。口縁は短く内側、底部との間に磨光面を有し、以下ヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ後ヘラコナナ。	ほぼ完全。底面有り。
3	No. 1・2	土師器 高脚壺	(25.0)	欠損	(11.2)	白土、黄褐色、灰、赤褐色	良好	暗赤褐色に赤い黄	外周1周部コナナ。口縁外側、磨光面にヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ。	口縁1割欠け。底面有り。

No	出土位置	種別、器種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
4	No. 5	石器 磨盤石	34.7	7.4	4.3	燧石	-	-	711.6	右器は全体に磨光により磨らぬ。表面の平滑化は磨り面側から。	完全。
5	No. 6	石器 磨盤石	34.8	7.6	4.9	燧石	-	-	996.7	右器は全体に磨光により磨らぬ。表面に磨光面あり。	完全。
6	No. 7	石器 磨盤石	34.6	7.4	4.3	燧石	-	-	758.9	表面は磨光による黄色と磨光面が認められる。裏面及び縁は磨光により滑らか。	欠損有り。
No	出土位置	種別、器種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
7	No. 8	石器 磨盤石	35.0	6.8	4.7	輝石燧石	-	-	735.9	右器は全体に磨らぬ。手前部に磨光面は熱線時か。縁部に広く平滑化が認められ、磨光面あり。	完全。
8	No. 9	石器 磨盤石	35.5	7.2	6.0	輝石燧石	-	-	1039.9	右器は下前面を磨き、全体に磨らぬ。裏面及び縁部に磨光による黄色が認められる。	完全。

H-6

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考	
1	覆土 及び下層アース層	須恵器 高脚	27.6	脚底欠損 (2.8)		灰・灰白色	還元	灰白	外周粗コナナ。口縁外側、底部（ヘラコナナ）は短くヘラコナナで磨き、裏面は磨光面が認められる。内周粗コナナ。底部多方向のズレが調整。	脚底1/2欠損。脚底欠損。	
2	覆土	須恵器 高脚	欠損	脚底径 (1.6)		灰・灰白色	還元	灰白	外周粗コナナ。脚底は扁平に広がる扁平で足周縁から外側、内周粗コナナ。	脚底の真直上同一個体か。	
3	No. 2 - 覆土	須恵器 高脚	欠損	脚底径 (2.0)		灰・灰・赤褐色	還元	灰白	外周粗コナナ。脚底は扁平に広がる扁平を持ち、脚底は中位より粗面。内周粗コナナ。脚底は粗面。口縁部は短く内側。	脚底中位一重面片。底面形も異なる。	
4	No. 2	須恵器 壺	30.8	欠損	3.5	灰・灰・赤褐色	還元	灰白	外周粗コナナ。木舟部（脚底粗面）は短くヘラコナナで磨き、木舟部と口縁部の間に磨光面を有し、口縁部外側、内周粗コナナ。木舟部（脚底粗面）は短くヘラコナナで磨き、口縁部との間に磨光面を有し、口縁部外側、内周粗コナナ。	3・4残存。	
5	No. 8	須恵器 壺	30.9	欠損	2.8	白土、灰・灰白色	還元	灰	外周粗コナナ。木舟部（脚底粗面）は短くヘラコナナで磨き、口縁部との間に磨光面を有し、口縁部外側、内周粗コナナ。	3・4残存。	
6	No. 9	須恵器 壺	30.1	欠損	3.6	白土黄褐色、灰、灰白色	還元	黄灰	外周粗コナナ。木舟部（脚底粗面）は短くヘラコナナで磨き、口縁部との間に磨光面を有し、口縁部外側、内周粗コナナ。	口縁部一部欠損。底面有り。	
7	No. 1 - 覆土	土師器 瓶	(31.1)	欠損	3.2	白土、黄褐色、灰、赤褐色	良好	橙	外周1周部コナナ。口縁内側、底部との間に磨光面を有し、以下ヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ。	1・2残存。	
8	覆土	土師器 瓶	(31.0)	欠損	2.9	黄褐色、灰、赤褐色、白、赤褐色	良好	橙	外周1周部コナナ。口縁外側、底部との間に磨光面を有し、以下ヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ。	3・5残存。	
9	No. 5 - 覆土	土師器 瓶	31.5	欠損	4.6	白土黄褐色、赤褐色、輝石	良好	に赤い黄	外周1周部コナナ。口縁外側、底部との間に磨光面を有し、以下ヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ。	5・6残存。底面有り。	
10	No. 6	土師器 罎	31.9	欠損	3.6	白土、黄褐色、灰、赤褐色	良好	橙	外周1周部コナナ。口縁は短く内側、底部との間に磨光面を有し、以下ヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ。	ほぼ完全。底面有り。	
11	覆土	土師器 内流杯	3.6	欠損	3.1	黄褐色、赤褐色、灰、赤褐色	良好	橙	外周1周部コナナ。口縁は短く内側、底部との間に磨光面を有し、以下ヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ。	3・5残存。	
12	No. 1	土師器 内流杯	3.2	欠損	3.5	白土、黄褐色、灰、赤褐色	良好	橙	外周1周部コナナ。口縁は短く内側、底部との間に磨光面を有し、以下ヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ。	2・3残存。	
13	No. 7	土師器 内流杯	3.3	欠損	4.1	赤褐色、赤褐色、灰、赤褐色	良好	橙	外周1周部コナナ。口縁は短く内側、底部との間に磨光面を有し、以下ヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ。	完全。	
14	覆り方	土師器 内流杯	3.7	欠損	4.3	白土、赤褐色、赤褐色、赤褐色	良好	橙	外周1周部コナナ。口縁は短く内側、底部との間に磨光面を有し、以下ヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ。	3・4残存。	
15	覆土	土師器 内流杯	(33.0)	欠損	4.2	白土、黄褐色、赤褐色、赤褐色	良好	暗赤褐色	外周1周部コナナ。口縁は短く内側、底部との間に磨光面を有し、以下ヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ。	2・5残存。	
16	No.10 - 11	土師器 内流杯	34.6	欠損	5.3	白土、黄褐色、灰、赤褐色	良好	暗赤褐色	外周1周部コナナ。口縁は短く内側、底部との間に磨光面を有し、以下ヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ。	5・6残存。	
17	覆土	土師器 壺	(23.0)	欠損	(11.0)	白土、黄褐色、灰、赤褐色	良好	に赤い黄	外周1周部コナナ。口縁外側、底部は中位より粗面。裏面は粗面にヘラコナナ。磨光面は粗面にヘラコナナ。内周1周部コナナ。以下ヘラコナナ。	口縁1割欠け。底面有り。	
No	出土位置	種別、器種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	器形、成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
18	覆土	黄銅器 盃	4.2	(15.0)	0.2	黄	-	-	3.4	右器は五角形。凹面、平頭式。	口縁1割欠け。底面欠損。底面磨光。

## H-7

No	出土位置	種別・番種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	胎形、成・製形、文様等の特徴	現存状況・備考	
1	No. 2 - 覆土	土師器 高坏	129	丸底	62	白・灰・灰白 褐色	良好	赤褐色 明赤	外周1線部コナダ。1線は短促に直立して1線部で僅かに外周、底面との間に明確な唇部を持ち、以下へナラズ。 内周1線部コナダ。以下へナラズ。	5・6残存。	
2	No. 1	土師器 内周1線部	139	丸底	33	赤土、白・灰 褐色	良好	にぶい赤 褐色	外周1線部コナダ。内周する線部から1線は水平状に直上し 外周に反り、内周する。線部から底面へナラズ。赤土に灰土 が混入。 内周1線部コナダ。線部から底面へナラズ。上半部丁寧な割 造へナラズ。	完好。	
3	No. 3 - 覆土	土師器 内周1線部	133	丸底	35	厚層白、赤 土、灰・茶色 褐色	良好	黄	外周1線部コナダ。内周する線部から1線は水平状に直上し 外周に反り、内周する。線部から底面へナラズ。赤土に灰土 が混入。内周する。線部から底面へナラズ。赤土に灰土 が混入。 内周1線部コナダ。線部から底面へナラズ。上半部丁寧な割 造へナラズ。	4・5残存。	
4	ビュト5 - 覆土	土師器 内周1線部	140	丸底	51	打層、厚層 白、赤土、 灰・茶色 褐色	良好	明赤	外周1線部コナダ。内周する線部から1線は水平状に直上し 外周に反り、内周する。線部から底面へナラズ。赤土に灰土 が混入。 内周1線部コナダ。線部から底面へナラズ。上半部丁寧な割 造へナラズ。	完好。	
5	ビュト5 - 覆土	土師器 高坏	140	丸底	(35)	灰・茶色 褐色	良好	明赤	外周1線部コナダ。内周する線部から1線は水平状に直上し 外周に反り、内周する。線部から底面へナラズ。赤土に灰土 が混入。 内周1線部コナダ。線部から底面へナラズ。上半部丁寧な割 造へナラズ。	5・6残存。	
6	No. 6-7 - 8 - 覆土	土師器 高坏	140	新造部 102	309	厚層白、白 土、赤褐色 褐色	良好	にぶい赤 褐色	外周1線部コナダ。外周は内周し1線は水平状に直上し1線 部が強く突出する。後部へナラズで底面直上部。線部へナラ ズで丁寧な割造へナラズ。 内周1線部コナダ。線部から底面へナラズ。上半部丁寧な割 造へナラズ。	5・4残存。	
7	No. 5 - 覆土	土師器 小豆形	(90)	丸底	144	厚層白、白 土、赤褐色 褐色	良好	明赤	外周1線部コナダ。直立する線部から1線は水平状に直上し 外周に反り、内周する。線部から底面へナラズ。赤土に灰土 が混入。内周する線部から1線は水平状に直上し外周に反り、 内周する。線部から底面へナラズ。赤土に灰土が混入して1線 部より強く突出する。 外周1線部コナダ。以下へナラズ。	1線部-底面2・3残存。	
8	ビュト5 - 覆土	土師器 甕	(170)	丸底	(87)	白色底層、 赤土、茶色 褐色	良好	赤褐色	外周1線部コナダ。1線ははや[2]の字を呈し、1線部は 水平状に直上し外周、線部は内周して丁寧な割造へナラズ。 内周1線部コナダ。以下へナラズ。	1線部-胴中位残存。	
9	ビュト5 - 覆土	土師器 甕	(184)	丸底	(137)	白・灰・茶色 褐色	良好	にぶい赤 褐色	外周1線部コナダ。1線は内周して1線部に準って外周、線部 は内周して丁寧な割造へナラズ。以下へナラズ。	1線部-胴中位残存。	
10	ビュト5 - 覆土	土師器 甕	(200)	丸底	(190)	赤土、赤褐色 褐色	良好	赤褐色 明赤	外周1線部コナダ。1線は短促に直上し線部との間に明確な唇部を 持ち、以下へナラズ。 内周1線部コナダ。以下へナラズ。	1線部-胴中位1・3残存。	
11	No. 8 - 9	土師器 甕	丸底	67	(258)	打層、厚層 白、白土、 赤褐色 褐色	良好	にぶい明 赤	外周は節部の割造が明確。線部は内周して丁寧な割造へナラズ。 線部より底面へナラズ。底面へナラズで外周、線部は内周して 丁寧な割造へナラズ。赤土に灰土が混入して丁寧な割造へナラズ。 内周1線部コナダ。以下へナラズ。	胴部中位-底面残存。	
No	出土位置	種別・番種	高さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	胎形、成・製形、文様等の特徴	現存状況・備考
12	側方	石部 碇石	(160)	(70)	(42)	凝灰岩	-	-	5103	碇部は節部により滑らか。表面は平らな状態に保たれ、 節部が顕著で、中央付近が最も平坦で、右側面は 以下に傾斜し、左側面は完全に垂直に保たれている。 右側面は完全に垂直に保たれている。	2・3残存。

## H-8

No	出土位置	種別・番種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	胎形、成・製形、文様等の特徴	現存状況・備考
1	側方	土師器 内周1線	108	丸底	34	厚層白、灰・ 赤土、赤褐色 褐色	良好	にぶい赤 褐色	外周1線部コナダ。1線は短促に直立して1線部で僅かに外周、底 面との間に明確な唇部を持ち、以下へナラズ。 内周1線部コナダ。以下へナラズ。	2・4残存。

## H-9

No	出土位置	種別・番種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	胎形、成・製形、文様等の特徴	現存状況・備考	
1	No. 1	土師器 横帯平	117	丸底	29	赤土、赤土 褐色、灰・茶 褐色	良好	にぶい赤 褐色	外周1線部コナダ。1線は短促に直立して1線部で僅かに外周、底 面との間に明確な唇部を持ち、以下へナラズ。 内周1線部コナダ。以下へナラズ。	5・4残存。 底面入り。	
2	No. 4	土師器 横帯平	117	丸底	27	打層、赤土、 厚層白、白色 底層褐色	良好	黄	外周1線部コナダ。1線は外周して1線部で強く外周、底面との 間に明確な唇部を持ち、以下へナラズ。 内周1線部コナダ。以下へナラズ。	完好。	
3	No. 3	土師器 横帯平	135	丸底	43	打層、厚層 白、赤褐色 褐色	良好	黄	外周1線部コナダ。1線は短促に直立して1線部で僅かに外周、 底面との間に明確な唇部を持ち、以下へナラズ。 内周1線部コナダ。以下へナラズ。	3・5残存。	
4	No. 1	土師器 長胴甕	152	丸底	(205)	打層、厚層 白、赤褐色 褐色、赤土	良好	黄	外周1線部コナダ。1線ははや[2]の字を呈し、線部との 間に明確な唇部を持ち、以下へナラズ。 内周1線部コナダ。以下へナラズ。	線部下位-底面欠損。 底面入り。	
5	No. 1	土師器 甕	丸底	37	(25)	打層、厚層 白、赤褐色 褐色、灰・茶 褐色	良好	にぶい赤 褐色	外周は節部へナラズ。線部-一定方向へナラズ。底面は上向き。 内周へナラズ。	線部下位-底面残存。	
6	No. 2 - 覆土	土師器 長胴甕	丸底	79	(24)	一筋目 丸底 打層、厚層 白、赤褐色 褐色	良好	にぶい赤 褐色	外周は節部へナラズ。線部-一定方向へナラズ。底面は上向き。 内周へナラズ。	線部上位-底面2・5残存。 内周へナラズ。	
No	出土位置	種別・番種	高さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	胎形、成・製形、文様等の特徴	現存状況・備考
7	No. 3	石部 磨石	153	72	55	安山岩	-	-	8104	石部は全体に滑らかで、表面には平らな状態に保たれ 、節部が顕著で、中央付近が最も平坦で、右側面は 以下に傾斜し、左側面は完全に垂直に保たれている。	完好。
8	No. 4	石部 磨石	134	82	47	輝石安山岩	-	-	8316	石部は全体に滑らかで、表面には平らな状態に保たれ 、節部が顕著で、中央付近が最も平坦で、右側面は 以下に傾斜し、左側面は完全に垂直に保たれている。	完好。
9	No. 5	石部 磨石	132	62	42	安山岩	-	-	4789	石部は全体に滑らかで、上・下両面及び側面の左・右 両側に節部が顕著で、中央付近が最も平坦で、右側面は 以下に傾斜し、左側面は完全に垂直に保たれている。	完好。
10	No. 6	石部 磨石	126	70	43	安山岩	-	-	5801	石部は節部により全体に滑らか。	完好。
11	No. 7	石部 磨石	146	63	46	凝灰岩	-	-	3375	石部は節部により全体に滑らか。	完好。
No	出土位置	種別・番種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	胎形、成・製形、文様等の特徴	現存状況・備考	
1	ビュト5 - 覆土	土師器 横帯平	(134)	丸底	140	厚層白、赤 土、赤褐色 褐色	良好	明赤	外周1線部コナダ。1線は短促に直立して1線部で僅かに外周、底 面との間に明確な唇部を持ち、以下へナラズ。 内周1線部コナダ。以下へナラズ。	1・4残存。	

## H-10

No	出土位置	種別・番種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	胎形、成・製形、文様等の特徴	現存状況・備考
1	ビュト5 - 覆土	土師器 横帯平	(134)	丸底	140	厚層白、赤 土、赤褐色 褐色	良好	明赤	外周1線部コナダ。1線は短促に直立して1線部で僅かに外周、底 面との間に明確な唇部を持ち、以下へナラズ。 内周1線部コナダ。以下へナラズ。	1・4残存。

No	出土位置	種類、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・製形、文様等の特徴	保存状況・備考	
2	竪土	土師器 高坪 欠底	新底径 19.0	(25)	右丸、黒雲母、白・灰、赤色粒	良好	橙	外周へラウズリ後ユビナ型彫。胴部下部に、新瓦器底面に似る内周へラウズリ後ユビナ型彫。	胴部下部(首段)一部欠片。		
No	出土位置	種類、器種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	器形、成・製形、文様等の特徴	保存状況・備考
3	No. 1	石製品 刀類	22	205	055	内周石宝山片	-	-	1.5	首・裏面は平部に研削加工。砥石の痕跡は研削面の底に僅かに残存認められ、左側縁には鋭利さによる明確な稜を得ず。	完好。
4	No. 1	石製品 鉞形片	29	155	055	陶質	-	-	2.6	全体に磨耗が顕著で磨ら。扁平な鉞形を呈する。	完好。

#### H-11

No	出土位置	種類、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・製形、文様等の特徴	保存状況・備考	
1	竪土	土師器 煎茶鉢	11.5	丸底	44	右丸、白・灰・赤色粒	良好	橙	外周1周部コナナ。1周外縁、底部との間に筋道を有し、以下ヘラウズリ。内周1周部コナナ。以下ヘラウズリ。	1周部一部欠損。底面有。	
No	出土位置	種類、器種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	器形、成・製形、文様等の特徴	保存状況・備考
2	No. 1	石部 磨礫石	14.3	6.6	4.9	磨粒宝山片	-	-	741.6	右側は磨粒により全体に磨ら。表面には平打ちが認められる。	一部欠損。
3	No. 2	石部 磨礫石	13.8	6.7	4.2	チャート	-	-	557.1	右側は磨粒により全体に磨ら。	一部欠損。
No	出土位置	種類、器種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	器形、成・製形、文様等の特徴	保存状況・備考
4	No. 3	石部 磨礫石	15.7	6.9	5.4	磨粒宝山片	-	-	785.3	右側は磨粒により全体に磨ら。	完好。
5	No. 4	石部 磨礫石	12.4	6.9	4.0	磨粒宝山片	-	-	308.3	右側は磨粒により全体に磨ら。表面には平打ちが認められる。	完好。
6	No. 5	石部 磨礫石	12.3	6.0	5.3	輝石宝山片	-	-	551.0	右側は磨粒により全体に磨ら。表面には平打ちが認められる。	完好。
7	No. 6	石部 磨礫石	14.1	6.0	5.0	輝石宝山片	-	-	379.5	右側は磨粒により全体に磨ら。表面には平打ちが認められる。	完好。
8	No. 7	石部 磨礫石	15.7	6.1	6.2	玄武岩	-	-	714.8	右側は磨粒により全体に磨ら。	完好。
9	No. 8	石部 磨礫石	14.6	6.7	4.4	右丸磨粒	-	-	665.0	右側は磨粒により全体に磨ら。表面には平打ちが認められる。	完好。
10	No. 9	石部 磨礫石	12.5	6.0	5.3	磨粒宝山片	-	-	552.0	右側は磨粒により全体に磨ら。表面には平打ちが認められる。	完好。
11	No.10	石部 磨礫石	14.2	6.0	5.4	宝山片	-	-	630.2	右側は磨粒により全体に磨ら。表面には平打ちが認められる。	完好。

#### H-12

No	出土位置	種類、器種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	器形、成・製形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	竪土	右丸器 片瓦	28	13	1.0	硬珪	-	-	3.2	全周磨削。周縁は鋭利な磨粒が顕著。	欠片有り。内径約13cm。

#### H-13

No	出土位置	種類、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・製形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	竪土	灰雲母 甕	(14.5)	6.8	4.0	右丸、黒雲母、白・灰、赤色粒	酸化焼	暗赤褐色に赤い黄褐色	外周コナナ。底部同軸ホリ。内周コナナ	1・2残存。
2	竪土	灰雲母 甕	(14.5)	(7.8)	3.8	右丸、白・灰・赤・赤色粒	酸化焼	に赤い黄褐色	外周コナナ。底部同軸ホリ。内周コナナ。1周から体部まで磨ら。	1・3残存。
3	竪土	灰雲母 甕	(13.4)	欠底	(3.7)	右丸、黒雲母、白・赤色粒	酸化焼	に赤い黄褐色	外周コナナ。内周コナナ	1周・体部欠。
4	竪土	灰雲母 甕	(8.6)	4.8	2.6	右丸、黒雲母、白・灰、赤色粒、輝石	酸化焼	に赤い黄褐色	外周コナナ。底部同軸ホリ。内周コナナ	3・5残存。底面有。
5	竪土 裏面方	灰雲母 甕	(8.0)	(6.4)	2.0	右丸、黒雲母、白・灰、赤色粒	酸化焼	に赤い黄褐色	外周コナナ。黒雲母同軸ホリ。内周コナナ	1・3残存。

#### H-14

No	出土位置	種類、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・製形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	ビツト5 竪土	土師器 煎茶鉢	(14.0)	丸底	(5.1)	右丸、白・灰、赤色粒	良好	橙	外周1周部コナナ。1周外縁、底部との間に筋道を有し、以下ヘラウズリ。内周1周部コナナ及びユビナ型彫。	1・2残存。
2	竪土	土師器 煎茶鉢	(13.0)	丸底	(4.7)	右丸、黒雲母、白・赤色粒	良好	橙	外周1周部コナナ。1周外縁、底部との間に筋道を有し、以下ヘラウズリ。内周1周部コナナ。以下ヘラウズリ。	1・4残存。

#### H-15

No	出土位置	種類、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・製形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	竪土	土師器 煎茶鉢	(11.1)	丸底	(3.6)	右丸、黒雲母、白・赤色粒	良好	橙	外周1周部コナナ。1周は内縁して1周部まで磨ら。底部との間に筋道を有し磨ら。以下ヘラウズリ。内周1周部コナナ。以下ヘラウズリ。	1・4残存。

#### H-16

No	出土位置	種類、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形、成・製形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	No. 1	土師器 煎茶鉢	12.2	丸底	6.8	白・灰・灰赤粒、赤色粒	良好	に赤い黄褐色	外周1周部コナナ。丸を削つ体部から1周は粗く内周、体部から底部へラウズリ。内周1周部コナナ及びユビナ型彫。体部から底部へラウズリ。底部1周部コナナ及びユビナ型彫。内周1周部コナナ。以下ヘラウズリ。	1・3残存。胴径13.0cm。
2	No. 1-2	土師器 煎茶鉢	12.8	丸底	6.3	右丸、黒雲母、白・赤色粒	良好	に赤い黄褐色	外周1周部コナナ。丸を削つ体部から1周は粗く内周、体部から底部へラウズリ。底部1周部コナナ及びユビナ型彫。内周1周部コナナ。以下ヘラウズリ。	1・5残存。胴径13.3cm。

No	出土位置	種別・器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	胎形、成・整形、文様等の特徴	現状状況・備考
3	竈土	土師器 内掛杯	[170]	欠底	140	赤土、黒雲母、茶色粒	良好	にぶい・黄褐色	外腹1線部コケナテ。内腹まる体部から口縁は水平突縁に繋がる1線部が短く明瞭で、腹筋から口縁部へは、腹筋と口縁部との間に内腹1線部コケナテ。腹部へツツナテ後、下部は斜めへツツナテも顕著	口縁部一部欠損。
4	竈土、1層上	土師器 甕	[134~153]	65	28.9	白・黒細粒	良好	明褐色 にぶい・黄褐色	外腹1線部コケナテ及び口縁部より、口縁は1線部として下部まで繋がる。明瞭で、腹筋は多少方向性あり、口縁部より口縁部下部まで繋がる。腹筋一定方向のヘラツクスリ。全体に茶黒調の内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	3.5塊あり、5.5塊あり。

H-19

No	出土位置	種別・器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	胎形、成・整形、文様等の特徴	現状状況・備考
1	No.18	土師器 蓋	123	丸底	41	白・灰・灰褐色 細粒	良好	黄緑色	外腹コケナテ。上部は腹筋から口縁部へツツナテ。腹筋と口縁部の間に腹筋を中心とする帯を持ち、口縁部から内腹まで内腹コケナテ。	口縁部一部欠損。
2	竈土	土師器 蓋	[114.0]	丸底部径60	33	灰・黄・茶色粒	良好	黄緑色	外腹コケナテ。上部は腹筋から口縁部まで直線的で、上部から中部にかけて斜めヘラツクスリが顕著。口縁部から内腹まで内腹コケナテ。	3.4塊あり。
3	竈土	土師器 酒杯	欠底	底径径126.0	[130]	白・灰・灰褐色 細粒	良好	黄緑色	外腹コケナテ。腹筋下部に浅孔の下腹筋が残存。腹筋は6mm程、内腹コケナテ。	腹筋下部・一部欠損。 底径あり。
4	No.1	土師器 横須杯	110	丸底	35	石黒、黒雲母 粒、灰・灰褐色 細粒	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁は外腹して口縁部外腹。腹筋との間に明確な唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	空存、底径あり。
5	No.2	土師器 横須杯	113	丸底	35	石黒、黒雲母 粒、灰・灰褐色 細粒	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁は外腹して口縁部外腹。腹筋との間に唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	空存、底径あり。
6	No.4	土師器 横須杯	115	丸底	37	白・灰・茶色粒	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁は外腹して口縁部外腹。腹筋との間に唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	口縁部一部欠損。 底径あり。
7	No.13	土師器 横須杯	114	丸底	36	白・灰・茶色粒	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁は外腹して口縁部外腹。腹筋との間に明確な唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	空存。
8	No.14 1層上	土師器 横須杯	114	丸底	36	石黒、黒雲母 粒、灰・灰褐色 細粒	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁は外腹して口縁部外腹。腹筋との間に明確な唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	口縁部一部欠損。
9	No.16	土師器 横須杯	[110]	丸底	31	石黒細粒、 チヤート細粒、 灰・灰褐色 細粒	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁は外腹して、腹筋との間に明確な唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	2.5塊あり。
10	竈土	土師器 横須杯	114	丸底	40	石黒、黒雲母 粒、灰・灰褐色 細粒	良好	明赤褐色	外腹1線部コケナテ、口縁外腹。腹筋との間に明確な唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	口縁部一部欠損。
11	竈土	土師器 横須杯	111	丸底	40	石黒、黒雲母 粒、灰・灰褐色 細粒	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁は腹筋から内腹して腹筋との間に明確な唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	3.6塊あり。
12	No.9	土師器 横須杯	115	丸底	35	石黒、黒雲母 粒、灰・灰褐色 細粒	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁は外腹して口縁部腹筋から内腹。腹筋との間に明確な唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	空存。
13	No.10	土師器 横須杯	120	丸底	40	灰・茶色粒、 チヤート細粒	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁は外腹して口縁部腹筋から内腹。腹筋との間に明確な唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	空存、底径あり。
14	No.19	土師器 横須杯	108	丸底	38	灰・灰・茶色粒、 チヤート	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁は外腹して口縁部腹筋から内腹。腹筋との間に明確な唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	空存。
15	No.20	土師器 横須杯	110	丸底	37	灰・茶色粒、 チヤート	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁は外腹して口縁部腹筋から内腹。腹筋との間に明確な唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	3.4塊あり。
16	No.12	土師器 横須杯	125	丸底	48	灰・灰褐色粒、 白色灰質粒、 黒石	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁は外腹して口縁部外腹。腹筋との間に唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	空存。
17	竈土	土師器 杯	[152]	丸底	53	黒雲母粒、白・ 灰・茶色粒	良好	明赤褐色	外腹1線部コケナテ、口縁は直上して腹筋との間に唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	2.5塊あり。
18	No.8	土師器 横須杯	[170]	欠底	153	白・黄・灰褐色 細粒、黒石	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁は外腹して、丸みを帯びた口縁に明確な唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。丸みを帯びた口縁に腹筋と口縁部との間に内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ及びスジナテ、口縁から腹筋と口縁部直線付着。	口縁部一部欠損。
19	No.3	土師器 内掛杯	137	丸底	46	6mm程度の石 黒、黒雲母 粒、灰・灰褐色 細粒、灰褐色 粒	良好	明赤褐色	外腹1線部コケナテ、口縁は腹筋(内腹)。丸みを帯びた口縁に唇帯を持ち、口下腹筋から腹筋へツツナテ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	4.5塊あり。
20	No.5 1層上	土師器 横須杯	[218]	欠底	[201]	灰・黒雲母粒、 チヤート	良好	にぶい・黄褐色	外腹1線部コケナテ、口縁は外腹して口縁部外腹。腹筋及び口縁部は斜めへツツナテ。内腹1線部コケナテ、腹筋へツツナテ。	口縁部中心位1.4塊あり。
21	No.6 1層上	土師器 横須杯	欠底	64	[133]	石黒細粒、 チヤート細粒、 茶色粒	良好	黄	外腹腹筋部ヘラツクスリ。腹部多方向のヘラツクスリ。	腹筋中心位・底部5.3塊あり。
22	No.11・ 15層上	土師器 甕	153	66	23.5	石黒、黒雲母 粒、灰・灰褐色 細粒	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁外腹。腹筋が斜めヘラツクスリ。腹部多方向のヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、腹筋から腹筋へツツナテ。	3.4塊あり。

H-20

No	出土位置	種別・器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	胎形、成・整形、文様等の特徴	現状状況・備考
1	No.1	土師器 横須杯	103	丸底	36	石黒、黒雲母 粒、チヤート	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁外腹。腹筋との間に唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。	空存。
2	No.3 1層上	土師器 横須杯	181	丸底	66	石黒、黒雲母 粒、白色灰質粒	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁外腹。腹筋との間に明確な唇帯を持ち、口下ヘラツクスリ。口縁から腹筋に斜線付着。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。口縁から腹筋に上腹筋付着。	3.4塊あり。
3	竈土	土師器 半丸瓶	[166.0]	30	116	石黒、黒雲母 粒、チヤート、 白色粒	良好	黄	外腹1線部コケナテ、口縁腹筋から内腹。腹筋との間に唇帯を持ち、口下平腹筋のヘラツクスリ及び口下平腹筋。下部は腹筋に斜めヘラツクスリ。腹筋上部は丸みを帯びた口縁に腹筋と口縁部との間に内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。腹筋ヘラツクスリにより丸み増す。内腹1線部コケナテ、口下ヘラツクスリ。腹筋ヘラツクスリにより丸み増す。口縁は30mm、内腹筋は約1.5mm幅あり。	3.5塊あり、 口縁部3.5~10.0cm、 内腹筋付着部顕著。

No	出土位置	種別、器種	長さ	幅	高さ	材質	焼成	色調	重量	器形・成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
4	No. 4	土師器 長胴壺	(25.2)	4.5	(22.8) (0.2)	白灰、黒雲母、 赤、ナッ ク、灰白粒	良好	にじみ黄 褐色	—	外周に黒線ヨコナテ、口縁は赤平刷毛に大きく外周、胴部黒印ヘ ナツテリ、底面一定方向のヘナツテリ、 内面に黒線ヨコナテ、胴部ヘナツテリ残ミナリ遺存。	1面一側部が片及び胴部下 部一底部残存。 出土位置。

#### H-21

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形・成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	No. 1	土師器 長胴壺	(25.8)	4.8	(22.5)	白灰、黒雲母、 赤、白灰粒	良好	黄	—	外周に黒線ヨコナテ、口縁は赤平刷毛に外周、胴部黒印ヘナツテ リ、内面に黒線ヨコナテ、胴部ヘナツテリ。	1面一側部1位置。

#### W-1

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形・成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	No. 2	かわらけ	11.0	6.8	27	白灰、黒雲母、 赤、茶色	酸化焼	明焼	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ。	1面側一部欠損。
2	甌土	かわらけ	8.4	4.6	21	白、赤、灰白粒	良好	黄灰 風黄	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯りから同軸赤帯り、油煙・黒灰印 クワナテ帯りした付着物あり。 内周にクワナテ、油煙・黒灰印付着物あり。	1面一側部1位置。 1面一側部1位置。
3	No. 1 - 甌土	新形土師 器片	(26.5)	(25.5)	(18.5)	白灰黒雲母、 ナック1層付	良好	黄 褐色	—	外周黒線ナテ、口縁帯り特異。口縁部で更に黒く外周、頸下平 刷毛ナテの黒線ヨコナテナリ遺存。底面黒印ヘナツテリナリ、底 面は赤を呈する。ナテ付有る。ナテ付有る。 内周にクワナテ、内周面黒線ナテ。	1-2残存。
No	出土位置	種別、器種	長さ	幅	高さ	材質	焼成	色調	重量	器形・成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
4	甌土	新形土 甌	25.4	26.2	0.9	甌	—	—	3.5	残存不明。表面に黒線に黒線帯り。厚み約0.2cm。 表面黒線赤線不明。ナテ付有る。全体に緑化している。	1-2残存。 1-2残存。
4	甌土	石製土 甌	(7.3)	2.3	22	陶質	—	—	40.4	胎、表面、石。外周黒線ナテ下部は赤平刷毛の黒線赤帯り 黒線赤帯りのみ。平部が黒線。表面黒線には2 条の黒線赤帯りも認められる。	1面側一部欠損。

#### W-2

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形・成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	甌土	かわらけ	7.4	5.2	1.9	白、灰白粒	酸化焼	にじみ黄 褐色	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ。	2-3残存。
2	甌土	かわらけ	(6.6)	(5.2)	2.0	白灰黒雲母、 赤、灰白粒	酸化焼	黄	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ。	2-5残存。
3	甌土	新形土師 器片	(9.3)	4.8	(4.2)	白、赤、灰白粒	酸化焼	にじみ黄 褐色	—	外周にクワナテ、底面赤線ナテ。内周面 黒線赤帯り後、平部 赤線ナテの黒線ヨコナテナリ遺存。底面黒 線赤帯り。内周にクワナテ、底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ、底面黒線赤帯り。底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ。	1-3残存。 1面側一部欠損。 1面側一部欠損。

#### W-3

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形・成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	甌土	笠形器 甌	(8.7)	4.6	1.6	白灰、黒雲母、 赤、茶色	酸化焼	にじみ黄 褐色	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ。	2-3残存。
2	甌土	笠形器 甌	(14.0)	(8.4)	3.6	白灰、黒雲母、 赤、灰白粒	酸化焼	浅黄	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ。	1-3残存。 1面側一部欠損。
3	甌土	笠形器 甌	(15.4)	(9.0)	3.4	白灰、黒雲母、 赤、灰白粒	酸化焼	浅黄	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ。	1-3残存。
4	甌土	笠形器 甌	(14.0)	(5.2)	3.9	白灰、黒雲母、 赤、灰白粒	酸化焼	浅黄	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ。	1-6残存。
5	甌土	笠形器 甌	4.8	6.5	(2.1)	白灰、黒雲母、 赤、灰白粒	酸化焼	浅黄	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ。	1面下部一底部残存。
6	甌土	笠形器 甌	4.8	(7.0)	(2.1)	白灰、黒雲母、 赤、灰白粒	酸化焼	浅黄	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ。	1面下部一底部残存。

#### W-4

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形・成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	甌土	笠形器 甌	(10.5)	(6.3)	2.8	白灰、黒雲母、 赤、ナッ ク、ナッ ク	酸化焼	赤褐色 褐色	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ。	1-3残存。
2	No. 1-2	土師器 甌	12.5	4.8	(13.9)	白灰黒雲母、 灰白粒、輝石	中々軟質	にじみ黄 褐色	—	外周に黒線ヨコナテ、口縁赤。表面黒印ヘナツテリ、表面下部 黒線ヨコナテナリ。平部がクワナテ。以下ヘナツテリ。 内面に黒線ヨコナテ。	3-4残存。 中々軟質。赤帯り。

#### W-5

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形・成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	甌土	笠形器 甌	(10.0)	(8.0)	1.4	白、赤、灰 白粒	酸化焼	黄	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ。	1-3残存。

#### J-3

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形・成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	甌土	白磁 甌	4.8	(8.0)	(3.5)	粘土質、石灰	軟質	灰白	—	外周にクワナテ、底面下部から高白部黒線赤帯りナツテリ 遺存。底面黒線ヨコナテ、赤線黒線赤帯り。 内周にクワナテ。底面黒線赤帯り。表面黒線赤帯り。	1面側一部一底部部。 白磁焼。

#### D-14

No	出土位置	種別、器種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形・成・整形、文様等の特徴	保存状況・備考
1	甌土	白磁 甌	(7.0)	4.8	(3.6)	粘土質	軟質	灰白	—	外周にクワナテ、底面下部から高白部黒線赤帯りナツテリ 遺存。底面黒線ヨコナテ、赤線黒線赤帯り。 内周にクワナテ。表面黒線赤帯り。	1面一側部中央。白磁焼。 11.5g。底面赤線・12.5g。底面赤線赤帯り。
2	甌土	笠形器 甌	(13.8)	7.0	4.0	白灰、黒雲母、 赤、灰白粒	酸化焼	黄 褐色	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯り。 内周にクワナテ。	1-2残存。
3	甌土	笠形器 甌	4.8	(8.2)	(2.2)	白灰、黒雲母、 赤、灰白粒	酸化焼	明黄褐色	—	外周にクワナテ、底面黒線赤帯り。底面黒線赤帯り。底面 黒線赤帯り。中々軟質のみ認められる。 内周に黒線ヨコナテナリ。平部がクワナテ。以下ヘナツテリ。	1面側一部3残存。 白磁焼。



## 遺構外

No	出土位置	種別・番種	長さ	幅	厚さ	胎土	焼成	色調	器形・成・彫形・文様等の特徴	現状状況・備考	
1	X201 Y201 アソウナブ	縄文土器 鉢	(36)	(47)	(11)	石灰、炭素 母、白・赤色 斑	良好	によい黄 褐色	外縁浅凹口縁、口縁部で指痕も持ち口縁内縁、肩・口縁部 に2段の凹状突起文あり。	119号器片 縄文中層末～後期前期。	
2	Ⅱ-4 甕土	縄文土器 成鉢	(34)	(56)	(07)	石灰、炭素 母、白色斑	良好	によい黄 褐色	内縁浅凹口縁部、口縁部で指痕も持ち口縁、無 文の口縁部より文様を施す。以下に器底の丸見、内縁 内凹ヘラミダキ。	119号器片 縄文～後土器初期、 119号器片(140) 深 縁土器片、加賀川土器。	
3	X200 Y200 アソウナブ 甕土	縄文土器 成鉢	(69)	(49)	(17)	石灰、炭素 母、白色斑	良好	明赤褐色	外縁口縁部、口縁下部に指痕の残存を認められ、以下に縄文土器文、 内縁口縁部ヘラミダキ。	119号器片 縄文土器、加賀川土器。	
4	Ⅱ-14 甕土	縄文土器 成鉢	(53)	(63)	(13)	石灰、炭素 母、赤色斑	良好	明赤褐色	外縁は整齊な凹口縁にL字状文あり。 内縁ヘラナツテ。	119号器片 縄文土器、加賀川土器。	
5	X200 Y200 No.1	縄文土器 甕	欠底	6.8	(3.6)	粘土質、白色 斑	良好	緑褐色	外縁口縁部ナツテ、底縁部より高台、高台内縁部コシナツテ整形、 内縁口縁部ナツテ。底縁部ヘラミダキ調整小。全面縁部輪彫。	甕器下層～成器片存。 縁部輪彫。	
6	X201 Y200 甕土	縄文土器 甕	(104)	(51)	2.3	石灰、炭素 母	輪化弱	灰白	外縁口縁部ナツテ。底縁部輪彫ナツテ。 内縁口縁部ナツテ。	2.5号器片。	
7	X201 Y201 甕土	縄文土器 甕	欠底	(6.0)	(2.3)	石灰、炭素 母、赤色斑	良好	黄褐色	外縁口縁部ナツテ。底縁部輪彫ナツテ。 内縁口縁部ナツテ。	甕器下層～成器片。	
8	X201 Y201 甕土	縄文土器 高台付筒	(114)	(6.0)	(2.7)	石灰、炭素 母、赤色斑 下、赤色斑	輪化弱	浅黄褐色	外縁口縁部ナツテ。底縁部輪彫ナツテ。 内縁口縁部ナツテ。	1.4号器片。	
9	Ⅱ-10 No.1	土器器 内凹口縁部	(14.0)	丸底	(4.3)	石灰、炭素 母、赤色斑	良好	明赤褐色	外縁口縁部コシナツテ。内凹する体部から口縁は水平状に突き出 り縁部が突出する。体部から底縁へヘラミダキ。体部上縁部コ シナツテ調整。 内縁口縁部コシナツテ。以下ヘラナツテ。上平縁下部を斜縁ヘラミ ダキ調整。	1.4号器片。	
10	Ⅱ-2 甕土	土器器 内凹口縁部	(13.5)	丸底	(4.9)	石灰、炭素 母、赤色斑	良好	赤褐色	外縁口縁部コシナツテ。内凹する体部から口縁は水平状に突き出 り縁部が突出する。体部から底縁へヘラミダキ。体部上縁部コ シナツテ調整。 内縁口縁部コシナツテ。以下ヘラナツテ。上平縁下部を斜縁ヘラミ ダキ調整。	2.4号器片。	
11	Ⅱ-9 甕土	土器器 内凹口縁部	(11.7)	丸底	(3.9)	石灰、炭素 母、赤色斑	良好	明赤褐色	外縁口縁部コシナツテ。口縁部なし。底縁との間に指痕を認められ、以下 ヘラナツテ。 内縁口縁部コシナツテ。以下ヘラナツテ。	3.4号器片。	
12	甕土	土器器 内凹口縁部	(11.0)	丸底	(3.3)	石灰、炭素 母、赤色斑	良好	赤褐色	外縁口縁部コシナツテ。口縁は緩やかに外湾、底縁との間に指痕を認 められ、以下ヘラミダキ。 内縁口縁部コシナツテ。以下ヘラナツテ。	2.5号器片。	
13	X203 Y200 甕土	縄文土器 甕	欠底	欠底	(7.5)	石灰、炭素 母、赤色斑	輪化弱	灰白	外縁平直口縁、丁寧な調整ヘラミダキにより六角形の縁部整形。 内縁部コシナツテ調整。	六角形器片。	
14	X203 Y200 甕土	縄文土器 器片	欠底	(14.0) 縁部文あり	(4.6)	石灰、炭素 母、赤色斑	輪化弱	によい黄 褐色	外縁口縁部ナツテ。底縁部輪彫ナツテ。平縁部整形による縁部(脚 縁)内縁部コシナツテ調整。 内縁口縁部ナツテ。	甕器下層～成器片。	
No	出土位置	種別・番種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	器形・成・彫形・文様等の特徴	現状状況・備考	
15	全帯層土	陶製品 鉢	2.62	2.59	0.34	陶	-	-	6.3	器底 水車型。底面 小凹。穿孔径φ47mm。全体 に緑釉化が顕著。	3号、2号器片。 全帯層末 1400～1600年
16	Ⅱ-6 甕土	石製品 白玉	1.5	1.4	0.65	滑石	-	-	2.4	少部輪彫。滑、裏面及び側面に以経線部と横線部が刻み 入れ、輪彫には経線部の縦に線が認められる。	3号器片。 穴径φ3.25cm。
17	Ⅱ-6 甕土	石製品 板状器	27	1.85	0.9	チャート	-	-	5.8	全体に磨耗が顕著で滑らか。扁平で全面磨削が認め られる。	定存。

## 5区

## ピット

No	出土位置	種別・番種	口徑	底径	高さ	胎土	焼成	色調	器形・成・彫形・文様等の特徴	現状状況・備考
1	P-170 甕土	縄文土器 甕	(7.5)	4.7	2.1	石灰、炭素 母、赤色斑	黄褐色	灰白	外縁口縁部ナツテ。底縁部輪彫ナツテ。 内縁口縁部ナツテ。	2.3号器片。
2	P-169 甕土	縄文土器 甕	(9.5)	4.9	2.6	石灰、炭素 母、赤色斑	輪化弱	明赤褐色	外縁口縁部ナツテ。底縁部輪彫ナツテ。 内縁口縁部ナツテ。	2.5号器片。

## 遺構外

No	出土位置	種別・番種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	器形・成・彫形・文様等の特徴	現状状況・備考
1	全帯層土	陶製品 鉢	2.48	0.71	0.13	陶	-	-	2.6	器底平直。全体に緑釉化が顕著。	定存。1030年程度。

## 6区

## Ⅱ-1

No	出土位置	種別・番種	口徑	底径	高さ	胎土	焼成	色調	重量	器形・成・彫形・文様等の特徴	現状状況・備考
1	No.1	縄文土器 甕	14.0	10.6	3.6	石灰、炭素 母、赤色斑	黄褐色	灰白	灰白	外縁口縁部ナツテ。底縁(凹縁部ナツテ)口縁ヘラミダキ調整。 内縁口縁部ナツテ。	口縁部一部欠底。
2	No.5	縄文土器 甕	11.8	9.0	3.1	石灰、炭素 母、白・赤・ 灰・赤色斑	黄褐色	灰	灰	外縁口縁部ナツテ。底縁(凹縁部ナツテ)口縁ヘラミダキ調整。 内縁口縁部ナツテ。	口縁部定存。
No	出土位置	種別・番種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	器形・成・彫形・文様等の特徴	現状状況・備考
3	甕土	石製品 不明	4.5	4.1	2.6	滑石	-	-	10.7	滑、裏・左・右縁部及び上下面に丁寧な半面磨削工 を施し、輪彫部と横線部が刻み入れ、穴径φ4mm程度で 滑、裏面に半面打石加工が認められる。表面に半面打 石の色。	経線部の完成品小。
4	No.3	石器 磨製石	13.0	6.0	3.1	緑閃石	-	-	334.5	石部は磨削により全体に滑らかで、滑、裏面の下半部 に輪彫が認められる。	定存。
5	No.4	石器 磨製石	12.1	5.6	3.3	輝石安山岩	-	-	327.5	石部は磨削により全体に滑らか。	半磨製欠底。
6	No.6	石器 磨製石	12.5	6.0	5.0	黒色頁岩	-	-	518.9	石部は磨削により全体に滑らか。	定存。

No	出仕位置	種類、面積	口徑	経度	高さ	軸土	舗成	色調	形状、成、形、文様等の特徴	現状状況・備考	
1	覆土	かわらけ	(90)	(70)	20	白土、黒色砂土、多量灰	酸化磁	浅黄緑	円筒コナラナド、底面円形ホリ。	2・5残存。	
2	覆土	かわらけ	(65)	(60)	21	白土、黒色砂土、少量灰	酸化磁	浅黄緑	円筒コナラナド、底面円形ホリ。	2・5残存。	
3	覆土	かわらけ	欠損	70	(20)	白土、黒色砂土、灰・赤色灰	酸化磁	浅黄緑	円筒コナラナド、底面円形ホリ。	底面下部～高さ3・4残存。	
4	覆土	かわらけ	欠損	(90)	(34)	黒色砂土、白土	酸化磁	浅黄緑	円筒コナラナド、底面円形ホリ。	底面中央～高さ1・3残存。	
5	覆土	黒砂 葉	欠損	欠損	(76)	白色陶器片、赤色灰	還元磁	暗赤黒	円筒コナラナド、円形断面。	底面中央、窪面。	
6	覆土	瓦 軒丸瓦	(20)	14.3	(13.5)	白色陶器片、赤色灰、灰土	還元磁	暗赤	瓦葺形内側に黒土層で覆た、内径は長さ約20cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	軒上上部中央、中央、小欠損等分露。脇3残存。	
7	覆土	瓦 軒丸瓦	(39)	(4.5)	(11.7)	黒色砂土、白土	還元磁	暗赤 灰黄緑	瓦葺形内側に黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。瓦葺形内側に黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	瓦葺形内縁は黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	
8	覆土	瓦 軒丸瓦	(43)	(11.0)	(9.7)	白・灰・灰土	還元磁	灰	瓦葺形内縁は黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	瓦葺形内縁は黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	
9	覆土	瓦 軒丸瓦	(47)	(7.1)	(10.6)	白色陶器片、黒土灰	還元磁	暗赤	瓦葺形内縁は黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	瓦葺形内縁は黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	
10	覆土	瓦 丸瓦	(30.7)	(11.8)	7.5	黒色砂土、白土	還元磁	暗赤	凸面方向の突起が幅約5cm、高約2cm。窪面方向の突起が幅約5cm、高約2cm。窪面方向の突起が幅約5cm、高約2cm。	軒上、瓦葺形及び瓦葺形内縁は黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	
11	覆土	瓦 丸瓦	(22.7)	(4.2)	(7.2)	白・灰・灰土	還元磁	黄灰	凸面方向の突起が幅約5cm、高約2cm。窪面方向の突起が幅約5cm、高約2cm。窪面方向の突起が幅約5cm、高約2cm。	瓦葺形内縁は黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	
12	覆土	瓦 軒丸瓦	(23.3)	(11.1)	(6.6)	白土、黒色砂土、少量灰	酸化磁	浅黄緑	瓦葺形内縁は黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	軒上、瓦葺形及び瓦葺形内縁は黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	
13	覆土	瓦 軒丸瓦	(39)	(2.0)	(5.6)	白・灰・灰土、チヤート	酸化磁	上黄色	瓦葺形内縁は黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	瓦葺形内縁は黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	
14	覆土	瓦 軒丸瓦	(199)	(134)	2.3	白土、黒色砂土、少量灰	還元磁	黄灰	凸面及び窪面に突起、側面・下部凹凸ナドあり、面取り形状。凸面及び窪面に突起、側面・下部凹凸ナドあり、面取り形状。	窪内、中央。	
15	覆土	瓦 軒丸瓦	(210)	(133)	2.3	白・灰・灰土	還元磁	黄灰	凸面及び窪面に突起、側面・下部凹凸ナドあり、面取り形状。凸面及び窪面に突起、側面・下部凹凸ナドあり、面取り形状。	窪及び低下隅部欠損。中央。	
16	覆土	瓦 葺形瓦	(13.3)	(144)	(74)	白色陶器片、灰・灰土	還元磁	灰	凸面・凹面及び窪面に突起、側面・下部凹凸ナドあり、面取り形状。凸面・凹面及び窪面に突起、側面・下部凹凸ナドあり、面取り形状。	窪内角内、中央。	
17	覆土	瓦 瓦葺瓦	(16.5)	(124)	9.1	白土、黒色砂土、少量灰	還元磁	黄灰 暗赤	瓦葺形内縁に黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	窪面中央～高さ9.1、窪面中央～高さ9.1、窪面中央～高さ9.1。	
18	覆土	瓦 瓦葺瓦	(6.2)	(12.5)	(7.2)	白色陶器片、灰土	還元磁	灰	瓦葺形内縁に黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	窪内角内、中央、右下隅部欠損。	
19	覆土	瓦 瓦葺瓦	(7.3)	(9.0)	(4.9)	灰色土	還元磁	灰	瓦葺形内縁に黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	窪面中央、中央。	
20	覆土	瓦 瓦葺瓦	(9.2)	(7.3)	(15.7)	白色陶器片、赤色灰、灰土	還元磁	黄灰	瓦葺形内縁に黒土層で覆た、内径は長さ約30cmの筒状に造形。溝径は長さ約10cm、深さ約5cm。	窪面中央、中央。	
No	出仕位置	種類、面積	長さ	幅	厚さ	材質	舗成	色調	重量	形状、成、形、文様等の特徴	現状状況・備考
21	覆土	石製品 石床	(14.3)	(30.2)	(32)	練り質	-	-	53.7	表面は丁寧な平加工。縦線は5mmに10mmの溝で表出している。下部には石の割れ目や凹凸がある。表面は平加工が施されていて、やや凹凸が目立たない。	石上層部。
22	覆土	石製品 石床	4.7	3.5	7.9	表式質	-	-	73.8	表面は自然産の表材に削いて、縦2.0mm、横7.2mm、厚さ4.0mmの凹部を1つ作出している。	一面欠損。
1											
No	出仕位置	種類、面積	長さ	幅	厚さ	材質	舗成	色調	重量	形状、成、形、文様等の特徴	現状状況・備考
1	覆土	灰砂 葉	(16.2)	欠損	(76)	白色陶器片、黒土灰	還元磁	灰		円筒コナラナド、口縁は外側に溝を1つ掘り、底面に溝がある。底面中央に突起がある。口縁は外側に溝を1つ掘り、底面に溝がある。	口縁～側面1上方。
No	出仕位置	種類、面積	長さ	幅	厚さ	材質	舗成	色調	重量	形状、成、形、文様等の特徴	現状状況・備考
2	覆土	石製品 石石小	4.6	5.5	4.5	角閃石を主成分とする	-	-	43.2	角丸の三角錐を呈して、裏1面に縦は約1cmを呈する。凹部は縦に2.5mm分を、横に約1.5mm分を呈し、縦2～7mmの溝が縦線が直線的にあらわされる。	欠存。
D-6											
No	出仕位置	種類、面積	長さ	幅	厚さ	軸土	舗成	色調	形状、成、形、文様等の特徴	現状状況・備考	
1	覆土	瓦 平瓦	(24.1)	(27.6)	2.3～1.3	黄土系砂土、白土	還元磁	灰		凹面有目録。凸面縁及び側縁に突起、側面及び下部凹面あり。凸面縁及び側縁有目録。	低下角内。

## 遺構外

No	出土位置	種別・器種	長さ	幅	厚さ	胎土	焼成	色調	胎形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考	
1	W-1 墓土	陶土器 深鉢	14.0	16.0	1.0	石莖、灰田母 ナード、白 土化	丸形	青	内面縁部には唐文（花）施文。 内面ムビナテ。	頸部口。 腹文中程、加付料王1。	
2	W-1 墓土	瓦 軒瓦瓦	2.5	7.0	11.5	白色粘板、 灰土化	薄化端	黄灰	瓦当部内面は唐文、内面は唐文を積み重ねの形を呈し、側面 ヘラツズリ施ムビナテ。 瓦当内面半目取、下縁部ムビナテ調整。	瓦当部1/4残存。	
3	W-1 墓土	瓦 軒瓦瓦	1.9	5.7	14.7	石莖、灰土 化	薄化端	灰	瓦当部内面は唐文、内面は唐文を積み重ねの形を呈し（半面が 瓦当内面半目取）。	瓦当部1/4残存。	
4	W-1 墓土	瓦 平瓦	19.0	9.0	2.4	石莖粘板、白 土・灰土化	薄化端	黄灰	四角舟目取。 凸部ヘラツズリ。施文ムビナテ。 「念」字。	破片、文字有り。	
5	W-1 墓土	瓦 平瓦	19.0	7.0	2.0	石莖粘板、灰 土化	薄化端	黄灰	四角舟目取。石縁部0.8cm幅のヘラツズリ。側面は縁部に横溝を持つ ヘラツズリ。取付部は縁部の半面縁部と凸部縁部、斜射する半面 縁部の2線。 凸部ヘラツズリ。施文ムビナテ。文字不明。	右側縁部口、文字有り。	
6	W-1 墓土	瓦 平瓦	9.7	10.4	2.6	石莖粘板、白 土化	薄化端	黄灰	四角舟目取及び石縁部0.8cm幅のヘラツズリ。半面縁部。施文ムビナテ。 「念」字。 凸部ヘラツズリ及びヘラツズリ。	中破片、文字有り。	
7	W-1 墓土	瓦 平瓦	6.9	7.2	1.6	石莖、茶色化	やや薄化端	黄灰 灰黄	四角舟目取。右側部ヘラツズリ。取付部は半面縁部と凸部縁部に横 溝。 凸部ヘラツズリ。施文不明。	右側縁部口。	
8	W-1 墓土	瓦 平瓦	11.7	10.4	2.2	石莖、ナター 土焼成、白色 化	薄化端	黄灰 灰白	四角舟目取。右側部0.8cm幅のヘラツズリ。側面ヘラツズリ。取付 部は半面縁部と凸部縁部に横溝。 凸部ヘラツズリ及びヘラツズリ。	右下隅内面口。	
9	全壊墓土	瓦 平瓦	22.0	14.7	2.1	～11mm丸の ナター、石 莖粘板、白色 化	薄化端	黄灰	四角舟目取。右側部は半目取をヘラツズリによる縁取り、取付部 は半面縁部、半面縁部ヘラツズリ及び凸部ヘラツズリ。取付部は半面縁 部による縁取りを呈する。 凸部縁部「念」字有り。下縁部ムビナテ。半面ムビナテ。	右下隅内面口。	
No	出土位置	種別・器種	長さ	幅	厚さ	材質	焼成	色調	重量	胎形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
10	W-1 墓土	石造 平蓋形石函	1.8	1.2	0.45	雲母石	-	-	0.8	長部中央付近に雲母結晶が散在の研削面を現し、やや粗 い面状表面を呈し丸みを帯びた石函縁取り、半蓋部を 持出ししている。	完存。

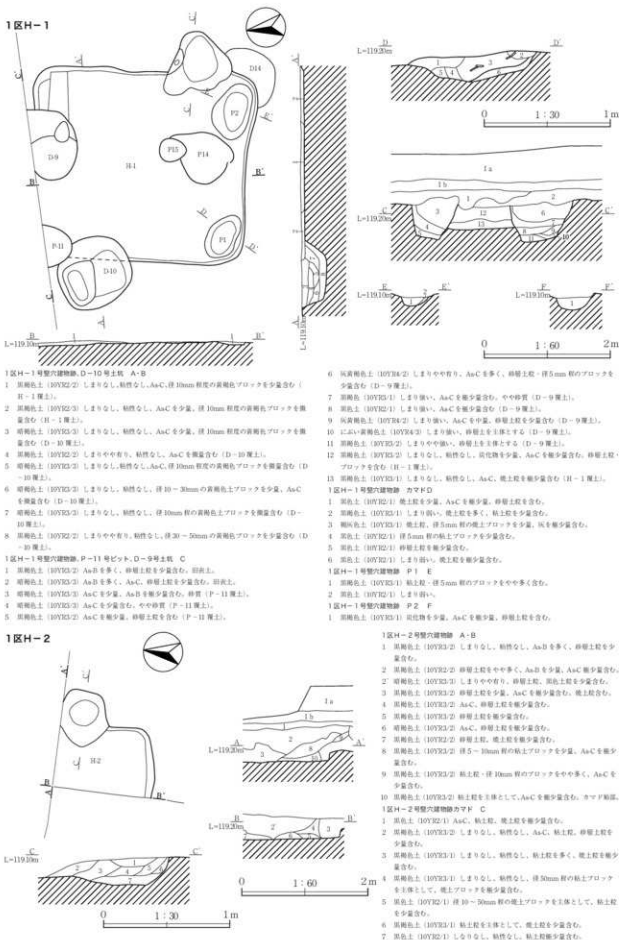
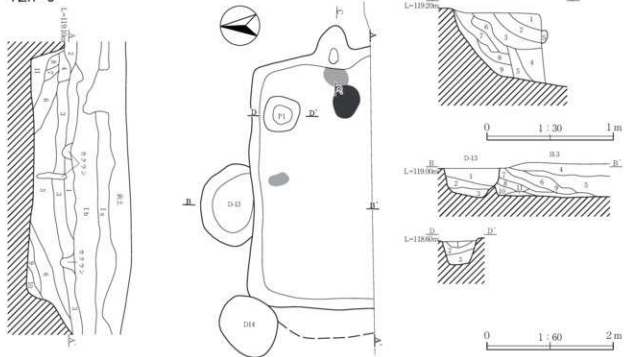


Fig.9 1区H-1・2号型穴建物跡

1区H-3



1区H-3号竪穴建物跡 A

- 1 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、径10mm程の黒褐色アロク、AsC、焼土粒を微量含む。
- 2 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、AsCを少量含む。
- 3 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、焼土粒、径10～20mm程の黒褐色アロクを少量、AsCを微量含む。
- 4 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、径10～20mm程の黒褐色アロクを少量、AsC、焼土粒を微量含む。
- 5 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、径20～50mm程の黒褐色アロクを非常に多く、黒褐色土粒を微量含む、灰色の粘り土が混入する。
- 6 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、径10～20mm程の黒褐色アロクを少量、AsCを微量含む、C面がアロク状に混入する。
- 7 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、黒褐色土粒、灰土を少量、AsCを微量含む。
- 8 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、AsC、径10mm程の黒褐色アロクを微量含む。
- 9 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、黒褐色土粒を微量含む。
- 10 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、径10～20mmの黒褐色アロクを多く含む。
- 11 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、径10mmの黒褐色アロクを少量含む。

1区H-3号竪穴建物跡、D-13号土坑 B

- 1 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、AsC、径10～20mm程の灰化粒を少量、砂礫土粒を少量含む (D-13覆土)。
- 2 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、AsCを少量、径10mm程の砂礫アロク、灰化粒を少量含む (D-13覆土)。
- 3 濃い黄褐色土 (H9734) しまりあり、粘りなし、径20～30mmの砂礫アロクを非常に多く含む (D-13覆土)。
- 4 黒褐色土 (H9732) しまりややあり、粘りなし、径10～20mmの黒褐色アロクを多く、AsCを微量含む (H-3覆土)。

- 5 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、径20～50mmの黒褐色アロクを非常に多く、AsCを微量含む、灰色の粘り土が混入する (H-3覆土)。
- 6 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、径10～20mmの黒褐色アロクを少量、AsCを少量含む、C面がアロク状に混入する (H-3覆土)。
- 7 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、AsC、径10mmの黒褐色アロクを微量含む (H-3覆土)。
- 8 黒褐色土 (H9732) しまりあり、粘りなし、AsCを少量、焼土粒を微量含む (H-3覆土)。
- 9 黒褐色土 (H9732) しまりなし、粘りなし、焼土粒、黒褐色土粒を少量含む (H-3覆土)。
- 10 黒褐色土 (H9732) しまりややあり、粘りなし、焼土粒を少量含む (H-3覆土)。
- 11 黒褐色土 (H9732) しまりややあり、粘りなし、焼土粒、径20mm程のアロクを非常に多く、径20～30mmの黒褐色アロクを少量含む (H-3覆土)。

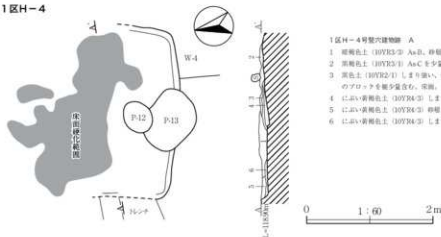
1区H-3号竪穴建物跡 カマド C

- 1 灰黒褐色土 (H9734) 砂礫土粒-径5mm程のアロクを少量、焼土粒、灰化粒を微量含む。
- 2 灰黒褐色土 (H9734) 砂礫土粒、黒褐色土粒をやや多く、焼土粒を少量含む。
- 3 黒褐色土 (H9732) 砂礫土粒を少量、AsC、灰化粒を微量含む、焼土粒を含む。
- 4 黒褐色土 (H9732) AsC、砂礫土粒を少量含む。
- 5 黒褐色土 (H9732) 焼土粒-径5mm程のアロクを少量、AsC、砂礫土粒を微量含む。
- 6 灰黒褐色土 (H9734) 焼土を主体として、砂礫土粒、焼土粒を少量含む。
- 7 黒褐色土 (H9732) 焼土粒をやや多く、AsC、黒褐色土粒、砂礫土粒を少量含む。
- 8 黒褐色土 (H9732) 焼土粒を多く、黒褐色土粒をやや多く含む。
- 9 黒褐色土 (H9732) 焼土粒、砂礫土粒を少量含む。

1区H-3号竪穴建物跡 P-1 D

- 1 黒褐色土 (H9732) 黒褐色土を多く、砂礫土粒を少量含む。
- 2 灰黒褐色土 (H9734) しまり強い、径5～10mm程の砂礫土粒アロクを少量含む。
- 3 黒褐色土 (H9732) しまり強い、砂礫土粒、径5～20mmの砂礫土アロクを少量含む。

1区H-4

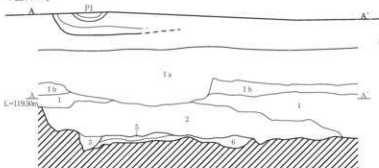


1区H-4号竪穴建物跡 A

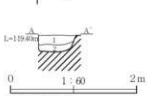
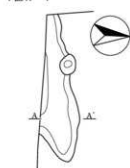
- 1 黒褐色土 (H9732) AsB、砂礫土粒を少量含む。
- 2 黒褐色土 (H9732) AsCを少量含む、焼土アロクを含む。
- 3 黒土 (H9731) しまり強い、径5mm程の焼土アロクを少量、砂礫土粒-径30mm程のアロクを微量含む、灰濁。
- 4 濃い黄褐色土 (H9734) しまりややあり、砂礫土粒を主体とする、灰り方。
- 5 濃い黄褐色土 (H9734) 砂礫土粒を少量、AsCを微量含む。
- 6 濃い黄褐色土 (H9734) しまりなし、粘りなし、砂礫土粒を主体とする。

Fig.10 1区H-3・4号竪穴建物跡

1区H-5



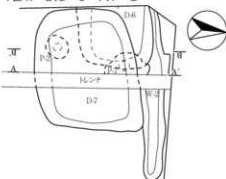
1区W-1



1区W-1号溝跡 A

- 1 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりなし、粘性なし、AaDを少量含む。砂質。
- 2 灰褐色土 (10YR3/1) 粘性ややあり、AaC少量、AaDを少量含む。砂質。

1区W-2、D-6・7、P-2



1区W-2号溝跡、D-7号土坑、P-2号ピット A

- 1 灰褐色土 (10YR3/4) しまりややあり、粘性なし。砂質、AaDを少量含む (P-2層上)。
- 2 灰褐色土 (10YR3/4) しまりなし、粘性なし、AaDを少量含む (W-2層上)。
- 3 灰褐色土 (10YR3/3) しまりややあり、粘性なし、AaD少量、AaCを少量含む (W-2層上)。
- 4 灰褐色土 (10YR2/3) しまり有り、粘性なし、径10-40mmの黄褐色フロック、AaCを多く、灰化物を微量含む。
- 5 灰褐色土 (10YR2/2) しまりややあり、粘性なし、径10mmの黄褐色フロック、AaCを少量含む。
- 6 灰褐色土 (10YR2/2) しまりややあり、粘性なし、AaC、灰土を少量、径10mmの黄褐色フロックを微量含む。
- 7 灰褐色土 (10YR2/2) しまりややあり、粘性なし、径10-30mm

1区W-3、O-1

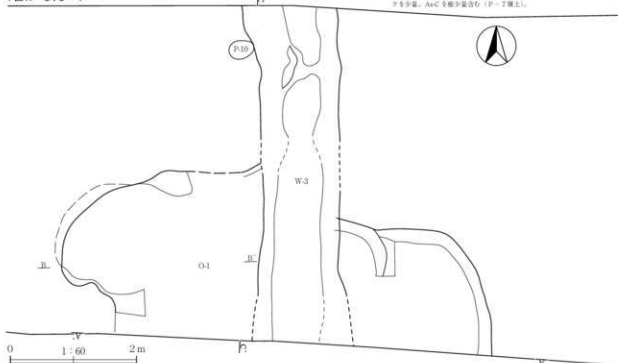
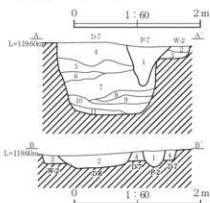


Fig.11 1区H-5号竪穴建物跡、W-1・2・3号溝跡、O-1号落ち込み、D-6・7号土坑、P-2号ピット

1区M-5号竪穴建物跡 A

- 1 灰褐色土 (10YR3/4) しまりなし、粘性なし、AaDを多く含む。砂質。
- 2 灰褐色土 (10YR3/1) 粘厚土粒をやや多く、AaC、AaD、焼土粒を少量含む。
- 3 灰褐色土 (10YR2/2) しまりなし、粘性なし、粘厚土粒・径5mm程のフロックを少量、AaCを少量含む。H-5 P1層上。
- 4 灰褐色土 (10YR2/2) 粘厚土粒・径10mm程のフロックを少量含む。
- 5 灰褐色土 (10YR2/1) しまり強い、AaC、粘厚土粒をやや多く、径10-30mm程の砂粒土粒を少量含む。H-5床面。
- 6 灰褐色土 (10YR3/4) しまりなし、粘性なし、粘厚土粒をやや多く、AaCを少量含む。H-5掘り方。

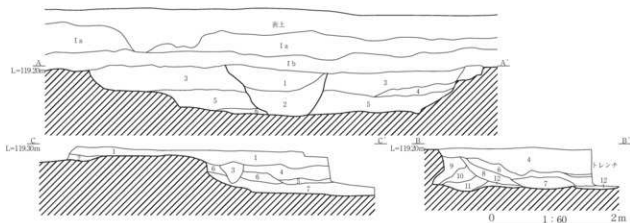


の黄褐色フロックを多く、AaCを少量含む。

- 8 灰褐色土 (10YR2/2) しまりややあり、粘性なし、径20-30mmの黄褐色フロックを多く含む。
- 9 灰褐色土 (10YR2/2) しまりややあり、粘性なし、径10-20mmの黄褐色フロックを少量含む。
- 10 灰褐色土 (10YR3/3) しまりややあり、粘性ややあり、径20-50mmの黄褐色フロックを多く含む。
- 11 灰褐色土 (10YR2/2) しまりややあり、粘性有り、径20mmの黄褐色フロックを少量含む。

1区W-2号溝跡、D-6・7号土坑、P-2号ピット B

- 1 灰褐色土 (10YR2/2) しまりなし、粘性なし、AaDを多く、砂厚土粒を少量含む (P-2層上)。
- 2 灰褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、AaDを多く含む (D-6層上)。
- 3 灰褐色土 (10YR2/2) AaD、粘厚土粒を少量、AaC、焼土粒を少量含む (W-2層上)。
- 4 灰褐色土 (10YR3/4) しまりなし、粘性なし、径5mm程の砂粒土粒を少量、AaCを少量含む (P-2層上)。

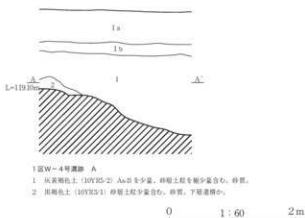
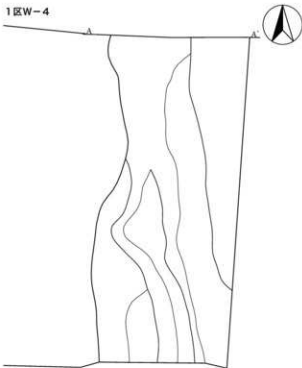


1区O-1号落ち込み、W-3号溝跡 A

- 1 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性やや有り、AsCを少量、焼土粒、炭化物を極少量含む。(W-3層上)。
- 2 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性やや有り、AsCを多く、焼土粒、炭化物、径10mm程度の黒褐色ブロックを極少量含む。(W-3層上)。
- 3 黒褐色土 (10YR2/2) しまりなし、粘性なし、AsCを多く、焼土粒、径10～20mm程度の黒褐色ブロックを少量含む。
- 4 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性やや有り、径10mm程度の黒褐色ブロック、黒褐色土を少量、AsCを極少量含む。
- 5 黒土 (10YR2/1) しまり有り、粘性有り、径10～30mm程度の黒褐色ブロック、焼土粒、径10～30mm程度の焼土ブロックを多く含む。
- 6 黒土 (10YR2/1) しまり有り、粘性なし、径30～30mm程度の黒褐色ブロックを多く含む。
- 7 黒土 (10YR2/1) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、AsBを少量含む。

- 2 黒褐色土 (10YR2/2) しまりなし、粘性なし、AsC、焼土粒、炭化物を極少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR2/2) しまりなし、粘性なし、AsC、AsDを少量含む。
- 4 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、AsCを少量、焼土粒を極少量含む。
- 5 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、AsCを少量含む。
- 6 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性やや有り、AsCを少量含む。
- 7 黒土 (10YR2/1) しまり有り、粘性有り、径30～30mm程度の黒褐色ブロックを少量、焼土粒を極少量含む。
- 8 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性やや有り、径20mm程度の黒褐色ブロックを極少量含む、黒褐色・黒色粘質土がブロック状に混入する。
- 9 黒土 (10YR2/1) しまりやや有り、粘性やや有り、径10mm程度の黒褐色ブロックを極少量含む。
- 10 黒褐色土 (10YR2/1) 粘性やや有り、径10～30mmの砂礫土ブロックをやや多く、炭化物、AsBを少量含む。
- 11 黒土 (10YR2/1) 砂礫土、AsBをやや多く、AsCを少量含む、やや砂質。
- 12 黒褐色土 (10YR2/1) 粘性やや有り、砂礫土粒をやや多く含む。

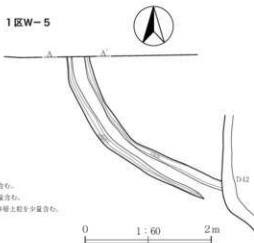
1区W-4



1区W-4号溝跡 A

- 1 灰黒褐色土 (10YR5/2) AsBを少量、砂礫土粒を極少量含む、砂質。
- 2 黒褐色土 (10YR2/1) 砂礫土粒を少量含む、砂質、下層直層状。

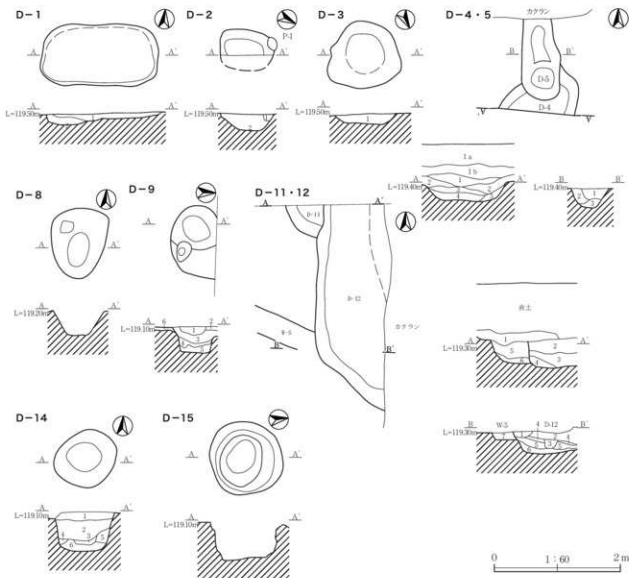
1区W-5



1区W-5号溝跡 A

- 1 黒褐色土 (10YR2/2) AsB、砂礫土粒を少量、AsCを極少量含む。
- 2 灰黒褐色土 (10YR4/2) AsDを中量、AsC、砂礫土粒を極少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR2/1) しまりなし、粘性なし、AsBを中量、砂礫土粒を少量含む。

Fig.12 W-3～5号溝跡、O-1号落ち込み。



1区D-1号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘性なし、砂質土。
- 2 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、粘性なし、砂質少量、径 10mm の黄褐色ブロッコ少量含む。

1区D-2号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10YR3/4) しまり有り、粘性なし、AsB を多く含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘性なし、砂質、AsC を少量含む。炭化物、焼土粒、径 10mm の黄褐色ブロッコ少量含む。

1区D-3号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘性なし、砂質、焼土粒を少量含む。径 10～20mm の黄褐色ブロッコ少量含む。

1区D-4号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10YR3/1) AsB を多く、AsC を少量含む。焼土粒、砂質土粒を少量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/2) AsB を多く、AsC を少量含む。焼土粒を少量含む。部分的に腐化。
- 3 黒褐色土 (10YR3/1) AsB、炭化物を少量、AsC、焼土粒、砂質土粒を少量含む。粘性やや有り。
- 4 黒土 (10YR2/1) AsC、砂質土粒を少量、AsB を少量含む。粘性やや有り。
- 5 黒褐色土 (10YR3/4) AsB を多く、AsC を少量含む。砂質。

1区D-5号土坑 B

- 1 黒褐色土 (10YR3/1) AsB を多く、AsC を少量含む。炭化物を含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/1) AsB、AsC を多く含む。やや粘り有り。
- 3 黒土 (10YR2/1) AsB を多く、AsC を少量含む。砂質。

1区D-8号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、AsB を多く、AsC、砂質土粒を少量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/1) しまり有り、AsB、AsC を少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR3/1) しまり有り、AsC をやや多く、砂質土粒を含む。
- 4 黒土 (10YR2/1) しまり有り、砂質土粒を少量含む。
- 5 黒土 (10YR2/1) しまり無し、砂質土粒、径 5mm 程度のブロッコを多く含む。

- 6 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘性なし、AsC、径 10mm の黄褐色ブロッコを少量含む。黒-1層土。

1区D-11・12号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘性なし、AsB を多く、AsC を少量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘性なし、AsC を少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘性なし、AsC、焼土粒、径 10mm 程度の黄褐色ブロッコを少量含む。
- 4 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘性なし、径 10mm 程度の黄褐色ブロッコ、焼土粒を少量含む。黒土が混入する。
- 5 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘性なし、AsC を少量含む。
- 6 黒褐色土 (10YR3/1) しまりなし、粘性なし、AsC を少量含む。

1区W-5号溝跡、D-12号土坑 B

- 1 黄褐色土 (10YR4/2) AsB を多く、砂質土粒を少量含む (D-12 覆土)。
- 2 黄褐色土 (10YR4/2) AsB を少量、砂質土粒・ブロッコを含む (D-12 覆土)。
- 3 黒褐色土 (10YR3/2) しまり弱い、AsC を少量、AsB、砂質土粒を少量含む。砂質 (D-12 覆土)。
- 4 黒褐色土 (10YR3/1) 砂質土粒を少量含む。砂質 (D-12 覆土)。
- 5 黄褐色土 (10YR4/2) 砂質土粒を少量、AsB を少量含む。やや砂質 (D-12 覆土)。
- 6 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、砂質土粒を少量含む (D-12 覆土)。
- 7 黒土 (10YR2/1) AsC を少量、AsB、砂質土粒を少量含む。砂質 (W-5 覆土)。

1区D-14号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10YR3/1) しまりやや有り、AsC をやや多く、砂質土粒を少量含む。径 10mm 程度の砂質ブロッコを少量含む。
- 2 黄褐色土 (10YR4/2) AsC をやや多く、砂質土粒、径 5mm 程度の砂質土粒・ブロッコを少量含む。砂質。
- 3 黒褐色土 (10YR3/1) しまり弱い、AsC、砂質土粒を中々多く含む。やや砂質。
- 4 黒褐色土 (10YR3/1) 砂質土粒を少量含む。やや砂質。
- 5 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、AsC、砂質土粒、黒土粒を少量含む。
- 6 黒褐色土 (10YR3/1) 砂質土粒を多く、AsC を少量含む。

Fig.13 1区土坑



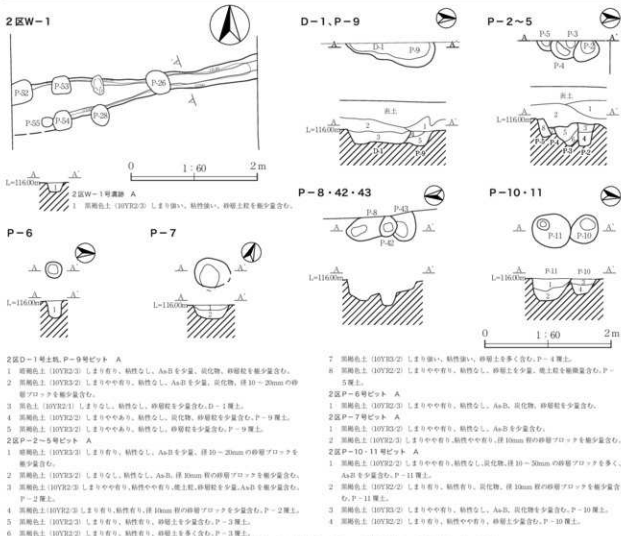
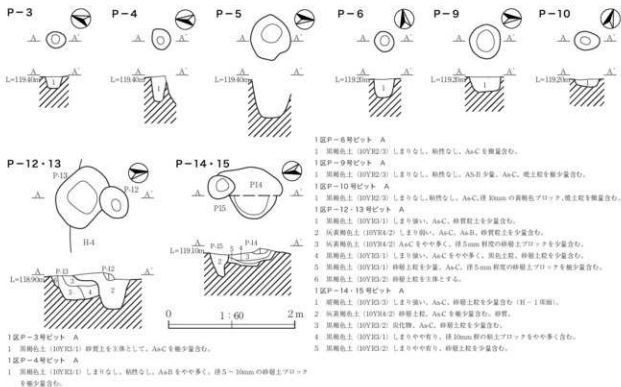
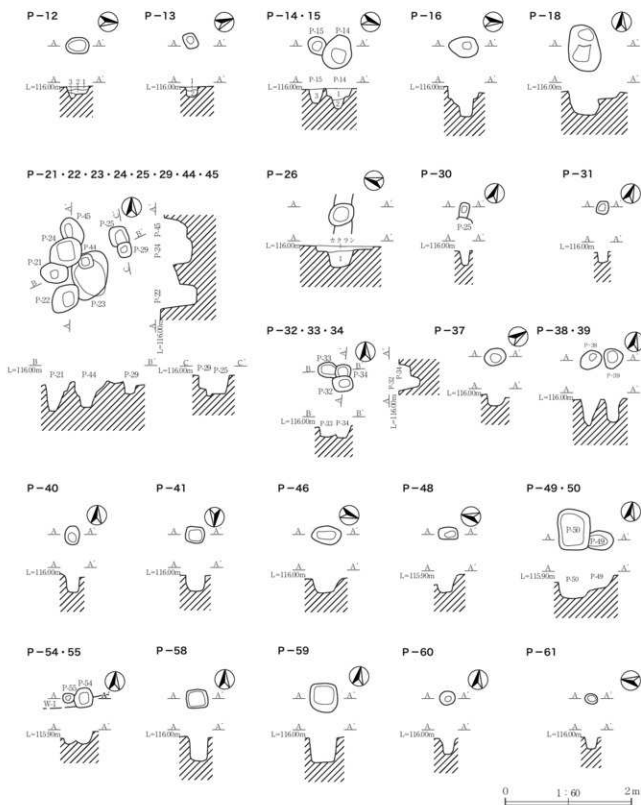


Fig.14 1区ピット、2区W-1号溝跡、D-1号土坑、2区ピット (1)



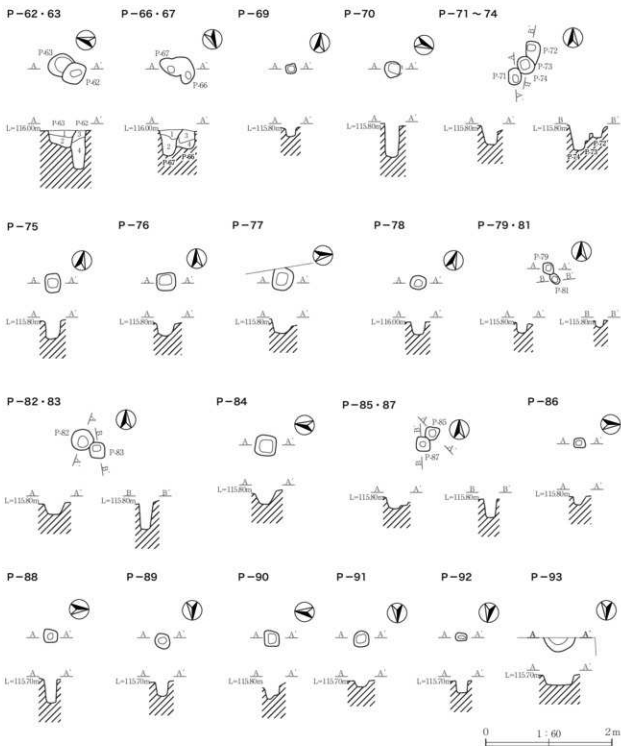
2区P-12号ピット A

- 1 黒褐色土 (10Y3/2-2) しまりやや有り、粘性やや有り、As-B、砂礫粒を少量含む。
  - 2 黒褐色土 (10Y3/2-3) しまり有り、粘性有り、砂礫粒を少量含む。
  - 3 黒褐色土 (10Y3/2-2) しまり強い、粘性強い、砂礫粒を多く含む。
- 2区P-13号ピット A
- 1 黒褐色土 (10Y3/2-2) しまりなし、粘性なし、As-B、炭化物を少量含む。
  - 2 黒褐色土 (10Y3/2-2) しまりやや有り、粘性やや有り、砂礫粒を少量含む。

2区P-14・15号ピット A

- 1 黒褐色土 (10Y3/2-3) しまりやや有り、粘性なし、As-Bを少量、径300mm程度の砂礫質ブロックを少量含む (P-14層上)。
  - 2 黒褐色土 (10Y3/2-2) しまり有り、粘性有り、砂礫粒を少量含む (P-14層上)。
  - 3 黒褐色土 (10Y3/2-2) しまりやや有り、粘性やや有り、As-Bを極少量含む (P-15層上)。
- 2区P-20号ピット A
- 1 黒褐色土 (10Y3/2-2) しまり強い、粘性強い、砂礫土粒を少量含む。

Fig.15 2区ピット (2)



2区P-62・63号ピット

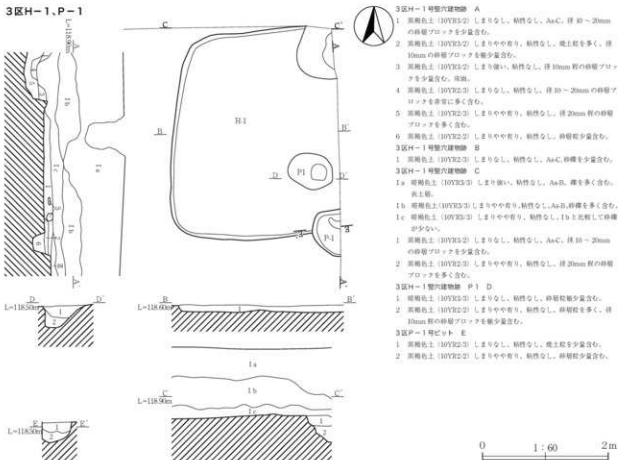
- 1 黒褐色土 (10Y32/3) しまりやや有り、粘性やや有り、砂礫粒を少量含む (P-62 層上)。
- 2 黒褐色土 (10Y32/3) しまりやや有り、粘性やや有り、砂礫粒を多く含む (P-63 層上)。
- 3 黒褐色土 (10Y32/3) しまりやや有り、粘性やや有り、炭化物を少量含む (P-62 層上)。
- 4 黒褐色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性強い、砂礫粒、炭化物を少量含む (P-62 層上)。

2区P-66・67号ピット

- 1 黒褐色土 (10Y32/3) しまり強い、粘性強い、砂礫土層、炭化物を少量含む (P-67 層上)。
- 2 黒褐色土 (10Y32/3) しまり強い、粘性強い、砂礫土層を少量含む (P-67 層上)。
- 3 黒褐色土 (10Y32/3) しまり有り、粘性有り、砂礫粒、砂礫アロウを多く含む (P-66 層上)。
- 4 黒褐色土 (10Y32/2) しまりやや有り、粘性やや有り、砂礫粒を少量含む (P-66 層上)。

Fig.16 2区ピット (3)

### 3区H-1・P-1

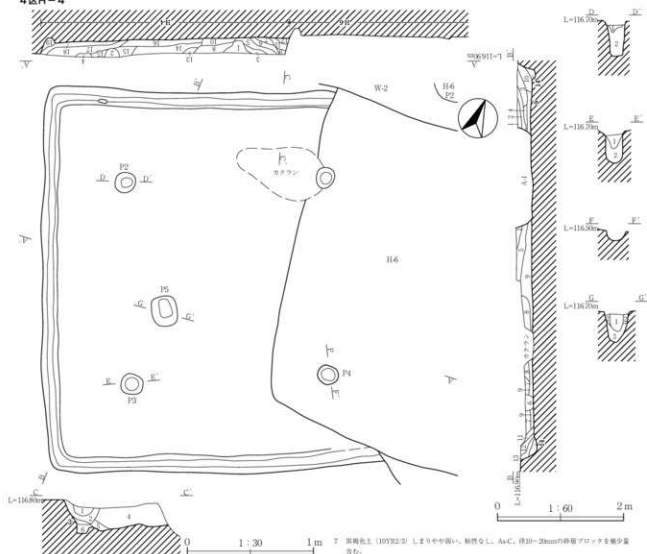


### 4区H-1・2・D-8



Fig.17 3区1号竪穴建物跡、P-1号ピット、4区H-1・2号竪穴建物跡、D-8号土坑

## 4区H-4



- 4区H-4号竪穴建物跡 A
- 1 黒土 (10Y22-1) しまりなし、粘性なし、AsC、砂礫粒、砂礫ブロックを稀少量含む。
  - 2 黒土 (10Y22-1) しまりやや有り、粘性なし、AsCを稀少量含む。
  - 3 黒褐色土 (10Y23-2) しまりなし、粘性なし、砂礫粒をやや多く、AsCを稀少量含む。
  - 4 黒褐色土 (10Y23-2) しまりなし、粘性なし、AsC、砂礫粒を稀少量含む。
  - 5 黒土 (10Y22-1) しまりなし、粘性なし、AsC、砂礫粒、径10mm程度の砂礫ブロックを稀少量含む。
  - 6 黒土 (10Y23-1) しまりなし、粘性なし、径5～10mmの砂礫ブロックをやや多く、AsCを稀少量含む。
  - 7 黒土 (10Y22-1) しまりなし、粘性なし、砂礫粒を少量、AsC、径10mm程度の砂礫ブロックを稀少量含む。
  - 8 黒土 (10Y22-1) しまりなし、粘性なし、AsC、径5～10mmの砂礫ブロックを稀少量含む。
  - 9 黒土 (10Y22-1) しまりなし、粘性なし、砂礫ブロックが主となる。
  - 10 黒褐色土 (10Y23-1) しまりやや有り、粘性なし、砂礫粒をやや多く、AsCを稀少量含む。
  - 11 黒土 (10Y22-1) しまりなし、粘性なし、AsC、砂礫粒、砂礫ブロックを稀少量含む。
  - 12 黒褐色土 (10Y23-1) しまりなし、粘性なし、砂礫粒、砂礫ブロックが主となる。
  - 13 黒褐色土 (10Y23-2) しまりなし、粘性なし、AsC、砂礫粒を少量含む。
  - 14 黒褐色土 (10Y23-2) しまりなし、粘性なし、AsC、径5mm程度の砂礫ブロックを多く含む。
  - 15 黒褐色土 (10Y23-1) しまりなし、粘性なし、砂礫粒、径10mm程度の砂礫ブロックを少量、AsCを稀少量含む。
  - 16 黒褐色土 (10Y23-1) しまりなし、粘性なし、AsC、砂礫粒、径5～10mmの砂礫ブロックをやや多く含む。
  - 17 黒褐色土 (10Y23-1) しまりなし、粘性なし、AsC、砂礫粒を少量含む。
  - 18 黒土 (10Y22-1) しまり弱い、粘性なし、AsC、砂礫粒を稀少量含む。
  - 19 黒土 (10Y22-1) しまり弱い、粘性なし、砂礫粒を稀少量含む。

## 4区H-4号竪穴建物跡 B

- 1 黒褐色土 (10Y23-2) しまり有り、粘性なし、AsC、砂礫粒を多く、焼土粒を少量含む。
- 2 黒褐色土 (10Y23-2) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、砂礫粒を少量含む、黒土層が比較的多く見られる。
- 3 黒褐色土 (10Y23-2) しまり有り、粘性なし、AsC、砂礫粒を多く含む。
- 4 黒褐色土 (10Y23-2) しまりやや有り、粘性なし、AsC、径10mm程度の砂礫ブロックを少量含む。
- 5 黒褐色土 (10Y23-2) しまりやや有り、粘性なし、AsC、径10mm程度の砂礫ブロックを少量含む。
- 6 黒褐色土 (10Y23-2) しまりやや有り、粘性なし、径10～20mm程度の砂礫ブロックを少量、AsCを少量含む。
- 7 黒褐色土 (10Y23-2) しまりやや強い、粘性なし、径10～20mm程度の砂礫ブロックを多く、AsCを少量含む。

- 7 黒褐色土 (10Y23-2) しまりやや弱い、粘性なし、AsC、径10～20mm程度の砂礫ブロックを少量含む。
- 8 黒褐色土 (10Y23-2) しまり有り、粘性なし、砂礫粒を多く含む、AsCを少量含む。
- 9 黒褐色土 (10Y23-2) しまり弱い、粘性なし、径10～20mm程度の砂礫ブロックを少量含む。
- 10 黒褐色土 (10Y23-2) しまり有り、粘性なし、砂礫粒を多く、径10～20mm程度の砂礫ブロックを少量含む。
- 11 黒褐色土 (10Y23-2) しまり弱い、粘性なし、砂礫粒、径10～20mm程度の砂礫ブロックを少量含む、黒土層が少量見られる。
- 12 黒褐色土 (10Y23-2) しまり弱い、粘性なし、径10～20mm程度の砂礫ブロックを多く含む、黒土層が少量見られる。
- 13 黒褐色土 (10Y23-1) しまり弱い、粘性なし、砂礫粒を多く含む、黒土層が少量見られる。
- 14 黒褐色土 (10Y23-1) しまりやや有り、粘性なし、径10～20mm程度の砂礫ブロックを多く含む。

## 4区H-4号竪穴建物跡跡 C

- 1 黒褐色土 (10Y23-1) しまり弱い、粘性なし、AsC、砂礫粒、砂礫ブロックをやや多く含む。
- 2 黒褐色土 (10Y23-2) しまり弱い、粘性なし、径5mm程度の砂礫ブロック、焼土粒、灰化物を少量含む。
- 3 黒土 (10Y22-1) しまりなし、粘性なし、焼土、灰化物が主となる。径10mm程度の焼土ブロックを稀少量含む。
- 4 黒褐色土 (10Y23-2) しまりなし、粘性なし、AsC、砂礫粒、径10mm程度の砂礫ブロックを少量含む。
- 5 黒褐色土 (10Y23-1) しまりなし、粘性なし、AsC、砂礫粒、砂礫ブロックを少量含む。
- 6 黒土 (10Y24-4) しまりなし、粘性なし、砂礫粒が主となる。

## 4区H-4号竪穴建物跡跡 D

- 1 黒褐色土 (10Y23-1) しまり弱い、粘性やや有り、砂礫。
- 2 灰褐色土 (10Y24-2) しまり有り、粘性なし、砂礫粒、径5mm程度の砂礫ブロックを主とする。

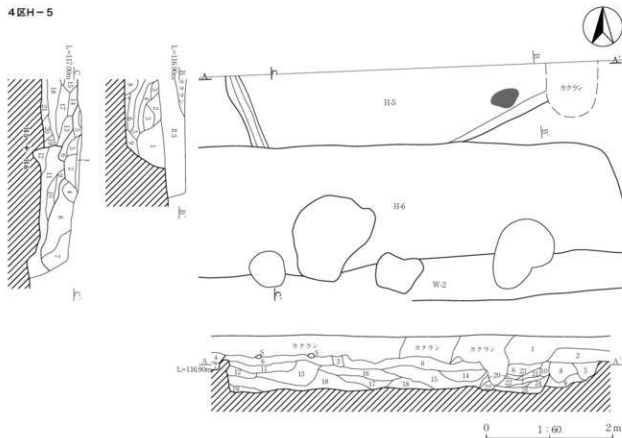
## 4区H-4号竪穴建物跡跡 E

- 1 黒土 (10Y22-1) しまりなし、粘性なし、砂礫粒を多く含む。
- 2 灰褐色土 (10Y24-2) しまりなし、粘性なし、焼土が砂礫粒、砂礫粒を主とする。

## 4区H-4号竪穴建物跡跡 F

- 1 黒褐色土 (10Y23-1) しまりなし、粘性やや有り、AsC、砂礫粒、径5mm程度の砂礫ブロックを稀少量含む。
- 2 黒褐色土 (10Y23-1) しまりなし、粘性やや有り、砂礫粒、径10mm程度の砂礫ブロックを少量、AsCを稀少量含む。
- 3 灰褐色土 (10Y24-2) しまりなし、粘性なし、

Fig.18 4区H-4号竪穴建物跡



## 4区H-5号型穴建物跡 A

- 1 深褐色土 (H5Y32-1) しまり強い、粘性なし、AsCを多く、AsDを少量、炭化物を極少量含む。
- 2 深褐色土 (H5Y32-2) しまり強い、粘性なし、AsCを多く、AsDを少量含む。
- 3 深褐色土 (H5Y32-3) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、砂礫を少量含む。
- 4 深褐色土 (H5Y32-4) しまり有り、粘性なし、AsC、AsDを少量含む。
- 5 深褐色土 (H5Y32-5) しまり有り、粘性なし、AsC、AsDを少量、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 6 深褐色土 (H5Y32-6) しまり有り、粘性なし、AsCを少量、AsDを極少量含む。
- 7 深褐色土 (H5Y32-7) しまり有り、粘性なし、AsCを少量、炭化物、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 8 深褐色土 (H5Y32-8) しまり有り、粘性なし、径10～30mm程の砂礫アロツクを多く、AsCを少量含む。
- 9 深褐色土 (H5Y32-9) しまり有り、粘性なし、径20～30mm程の砂礫アロツクを多く含む。
- 10 深褐色土 (H5Y32-10) しまり強い、粘性なし、AsCを少量、砂礫、炭土粒を少量含む。
- 11 深褐色土 (H5Y32-11) しまりやや有り、粘性なし、AsCを多く、径10～30mm程の砂礫アロツクを少量含む。炭土粒が少量混入し。
- 12 深褐色土 (H5Y32-12) しまり有り、粘性なし、AsC、径10～20mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 13 深褐色土 (H5Y32-13) しまり有り、粘性なし、AsC、砂礫を多く、径20mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 14 深褐色土 (H5Y32-14) しまり強い、粘性なし、AsC、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 15 深褐色土 (H5Y32-15) しまり有り、粘性なし、径10mm程の砂礫アロツクを多く、AsCを極少量含む。
- 16 深褐色土 (H5Y32-16) しまり有り、粘性なし、AsC、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 17 深褐色土 (H5Y32-17) しまり有り、粘性なし、径10mm程の砂礫アロツクを少量、AsCを極少量含む。炭土が少量混入し。
- 18 深褐色土 (H5Y32-18) しまり有り、粘性なし、AsC、径10～40mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 19 深褐色土 (H5Y32-19) しまり有り、粘性なし、径10～40mm程の砂礫アロツクを多く含む。
- 20 深褐色土 (Z5Y32-1) しまり強い、粘性なし、AsCを少量、炭土粒、粘土粒を少量含む。
- 21 深褐色土 (Z5Y32-2) しまり強い、粘性なし、炭土粒を少量、AsC、粘土粒を少量含む。
- 22 深褐色土 (Z5Y32-3) しまり強い、粘性なし、ホヤ下層部の粘土が多少混入する。
- 23 深褐色土 (Z5Y32-4) しまり有り、粘性なし、炭土粒、炭を多く含む。
- 24 深褐色土 (Z5Y32-5) しまり強い、粘性なし、炭土粒を少量、砂礫を少量含む。
- 25 深褐色土 (Z5Y32-6) しまり有り、粘性なし、径10～30mm程の砂礫アロツクを多く、炭土粒を少量含む。

## 4区H-5号型穴建物跡 B

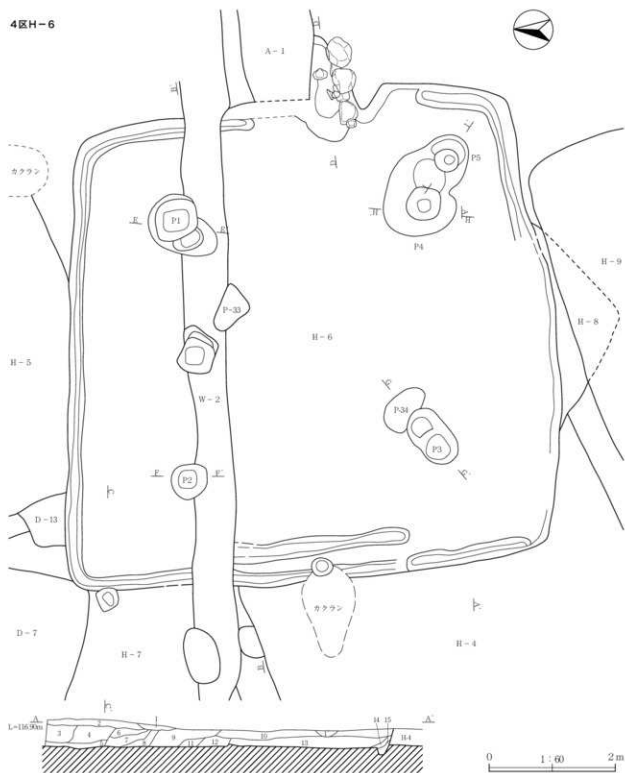
- 1 深褐色土 (H5Y31-1) しまりなし、粘性なし、砂礫、AsC、砂礫を少量含む。
- 2 深褐色土 (H5Y31-2) しまりなし、粘性なし、砂礫を少量、AsCを少量含む。
- 3 深土 (H5Y32-1) しまりなし、粘性なし、AsC、砂礫を少量含む。
- 4 深褐色土 (H5Y32-2) しまりやや有り、粘性有り、径10～30mm程の深褐色粘土アロツクを多く含む。
- 5 深褐色土 (H5Y32-3) しまりやや有り、粘性なし、砂礫、AsCをやや多く、径5mm程の粘土アロツクを少量含む。

- 6 深褐色土 (H5Y32-1) しまり非常に強い、粘性なし、深褐色粘土を主成分とする。AsC、炭土粒を少量含む (H-5タイプ参照)。
- 7 深土 (H5Y32-2) しまりやや有り、粘性なし、砂礫、炭土粒を少量含む。
- 8 深土 (H5Y32-3) しまりやや有り、粘性なし、砂礫、径5mm程の砂礫アロツクを少量、AsCを極少量含む。
- 9 深褐色土 (H5Y32-4) しまりやや有り、砂礫土粒・径5mm程度のアロツクも中量、AsCを極少量含む。砂礫。

## 4区H-5号型穴建物跡 C

- 1 深褐色土 (H5Y33-1) しまり非常に強い、粘性なし、AsC、砂礫を少量含む。
- 2 深褐色土 (H5Y33-2) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、径30mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 3 深褐色土 (H5Y33-3) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、砂礫を少量含む。
- 4 深褐色土 (H5Y33-4) しまりやや有り、粘性なし、AsCを多く、砂礫を少量、径10～30mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 5 深褐色土 (H5Y33-5) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、砂礫を少量、径20mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 6 深褐色土 (H5Y33-6) しまりやや有り、粘性なし、AsC、砂礫を多く、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 7 深褐色土 (H5Y33-7) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、砂礫、径10～20mm程の砂礫アロツク、炭化物を少量含む。
- 8 深褐色土 (H5Y33-8) しまりやや有り、粘性なし、AsC、砂礫を多く、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 9 深褐色土 (H5Y33-9) しまりやや有り、粘性なし、AsC、砂礫を少量含む (H-6層上)。
- 10 深褐色土 (H5Y33-10) しまりやや有り、粘性なし、AsC、砂礫、径10～20mm程の砂礫アロツクを少量含む (H-6層上)。
- 11 深褐色土 (H5Y33-11) しまりやや有り、粘性なし、AsC、径10～20mm程の砂礫アロツクを少量含む (H-6層上)。
- 12 深褐色土 (H5Y33-12) しまりなし、粘性なし、深褐色色の砂礫土が多少混入 (H-6層上)。
- 13 深褐色土 (H5Y33-13) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、径30mm程の砂礫アロツクを少量含む (H-5層上)。
- 14 深褐色土 (H5Y33-14) しまり有り、粘性なし、AsC、砂礫を多く含む (H-5層上)。
- 15 深褐色土 (H5Y33-15) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、砂礫を少量含む (H-5層上)。
- 16 深褐色土 (H5Y33-16) しまり強い、粘性なし、AsCを少量含む、深褐色粘土土が少量混入し。
- 17 深褐色土 (H5Y33-17) しまり有り、粘性なし、AsC、砂礫を少量含む (H-5層上)。
- 18 深褐色土 (H5Y33-18) しまりやや有り、粘性なし、AsCを少量、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む (H-5層上)。
- 19 深褐色土 (H5Y33-19) しまり強い、粘性なし、AsC、砂礫を少量含む (H-5層上)。
- 20 深褐色土 (H5Y33-20) しまり強い、粘性なし、AsC、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。炭土粒が少量混入 (H-5層上)。
- 21 深褐色土 (H5Y33-21) しまり強い、粘性なし、砂礫を少量含む (H-5層上)。

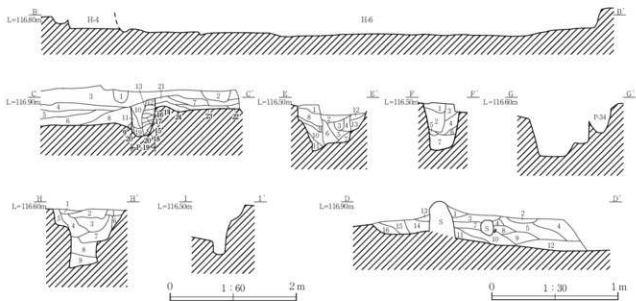
Fig.19 4区H-5号型穴建物跡



## 4区 H-6号型穴建物跡 A

- 4 築地土 (10Y32-1) しまり強い、粘性なし。AsCをやや多く、砂礫粒、径10mm程度の砂礫アロツクを少量含む。
- 17 築地土 (10Y33-1) しまり強い、粘性なし。径10~20mmの砂礫アロツクをやや多く、AsCを少量含む。
- 2 築地土 (10Y33-2) しまり強い、粘性なし。AsC、砂礫粒、砂礫アロツクを多く含む。
- 3 築地土 (10Y33-2) しまりやや有り、粘性なし。AsC、砂礫粒、砂礫アロツクをやや多く含む。
- 4 築地土 (10Y33-2) しまりなし、粘性なし。AsCをやや多く、砂礫粒、径5~10mmの砂礫アロツクを少量含む。
- 5 築地土 (10Y33-1) しまりなし、粘性なし。AsC、砂礫粒、砂礫アロツクを少量含む。
- 6 築地土 (10Y33-2) しまり強い、粘性なし。AsC、砂礫粒を少量、径5mm程度の砂礫アロツクを少量含む。
- 7 築地土 (10Y33-2) しまりなし、粘性なし。砂礫粒、径10~20の砂礫アロツクを少量、AsCを少量含む。
- 8 築地土 (10Y32-1) しまりなし、粘性なし。AsC、砂礫粒を少量含む。
- 9 築地土 (10Y32-1) しまり強い、粘性なし。AsCを多く、砂礫粒、径5~10mmの砂礫アロツクをやや多く含む。
- 10 築地土 (10Y33-2) しまり強い、粘性なし。AsC、砂礫粒を多く、径5~10mmの砂礫アロツクを少量含む。
- 11 築地土 (10Y32-1) しまりやや有り、粘性なし。砂礫粒を少量、AsCを少量含む。
- 12 築地土 (10Y32-1) しまりやや強い、粘性なし。径5mm程度の砂礫アロツクを少量、AsCを少量含む。
- 13 築地土 (10Y32-1) しまりなし、粘性なし。砂礫粒、径5~20mmの砂礫アロツクを少量、AsCを少量含む。
- 14 築地土 (10Y33-1) しまりなし、粘性なし。砂礫粒を少量含む。
- 15 築地土 (10Y33-1) しまりなし、粘性なし。砂礫粒をやや多く含む。

Fig20 4区H-6号型穴建物跡(1)



4区 H-6・7号竪穴建物跡、P-19号ピット C

- 1 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、AsBを少量、灰化物を極少量含む。
- 2 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、AsBを少量、焼土粒、灰化物を極少量含む。
- 3 築期相土 (10Y32-2) しまり有り、粘りなし、AsC、砂礫粒、白色石灰を多く、径10-20mmの砂礫ブロック、灰化物を少量含む。
- 4 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、AsCを多く、砂礫粒を少量、灰化物を極少量含む (H-6覆土)。
- 5 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、AsCを少量、径10mm程度の砂礫ブロックを極少量含む (H-6覆土)。
- 6 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、径10-20mmの砂礫ブロックを少量含む (H-6覆土)。
- 7 築期相土 (10Y32-2) しまり有り、粘りなし、径10-20mmの砂礫ブロックを非常に多く、AsCを少量、灰化物を極少量含む。
- 8 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、砂礫粒を少量、AsC、径10mm程度の砂礫ブロックを極少量含む (H-6覆土)。
- 9 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、砂礫粒を極少量含む (H-6覆土)。
- 10 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、AsC、砂礫粒を少量、径10mmの灰黄褐色粘土上ブロックを極少量含む (P-19覆土)。
- 11 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、砂礫粒、灰黄褐色粘土粒を極少量含む (P-19覆土)。
- 12 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、AsC、砂礫粒を少量含む (P-19覆土)。
- 13 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、砂礫粒を多く、AsCを少量含む (P-19覆土)。
- 14 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、AsC、砂礫粒を極少量含む (P-19覆土)。
- 15 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、灰黄褐色粘土上、灰土が多くなる。
- 16 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、砂礫粒を極少量含む (P-19覆土)。
- 17 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、砂礫粒を極少量含む (P-19覆土)。
- 18 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、径10-40mmの砂礫ブロックを極少量含む (P-19覆土)。
- 19 築期相土 (10Y32-2) しまりなし、粘りなし、AsBを少量、焼土粒、灰化物を極少量含む (P-19覆土)。
- 20 築土 (10Y34-4) しまりや有り、粘りなし、築期相土がほとんど (P-19覆土)。
- 21 築期相土 (10Y32-2) しまり有り、粘りなし、径10-20mmの砂礫ブロックを少量、AsCを極少量含む (H-7覆土)。
- 22 築期相土 (10Y32-2) しまり有り、粘りなし、径10mm程度の砂礫ブロックを少量、AsC、灰黄褐色粘土を極少量含む (H-7覆土)。
- 23 築期相土 (10Y32-2) しまり有り、粘りなし、砂礫粒、灰化物を多く、径10-20mmの灰化物を少量、径20mm程度の砂礫ブロックを極少量含む (H-7覆土)。
- 24 築期相土 (10Y32-2) しまり有り、粘りなし、径10-20mmの砂礫ブロック、灰黄褐色粘土ブロックを多く含む。下部に灰化物が極めて多い (H-7覆土)。

4区 H-6号竪穴建物跡跡 P 2

- 1 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、焼土粒を少量含む、AsCを少量含む。
- 2 築期相土 (10Y32-2) しまり有り、粘りなし、砂礫粒を多く含む、灰黄褐色の粘土上が少くなる。
- 3 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、砂礫粒を少量含む、灰黄褐色の粘土上が多くなる。
- 4 にあゝ(黄褐色土) (10Y34-3) しまり弱い、粘りなし、砂礫粒、径5mm程度の砂礫ブロック、焼土粒、粘土粒を少量含む (H-6覆土)。
- 5 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、焼土粒を少量含む、AsCを少量含む。
- 6 築期相土 (10Y32-2) しまり有り、粘りなし、焼土粒を少量含む、径40mm程度の砂礫ブロックを極少量含む。
- 7 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、焼土粒、砂礫粒を少量含む。

- 8 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、径10-20mmの焼土ブロックを多く含む。
- 9 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、焼土粒を極少量含む。
- 10 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、焼土粒を少量含む。
- 11 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、焼土粒、砂礫粒、灰土を少量含む。
- 12 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、径10mm程度の焼土ブロックを多く含む。
- 13 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、AsC、砂礫粒、焼土粒を少量含む。
- 14 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、AsCを少量含む、焼土粒、砂礫粒が僅かに含む。
- 15 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、砂礫粒、焼土粒を極少量に含む。
- 16 築期相土 (10Y32-2) しまり有り、粘りなし、砂礫粒を極少量に含む。

4区 H-6号竪穴建物跡跡 P 3

- 1 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、AsCを少量、砂礫粒を極少量含む。
- 2 にあゝ(黄褐色土) (10Y34-3) しまり有り、粘りなし、径10-20mmの砂礫ブロック (灰黄褐色土) を多く含む。
- 3 築期相土 (10Y32-2) しまりなし、粘りなし、径10mm程度の砂礫ブロックを少量含む。
- 4 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、径10-20mmの砂礫ブロックを多く含む。灰土が少量混入する。
- 5 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、径20-40mmの砂礫ブロック (黄褐色土) を多く、径10-20mmの砂礫ブロック (灰黄褐色土) を少量含む。
- 6 築期相土 (10Y32-2) しまりなし、粘りなし、径10mm程度の砂礫ブロックを少量含む。
- 7 築土 (10Y34-4) しまり有り、粘りなし、径20-40mmの砂礫ブロックを多く含む。
- 8 築期相土 (10Y32-2) しまり有り、粘りなし、径10-20mmの砂礫ブロック (灰黄褐色土) を多く、径10-20mmの砂礫ブロック (黄褐色土) を少量含む。
- 9 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、径10mm程度の砂礫ブロックを多く含む。
- 10 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、径20-40mmの砂礫ブロック (灰黄褐色土) を多く、径10mm程度の砂礫ブロック (黄褐色土) を少量含む。
- 11 にあゝ(黄褐色土) (10Y34-3) しまり弱い、粘りなし、径20-30mmの砂礫ブロックを少量含む。
- 12 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、径10mm程度の砂礫ブロックを極少量に多く含む。
- 13 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、径10mm程度の砂礫ブロックを極少量含む。

4区 H-6号竪穴建物跡跡 P 4

- 1 築期相土 (10Y32-2) しまりや有り、粘りなし、砂礫粒を少量含む、AsCを少量含む。
- 2 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、砂礫粒を多く含む、灰黄褐色の粘土上が少くなる。
- 3 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、砂礫粒を少量含む、灰黄褐色の粘土上が多くなる。
- 4 にあゝ(黄褐色土) (10Y34-3) しまり弱い、粘りなし、砂礫粒、径20mm程度の砂礫ブロックを少量含む。
- 5 築期相土 (10Y32-2) しまりなし、粘りなし、径10mm程度の砂礫ブロックを少量含む。
- 6 築期相土 (10Y32-2) しまりなし、粘りなし、径10mm程度の砂礫ブロック (黄褐色土)、径20mm程度の砂礫ブロック (灰黄褐色土) を少量含む。
- 7 築土 (10Y34-4) しまりや有り、粘りなし、径20-40mm程度の砂礫ブロック (灰黄褐色土) を非常に多く、径10mm程度の砂礫ブロック (黄褐色土) を少量含む。

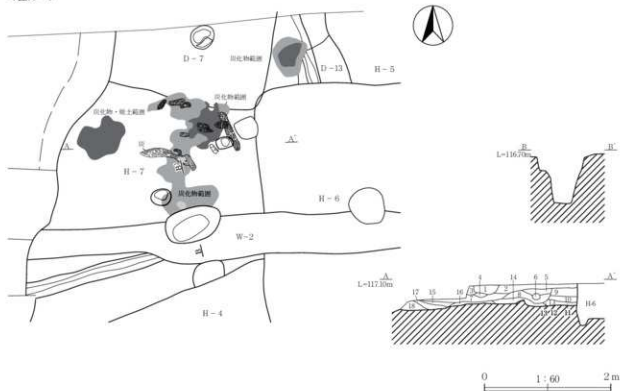
4区 H-6号竪穴建物跡跡 P 4 M

- 1 築期相土 (10Y32-2) しまり弱い、粘りなし、細粒、砂礫粒を少量含む。
- 2 灰黄褐色土 (10Y32-2) しまりなし、粘りなし、細粒、砂礫粒を少量含む。
- 3 築期相土 (10Y32-2) しまりなし、粘りなし、砂礫粒、径5mm程度の砂礫ブロック、焼土粒、粘土粒を少量含む (H-6覆土)。
- 4 築土 (10Y34-4) しまりや有り、粘りなし、径20-25mmの砂礫ブロックをやや多く含む。
- 5 にあゝ(黄褐色土) (10Y34-3) しまりや有り、粘りなし、砂礫粒、径5mm程度の砂礫ブロックを多く含む。
- 6 にあゝ(黄褐色土) (10Y34-3) しまり弱い、粘りなし、砂礫粒、径5mm程度の砂礫ブロックをやや多く含む。
- 7 築土 (10Y34-4) しまりなし、粘りなし、砂礫粒を中量含む (P-4覆土)。
- 8 築期相土 (10Y32-2) しまりなし、粘りなし、細粒、径10mm程度の砂礫ブロックを極少量含む。
- 9 築期相土 (10Y32-2) しまりなし、粘りなし、細粒+砂礫。

Fig.21 4区 H-6号竪穴建物跡 (2), P-19号ピット



#### 4区H-7

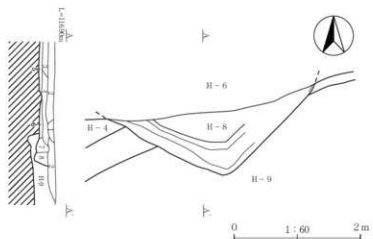


#### 4区H-7号竪穴建物跡 A

- 1 原層土 (01Y32③) しまりやや有り、粘性なし。AsB、灰化物を少量、砂礫粒、焼土粒を極少量含む。
- 2 原層土 (01Y32②) しまりやや有り、粘性なし。白色顔石粒を少量、AsB、砂礫粒、灰化物、焼土粒を極少量含む。
- 3 礫層土 (01Y32①) しまりなし、粘性なし、砂礫粒、径10mm程の砂礫ブロックを非常に多く、AsBを極少量含む。
- 4 原層土 (01Y32②) しまりやや有り、粘性なし。径10～20mmの砂礫ブロックを多く含む。
- 5 原層土 (01Y32③) しまりやや有り、粘性なし、砂礫粒、灰黄褐色粘土粒を少量、AsCを極少量含む。
- 6 原層土 (01Y32③) しまりなし、粘性なし、砂礫粒、灰化物を極少量含む。
- 7 原層土 (01Y32②) しまり有り、粘性なし、砂礫粒を多く、AsC、径10mm程の砂礫ブロックを少量、灰黄褐色粘土粒を極少量含む。
- 8 原層土 (01Y32③) しまり有り、粘性なし、径10～40mmの砂礫ブロックを多く、AsC、灰化物を少量含む。

- 9 原層土 (01Y32②) しまり有り、粘性なし、AsC、砂礫粒を少量、灰化物を極少量含む。
- 10 原層土 (01Y32②) しまりやや有り、粘性なし、径20mm程の砂礫ブロック、灰黄褐色粘土粒を少量、AsC、灰化物を極少量含む。
- 11 原層土 (01Y32②) しまりやや有り、粘性なし。灰黄褐色粘土粒、灰化物を少量、AsC、砂礫粒を極少量含む。
- 12 原層土 (01Y32②) しまりやや有り、粘性なし、AsC、砂礫粒、径10mm程の灰黄褐色粘土ブロックを極少量含む。
- 13 原層土 (01Y32②) しまりやや有り、粘性なし、径10mm程の灰黄褐色粘土ブロック、灰化物を多く含む。
- 14 原層土 (01Y32②) しまりやや有り、粘性なし、砂礫粒、径10mm程の灰黄褐色粘土ブロックを多く、径10～20mmの砂礫ブロック、灰化物を少量含む。
- 15 原層土 (01Y32②) しまりやや有り、粘性なし、径10mm程の砂礫ブロックを多く含む。
- 16 原層土 (01Y32②) しまりやや有り、粘性なし、砂礫粒を少量含む。上部に灰化物が層状に堆積。
- 17 原層土 (01Y32②) しまりやや有り、粘性なし、砂礫粒、灰化物を極少量含む。
- 18 原層土 (01Y32②) しまりやや有り、粘性なし、砂礫粒、径10mm程の砂礫ブロックを極少量含む。

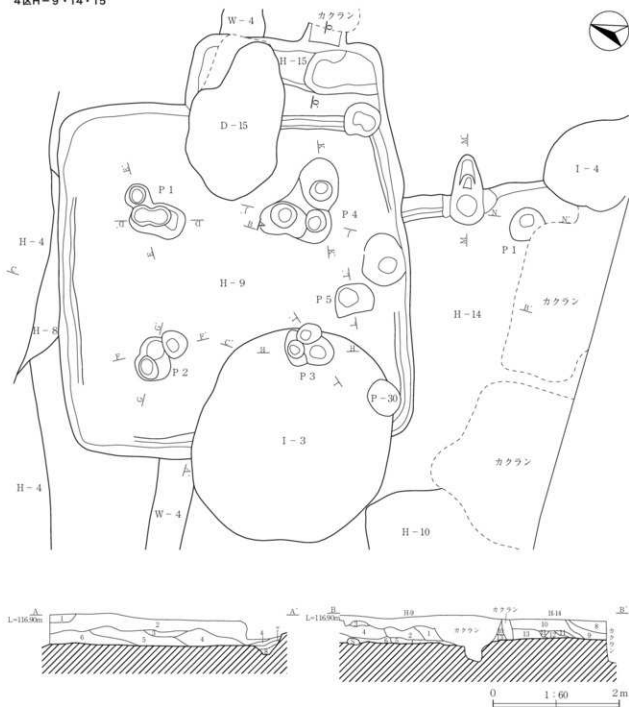
#### 4区H-8



#### 4区H-8号竪穴建物跡 A

- 1 礫層土 (01Y32④) しまりやや有り、粘性なし、砂礫、AsC、AsB・径5mm程の砂礫ブロックを極少量含む。
- 2 灰黄褐色土 (01Y34②) しまり強い、粘性なし、AsC、AsB、砂礫粒・径5mm程の砂礫ブロックをやや多く含む。
- 3 灰黄褐色土 (01Y34②) しまりやや有り、粘性なし、AsCを多く、砂礫粒、焼土粒を少量含む。
- 4 原層土 (01Y32①) しまり有り、粘性なし、AsC、砂礫粒をやや多く、径30mm程の砂礫ブロック、焼土粒、灰化物を極少量含む。
- 5 原層土 (01Y32②) しまり非常に強い、粘性なし、砂礫粒、径5～10mmの砂礫ブロックを主体とする、AsCを極少量含む。
- 6 原層土 (01Y32②) しまり非常に強い、粘性なし、径5～10mmの砂礫ブロックを主体とする、AsCを少量含む。
- 7 原層土 (01Y32②) しまりやや有り、粘性なし、AsC、砂礫粒を少量含む。
- 8 礫層土 (01Y32③) しまり有り、粘性なし、AsC、砂礫粒をやや多く含む。

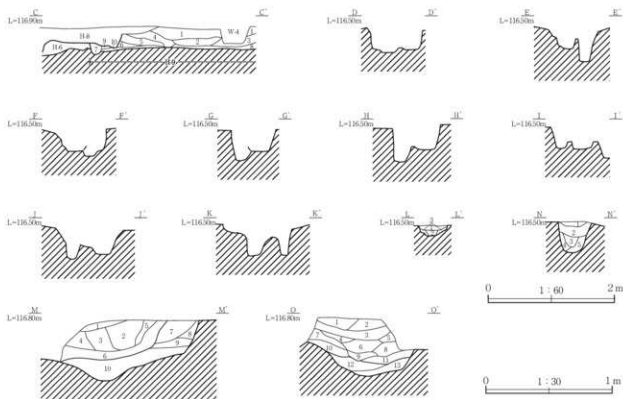
Fig.22 4区H-7・8号竪穴建物跡



4区H-9号竪穴建物跡 A

- 1 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり強い、粘質有り、AsCを中量、AsCを少量、碎磁粒を極少量含む。
- 2 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや有り、粘質なし、AsB、AsCをやや多く、碎磁粒、径5mm程度の碎磁ブロックを極少量含む。
- 3 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや有り、粘質なし、AsCを多く、碎磁粒、焼土粒を少量含む。
- 4 黄褐色土 (10YR2/1) しまり強い、粘質強し、AsC、碎磁粒、径5～10mm程度の碎磁ブロック、焼土粒、炭化物を少量含む。
- 5 黄褐色土 (10YR2/1) しまり有り、粘質なし、AsCをやや多く、径30mm程度の碎磁ブロック、焼土粒、炭化物を極少量含む。
- 6 黄褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘質やや有り、AsCをやや多く、碎磁粒、径5mm程度の碎磁ブロックを少量含む。
- 7 黄褐色土 (10YR2/1) しまり有り、粘質やや有り、AsC、碎磁粒を極少量含む。
- 8 12.5%黄褐色土 (10YR4/2) しまりなし、粘質なし、碎磁粒が5粒となる。

Fig.23 4区H-9・14・15号竪穴建物跡(1)



4区H-9・14号竪穴建物跡 B

- 1 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、粘りやや有り、AsC、厚5～20mmの砂質ブロックを少量含む (H-9覆土)。
- 2 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘り有り、厚5～20mmの砂質ブロックをやや多く、AsC、炭化物を少量含む (H-9覆土)。
- 3 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘りなし、砂質、厚5～20mmの砂質ブロックを主体とする (H-9覆土)。
- 4 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり強い、粘りなし、AsCを多く、砂質粒をやや多く、径20mm程度の砂質ブロックを少量含む (H-9覆土)。
- 5 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや有り、粘りなし、砂質粒を主体とする。径10mm程度の砂質ブロックを少量含む (H-9覆土)。
- 6 黒褐色土 (10YR3/2) しまり強い、粘りなし、AsC、径10mm程度の砂質ブロックを少量含む (H-9覆土)。
- 7 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘りなし、砂質粒、径10mm程度の砂質ブロックを主体とする (H-9覆土)。
- 8 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘りなし、AsC、砂質粒を少量含む (H-14覆土)。
- 9 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘りなし、砂質粒、径10～30mmの砂質ブロックを中量、AsCを少量含む (H-14覆土)。
- 10 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘りなし、AsC、砂質粒、径10mm程度の砂質ブロックを少量含む (H-14覆土)。
- 11 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘りなし、AsC、砂質粒を少量含む (H-14覆土)。
- 12 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘りなし、砂質粒を中量、径5mm程度の白色砂質土ブロック、径5mm程度の砂質ブロックを少量含む (H-14覆土)。
- 13 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘りなし、AsCを中量、径10～30mmの砂質ブロックを中量、AsCを少量含む (H-14覆土)。

4区H-9号竪穴建物跡 C

- 1 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり強い、AsCを多く、砂質土粒、焼土粒、炭化物を含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/2) 粘りやや有り、AsCを少量、砂質土粒を径5mm程度のブロックを含む。
- 3 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、AsCをやや多く、砂質土粒、焼土粒を少量含む。
- 4 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、AsCをやや多く、砂質土粒、焼土粒を少量含む。
- 5 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、粘りややあり、AsCを中量、焼土粒を少量含む。
- 6 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、AsCを中量、砂質土粒、焼土粒を少量含む。
- 7 黒褐色土 (10YR3/2) 粘りやや有り、炭化物を少量、AsCを少量含む。
- 8 黒褐色土 (10YR3/2) しまり強い、粘り有り、砂質土粒を中量、AsCを少量含む。炭粒。
- 9 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、AsCをやや多く、砂質土粒、焼土粒を少量含む。炭粒。
- 10 褐色土 (10YR4/0) しまりやや強い、砂質土粒を主体とする。炭粒有り。

4区H-9号竪穴建物跡P5上

- 1 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘りなし、径10mm程度の砂質ブロック、砂質粒を少量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、粘りなし、砂質粒を少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘りなし、砂質粒を少量含む。

4区H-14号竪穴建物跡P7 M

- 1 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘りやや有り、AsCを少量、砂質粒を少量、径30mm程度の砂質ブロック、焼土粒を少量含む。

- 2 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘りなし、砂質粒を径5mm程度の砂質ブロック、焼土粒、炭化物を少量、AsCを少量含む。
- 3 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりなし、粘りやや有り、AsC、焼土粒を少量、砂質粒、径30mm程度の砂質ブロックを少量含む。
- 4 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりなし、粘り有り、焼土粒を中量、AsCを少量含む。
- 5 におい黄褐色土 (10YR4/2) しまりなし、粘りなし、焼土粒をやや多く、AsCを少量含む。
- 6 におい黄褐色土 (10YR4/2) しまりなし、粘りなし、焼土粒、焼土粒を中量含む。
- 7 におい黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや有り、粘りなし、焼土粒を中量含む。
- 8 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや有り、粘りやや有り、焼土土粒を径5～10mmを少量含む。
- 9 におい黄褐色土 (10YR4/2) しまり有り、粘りなし、砂質粒、焼土粒を中量含む。
- 10 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘りなし、焼土粒、径10mm程度の焼土ブロック、灰を少量、AsC、砂質粒を少量含む。キマツ面有り。

4区H-14号竪穴建物跡P1 N

- 1 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘りやや有り、砂質粒を少量、径20mm程度の砂質ブロックを少量含む。

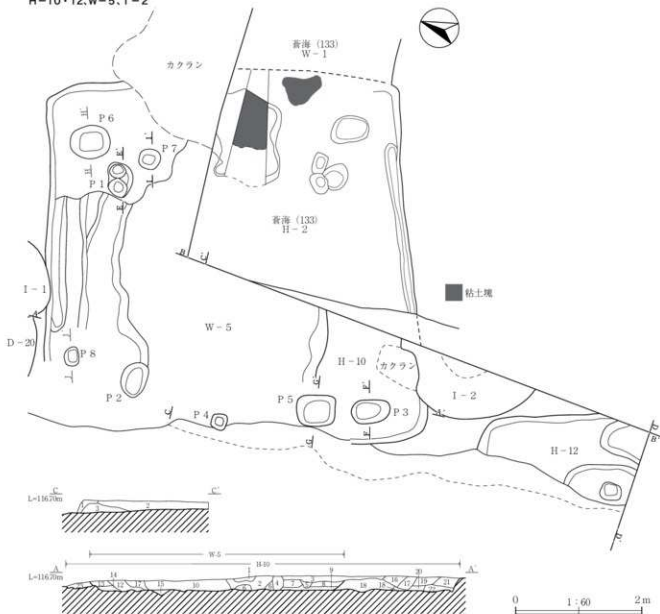
- 2 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり強い、粘りやや有り、砂質粒、径10～20mmの砂質ブロックを少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR3/2) しまり強い、粘りなし、細かゆ砂質、砂質粒を少量含む。
- 4 黒褐色土 (10YR3/2) しまり強い、粘りなし、細かゆ砂質、砂質粒を少量含む。
- 5 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり強い、粘りなし、砂質粒、径5～30mmの砂質ブロックをやや多く含む。

4区H-15号竪穴建物跡跡P4下 O

- 1 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘りやや強い、AsC、砂質粒、5mm程度の砂質ブロックを少量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘りやや強い、AsC、砂質粒を少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、粘りやや有り、AsC、砂質粒、焼土粒を少量含む。
- 4 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘りなし、砂質粒、焼土粒を少量含む。
- 5 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘り有り、AsC、砂質粒、径5～30mmの砂質ブロックを少量含む。
- 6 黒褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘りなし、焼土粒、径20mm程度の砂質ブロックをやや多く、AsCを少量含む。
- 7 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘りやや有り、焼土粒、灰を少量含む。
- 8 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、粘りやや有り、AsC、砂質粒、焼土粒を少量含む。
- 9 褐色土 (10YR5/2) しまり強い、粘りなし、炭粒、焼土粒を少量含む。
- 10 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、粘りやや有り、径5～30mmの砂質ブロック、焼土粒を少量含む。
- 11 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、粘りなし、細かゆ砂質、砂質粒を少量含む。
- 12 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、粘りなし、砂質粒を少量含む。炭粒有り。
- 13 黒褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘りなし、径5～30mm程度の砂質ブロックを主体とする。炭粒有り。

Fig24 4区H-9・14・15号竪穴建物跡(2)

H-10・12,W-5,I-2



4区H-10号竪穴建物跡,W-5号溝跡 A

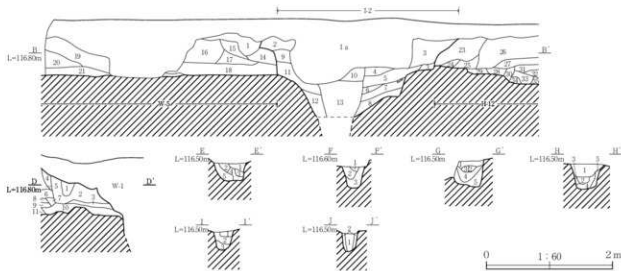
- 1 深褐色土 (10YR3/2) しまりやや有り、粘性有り、AsC、AsB、砂層粒を少量含む。
- 2 深褐色土 (10YR3/1) しまり有り、粘性なし、砂層粒、径10-20mmの砂層ブロック、炭化物を少量、AsCを無少量含む。
- 3 深褐色土 (10YR3/2) しまり強い、粘性なし、砂質、AsC、砂層粒、焼土粒を少量含む。
- 4 深褐色土 (10YR3/1) しまりなし、粘性やや有り、砂層粒、径5-10mm程度の砂層ブロック、炭化物を無少量含む。
- 5 深褐色土 (10YR3/1) しまりなし、粘性なし、径20mm程度の砂層ブロックを少量含む。
- 6 深褐色土 (10YR3/1) しまり強い、粘性なし、径5-10mmの砂層ブロックをやや多く含む。
- 7 深褐色土 (10YR2/1) しまり強い、粘性やや有り、AsC、砂層粒、焼土粒を無少量含む。
- 8 深褐色土 (10YR3/1) しまり有り、粘性強い、AsC、砂層粒をやや多く、径5mm程度の砂層ブロックを少量含む (W-5層上)。
- 9 深褐色土 (10YR3/1) しまりなし、粘性なし、砂層粒、砂層ブロックを主体とする (W-5層上)。
- 10 深褐色土 (10YR3/2) しまり強い、粘性なし、AsC、砂層粒、砂層ブロックを中量含む (W-5層上)。
- 11 深褐色土 (10YR3/2) しまりなし、粘性なし、AsC、砂層粒を中量、径30mm程度の砂層ブロックを少量含む。
- 12 深褐色土 (10YR2/1) しまり有り、粘性やや有り、AsC、砂層粒、径5mm程度の砂層ブロック、炭化物を無少量含む。
- 13 深褐色土 (10YR2/1) しまり強い、粘性なし、AsC、砂層粒を無少量含む (W-5層上)。
- 14 深褐色土 (10YR3/1) しまり強い、粘性なし、砂層粒をやや多く、径30mm程度の砂層ブロックを無少量含む (W-5層上)。
- 15 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強い、粘性なし、砂層粒を主体とする (W-5層下方)。

- 16 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強い、粘性なし、AsC、焼土粒をやや多く、砂層粒を少量含む (H-10層上)。
- 17 深褐色土 (10YR3/2) しまり強い、粘性強い、AsC、焼土粒を中量、砂層粒を少量含む (H-10層上)。
- 18 深褐色土 (10YR3/2) しまり強い、粘性強い、AsC、砂層粒、径5-20mmの砂層ブロックをやや多く含む (H-10層上)。
- 19 深褐色土 (10YR3/1) しまり有り、粘性有り、径20mm程度の砂層ブロックを主体とする (H-10層上)。
- 20 深褐色土 (10YR3/1) しまりなし、粘性なし、AsCを少量、砂層粒、径5-20mmの砂層ブロックを無少量含む (H-10層上)。
- 21 深褐色土 (10YR2/1) しまりなし、粘性なし、砂層粒、径10mm程度の砂層ブロックをやや多く、AsCを無少量含む (H-10層上)。
- 22 深褐色土 (10YR2/1) しまり強い、粘性なし、砂層粒、径5mm程度の砂層ブロックを多く、AsCを無少量含む (H-10層上)。
- 23 深褐色土 (10YR3/2) しまり強い、粘性なし、砂層粒を主体とする (H-10層上)。
- 24 深褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘性強い、AsC、砂層粒、径10mm程度の砂層ブロック、炭化物を少量含む (W-5層上)。

4区W-5号溝跡 C

- 1 深褐色土 (10YR3/2) しまり強い、粘性なし、AsC、砂層粒、砂層ブロックを中量含む (W-5層上)。
- 2 深褐色土 (10YR3/1) しまり強い、粘性有り、やや砂質、径10mm程度の砂層ブロックを少量、AsCを無少量含む (W-5層上)。
- 3 深褐色土 (10YR3/2) しまり有り、粘性有り、AsC、砂層粒、径10mm程度の砂層ブロック、炭化物を少量含む (W-5層上)。

Fig.25 4区H-10・12号竪穴建物跡,W-5号溝跡,I-2号井戸跡(1)



4区H-10・12号型穴建物跡 I-2号井戸跡 Ⅱ

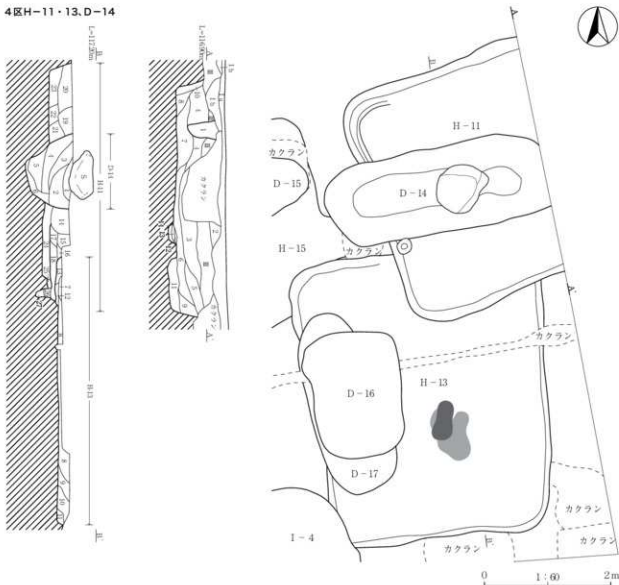
- 1 灰黄褐色土 (10YR4-2) しまりやや有り、粘性なし、細か～中砂、砂礫粒、径5mm程度の砂礫プロットを少量含む (I-2層上)。
- 2 におい黄褐色土 (10YR4-2) しまりやや有り、粘性なし、細か～中砂、砂礫粒、径5mm程度の白色シント質土プロットを中量、径5mm程度の黒色粘土プロットを少量含む (I-2層上)。
- 3 灰黄褐色土 (10YR5-2) しまり強い、粘性なし、細か～中砂、白色砂質土粒を少量、炭化物を少量含む (I-2層上)。
- 4 灰黄褐色土 (10YR4-1) しまり強い、粘性なし、Ac, 径10～20mmの砂礫プロットを少量含む (I-2層上)。
- 5 灰黄褐色土 (10YR4-1) しまり非常に強い、粘性なし、シロ質、Ac, C, 炭化物を少量含む (I-2層上)。
- 6 灰黄褐色土 (10YR4-1) しまり強い、粘性なし、中砂、Ac, C, 径5～10mmの砂礫プロット (黄褐色) を少量含む (I-2層上)。
- 7 灰黄褐色土 (10YR4-1) しまりやや有り、粘性なし、砂礫粒をやや多く、Acを少量含む (I-2層上)。
- 8 灰黄褐色土 (10YR4-2) しまりやや有り、粘性なし、細か～中砂土、砂礫粒を少量含む (I-2層上)。
- 9 灰黄褐色土 (10YR4-2) しまり強い、粘性なし、細か～中砂土、砂礫粒を少量含む (I-2層上)。
- 10 灰黄褐色土 (10YR4-1) しまり強い、粘性なし、細か～中砂土、砂礫粒を少量含む (I-2層上)。
- 11 灰黄褐色土 (10YR4-1) しまり強い、粘性なし、細か～中砂土、砂礫粒を少量含む (I-2層上)。
- 12 におい黄褐色土 (10YR4-2) しまりやや強い、粘性なし、細か～中砂土、径5mm程度の砂礫プロット (黄褐色) を中量含む (I-2層上)。
- 13 灰黄褐色土 (10YR4-1) しまり強い、粘性なし、径5mm程度の砂礫プロット (黄褐色) を多く、径5～30mmの白色シント質土プロットを少量含む (I-2層上)。
- 14 灰黄褐色土 (10YR4-2) しまりやや強い、粘性なし、細か～中砂土、砂礫粒、径5mm程度の砂礫プロットをやや多く、Ac, Asを少量含む。
- 15 灰黄褐色土 (10YR3-2) しまりやや有り、粘性なし、As, Bをやや多く、Ac, C, 砂礫粒を少量含む。
- 16 灰黄褐色土 (10YR4-2) しまり強い、粘性なし、As, Bを多く、Ac, C, 砂礫粒、炭化物を少量含む。
- 17 におい黄褐色土 (10YR4-2) しまり強い、粘性なし、As, Bを中量、Ac, C, 砂礫粒、炭化物を少量含む。
- 18 灰黄褐色土 (10YR4-2) しまりやや有り、粘性有り、砂礫粒をやや多く、As, Bを中量含む。
- 19 灰黄褐色土 (10YR4-2) しまり強い、粘性なし、As, Bを多く、Ac, As, C, 砂礫粒を多く含む。
- 20 灰黄褐色土 (10YR3-2) しまり強い、粘性なし、As, Bをやや多く、Ac, C, 砂礫粒、炭化物を少量含む。
- 21 黄褐色土 (10YR3-2) しまり強い、粘性なし、径10～15mm程度の砂礫プロットを少量含む (W-1層上)。
- 22 黄褐色土 (10YR3-2) しまり強い、粘性なし、砂礫粒を中量含む (W-5層中)。
- 23 黄褐色土 (10YR3-2) しまりやや有り、粘性なし、砂礫プロットが主体となる (W-5層中)。
- 24 黄褐色土 (10YR3-2) しまりやや有り、粘性有り、Acを中量多く、砂礫粒、黄土粒、炭化物を少量含む。
- 25 黄褐色土 (10YR3-2) しまり強い、粘性なし、Acを中量、砂礫粒を少量含む。
- 26 黄褐色土 (10YR3-2) しまり強い、粘性なし、Acを中量、砂礫粒、黄土粒、炭化物を少量含む。
- 27 黄褐色土 (10YR3-2) しまり強い、粘性なし、黄土を中量、Ac, Cを少量含む。
- 28 黄褐色土 (10YR3-4) しまり強い、粘性なし、Ac, C, 砂礫粒を少量含む (H-12層上)。
- 29 黄褐色土 (10YR3-1) しまりやや有り、粘性なし、砂礫プロットが主体となる (H-12層上)。
- 30 におい黄褐色土 (10YR4-2) しまりなし、粘性やや有り、Ac, C, 砂礫粒、黄土粒を少量含む (H-12ケマツ層下)。
- 31 黄褐色土 (10YR3-2) しまりなし、粘性なし、径10～20mmの黄土プロット、炭化物、粘土プロットを少量含む (H-12ケマツ層中)。
- 32 黄褐色土 (10YR4-4) しまり強い、粘性なし、砂礫粒を主体とする層、灰、粘土粒をやや多く含む (H-12ケマツ層上)。
- 33 黄褐色土 (10YR4-2) しまり強い、粘性なし、Ac, C, 砂礫粒、黄土粒を少量含む (H-12ケマツ層下)。
- 34 黄褐色土 (10YR3-2) しまりやや有り、粘性なし、径10mm程度の砂礫プロットをやや多く含む (H-12ケマツ層下)。

35 灰褐色土 (10YR3-2) しまりなし、粘性なし、径10mm程度の砂礫プロットをやや多く、径10mm程度の粘土プロットを少量含む (H-12ケマツ層下)。

4区H-10号型穴建物跡 D

- 1 灰黄褐色土 (10YR4-2) しまり強い、粘性なし、Ac, C, 砂礫粒を少量含む (W-1層上)。
  - 2 におい黄褐色土 (10YR4-2) しまり強い、粘性なし、Ac, C, 砂礫粒、砂礫プロットを少量、黄土粒を少量含む (H-12層上)。
  - 3 灰黄褐色土 (10YR3-2) しまり強い、粘性なし、Ac, C, 砂礫粒、径10mm程度の黒色粘土プロット、黄土粒を少量含む (H-12層上)。
  - 4 灰黄褐色土 (10YR4-2) しまり有り、粘性なし、Ac, C, 砂礫粒を少量含む (H-12層上)。
  - 5 黄褐色土 (10YR3-2) しまりなし、粘性なし、Ac, Cを中量、砂礫粒、黄土粒、炭化物を少量含む (H-12層上)。
  - 6 黄褐色土 (10YR3-2) しまりやや有り、粘性なし、黄土を少量、Acを少量含む (H-12層上)。
  - 7 黄褐色土 (10YR3-1) しまり強い、粘性やや有り、Ac, C, 砂礫粒、黄土粒を少量含む (H-12層上)。
  - 8 黄褐色土 (10YR3-2) しまりなし、粘性なし、径10～20mmの黄土プロット、炭化物、粘土プロットを少量含む (H-12ケマツ層上)。
  - 9 灰黄褐色土 (10YR4-2) しまり強い、粘性なし、黄土を主体とする層、灰、粘土粒をやや多く含む (H-12ケマツ層上)。
  - 10 灰黄褐色土 (10YR3-1) しまり強い、粘性なし、砂礫粒、径5mm程度の砂礫プロット、黄土粒、炭化物を少量含む (H-12層上)。
  - 11 灰黄褐色土 (10YR3-2) しまりなし、粘性なし、径10mm程度の砂礫プロットをやや多く、径10mm程度の粘土プロットを少量含む (H-12ケマツ層下)。
- 4区H-10号型穴建物跡P 1 E
- 1 黄褐色土 (10YR3-1) しまり強い、粘性なし、細か～中砂、砂礫粒を少量含む。
  - 2 黄褐色土 (10YR3-1) しまり強い、粘性なし、砂礫プロットが主体。
  - 3 黄褐色土 (10YR4-1) しまり強い、粘性なし、細か～中砂、砂礫粒を少量含む。
  - 4 黄褐色土 (10YR4-4) しまり強い、粘性なし、細か～中砂、砂礫粒を少量含む。
- 4区H-10号型穴建物跡P 3 F
- 1 黄褐色土 (10YR3-4) しまり強い、粘性なし、砂礫粒、径10mm程度の砂礫プロットを少量含む。
  - 2 黄褐色土 (10YR3-2) しまり有り、粘性なし、砂礫粒、径10mm程度の砂礫プロットを多く含む。
  - 3 黄褐色土 (10YR2-2) しまりやや有り、粘性なし、径10mm程度の砂礫プロットを少量含む。
- 4区H-10号型穴建物跡P 5 G
- 1 黄褐色土 (10YR3-2) しまり強い、粘性なし、砂礫粒を少量、径10mm程度の砂礫プロットを少量含む。
  - 2 黄褐色土 (10YR3-2) しまり強い、粘性なし、砂礫粒を少量、径10mm程度の砂礫プロットを多く含む。
  - 3 黄褐色土 (10YR2-1) しまりやや強い、粘性なし、細か～中砂、砂礫粒をやや多く含む。
  - 4 黄土土 (10YR4-4) しまりやや強い、粘性なし、細か～中砂、砂礫粒が主体となる。
  - 5 黄褐色土 (10YR3-1) しまり有り、粘性なし、細か～中砂、砂礫粒を少量含む。
- 4区H-10号型穴建物跡P 6 H
- 1 灰黄褐色土 (10YR3-2) しまりなし、粘性なし、細か～中砂、径5mm程度の砂礫プロットを少量含む。
  - 2 黄土土 (10YR4-4) しまり強い、粘性なし、砂礫粒を主体とする層、砂礫粒を少量含む。
  - 3 黄土土 (10YR2-1) しまりやや強い、粘性なし、細か～中砂、砂礫粒をやや多く含む。
  - 4 黄土土 (10YR4-4) しまりやや強い、粘性なし、細か～中砂、砂礫粒が主体となる。
  - 5 黄褐色土 (10YR3-1) しまり有り、粘性なし、細か～中砂、砂礫粒を少量含む。
- 4区H-10号型穴建物跡P 7 I
- 1 灰黄褐色土 (10YR4-2) しまり強い、粘性なし、細か～中砂、砂礫粒を少量含む。
  - 2 黄土土 (10YR4-4) しまり強い、粘性なし、砂礫粒を主体とする層、黄土土を少量含む。
  - 3 黄土土 (10YR2-1) しまり強い、粘性なし、細か～中砂、砂礫粒を少量含む。
- 4区H-10号型穴建物跡P 8 J
- 1 灰黄褐色土 (10YR3-1) しまりなし、粘性なし、砂礫粒を少量含む。
  - 2 黄褐色土 (10YR3-2) しまりなし、粘性なし、砂礫粒を少量含む。

Fig.26 4区H-10・12号型穴建物跡、W-5号溝跡、I-2号井戸跡 (2)



## 4区H-11 竪穴建物跡 A

1. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまり強い、粘性やや有り、砂礫を中量、AsCを少量、径20mm程度の砂礫プロットを数少量含む。
2. 黒土 (30Y2/2-1) しまり強い、粘性なし、AsC、AsDをややく、砂礫粒、炭化物を数少量含む。
3. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまりなし、粘性なし、AsCを中量、径5～10mmの砂礫プロットを少量含む。
4. 暗褐色土 (30Y2/4) しまりやや強い、粘性弱い、AsC、砂礫土粒を少量、炭化物を数少量含む。
5. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまりなし、粘性なし、砂礫粒を中量、AsCを少量、径5～20mmの砂礫プロットを数少量含む。
6. 黒褐色土 (30Y2.5/1) しまりなし、粘性なし、AsCを少量、砂礫粒を数少量含む。
7. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまり有り、粘性なし、AsC、径5mm程度の砂礫プロットを中量含む。
8. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまり強い、粘性なし、AsC、砂礫粒、径5mm程度の砂礫プロットを少量含む。
9. 黒土 (30Y2/2-1) しまり強い、粘性やや有り、AsCを少量含む。
10. 灰黒褐色土 (30Y3/4) しまり強い、粘性なし、砂礫粒をややく含む。
11. 黒土 (30Y2/4) しまり強い、粘性なし、砂礫プロットを主とする。黒褐色土少量含む。
12. 黒土 (30Y2/2-1) しまりやや強い、粘性なし、AsC、砂礫粒を多く含む。
13. 黒土 (30Y2/2-1) しまりなし、粘性なし、AsC、砂礫粒を少量含む。
14. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまりなし、粘性なし、径10～20mmの砂礫プロットをややく含む。

## 4区H-11・13 竪穴建物跡、D-14 土坑 B

1. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまり有り、粘性有り、AsC、砂礫粒を中量、AsBを少量含む。
2. 灰黒褐色土 (30Y3/4) しまり有り、粘性強い、AsCをややく多く、AsB、砂礫粒を少量含む。
3. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまり有り、粘性有り、AsCを多く、AsB、砂礫粒、炭化物を数少量含む。
4. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまり有り、粘性有り、AsBをややく多く、AsC、砂礫粒を少量含む。
5. 灰黒褐色土 (30Y3/4) しまり強い、粘性強い、砂礫粒、径5mm程度の砂礫プロットを多く、AsC、焼土粒を数少量含む。
6. 黒土 (30Y2/2-1) しまりなし、粘性なし、AsC、砂礫粒を少量含む。
7. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまり有り、粘性弱い、AsC、砂礫粒を少量含む。
8. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまり有り、粘性弱い、AsC、砂礫粒を少量、焼土粒を数少量含む。

9. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまりやや強い、粘性強い、AsC、砂礫粒を数少量含む。
10. 暗褐色土 (30Y2/4) しまり有り、粘性なし、AsC、砂礫粒、径5mm程度の砂礫プロットを少量含む。
11. 暗褐色土 (30Y2/4) しまり有り、粘性なし、細砂質、砂礫粒を中量含む。
12. 黒褐色土 (30Y2.5/1) しまり強い、粘性なし、径10～20mmの砂礫プロットを多く、AsCを数少量含む。
13. 黒褐色土 (30Y2.5/1) しまりやや強い、粘性なし、AsCを少量、砂礫粒を少量、径10mm程度の砂礫プロットを数少量含む。
14. 暗褐色土 (30Y2/4) しまりなし、粘性なし、AsCを中量、砂礫粒、焼土粒を少量含む。
15. 暗褐色土 (30Y2/5/1) しまりなし、粘性なし、AsCを中量、砂礫粒、径5～20mmの砂礫プロットを少量含む。
16. 暗褐色土 (30Y2.5/1) しまりやや有り、粘性弱い、AsC、砂礫粒を数少量含む。
17. 暗褐色土 (30Y2/5/2) しまり強い、粘性強い、AsCをややく多く、砂礫粒、炭化物を数少量含む。
18. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまりやや強い、粘性強い、AsCを中量、砂礫粒、径5mm程度の砂礫プロットを少量含む。
19. 黒土 (30Y2/3) しまり強い、粘性有り、やや砂質、AsC、砂礫粒を少量含む。
20. 暗褐色土 (30Y2/5/2) しまり強い、粘性強い、AsC、径10～20mmの砂礫プロットを中量、炭化砂質土、焼土粒を少量含む。
21. 暗褐色土 (30Y2.5/2) しまり有り、粘性強い、砂質、AsC、砂礫粒、径5～10mmの砂礫プロットを中量含む。
22. 黒土 (30Y2/2-1) しまり有り、粘性強い、AsCを中量、砂礫粒を少量、径5mm程度の砂礫プロットを数少量含む。
23. 黒褐色土 (30Y2.5/2) しまり有り、粘性強い、砂礫粒、径5mm程度の砂礫プロット、焼土粒をややく多く、AsCを少量含む。
24. 黒土 (30Y2/2-1) しまりなし、粘性なし、砂礫プロットを主とする、AsCを数少量含む。
25. 黒褐色土 (30Y2.5/1) しまりなし、粘性なし、砂礫プロットを主とする。
26. 黒褐色土 (30Y2.5/1) しまりなし、粘性なし、径20mm程度の砂礫プロットを主とする。
27. 暗褐色土 (30Y2/5/1) しまり強い、粘性強い、砂礫粒、径10mm程度の砂礫プロットを中量含む。

Fig.27 4区H-11・13 竪穴建物跡、D-14 土坑

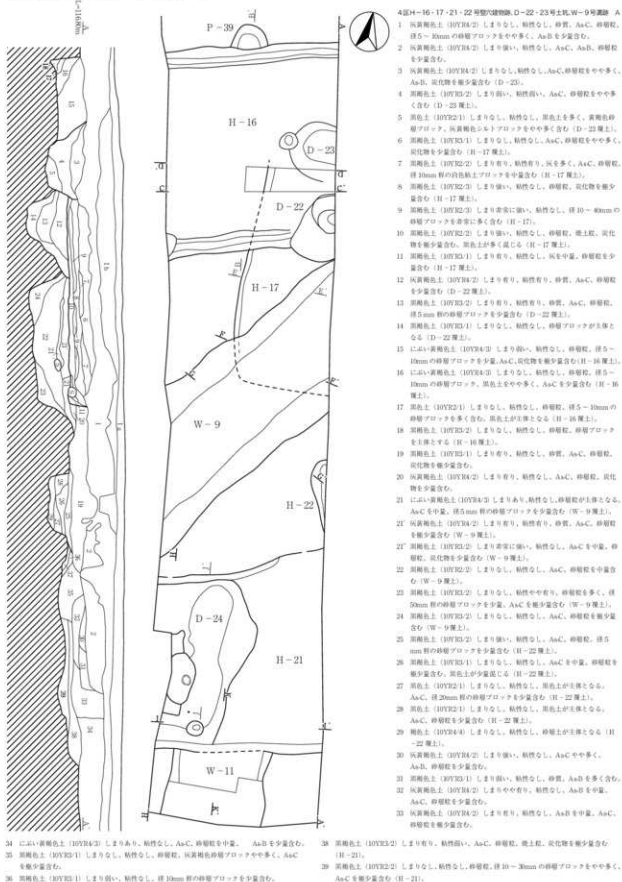
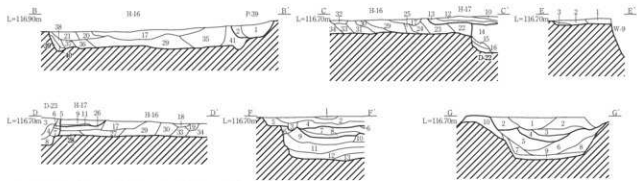
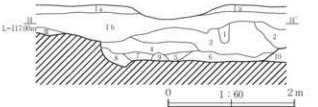


Fig.28 4区H-16・17・21・22号竪穴建物跡、D-22～24号土坑、W-9・11号溝跡 (1)



4区H-16・17号竪穴建物跡、W-9号溝跡、D-22・23号土坑、P-39号ピット B-D

- 1 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性なし、AsC、砂礫土を少量含む。径 20～30mm の砂質プロットを数少含む。
- 2 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性なし、径 10～30mm の砂質プロットを多く含む。AsC を数少含む。
- 3 築期土上 (H16)22) しまり有り、粘性なし、AsC、AsB を少量含む。
- 4 築期土上 (H16)22) しまり強い、粘性なし、砂礫土を多く含む。
- 5 築期土上 (H16)22) しまり有り、粘性なし、砂礫土を少量含む。AsC を数少含む。
- 6 築期土上 (H16)22) しまり強い、粘性なし、礫土が主体となる。
- 7 築期土上 (H16)22) しまり有り、粘性なし、砂礫土を少量含む。径 10～20mm の砂質プロットを数少含む。
- 8 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性なし、砂礫土を数少含む。
- 9 築期土上 (H16)22) しまり強い、粘性なし、砂礫土。径 30mm 程の砂質プロットを少量含む。
- 10 築期土上 (H16)22) しまり強い、粘性なし、砂礫土。炭化物を数少含む。
- 11 築期土上 (H16)22) しまり強い、粘性なし、径 10～20mm の砂質プロットを多く含む。
- 12 築期土上 (H16)22) しまり非常に強い、粘性なし、径 20mm 程の砂質プロットを非常に多く含む。
- 13 築期土上 (H16)22) しまり強い、粘性なし、砂礫土。焼土、炭化物を数少含む。築期土が多少含まれる。
- 14 築期土上 (H16)22) しまり有り、粘性なし、AsC。径 10mm 程の砂質プロットを少量含む。
- 15 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性なし、径 20～40mm の砂質プロットを少量含む。
- 16 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性なし、径 30～100mm の砂質プロットが主体となる。
- 17 築期土上 (H16)22) しまり有り、粘性なし、AsC、砂礫土を多く含む。AsB を少量含む。
- 18 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性なし、AsC、砂礫土を数少含む。
- 19 築期土上 (H16)22) しまり強い、粘性なし、砂礫土を数少含む。
- 20 築期土上 (H16)22) しまり有り、粘性なし、AsC、径 10～30mm の砂質プロットを数少含む。
- 21 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性なし、砂礫土。径 10～20mm の砂質プロットを数少含む。



- 2 築期土上 (H16)22) しまり強い、粘性や中有り、砂礫土を多く含む。炭化物を中量、AsC を少量含む。
- 3 築期土上 (H16)22) しまり強い、粘性なし、焼土。炭化物を中量、AsC、砂礫土を数少含む。
- 4 築期土上 (H16)22) しまり有り、粘性有り、炭化物を多く含む。焼土、焼土殻を中量、AsC、砂礫土。径 10mm 程の砂質プロットを数少含む。
- 5 築期土上 (H16)22) しまり強い、粘性なし、AsC、径 5～10 の焼土プロットを中量含む。炭化物を中量含む (H-17)。
- 6 築期土上 (H16)22) しまり有り、粘性なし、径 10mm 程の砂質プロットを少量含む。
- 7 築期土上 (H16)22) しまり有り、粘性なし、AsC、砂礫土。焼土、炭化物を少量含む。
- 8 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性なし、AsC、砂礫土。径 5mm 程の砂質プロットを中量、炭化物を少量含む。
- 9 築期土上 (H16)22) しまり有り、粘性有り、AsC を少量、砂礫土。炭化物を数少含む。
- 10 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性なし、AsC を少量、砂礫土。径 5mm 程の砂質プロットを少量含む。
- 11 築期土上 (H16)22) しまりなし、粘性有り、砂礫土を中量含む。AsC、焼土。炭化物を数少含む。
- 12 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性なし、砂礫土。径 5mm 程の砂質プロットを中量、AsC を数少含む。
- 13 築期土上 (H16)22) しまり有り、粘性なし、砂礫土を中量含む。AsC を数少含む。

4区W-9号溝跡 G

- 1 築期土上 (H16)22) しまりなし、粘性有り、AsC を中量含む。砂礫土。径 5mm 程の砂質プロットを少量含む。
- 2 築期土上 (H16)22) しまりや中強い、粘性有り、AsC を中量含む。砂礫土。炭化物を数少含む。
- 3 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性有り、AsC を少量、砂礫土を数少含む。
- 4 築期土上 (H16)22) しまり強い、粘性有り、AsC を少量、砂礫土。径 5mm 程の砂質プロットを少量含む。
- 5 築期土上 (H16)22) しまりなし、粘性有り、AsC を少量、砂礫土。焼土。炭化物を数少含む。
- 6 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性有り、AsC、砂礫土。炭化物を数少含む。
- 7 築期土上 (H16)22) しまりや中強い、粘性強い、AsC、砂礫土。径 5～10mm の砂質プロットを数少含む。
- 8 築期土上 (H16)22) しまりなし、粘性強い、砂礫土を数少含む。
- 9 築期土上 (H16)22) しまりなし、粘性なし、粘性なし、径 10mm 程の砂質プロットを数少含む。
- 10 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性有り、砂礫土を多く含む。AsC を中量含む。

4区H-21号竪穴建物跡 H

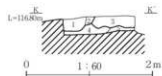
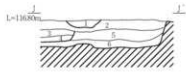
- 1 築期土上 (H16)22) しまりなし、粘性なし、AsB を中量含む。砂礫土を数少含む。
- 2 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性なし、AsC、砂礫土。径 10mm 程の砂質プロットを少量含む。
- 3 築期土上 (H16)22) しまり有り、粘性有り、砂礫土を多く含む。AsC を中量含む。
- 4 築期土上 (H16)22) しまりなし、粘性なし、砂礫土。径 5～10mm の砂質プロット、炭化物を少量、AsC を数少含む。
- 5 築期土上 (H16)22) しまりなし、粘性有り、砂礫土。炭化物を中量、AsC を少量含む。
- 6 築期土上 (H16)22) しまり有り、粘性なし、AsC、砂礫土。径 5mm 程の砂質プロットを数少含む。
- 7 築期土上 (H16)22) しまりなし、粘性なし、砂礫土。径 5～10mm の砂質プロットを中量含む。
- 8 築期土上 (H16)22) しまりなし、粘性なし、砂礫土。径 5～20mm の砂質プロットを中量含む。AsC を数少含む。
- 9 築期土上 (H16)22) しまり強い、粘性なし、焼土。焼土殻を中量含む。砂礫土を中量含む。
- 10 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性なし、AsC、砂礫土。焼土。焼土殻を中量含む。

4区W-9号溝跡 F

- 1 築期土上 (H16)22) しまりや中有り、粘性なし、砂礫土。砂質プロットが主体となる。

Fig.29 4区H-16・17・21・22号竪穴建物跡、D-22～24号土坑、W-9・11号溝跡 (2)





- 4区H-21号竪穴建物跡、D-24号土坑
- 1 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性なし、AsCを多く、砂礫粒を少量含む。
  - 2 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、砂礫粒、径10mm程の砂礫ブロックを少量含む。
  - 3 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、砂礫粒を多く、AsCを少量、炭化物を少量含む。
  - 4 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、径10-30mmを多く含む、砂礫の黒褐色土を多く含む。

- 5 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、AsCを少量、砂礫粒、径10mm程の砂礫ブロックを少量含む。
- 6 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、砂礫の黒褐色土を多く含む。

4区D-24号土坑 J

- 1 黒褐色土 (10YR2/2) しまりなし、粘性有り、AsBを少量、AsCを少量、砂礫粒、径5mm程の炭土ブロックを少量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性有り、AsBを少量、AsCを少量、砂礫粒を少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性有り、AsB、径5-10mmの炭土ブロックを少量、AsC、砂礫粒を少量含む。
- 4 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性有り、炭化物中や多く、AsB、砂礫粒を少量、AsC、径5mm程の炭土ブロックを少量含む。
- 5 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性弱い、AsC、AsBをやや多く、砂礫粒、径10mm程の砂礫ブロックを少量含む。
- 6 にい黒褐色土 (10YR2/2) しまりなし、粘性有り、砂礫粒、径5-10mmの砂礫ブロックを多く含む。

4区W-11号溝跡 K

- 1 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、AsCを少量、砂礫粒、径10mm程の砂礫ブロックを少量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂礫粒を少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、砂礫粒を少量含む。
- 4 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、径10mm程の砂礫ブロックを少量含む、砂礫の黒褐色土を多く含む。
- 5 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性なし、砂礫の黒褐色土を多く含む。

4区H-18・19・20号竪穴建物跡 A

- 1 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性なし、AsB、径10-30mmの砂礫ブロック、礫を少量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性なし、AsB、径5-10mmの砂礫ブロックを少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性なし、AsBを多く、径10-20mmの砂礫ブロックを少量含む。
- 4 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性なし、AsBを多く、砂礫粒を少量含む。
- 5 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性なし、AsBを多く、AsC、径10mm程の砂礫ブロックを少量、炭化物を少量含む。
- 6 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性なし、AsCを多く、AsBを少量、径10mm程の砂礫ブロックを少量含む。
- 7 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、AsB、径10-20mmの砂礫ブロックを少量、炭化物を少量含む。
- 8 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性なし、砂礫粒を多く、AsCを少量含む。
- 9 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、AsBを多く、径10-20mmの砂礫ブロックを少量含む (W-8層上)。
- 10 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、AsBを多く、砂礫粒を少量含む (W-8層上)。
- 11 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性なし、AsBを多く、AsC、砂礫粒を少量含む (W-3層上)。
- 12 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、AsBを多く含む、砂礫を多く含む、上部片を多く含む (W-3層上)。
- 13 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性中や有り、径10mm程の砂礫ブロックを多く、AsBを少量含む (W-3層上)。
- 14 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性中や有り、砂礫粒を多く、AsBを少量含む。
- 15 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性中や有り、AsB、砂礫粒を少量含む。
- 16 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、AsBを多く、砂礫粒を少量含む (W-2層上)。
- 17 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性なし、AsC、砂礫粒を多く、径10mm程の砂礫ブロック、炭土塊を少量含む (A-1層上)。
- 18 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性なし、砂礫粒を多く、AsCを少量含む。
- 19 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、径10-20mmの砂礫ブロックを多く、AsC、砂礫を少量含む。
- 20 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強、粘性なし、径10-20mmの砂礫ブロックを多く、AsCを少量含む。
- 21 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂礫粒、径10-30mmの砂礫ブロックを多く、AsCを少量含む。
- 22 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、AsCを少量、砂礫粒を少量含む。
- 23 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、径10-30mmの砂礫ブロックを多く含む、AsCを少量含む。
- 24 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性中や有り、砂礫を少量、AsC、径10mm程の砂礫ブロックを少量含む (H-19層上)。
- 25 黒褐色土 (10YR2/2) しまり中や有り、粘性なし、砂礫粒を少量含む (H-19層上)。
- 26 黒褐色土 (10YR2/2) しまり中や有り、粘性なし、径10-40mmの砂礫ブロックを多く含む (H-19層上)。
- 27 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性中や有り、径10-40mmの砂礫ブロックを多く、砂礫粒を少量、AsCを少量含む (H-19層上)。

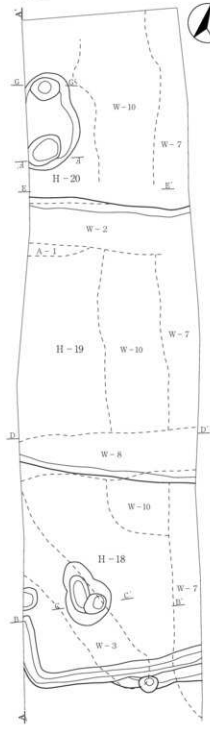
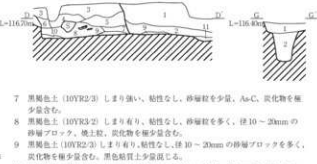
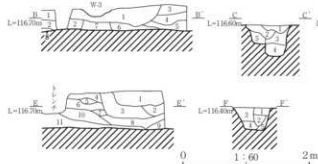


Fig.30 4区H-18～21号竪穴建物跡、W-11号溝跡、D-24号土坑

- 28 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、径10～40mmの砂質ブロックを非常に多く含む (H-19層上)。
- 29 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、径20～40mmの砂質ブロックを非常に多く含む (H-19層中)。
- 30 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂層状を多少含む (H-19層上)。
- 31 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、径10～30mmの砂質ブロックを多く含む (H-19層上)。
- 32 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂層状を多く含む (H-19層上)。
- 33 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、AsC、径20mm程度の砂質ブロックを少量含む、黒褐色の塊状土質ブロックを多く含む (H-20層上)。
- 34 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、AsC、砂層状、径10～20mmの砂質ブロックを多く含む (H-20層上)。
- 35 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、砂層状を多く、AsCを少量含む (H-20層上)。
- 36 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、径20～40mmの砂質ブロックを少量含む (H-20層上)。
- 37 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、径40mm程度の砂質ブロックを少量含む、砂層状を多く含む (H-20層上)。
- 38 黒褐色土 (10YR2/2) しまり非常に強い、粘性なし、径10mm程度の砂質ブロックを少量含む (H-20層中)。
- 39 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、径10～20mmの砂質ブロックを少量含む (H-20層上)。
- 40 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、径20～30mmの砂質ブロックを少量含む (H-20層上)。
- 41 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、径10～10mmの砂質ブロックを少量含む (H-20層上)。
- 42 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、径10～100mmの砂質ブロックを非常に多く含む (H-20層上)。

- 43 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、径10mm程度の砂質ブロックを少量含む、砂層状を多く含む (H-20層上)。
- 44 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂層状を多少含む、砂層状を多少含む (H-18層上)。
- 45 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂層状、径10～20mmの砂質ブロックを多く、AsCを少量含む (H-18層上)。
- 46 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂層状を多く、AsCを少量含む (H-18層上)。
- 47 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、砂層状を多く、AsCを少量含む、炭灰土が多く混入する (H-18層上)。
- 48 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、径10～30mmの砂質ブロックを非常に多く、砂層状を多く含む (H-18層上)。
- 49 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性やや有り、砂層状を多く、径10mm程度の砂質ブロックを少量含む (H-18層上)。
- 50 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性やや有り、砂層状、径10mm程度の砂質ブロックを少量含む (H-18層上)。
- 51 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂層状、径10～20mmの砂質ブロックを多く含む (H-18層上)。
- 52 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、砂層状が多く混入する (H-18層上)。
- 53 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂層状を少量含む (H-18層上)。
- 54 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、砂層状を少量含む (H-18層上)。
- 55 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、径10mm程度の砂質ブロックを非常に多く含む (H-18層上)。
- 56 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、径30mm程度の砂質ブロックを多く含む (H-18層上)。
- 57 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、径20mm程度の砂質ブロックを少量含む (H-18層上)。



4区H-18号段穴遺物群 B

- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、AsCを非常に多く含む、砂層状を多く、径10～20mmの砂質ブロックを少量、炭灰土、炭化物を少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂層状を多く、AsC、径10mm程度の砂質ブロックを少量、炭化物を極少量含む。
- 暗褐色土 (10YR3/3) しまり強い、粘性なし、AsC、砂層状を少量、径10mm程度の砂質ブロック、炭化物を極少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、AsC、砂層状を少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、AsC、砂層状を少量、径10～20mmの砂質ブロックを極少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、径10～20mmの砂質ブロックを少量、AsC、砂層状を極少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、径10～30mmの砂質ブロックを少量、AsC、砂層状を極少量含む。
- 暗褐色土 (10YR3/3) しまりやや有り、粘性なし、径10～20mmの砂質ブロックを多く含む。

4区H-18号段穴遺物群P1 C

- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性有り、砂層状を中量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性やや有り、径10～20mmの砂質ブロックを非常に多く含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性やや有り、径10mm程度の砂質ブロックを少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、径10～30mmの砂質ブロックを極少量含む。

4区H-19号段穴遺物群 D

- 暗褐色土 (10YR3/3) しまり強い、粘性なし、AsCを非常に多く、砂層状、径10～20mmの砂質ブロックを少量、塊状土、炭化物を極少量含む。
- 暗褐色土 (10YR3/3) しまり強い、粘性なし、砂層状を多く、AsC、径10mm程度の砂質ブロックを少量、塊状土を極少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、砂層状を多く、AsC、径10～20mmの砂質ブロックを少量含む。
- 暗褐色土 (10YR3/3) しまり強い、粘性なし、砂層状、径10～30mmの砂質ブロックを少量、AsCを極少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、径10～20mmの砂質ブロックを多く、AsC、炭化物を極少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂層状を少量、炭化物を極少量含む。

- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、砂層状を少量、AsC、炭化物を極少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂層状を多く、径10～20mmの砂質ブロック、塊状土、炭化物を極少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、径10～20mmの砂質ブロックを多く、炭化物を極少量含む。黒色塊状土少量混入。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、径10～30mmの砂質ブロックを非常に多く含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、径10～20mmの砂質ブロックを非常に多く含む。

4区H-20号段穴遺物群 E

- 暗褐色土 (10YR3/3) しまり強い、粘性なし、AsCを非常に多く、砂層状を少量、塊状土、炭化物を極少量含む。
- 暗褐色土 (10YR3/3) しまり強い、粘性なし、AsCを非常に多く、砂層状を少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、AsCを多く、砂層状を少量、径10mm程度の砂質ブロックを極少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり強い、粘性なし、砂層状を多く、AsCを少量、径10mm程度の砂質ブロック、炭化物を極少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、AsC、砂層状を少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、AsC、砂層状、径20mm程度の砂質ブロックを少量含む、黒色土が少量混入する。
- 暗褐色土 (10YR3/3) しまり有り、粘性なし、AsCを少量、砂層状を極少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂層状を多く、AsC、径20～30mmの砂質ブロックを少量含む、黒色土が少量混入する。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや有り、粘性なし、砂層状を少量含む。
- 黒褐色土 (10YR2/2) しまり有り、粘性なし、砂層状を少量、AsC、径10mm程度の砂質ブロックを極少量含む。
- 暗褐色土 (10YR3/3) しまりやや有り、粘性なし、径10～20mmの砂質ブロックを非常に多く含む。黒色土が極少量混入する。

4区H-20号段穴遺物群P1 F

- 灰黄色土 (10YR4/2) しまり強い、粘性なし、細かい砂質、砂層状、炭化物を少量含む。
- 灰黄色土 (10YR4/2) しまり強い、粘性なし、細かい砂質、砂層状、径5mm程度の砂質ブロックを少量含む。
- にがい灰黄色土 (10YR4/1) しまり強い、粘性なし、細かい砂質、砂層状、径10mm程度の砂質ブロックを多く含む。
- 灰黄色土 (10YR4/2) しまりなし、粘性なし、砂層状、径10mm程度の砂質ブロックを主体とする。
- 灰黄色土 (10YR4/2) しまりやや有り、粘性なし、砂層状、径10mm程度の砂質ブロックを主体とする。

4区H-20号段穴遺物群P2 G

- 黒褐色土 (10YR2/2) しまりなし、粘性なし、砂層状をやや多く、AsCを極少量含む (H-20層中)。
- 暗褐色土 (10YR3/4) しまり強い、粘性なし、砂層状を主体とする。

Fig.31 4区H-18～20号段穴遺物群

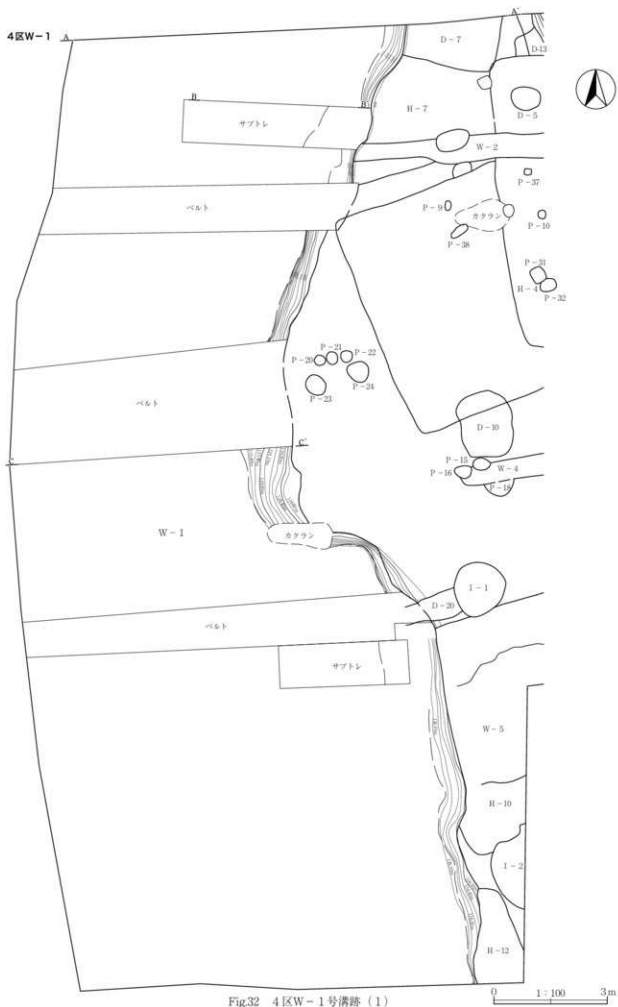


Fig.32 4区W-1号溝跡(1)

4区W-1号溝跡 A

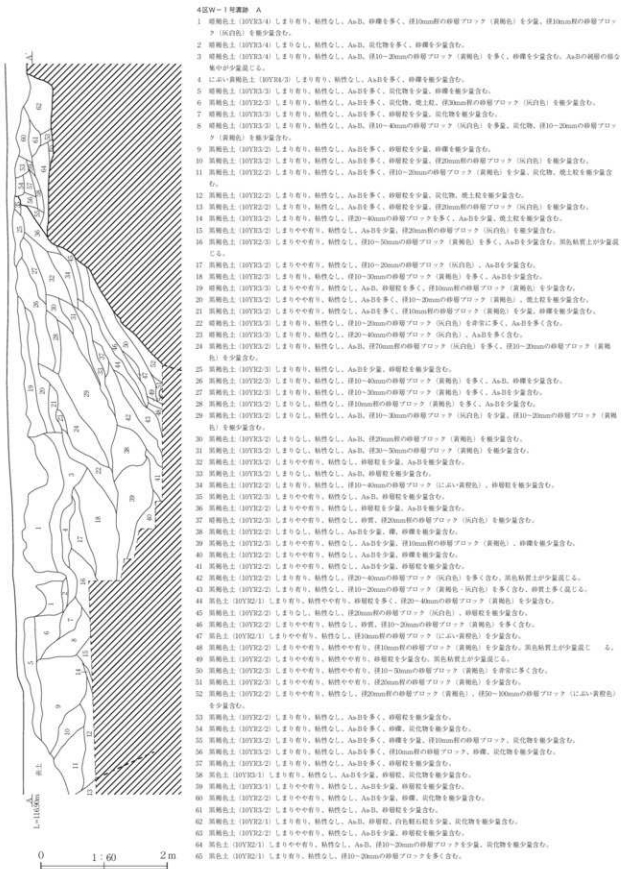
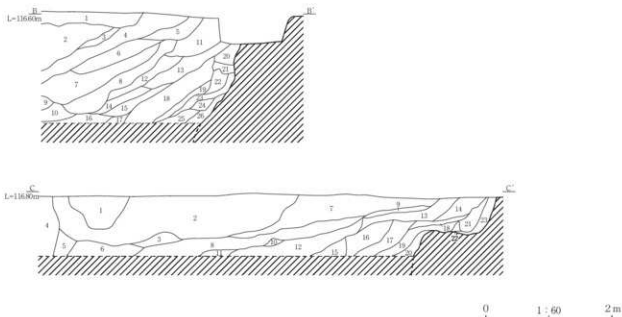


Fig.33 4区W-1号溝跡 (2)



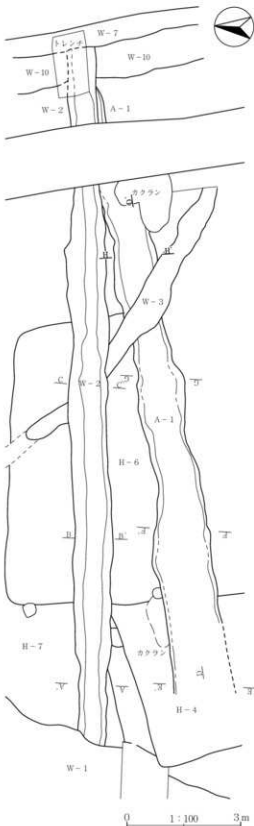
4区B-1号溝跡 B

- 1 赤土
- 2 黒褐色土 (HYE2-4) しまりやや有り、粘性なし。AsBを多く、砂礫、径10-20mmの砂礫ブロック (黄褐色) を少量含む。
- 3 黒褐色土 (HYE2-4) しまりやや有り、粘性なし。径10-20mmの砂礫ブロック (灰白色) を非常に多く、砂礫を少量含む。
- 4 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。AsB、径10-50mmの砂礫ブロック (灰白色) を多く、径10-30mmの砂礫ブロック (黄褐色) を少量、径10mm程度の黒色粘質土ブロックを少量含む。
- 5 黒褐色土 (HYE2-3) しまりやや有り、粘性なし。AsBを多く、径10mm程度の砂礫ブロック、砂礫、礫を少量含む。
- 6 黒褐色土 (HYE2-4) しまりやや有り、粘性なし。AsB、径10-40mmの砂礫ブロック (黄褐色) を多く含む。
- 7 黒褐色土 (HYE2-4) しまりやや有り、粘性なし。AsB、径10mm程度の黒色粘質土ブロックを少量、径10-30mmの砂礫ブロック (黄褐色)、径30-50mmの砂礫ブロック (灰白色) を少量含む。
- 8 黒褐色土 (HYE2-4) しまりやや有り、粘性なし。AsBを少量、径10mm程度の砂礫ブロック (灰白色) を少量含む。
- 9 土壌-赤褐色土 (HYE2-2) しまりなし、粘性なし。径20mm程度の砂礫ブロック (灰白色)、径10mm程度の黒色粘質土ブロックを少量含む。
- 10 黒褐色土 (HYE2-2) しまりなし、粘性なし。砂礫を少量含む。
- 11 黒褐色土 (HYE2-4) しまりやや有り、粘性なし。白土粘質土ブロックを多く、径10-50mmの砂礫ブロック (黄褐色) を少量、AsCを少量含む。
- 12 黒褐色土 (HYE2-4) しまりやや有り、粘性なし。径10-30mmの砂礫ブロック (灰白色) を多く、径10mm程度の黒色粘質土ブロックを少量、AsCを少量含む。
- 13 土壌-赤褐色土 (HYE2-2) しまりなし、粘性なし。径10-100mmの砂礫ブロック (灰白色) を多く含む。黒色、灰色の砂礫が多く混入する。径10-30mmの砂礫ブロック (灰白色) を非常に多く含む。
- 14 土壌-赤褐色土 (HYE2-2) しまりなし、粘性やや有り。径10-30mmの砂礫ブロック (灰白色) を非常に多く含む。
- 15 灰黄色土 (HYE2-2) しまりなし。粘性やや有り。径10-20mmの砂礫ブロック (灰白色) を少量、砂礫 (黄褐色) を少量含む。
- 16 灰黄色土 (HYE2-2) しまりなし。粘性やや有り。径10mm程度の砂礫ブロック (灰白色) を少量、砂礫 (黄褐色)、径10mm程度の黒色粘質土ブロックを少量含む。
- 17 土壌-赤褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。砂礫、径10mm程度の砂礫ブロック (黄褐色)、径10mm程度の黒色粘質土ブロックを少量含む。
- 18 黒褐色土 (HYE2-3) しまりやや有り、粘性なし。径10-20mmの砂礫ブロック (黄褐色)、径10-40mmの砂礫ブロック (灰白色) を少量、AsC、炭化物を少量含む。
- 19 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。砂礫 (黄褐色)、径10-30mmの砂礫ブロック (灰白色) を多く、径10-20mmの砂礫ブロック (黄褐色) を少量含む。
- 20 黒褐色土 (HYE2-3) しまりやや有り、粘性なし。砂礫 (黄褐色、灰白色) を少量含む。
- 21 灰黄色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。砂礫土が少量混入し、砂礫 (黄褐色) を少量含む。
- 22 灰黄色土 (HYE2-2) しまりなし。粘性なし。径10-30mmの黒色粘質土ブロックを少量、砂礫、砂礫 (黄褐色) を少量含む。
- 23 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。砂礫 (灰白色)、径10-50mmの砂礫ブロック (灰白色) を多く、径10-20mmの砂礫ブロック (黄褐色) を少量含む。
- 24 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。径10-20mmの砂礫ブロック (灰白色) を多く、径20-50mmの砂礫ブロック (黄褐色) を少量含む。

- 25 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。径10mm程度の砂礫ブロック (灰白色)、径10-30mmの砂礫ブロック (黄褐色) を少量含む。土壌-赤褐色土が少量混入する。
  - 26 黒褐色土 (HYE2-2) しまりなし。粘性なし。砂礫土 (灰白色) が多く混入する。
- 4区C-1号溝跡 C
- 1 黒褐色土 (HYE2-2) しまり有り、粘性なし。AsBを多く、白色粘石、焼土、炭化物を少量、径10-30mmの砂礫ブロック (土壌-赤褐色) を少量含む。
  - 2 黒褐色土 (HYE2-2) しまり有り、粘性なし。AsB、白色粘石を多く、焼土、炭化物、径10-40mmの砂礫ブロック (土壌-赤褐色)、径10mm程度の砂礫ブロック (黄褐色) を少量含む。
  - 3 黒褐色土 (HYE2-2) しまり有り、粘性なし。白色粘石、砂礫、炭化物を少量含む。
  - 4 黒褐色土 (HYE2-2) しまり有り、粘性なし。AsBを多く、白色粘石、径10-20mmの砂礫ブロック (黄褐色) を少量含む。炭分の混入が顕著である。
  - 5 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。AsBを多く、径10-20mmの砂礫ブロックを少量、白色粘石を少量含む。
  - 6 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。AsBを多く、砂礫を少量含む。
  - 7 黒褐色土 (HYE2-2) しまり有り、粘性なし。AsBを多く、白色粘石、砂礫を少量、焼土、炭化物を少量含む。
  - 8 黒褐色土 (HYE2-2) しまり有り、粘性なし。AsBを多く、径10-20mmの砂礫ブロックを少量、炭化物を少量含む。
  - 9 黒褐色土 (HYE2-2) しまり有り、粘性なし。AsBを多く、径10mm程度の砂礫ブロック (灰白色) を少量含む。
  - 10 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。AsBを多く、径10mm程度の砂礫ブロック (灰白色) を少量含む。
  - 11 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。AsBを多く、径10-20mmの砂礫ブロック (灰白色) を少量含む。
  - 12 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。径10-100mmの砂礫ブロック (灰白色) を非常に多く、AsBを多く含む。
  - 13 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。径10-30mmの砂礫ブロック (灰白色) を多く、AsBを少量含む。
  - 14 黒褐色土 (HYE2-2) しまり有り、粘性なし。AsB、径20mm程度の砂礫ブロック (灰白色) を少量含む。
  - 15 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。AsB、径10mm程度の砂礫ブロック (灰白色) を少量含む。
  - 16 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。径10-100mmの砂礫ブロック (土壌-赤褐色) を少量、AsBを少量含む。
  - 17 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。AsB、径10-40mmの砂礫ブロック (黄褐色) を少量含む。
  - 18 黒褐色土 (HYE2-2) しまり有り、粘性なし。径10mm程度の砂礫ブロック (土壌-赤褐色) を少量含む。
  - 19 灰土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。径10-30mmの砂礫ブロック (黄褐色) を少量含む。
  - 20 灰土 (HYE2-2) しまりなし、粘性なし。径10-30mmの砂礫ブロック (黄褐色) を非常に多く含む。
  - 21 黒褐色土 (HYE2-2) しまりなし。粘性なし。砂礫を少量、白色粘石を少量含む。
  - 22 黒褐色土 (HYE2-2) しまりやや有り、粘性なし。砂礫 (灰白色) を少量含む。
  - 23 黒褐色土 (HYE2-2) しまりなし。粘性なし。砂礫を少量含む。

Fig.34 4区B-1号溝跡 (3)

4区A-1、W-2



4区W-2号溝 A

- 1 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-B、砂礫を多く、径30mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 2 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-Bを多く、砂礫粒、径30mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 3 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、径10-30mmの砂礫アロツクを非常に多く、As-Bを多く含む。
- 4 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-B、径10-30mmの砂礫アロツクを多く含む。
- 5 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-Bを少量、径10-20mmの砂礫アロツクを少量含む。
- 6 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、砂礫粒を多く、As-Bを少量、径10-30mmの砂礫アロツクを少量含む。

4区W-2号溝 B

- 1 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-Bを多く、径10mm程の砂礫アロツクを少量、焼土粒、灰化物を少量含む。
- 2 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-Bを多く、砂礫粒を少量、灰化物を少量含む。
- 3 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-Bを多く、砂礫粒を少量、径10-20mmの砂礫アロツクを少量含む。
- 4 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-Bを多く、径20mm程の砂礫アロツク、灰化物を少量含む。
- 5 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-B、砂礫粒を少量含む。
- 6 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-B、砂礫粒を少量、径30mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 7 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-B、砂礫粒を少量含む。

4区W-2号溝 C

- 1 黒褐色土 (0YR2-2) しまりやや有り、粘性なし、As-B、砂礫粒を多く、砂礫、白色顆粒を少量、焼土粒、灰化物を少量含む。
- 2 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-Bを多く、砂礫粒を少量含む。
- 3 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-B、砂礫粒を少量含む。
- 4 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性なし、As-Bを少量、砂礫粒、径10mm程の砂礫アロツク、礫を少量含む。

4区A-1号道路状遺構 D

- 1 黒褐色土 (0YR2-2) しまりやや有り、粘性なし、砂礫粒を多く、As-Cを多く含む。黒土が少量混入する。
- 2 黒褐色土 (0YR2-2) しまりなし、粘性強めに有り、As-C、砂礫粒を少量、径10-20mmの砂礫アロツクを少量含む。
- 3 黒褐色土 (0YR2-1) しまりやや有り、粘性なし、As-C、径5-10mmの砂礫アロツク、焼土粒を少量含む。黒土が多少混入する。
- 4 黒褐色土 (0YR2-1) しまり非常に強い、粘性なし、As-C、径5-10mmの砂礫アロツク、焼土粒を少量含む。黒土が多少混入する。
- 5 黒褐色土 (0YR2-2) しまりやや有り、粘性強めに有り、砂礫粒を多く、As-C、径10-30mmの砂礫アロツクを少量含む。黒土が少量混入する。
- 5 黒褐色土 (0YR2-2) しまり非常に有り、粘性強めに有り、As-C、砂礫粒を少量含む。
- 6 黒褐色土 (0YR2-2) しまりやや有り、粘性なし、砂礫粒を少量、As-C、焼土粒を少量含む。
- 7 黒褐色土 (0YR2-2) しまりやや強い、粘性なし、砂礫粒を多く、As-Cを少量含む。
- 8 暗褐色土 (0YR3-3) しまりなし、粘性なし、径30mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 9 黒褐色土 (0YR2-2) しまり非常に有り、粘性なし、径10-30mmの砂礫アロツクを少量含む。
- 9' 黒褐色土 (0YR2-2) しまり非常に有り、粘性なし、砂礫粒、焼土粒を少量含む。
- 10 黒褐色土 (0YR2-2) しまりやや有り、粘性なし、砂礫粒を少量含む。
- 11 黒褐色土 (0YR2-2) しまりやや強い、粘性なし、砂礫粒を少量、As-C、径5-10mm程の砂礫アロツク、焼土粒を少量含む。
- 12 暗褐色土 (0YR3-3) しまり強い、粘性なし、As-Cをやや多く、径3mm程の砂礫アロツク、焼土粒を少量含む。
- 13 黒褐色土 (0YR2-2) しまり非常に強い、粘性なし、As-C、径5-10mmの砂礫アロツク、焼土粒を少量含む。
- 14 黒褐色土 (0YR2-2) しまり強い、粘性なし、As-Cを少量、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。焼土やや含む。

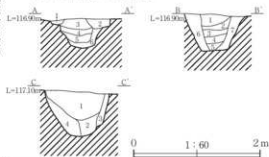


Fig35 4区A-1号道路状遺構、W-2号溝

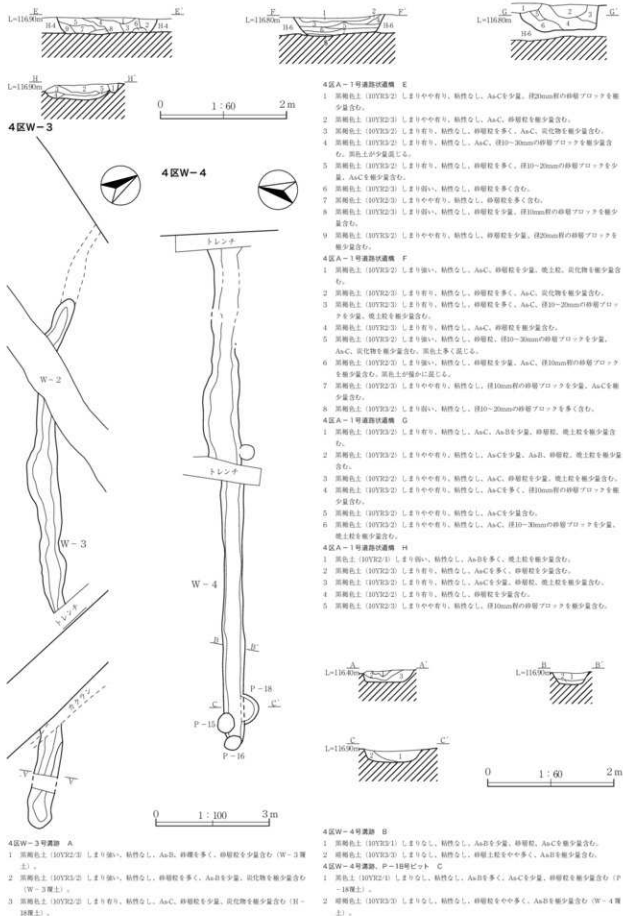
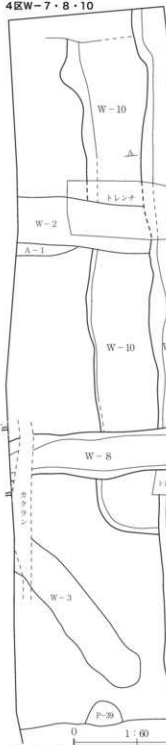


Fig.36 4区A-1号道路状遺構、W-3・4号溝跡、P-18号ピット

## 4区W-7・8・10



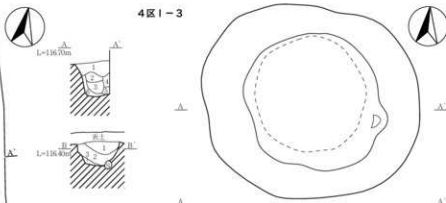
4区W-7明渠 A

- 1 高層土 (HVC2) しまり有り、粘性なし、Aa-B、砂礫を少量含む。径10mm程の砂礫ブロック、炭化物を少量含む。
- 2 高層土 (HVC4) しまり強い、粘性なし、Aa-Bを少量含む。砂礫。径10mm程の炭礫質土ブロックを少量含む。
- 3 二か一高層土 (HVC2) しまり強い、粘性なし、Aa-Bを非常に多く、径10mm程の炭礫質土ブロック、礫を少量含む。
- 4 高層土 (HVC2) しまり有り、粘性なし、Aa-Bを多量、砂礫土層。径10~20mmの砂礫ブロックを少量含む。
- 5 高層土 (HVC2) しまり有り、粘性なし、Aa-B、径10~30mmの砂礫ブロックを少量含む。
- 6 高層土 (HVC2) しまりやや有り、粘性なし、Aa-B、砂礫を少量含む。

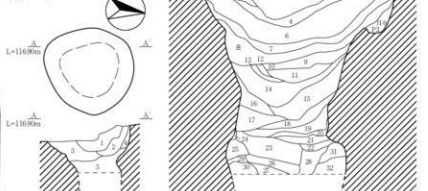
4区W-8明渠 B

- 1 高層土 (HVC2) しまり有り、粘性なし、Aa-Bを多く、径10~20mmの砂礫ブロックを少量含む。

## 4区I-3



## 4区I-1



- 2 高層土 (HVC2) しまり有り、粘性なし、Aa-B、砂礫を少量、礫を少量含む。
- 3 高層土 (HVC2) しまり有り、粘性なし、砂礫を少量、Aa-Bを少量含む。

## 4区I-1号井戸 A

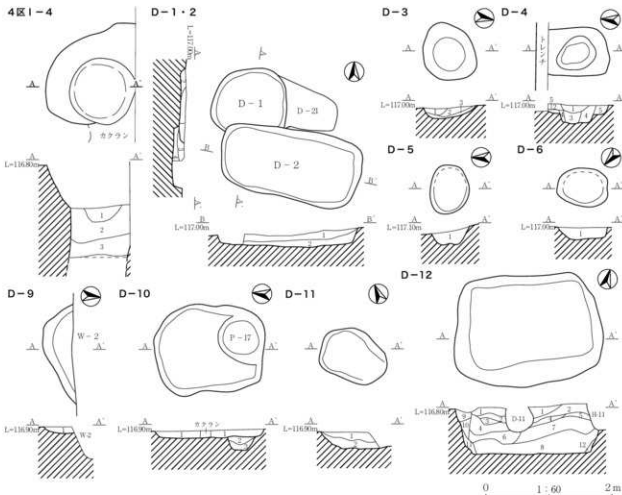
- 1 高層土 (HVC4) しまりなし、粘性やや有り、砂礫、Aa-B、砂礫、砂礫ブロックを少量含む。
- 2 高層土 (HVC4) しまりなし、粘性なし、砂礫、砂礫を少量含む。
- 3 高層土 (HVC4) しまりやや有り、粘性なし、径10~20mmの砂礫ブロックを少量含む。
- 4 高層土 (HVC4) しまりなし、粘性なし、砂礫、径5mm程の砂礫ブロックを少量含む。
- 5 高層土 (HVC3) しまり強い、粘性やや有り、砂礫、砂礫ブロックを少量含む。

## 4区I-1-3号井戸 A

- 1 高層土 (HVC2) しまりなし、粘性なし、Aa-B 礫層に多い。
- 2 高層土 (HVC2) しまり有り、粘性なし、Aa-Bを多く、砂礫、炭化物を少量含む。
- 3 高層土 (HVC2) しまりやや有り、粘性なし、Aa-Bを多く、砂礫を少量含む。炭化物を少量含む。
- 4 高層土 (HVC2) しまりやや有り、粘性なし、Aa-Bを非常に多く、径10~20mmの砂礫ブロックを少量含む。高土が礫少量に広がる。
- 5 高層土 (HVC2) しまりやや有り、粘性なし、Aa-Bを多く、砂礫を少量含む。
- 6 高層土 (HVC2) しまりなし、粘性なし、Aa-Bを多く、径10~20mmの砂礫ブロック、炭化物を少量含む。
- 7 高層土 (HVC2) しまりなし、粘性なし、Aa-Bを多く、径10mm程の砂礫ブロックを少量含む。
- 8 高層土 (HVC2) しまりなし、粘性なし、Aa-Bを多く含む。高土が少量に広がる。
- 9 二か一高層土 (HVC4) しまりやや強い、粘性なし、径5mm程の砂礫ブロック (黄褐色、白色) を多く含む。
- 10 高層土 (HVC2) しまり強い、粘性なし、Aa-Bを多く、砂礫を少量含む。
- 11 二か一高層土 (HVC3) しまり強い、粘性なし、白色砂礫、径5mm程の砂礫ブロック (白色)、炭化物を少量含む。
- 12 高層土 (HVC3) しまり強い、粘性なし、Aa-Bをやや多く、砂礫を少量含む。
- 13 高層土 (HVC2) しまり強い、粘性なし、Aa-Bを多く含む。砂礫が底面に多く堆積。
- 14 高層土 (HVC4) しまりやや強い、粘性なし、Aa-Bをやや多く、高層土砂礫、径10mm程の砂礫ブロック (黄褐色) を少量含む。
- 15 高層土 (HVC4) しまり強い、粘性やや強い、高層土砂礫、炭化物を少量含む。
- 16 高層土 (HVC4) しまりなし、粘性強い、炭化物を少量、黄褐色砂礫、径5mm程の砂礫ブロック (黄褐色) を少量含む。
- 17 高層土 (HVC2) しまりやや有り、粘性有り、黄褐色砂礫ブロックが主体となる。炭化物を少量含む。
- 18 高層土 (HVC4) しまり有り、粘性有り、黄褐色砂礫、径10mm程の砂礫ブロック (黄褐色) を中量、炭化物を少量含む。
- 19 高層土 (HVC2) しまりなし、粘性やや有り、炭化物を少量、黄褐色砂礫、径5mm程の砂礫ブロック (黄褐色) を少量含む。
- 20 二か一高層土 (HVC4) しまりやや強い、粘性やや強い、高層土 (黄褐色、白色)、径5~10mmの砂礫ブロック (黄褐色、白色) をやや含む。
- 21 高層土 (HVC3) しまりなし、粘性なし、Aa-Bを多く、高層土砂礫を少量含む。
- 22 高層土 (HVC4) しまりなし、粘性有り、砂礫、径10mm程の砂礫ブロックを少量含む。
- 23 高層土 (HVC2) しまりやや有り、粘性強い、黄褐色砂礫、径10~20mmの砂礫ブロック (黄褐色) を多く含む。
- 24 二か一高層土 (HVC3) しまりなし、粘性なし、細い砂礫が主体となる。
- 25 高層土 (HVC2) しまりなし、粘性なし、白色砂礫を多く含む。
- 26 高層土 (HVC2) しまり強い、粘性強い、黄褐色砂礫、径10~30mmの砂礫ブロック (黄褐色) を多く含む。
- 27 高層土 (HVC2) しまりやや強い、粘性やや強い、黄褐色砂礫を中量含む。
- 28 高層土 (HVC3) しまりやや強い、粘性やや強い、黄褐色砂礫を中量含む。
- 29 高層土 (HVC6) しまり強い、粘性なし、白色砂礫を主体とする。
- 30 高層土 (HVC3) しまりなし、粘性やや有り、黄褐色砂礫を少量含む。
- 31 高層土 (HVC5) しまりなし、粘性なし、白色砂礫をやや多く含む。
- 32 高層土 (HVC4) しまりなし、粘性なし、Aa-B、白色砂礫、を少量、炭化物を少量含む。

Fig.37 4区W-7・8・10号溝跡、I-1・1-3号井戸跡





4区I-4号井戸 A

- 1 黒色土 (10732) しまり度、粘性なし、AsBを多く、砂礫、径10-20mmの砂礫アロップを数少量含む。
- 2 黒褐色土 (10732) しまり度、粘性なし、AsBを多く、砂礫を少量、径10mm程度の砂礫アロップ、腐を数少量含む。
- 3 黒褐色土 (10732) しまり度、粘性なし、AsB、径10mm程度の砂礫アロップを少量含む。

4区O-1・2号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、AsD、径10mm程度の砂礫アロップ、砂礫を少量、炭化物、焼土層を数少量含む (D-1層上)。
- 2 黒褐色土 (10732) しまりや有り、粘性なし、砂礫を少量含む (D-1層上)。
- 3 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、AsB、砂礫、径10mm程度の砂礫アロップを少量含む (D-2層上)。
- 4 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、AsB、砂礫を少量、径5-10mm程度の砂礫アロップを数少量含む (D-2層上)。

4区O-2号土坑 碧

- 1 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、AsD、砂礫、径10mm程度の砂礫アロップを少量含む。
- 2 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、AsD、砂礫を少量、径5-10mm程度の砂礫アロップを数少量含む。

4区O-3号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、砂礫を少量、径10mm程度の砂礫アロップを数少量含む。
- 2 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、砂礫を少量、焼土層を数少量含む。
- 3 黒褐色土 (10732) しまりや有り、粘性なし、砂礫、径10mm程度の砂礫アロップを少量含む。

4区O-4号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、AsBを多く、砂礫を数少量含む。
- 2 黒褐色土 (10732) しまりや有り、粘性なし、AsDを多く、砂礫を少量含む。
- 3 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、AsBを多く、砂礫を少量含む。
- 4 砂礫土 (10733) しまりなし、粘性なし、AsD、砂礫、径5mm程度の砂礫アロップを少量含む。
- 5 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、AsD、砂礫を少量含む。

4区O-5号土坑 A

- 1 黒色土 (10732) しまりなし、粘性なし、AsBを多く、径5mm程度の砂礫アロップを少量含む。

4区D-6号土坑 A

- 1 黒色土 (10732) しまりなし、粘性なし、AsDを多く、径5mm程度の砂礫アロップを数少量含む。

4区O-9号土坑 A

- 1 灰黒褐色土 (10734) しまりなし、粘性なし、AsBを多く、砂礫を数少量含む。

4区O-10号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、AsD、砂礫、径5-10mm程度の砂礫アロップを少量含む。

- 2 灰黒褐色土 (10734) しまりなし、粘性なし、砂礫を主体とする、AsBを少量含む、灰色土を少量含む (P-17層上)。

- 3 褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、砂礫を少量含む (P-17層上)。

4区O-11号土坑 A

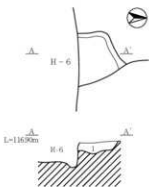
- 1 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、AsB、径20mm程度の砂礫アロップを多く含む。
- 2 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、砂礫を多く、AsB、径10-20mm程度の砂礫アロップを少量含む。

4区O-12号土坑 A

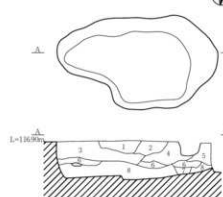
- 1 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、AsC、砂礫、径5mm程度の砂礫アロップを少量含む。
- 2 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、砂礫、径5-20mm程度の砂礫アロップをやや多く、AsCを数少量含む。
- 3 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、径5mm程度の砂礫アロップを少量、炭化物を数少量含む。
- 4 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、砂礫をやや多く、径5mm程度の砂礫アロップを数少量含む。
- 5 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、砂礫、炭化物をやや多く含む。
- 6 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、砂礫をやや多く、径10-20mm程度の砂礫アロップを少量含む。
- 7 褐色土 (10734-4) しまりや有り、粘性なし、砂礫、径5mm程度の砂礫アロップを主体とする、AsCを数少量含む。
- 8 灰黒褐色土 (10733) しまりや有り、粘性なし、砂礫、径5mm程度の砂礫アロップを数少量含む。
- 9 褐色土 (10734-6) しまりなし、粘性なし、砂礫を主体とする。
- 10 黒褐色土 (10732) しまりなし、粘性なし、砂礫をやや多く含む。
- 11 褐色土 (10734-6) しまりなし、粘性なし、砂礫を主体とする、白色粒状物を少量含む。
- 12 褐色土 (10734-6) しまりなし、粘性なし、砂礫を主体とする。

Fig.38 4区I-4号井戸跡、土坑 (1)

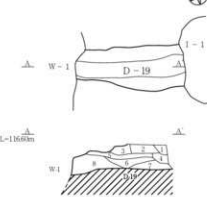
D-13



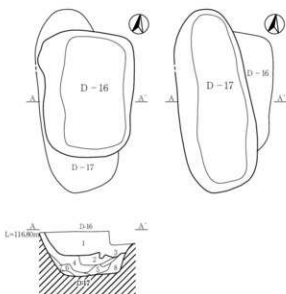
D-15



D-19



D-16・17



## 4区D-13号土坑 A

1 黒土 (10YR2-1) しまりやや有り、粘性なし、AsCを少量、径30-28mmの砂質ブロックを多く含む。

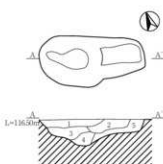
## 4区D-15号土坑 A

- 1 黒土 (10YR2-1) しまり強い、粘性なし、AsCを多く、砂質粒、砂質ブロック、焼土粒をやや多く、黒土土を中量含む。
- 2 黒土 (10YR2-1) しまり強い、粘性なし、AsCをやや多く、砂質粒、径5mm程の砂質ブロックを少量含む。
- 3 黒土 (10YR2-1) しまり強い、粘性なし、AsCを多く、砂質粒、径30mm程の砂質ブロックを少量含む。
- 4 黒土 (10YR2-1) しまり強い、粘性やや有り、AsCを中量、砂質粒、径5mm程の砂質ブロックを少量含む。
- 5 黒土 (10YR2-1) しまり非常に強い、粘性なし、AsC、砂質粒、径5-28mmの砂質ブロックを多く含む。
- 6 黒土 (10YR2-2) しまりやや有り、粘性やや有り、砂質粒、径5-38mmの砂質ブロックを少量、AsCを少量含む。
- 7 灰黄黒土 (10YR4-2) しまりやや有り、粘性やや有り、砂質粒を多く、径10mm程の砂質ブロックを中量含む。
- 8 黒土 (10YR2-2) しまりなし、粘性なし、砂質粒、砂質ブロックを主体とする。

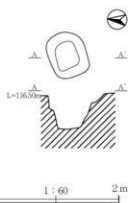
## 4区D-16・17号土坑 A

- 1 灰黄黒土 (10YR4-2) しまり強い、粘性なし、AsDを多く、径5mm程の砂質ブロック、炭化物を少量含む。
- 2 黒土 (10YR2-2) しまりなし、粘性なし、砂質粒、径30mm程の砂質ブロックを少量含む。
- 3 黒土 (10YR4-6) しまりやや有り、粘性なし、砂質粒、径30-38mmの砂質ブロックを主体とする。
- 4 黒土 (10YR2-1) しまりなし、粘性なし、径5mm程の砂質ブロックを少量含む。

D-21



D-29



- 5 黒土 (10YR2-1) しまりなし、粘性なし、径20mm程の砂質ブロックを多く含む。
- 6 黒土 (10YR2-1) しまりなし、粘性なし、砂質粒を少量含む。
- 7 黒土 (10YR4-6) しまり強い、粘性なし、径30mm程の砂質ブロックを主体とする。
- 8 黒土 (10YR4-6) しまりやや有り、粘性なし、砂質粒を主体とする。径30mm程の砂質ブロックを多く含む。

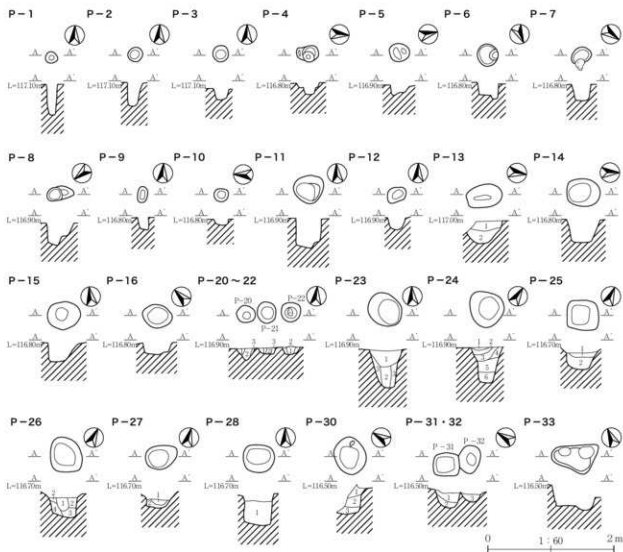
## 4区D-19号土坑 A

- 1 黒土 (10YR2-1) しまりやや有り、粘性なし、砂質粒、径30-38mmの砂質ブロックを少量含む。
- 2 黒土 (10YR2-1) しまり有り、粘性なし、砂質粒、径10mm程の砂質ブロックを非常に多く含む。
- 3 黒土 (10YR2-3) しまりやや有り、粘性なし、径20-48mmの砂質ブロックを多く含む。
- 4 黒土 (10YR2-1) しまりやや有り、粘性なし、径30-48mmの砂質ブロックを多く含む。
- 5 黒土 (10YR3-2) しまり有り、粘性なし、砂質粒を多く、径30mm程の砂質ブロックを少量含む。
- 6 黒土 (10YR2-2) しまりやや有り、粘性なし、径30-100mmの砂質ブロックを少量含む。
- 7 黒土 (10YR2-2) しまり強い、粘性なし、径10-38mmの砂質ブロックを少量含む。
- 8 黒土 (10YR2-2) しまり強い、粘性なし、砂質粒、径10-28mmの砂質ブロックを少量含む。

## 4区D-21号土坑 A

- 1 黒土 (10YR2-1) しまりやや強い、粘性なし、砂質粒を中量含む。
- 2 黒土 (10YR3-1) しまり強い、粘性なし、AsCを中量、径5-10mmの砂質ブロックを少量含む。
- 3 黒土 (10YR2-1) しまりやや有り、粘性なし、砂質粒、径5mm程の砂質ブロックをやや多く含む。
- 4 黒土 (10YR2-1) しまりやや有り、粘性なし、砂質粒、径5-10mmの砂質ブロックを少量含む。
- 5 灰黄黒土 (10YR4-2) しまりやや強い、粘性なし、砂質粒を中量含む。

Fig.39 4区土坑 (2)



4区P-13号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/3) しまりなし、粘性なし、AsD、径10mm程度の砂礫ブロックを少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/2) しまりなし、粘性なし、砂礫粒を少量含む。

4区P-20号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、径10～20mmの砂礫ブロックを多く、AsDを少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/3) しまりやや有り、粘性なし、径10～20mmの砂礫ブロックを多く、AsDを少量含む。

4区P-22号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、砂礫粒を少量含む。

4区P-23号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 3 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、砂礫粒を少量、AsDを少量含む。

4区P-24号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、径10mm程度の砂礫ブロックを多く、AsDを少量含む。

4区P-25号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまりやや有り、粘性なし、径10～40mmの砂礫ブロックを多く、AsDも少量、炭化物を少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 3 黒色土 (10Y32/3) しまり強い、粘性なし、径10～30mmの砂礫ブロックを少量含む。

4区P-26号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 3 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。

4区P-27号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 3 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。

4区P-28号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 3 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。

4区P-29号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 3 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。

4区P-30号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 3 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。

- 5 黒色土 (10Y32/3) しまり非常に強い、粘性なし、径10～30mmの砂礫ブロックを少量含む。
- 6 黒色土 (10Y32/2) しまり非常に強い、粘性なし、径10～30mmの砂礫ブロックを多く含む。

4区P-25号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/3) しまりやや有り、粘性なし、AsC、砂礫粒、砂礫ブロックを少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/3) しまり強い、粘性なし、AsC、砂礫粒を少量含む。

4区P-26号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、径20mm程度の白色砂礫土ブロックを多く、砂礫粒をやや多く、AsCを少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、径5～10mmの砂礫ブロックをやや多く、砂礫粒を少量含む。

4区P-27号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまりやや有り、粘性やや有り、砂礫粒をやや多く含む。
- 2 褐色土 (10Y34/4) しまりなし、粘性なし、砂礫粒、径10mm程度の砂礫ブロックを主体とする。

4区P-27号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsD、砂礫粒を少量含む。
- 2 褐色土 (10Y34/4) しまり強い、粘性なし、砂礫粒、径30mm程度の砂礫ブロックを多く含む。

4区P-28号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまりなし、粘性なし、砂礫粒を少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/2) しまりやや強い、粘性なし、AsC、砂礫粒、塊土粒を少量含む。

4区P-29号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまりやや有り、粘性有り、砂礫粒、径10mm程度の砂礫ブロックを少量含む。
- 2 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、AsC、砂礫粒、塊土粒を少量含む。

4区P-30号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、砂礫粒、径5～10mmの砂礫土ブロックをやや多く含む。
- 2 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、砂礫粒、径5mm程度の砂礫土ブロックを少量含む。

4区P-31・32号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまり強い、粘性なし、砂礫粒、径5mm程度の砂礫土ブロックを少量含む。
- 2 灰黒色土 (10Y34/2) しまりやや強い、粘性なし、砂礫粒が主体となる。

4区P-33号ピット A

- 1 黒色土 (10Y32/2) しまりやや強い、粘性なし、砂礫粒。

Fig.40 4区ピット (1)

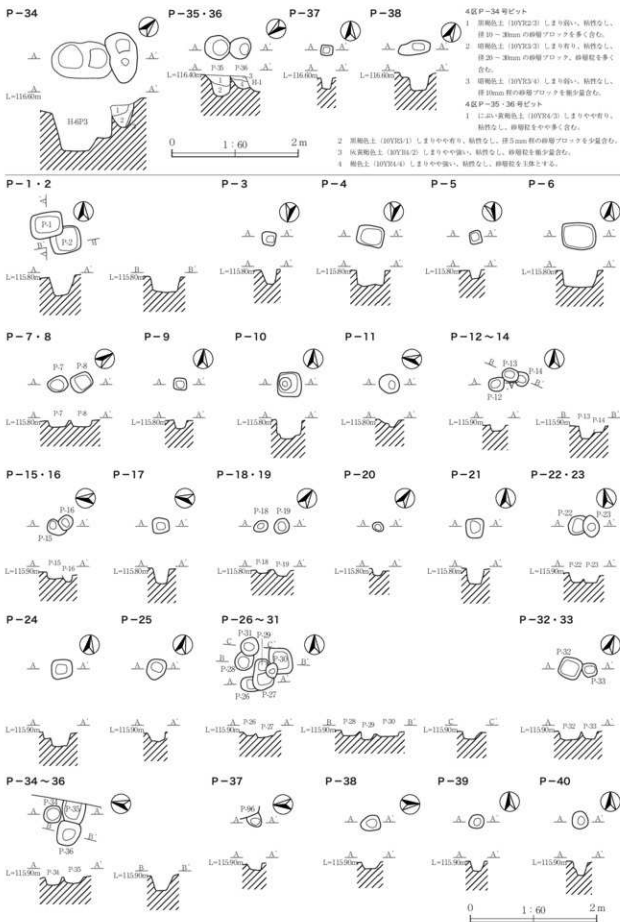


Fig41 4区ピット(2)、5区ピット(1)

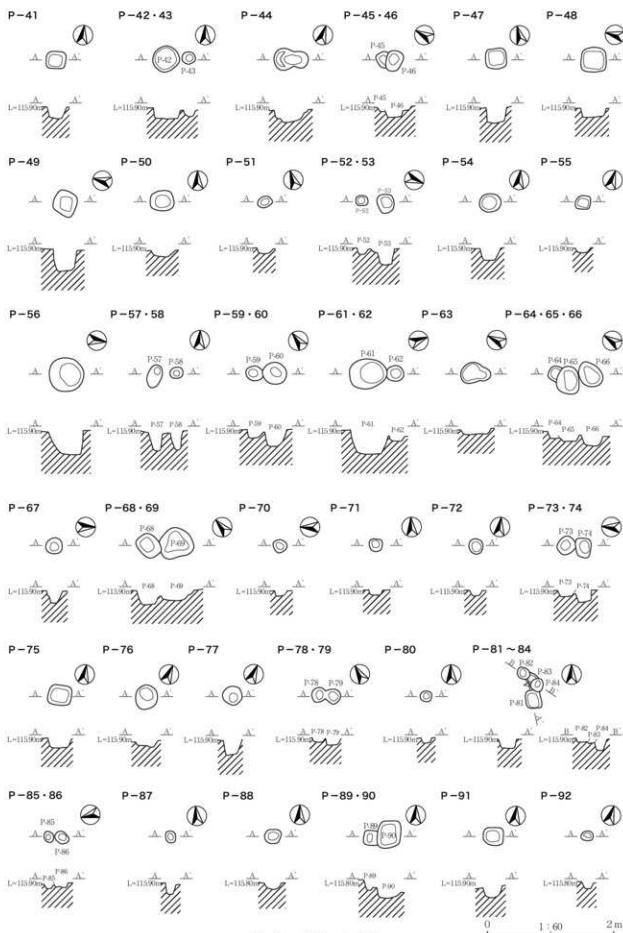


Fig.42 5区ピット (2)



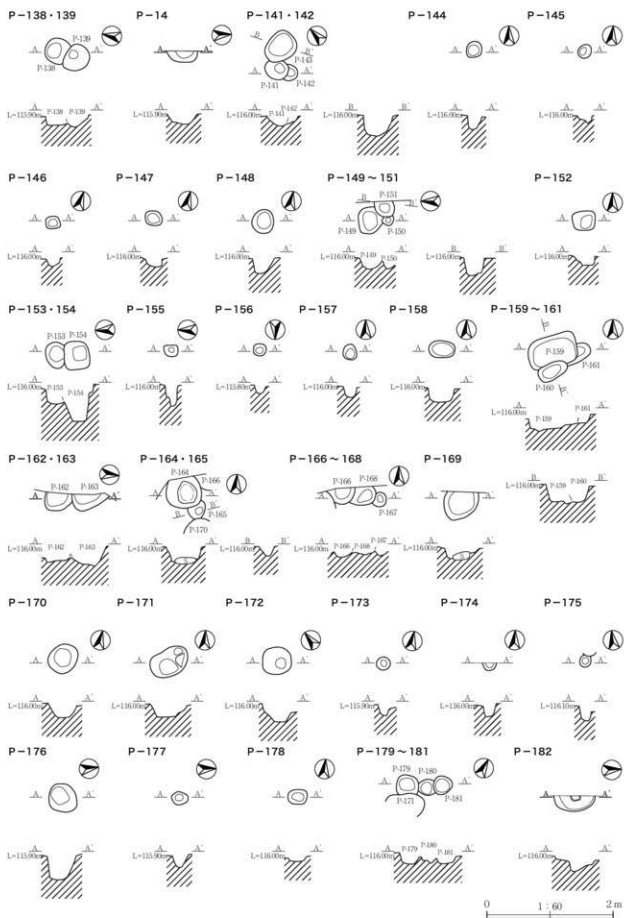
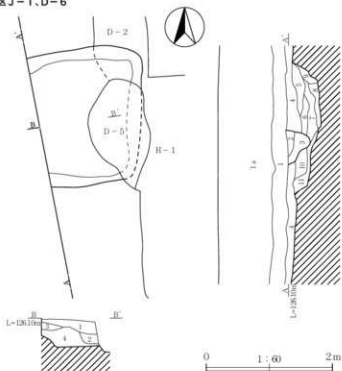


Fig44 5区ピット (4)

6区J-1・D-6



6区J-1号竪穴建物跡・D-6号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10YR2.2) しまり残り、粘りなし。AsCを多く、AsDを少量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR2.2) しまり残り、粘りなし。AsCを少量、AsDを極少量含む。(D-6層上)
- 3 黒褐色土 (10YR2.2) しまり残り、粘りなし。AsCを少量、AsDを極少量含む。(D-6層上)
- 4 黒褐色土 (10YR2.2) しまり残り、粘りなし。AsC、AsDを極少量含む。
- 5 黒色土 (10YR2.1) しまり残り、粘りなし。砂粒を多く含む。
- 6 暗褐色土 (10YR3.2) しまりや残り、粘りなし。砂粒を多く、径10mm程度の砂質プロットを少量含む。
- 7 黒色土 (10YR2.1) しまり残り、粘りなし。砂粒を、径15mm程度の砂質プロットを多く含む。
- 8 暗褐色土 (10YR3.2) しまり残り、粘りなし。径20～30mmの砂質プロットを非常に多く含む。
- 9 黒褐色土 (10YR2.2) しまり残り、粘りなし。砂粒を、径20mm程度の砂質プロットを少量含む。
- 10 黒褐色土 (10YR2.2) しまり残り、粘りなし。径10mmの砂質プロット、砂粒を少量含む。
- 11 暗褐色土 (10YR3.2) しまり残り、粘りなし。径30～40mmの砂質プロットを少量含む。

6区J-1号竪穴建物跡 B

- 1 黒色土 (10YR2.1) しまり残り、粘りなし。砂粒を少量、径20～40mmの砂質プロットを極少量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR2.2) しまり残り、粘りなし。砂粒を多く含む。
- 3 暗褐色土 (10YR3.2) しまりや残り、粘りなし。砂粒を多く含む。
- 4 暗褐色土 (10YR3.2) しまりや残り、粘りなし。砂粒を径10～40mmのプロットを多く含む。

6区H-1・2・D-5

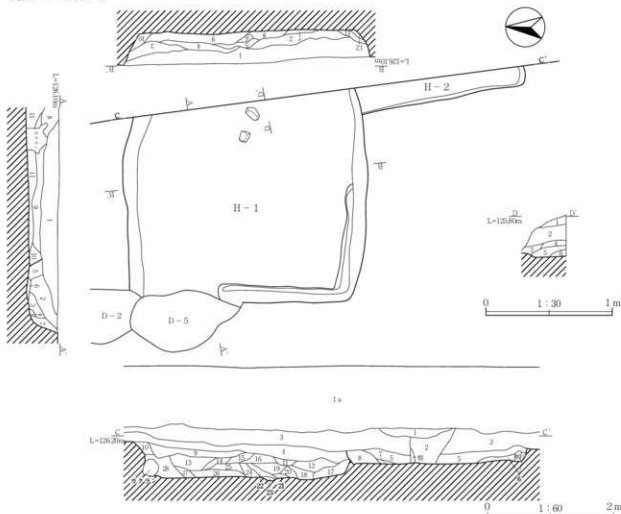


Fig.45 6区J-1、H-1・2号竪穴建物跡、D-5号土坑(1)



6区H-1号型穴建物跡 A

- 1 基壇土上 (H9Y32) しまり強い、粘性なし、AsCを非常に多く、径10mm程の砂礫アロツクを少量、反応物を極少量含む。
- 2 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性なし、AsCを非常に多く、砂礫粒、黒色土を少量含む。(D-5層上)
- 3 基壇土上 (H9Y32) しまりやや有り、粘性なし、径10mm程の砂礫アロツクを少量、AsCを極少量含む。(D-5層上)
- 4 埋納土上 (H9Y33) しまり弱い、粘性なし、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。(D-5層上)
- 5 基壇土上 (H9Y32) しまりやや有り、粘性なし、AsCを多く、砂礫粒を少量含む。(D-5層上)
- 6 埋納土上 (H9Y33) しまり有り、粘性なし、径10-20mmの砂礫アロツクを多く含む。(D-5層上)
- 7 埋納土上 (H9Y33) しまりやや有り、粘性なし、径10-20mmの砂礫アロツクを少量含む。(D-5層上)
- 8 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 9 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、径10mm程の砂礫アロツク、黒色土を少量含む。
- 10 基壇土上 (H9Y32) しまりやや有り、粘性なし、AsC、砂礫粒を少量含む。
- 11 基壇土上 (H9Y32) しまりやや有り、粘性なし、AsC、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。

6区H-1号型穴建物跡 南

- 1 基壇土上 (H9Y32) しまり強い、粘性なし、AsCを非常に多く、径10mm程の砂礫アロツクを少量、反応物を極少量含む。
- 2 基壇土上 (H9Y32) しまりやや有り、粘性なし、AsCを多く、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 3 基壇土上 (H9Y32) しまりやや有り、粘性なし、AsC、径10-20mmの砂礫アロツクを少量含む。
- 4 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、径10mm程の砂礫アロツク、黒色土を少量含む。
- 5 埋納土上 (H9Y33) しまりやや有り、粘性なし、AsC、砂礫粒を少量含む。
- 6 埋納土上 (H9Y33) しまりやや有り、粘性なし、砂礫粒を少量含む。
- 7 埋納土上 (H9Y33) しまり強い、粘性なし、AsC、砂礫粒を少量含む。
- 8 埋納土上 (H9Y33) しまり有り、粘性なし、AsC、砂礫粒を少量含む。
- 9 基壇土上 (H9Y32) しまりやや有り、粘性なし、AsC、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 10 埋納土上 (H9Y33) しまり強い、粘性なし、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む。
- 11 埋納土上 (H9Y33) しまりやや有り、粘性なし、AsC、砂礫粒を少量含む。
- 12 埋納土上 (H9Y33) しまり強い、粘性なし、AsCを多く、径10-20mmの砂礫アロツクを少量含む。

6区H-1-2号型穴建物跡 C

- 1 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性なし、AsC、AsBを少量含む。
- 2 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性なし、AsC、AsB、砂礫粒を少量含む。
- 3 基壇土上 (H9Y32) しまり強い、粘性なし、AsCを多く含む。
- 4 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、H-PPを極少量含む。
- 5 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、径10-20mmの砂礫アロツクを少量含む。(H-2層上)
- 6 埋納土上 (H9Y33) しまりやや有り、粘性なし、砂礫土粒を少量含む (H-2層上)。
- 7 基壇土上 (H9Y32) しまりやや有り、粘性なし、AsCを少量、径10mm程の砂礫アロツクを極少量含む (H-2層上)。

- 8 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性なし、AsC、径10mm程の砂礫アロツクを少量含む (H-2層上)。
- 9 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性なし、AsCを多く、砂礫粒を少量、径10mm程の砂礫アロツクを極少量含む (H-1層上)。
- 10 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性なし、砂礫土粒を少量、焼土粒を極少量含む (H-2層上)。
- 11 基壇土上 (H9Y32) しまり強い、粘性なし、AsCを少量含む。(H-1層上)。
- 12 基壇土上 (H9Y32) しまり強い、粘性なし、砂礫粒を多く、AsCを少量、焼土粒を極少量含む。(H-1層上)。
- 13 基壇土上 (H9Y32) しまりやや有り、粘性なし、AsCを多く、径10-50mmの砂礫アロツク、焼土粒を少量含む (H-1層上)。
- 14 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性なし、焼土粒、砂礫粒を少量、AsCを極少量含む (H-1層上)。
- 15 基壇土上 (H9Y32) しまり強い、粘性有り、砂礫粒、AsCを少量、焼土粒を極少量含む (H-1層上)。
- 16 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性やや有り、焼土粒、AsC、砂礫粒を少量含む (H-1層上)。
- 17 埋納土上 (H9Y33) しまり有り、粘性なし、径10-50mmの砂礫アロツクを多く含む (H-1層上)。
- 18 埋納土上 (H9Y33) しまり有り、粘性有り、焼土粒、径10mm程の砂礫土粒を少量、AsCを極少量含む (H-1層上)。
- 19 埋納土上 (H9Y33) しまり有り、粘性なし、比較的黒色粘土を少量、AsC、焼土粒を極少量含む (H-1層上)。
- 20 埋納土上 (Z5Y33) しまりやや有り、粘性やや有り、焼土粒を多く、砂礫粒を極少量含む (H-1層上)。
- 21 埋納土上 (Z5Y33) しまりやや有り、粘性やや有り、径20mmの焼土アロツク、灰を少量含む (H-1層上)。
- 22 埋納土上 (Z5Y32) しまりやや有り、粘性なし、径10-30mmの焼土アロツクを非常に多く、灰を少量含む (H-1層上)。
- 23 埋納土上 (Z5Y33) しまり強い、粘性なし、焼土粒、灰を多く含む (H-1層上)。
- 24 埋納土上 (Z5Y33) しまり有り、粘性なし、径10mm程の焼土アロツクを少量、反応物を極少量含む (H-1層上)。
- 25 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性やや有り、砂礫粒を多く、焼土粒、径10-20mmの砂礫アロツクを極少量含む (H-1層上)。
- 26 基壇土上 (H9Y32) しまりやや有り、粘性なし、黒色土、径10mm程の砂礫アロツクを少量、焼土粒を少量含む (H-1層上)。
- 27 基壇土上 (H9Y32) しまり強い、粘性なし、径10-30mmの砂礫アロツクを多く含む (H-1層上)。
- 28 埋納土上 (H9Y33) しまりやや有り、粘性なし、砂礫土粒を多く含む (H-1層上)。

6区H-1号型穴建物跡北西

- 1 基壇土上 (H9Y31) しまり強い、粘性なし、焼土粒を少量、AsC、焼土粒を極少量含む。
- 2 基壇土上 (H9Y32) しまりやや有り、粘性なし、焼土粒を多く、径10mm程の焼土アロツクを少量、AsC、砂礫粒を極少量含む。
- 3 基壇土上 (H9Y31) しまりやや有り、粘性なし、焼土粒、砂礫粒を少量含む。
- 4 埋納土上 (H9Y33) しまりやや有り、粘性なし、径10-20mmの焼土アロツクを非常に多く含む。
- 5 基壇土上 (H9Y32) しまりやや有り、粘性なし、焼土粒、灰を少量含む。
- 6 基壇土上 (H9Y32) しまり有り、粘性なし、焼土粒、灰を少量含む。

6区H-3、W-1

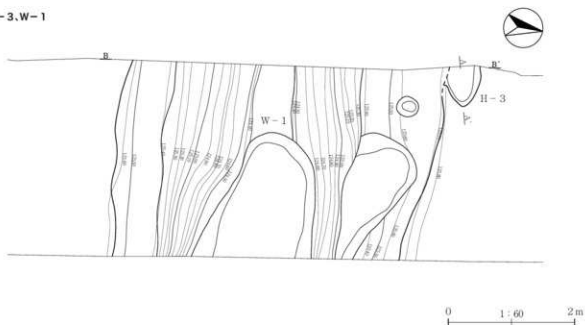


Fig46 6区J-1、H-1-2号型穴建物跡、D-5号土坑(2)、H-3号型穴建物跡、W-1号溝跡(1)

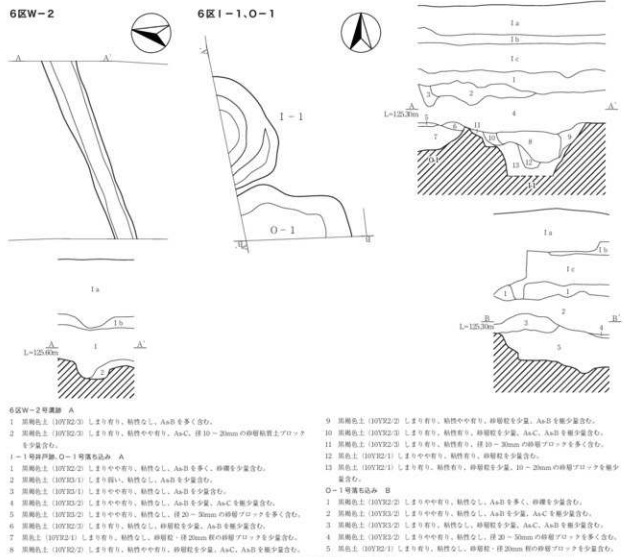
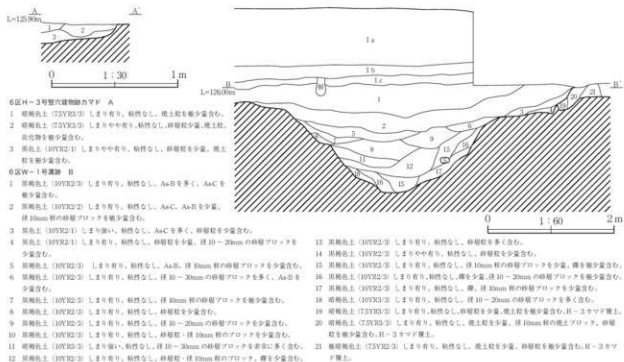
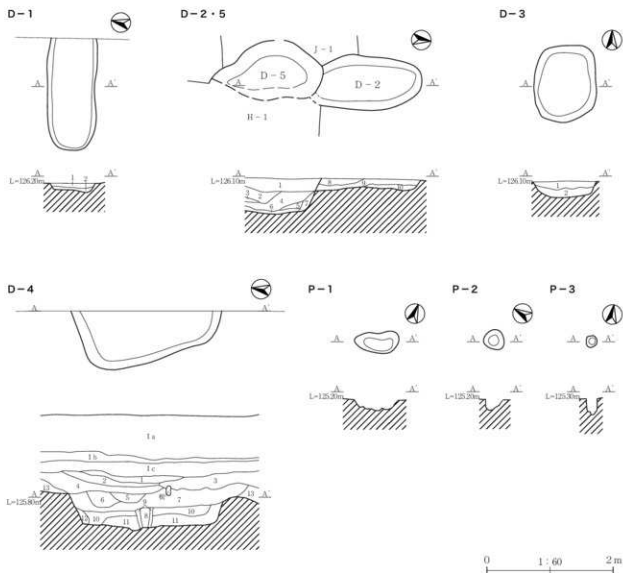


Fig.47 6区H-3号型穴建物跡、W-1号溝跡(2)、W-2号溝跡、I-1号井戸跡、O-1号落ち込み



6区D-1号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまり有り, 粘性なし, AsCを少量, 砂礫粒を極少量含む。
- 2 暗褐色土 (10YR3.5/3) しまりやや有り, 粘性なし, 砂礫粒を極少量含む。

6区D-2・5号土坑 A

- 1 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまり強い, 粘性なし, AsCを非常に多く, 径10mm程度の砂礫ブロックを少量, 炭化物粒を極少量含む。
- 2 黒色土 (10YR2.1/1) しまり有り, 粘性なし, AsCを多く, 径10mm程度の砂礫ブロックを少量含む。
- 3 暗褐色土 (10YR3.5/3) しまりやや有り, 粘性なし, AsCを少量, 径10mm程度の砂礫ブロックを極少量含む。
- 4 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまりやや有り, 粘性なし, AsCを多く, 砂礫粒を少量, 埋土粒を極少量含む。
- 5 黒色土 (10YR2.1/1) しまり強い, 粘性なし, AsCを極少量含む。
- 6 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまり強い, 粘性なし, 砂礫粒・径20~40mmブロックを多く含む。
- 7 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまり有り, 粘性なし, 径10~20mmの砂礫ブロックを多く含む。
- 8 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまり有り, 粘性なし, AsCを多く含む。
- 9 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまり有り, 粘性なし, AsC, 砂礫粒を少量含む。
- 10 黒褐色土 (10YR3.5/3) しまりやや有り, 粘性なし, 砂礫粒を多く, 径10mm程度の砂礫ブロックを極少量含む。

6区D-3号土坑

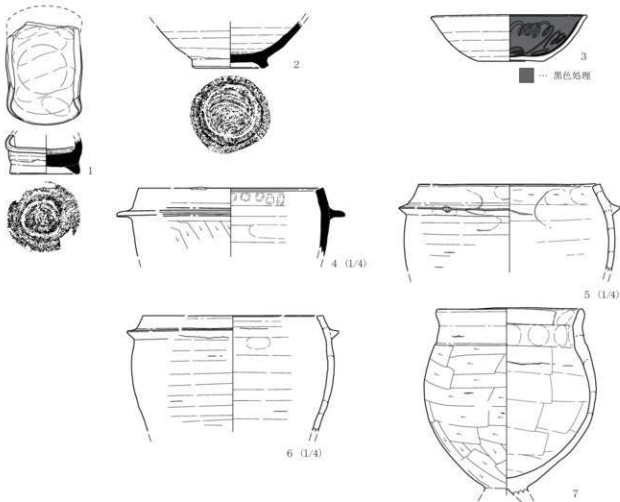
- 1 暗褐色土 (10YR3.5/3) しまり有り, 粘性なし, AsB, 炭化物を少量, 埋土粒を極少量含む。
- 2 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまり有り, 粘性なし, AsBを少量, 炭化物粒, 砂礫粒を少量含む。

6区D-4号土坑 A

- 1 暗褐色土 (10YR2.5/3) しまり強い, 粘性なし, AsBを多く含む。
- 2 暗褐色土 (10YR3.5/3) しまり有り, 粘性なし, AsBを多く, AsCを極少量含む。
- 3 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまり有り, 粘性なし, AsBを多く, AsCを少量含む。
- 4 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまり強い, 粘性なし, AsCを非常に多く含む。
- 5 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまり強い, 粘性なし, AsCを非常に多く, 砂礫粒を極少量含む。
- 6 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまり強い, 粘性なし, AsCを非常に多く, 砂礫粒を極少量含む。
- 7 黒色土 (10YR2.1/1) しまり有り, 粘性なし, AsCを非常に多く, 砂礫粒を極少量含む。
- 8 黒色土 (10YR2.1/1) しまり有り, 粘性なし, AsCを多く, 砂礫粒を極少量含む。
- 9 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまり有り, 粘性なし, AsC, 砂礫粒を少量含む。
- 10 黒色土 (10YR2.1/1) しまり有り, 粘性なし, AsCを少量, 砂礫粒を極少量含む。
- 11 黒色土 (10YR2.1/1) しまり有り, 粘性なし, AsC, 砂礫粒を極少量含む。
- 12 黒色土 (10YR2.1/1) しまり有り, 粘性なし, 砂礫粒・径10mm程度のブロックを極少量含む。
- 13 黒褐色土 (10YR2.5/3) しまり有り, 粘性なし, AsCを多く含む。

Fig.48 6区土坑、ピット

1区H-1



1区H-2



1区H-3



1区W-3

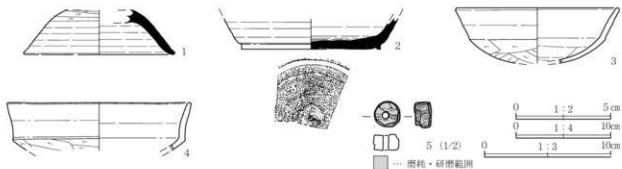


Fig.49 1区H-1·2·3号竖穴建物跡、W-3号溝跡出土遺物

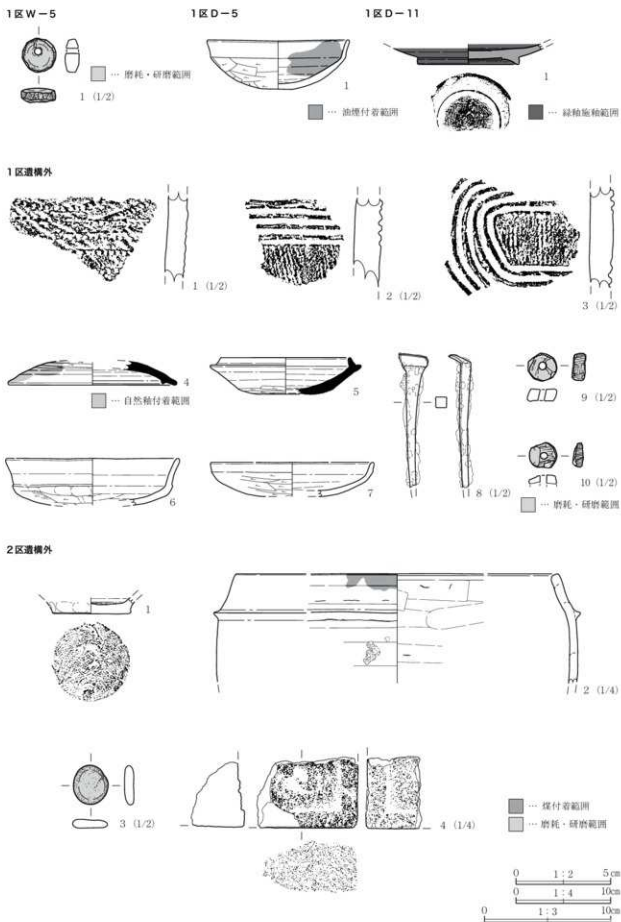
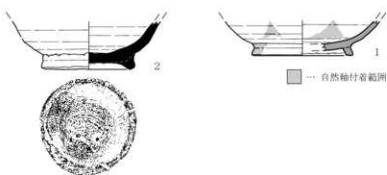


Fig50 1区W-5号溝跡、D-5・11号土坑、遺構外、2区遺構外出土遺物

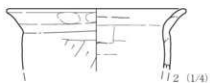
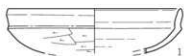
3区H-1



3区遺構外



4区H-1



4区H-4

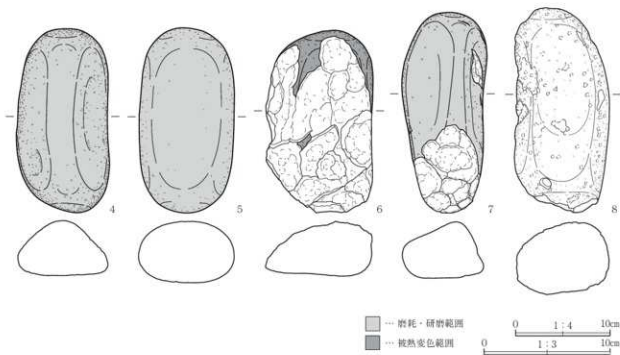
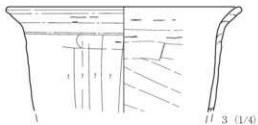
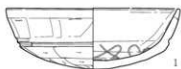
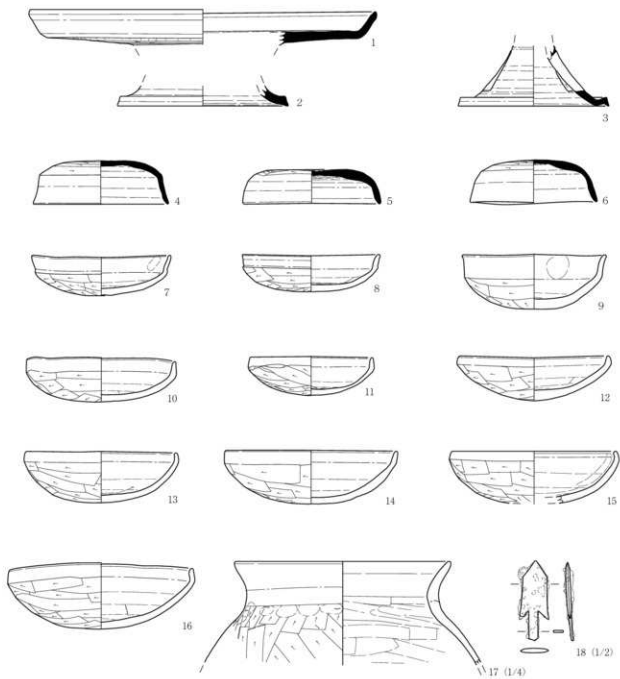


Fig5l 3区H-1号堅穴建物跡、遺構外、4区H-1・4号堅穴建物跡出土遺物

4区H-6



4区H-7

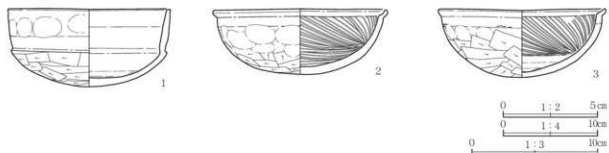
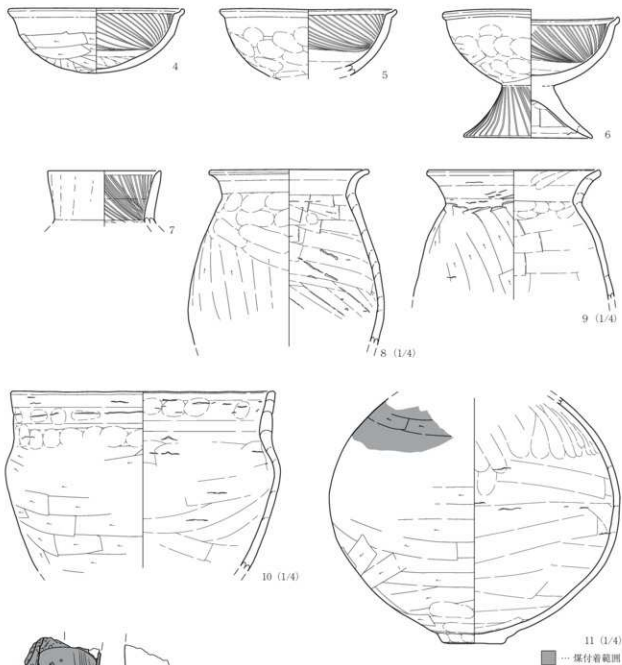
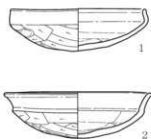


Fig.52 4区H-6·7号竖穴建物跡出土遺物

4区H-7



4区H-8



4区H-9

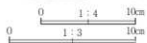
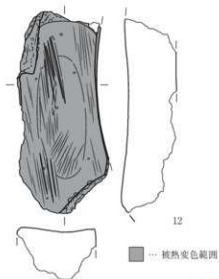
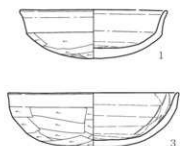
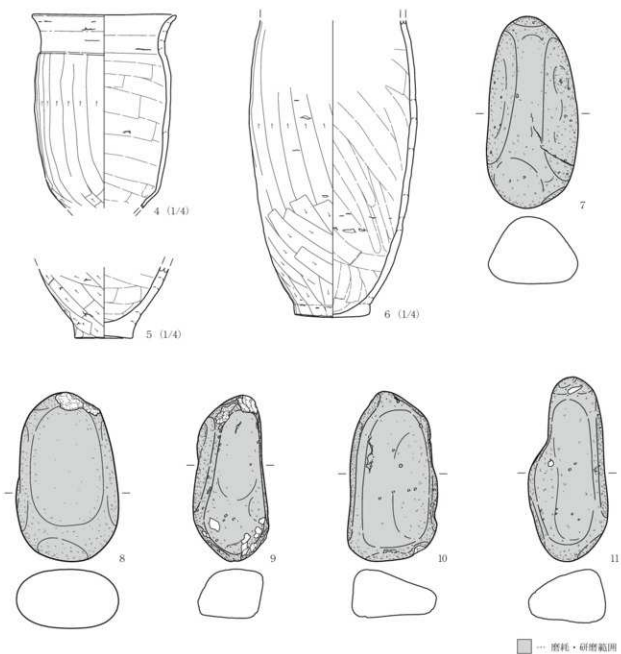


Fig.53 4区H-7~9号竖穴建物跡出土遺物



4区H-9



4区H-10

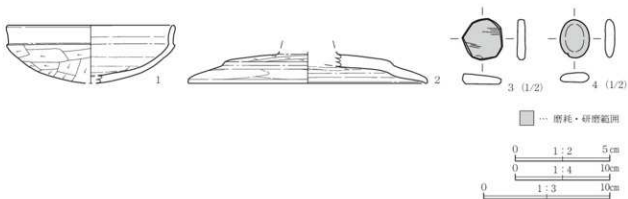
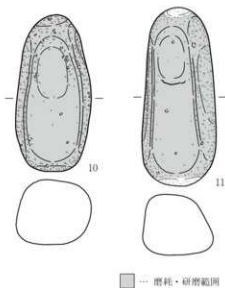
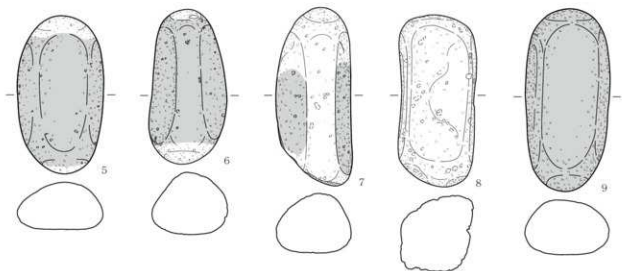
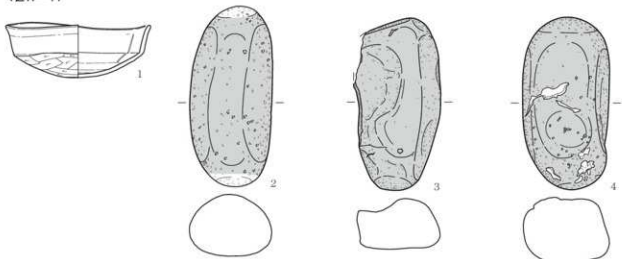


Fig54 4区H-9・10号整穴建物跡出土遺物

4区H-11

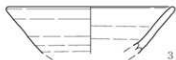


4区H-12



■ … 磨耗・研磨範圍

4区H-13



■ … 煤・油煙付着範圍

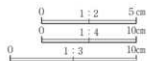
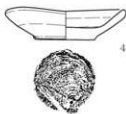


Fig.55 4区H-11～13号竪穴建物跡出土遺物

4区H-13



4

4区H-14



5



1

4区H-15



2

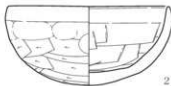


1

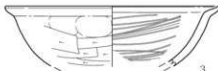
4区H-16



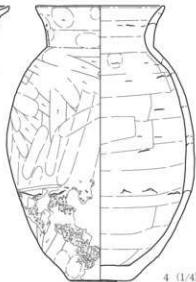
1



2



3



4 (1/4)

4区H-19



1



2



3



4



5



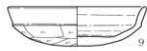
6



7



8



9



10



11



12



13



14



15

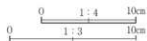
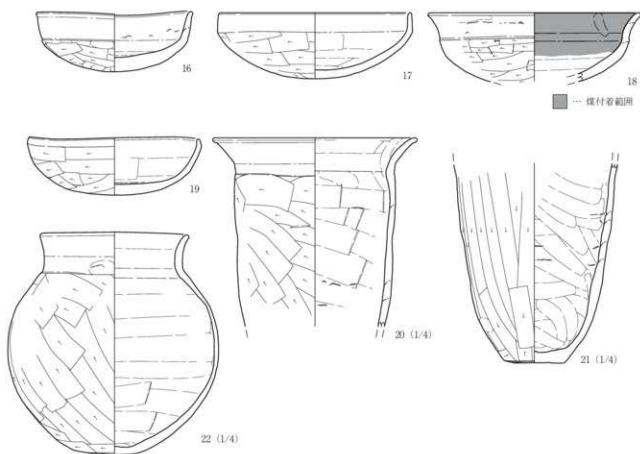
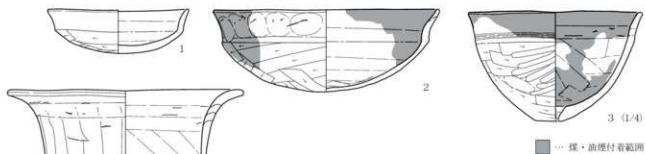


Fig.56 4区H-13 ~ 16·19号竖穴建物踏出土遺物

4区H-19



4区H-20



4区H-21

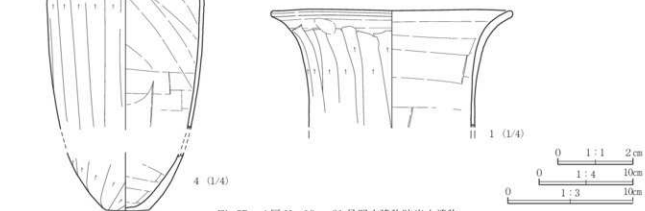
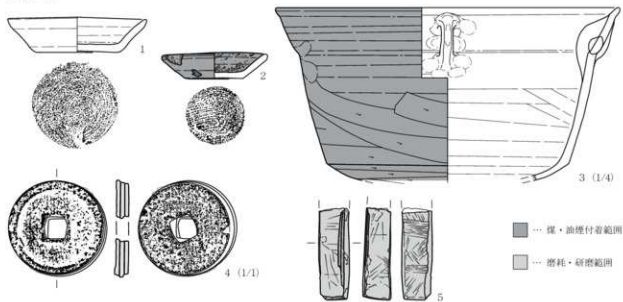
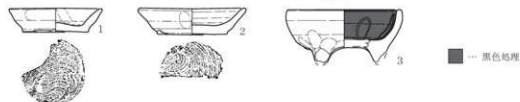


Fig.57 4区H-19～21号竪穴建物跡出土遺物

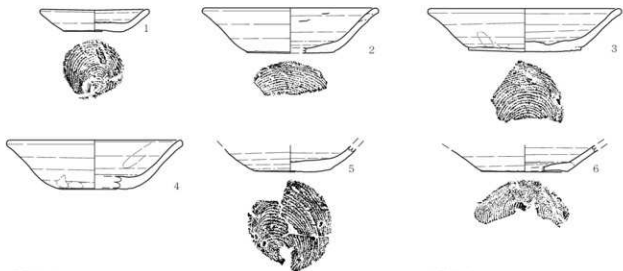
4区W-1



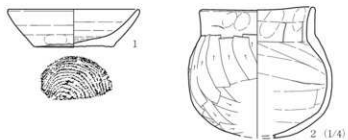
4区W-2



4区W-3



4区W-4



4区W-5

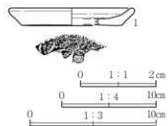
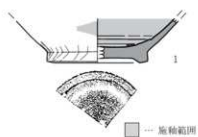
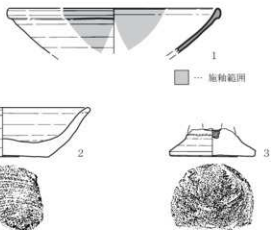


Fig.58 4区W-1~5号溝跡出土遺物

4区I-3



4区D-14



4区遺構外

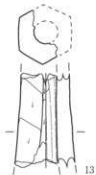
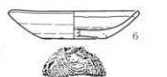
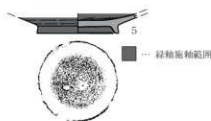
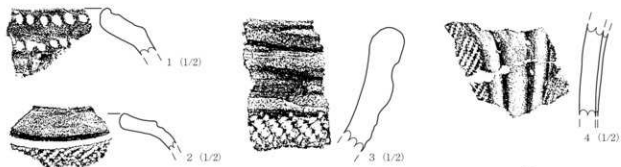
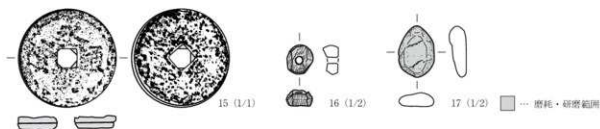


Fig59 4区I-3号井戸跡、D-14号土坑、遺構外出土遺物

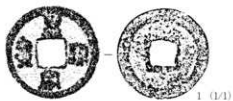
4区遺構外



5区ピット



5区遺構外



6区H-1



6区W-1

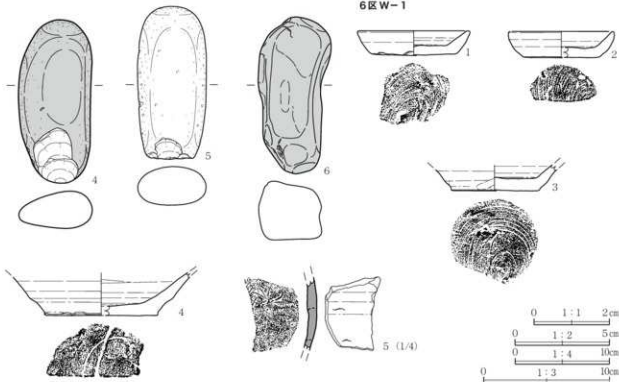


Fig.60 4区遺構外、5区ピット、遺構外、6区H-1号整穴建物跡、W-1号溝跡出土遺物(1)

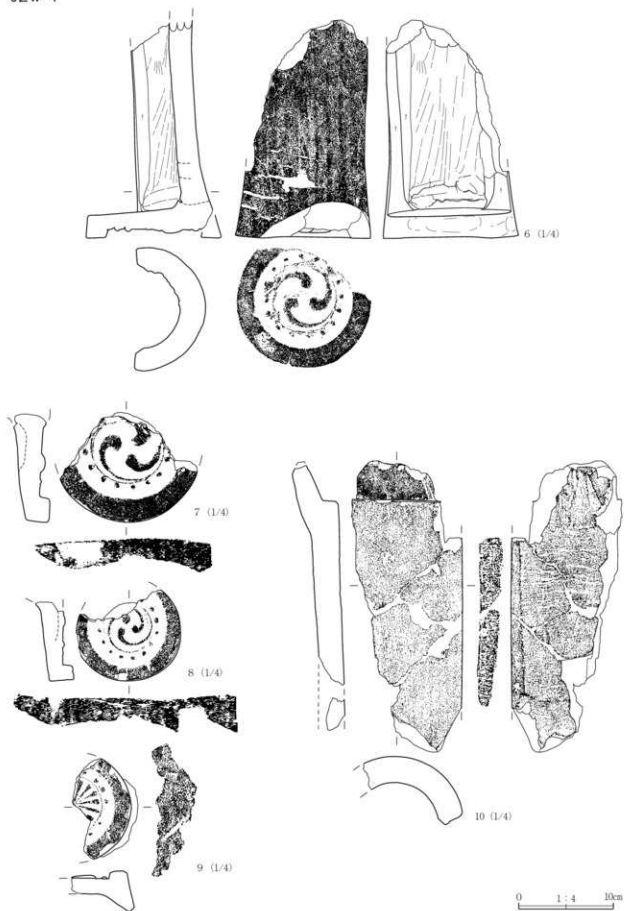


Fig61 6区W-1号溝跡出土遺物(2)



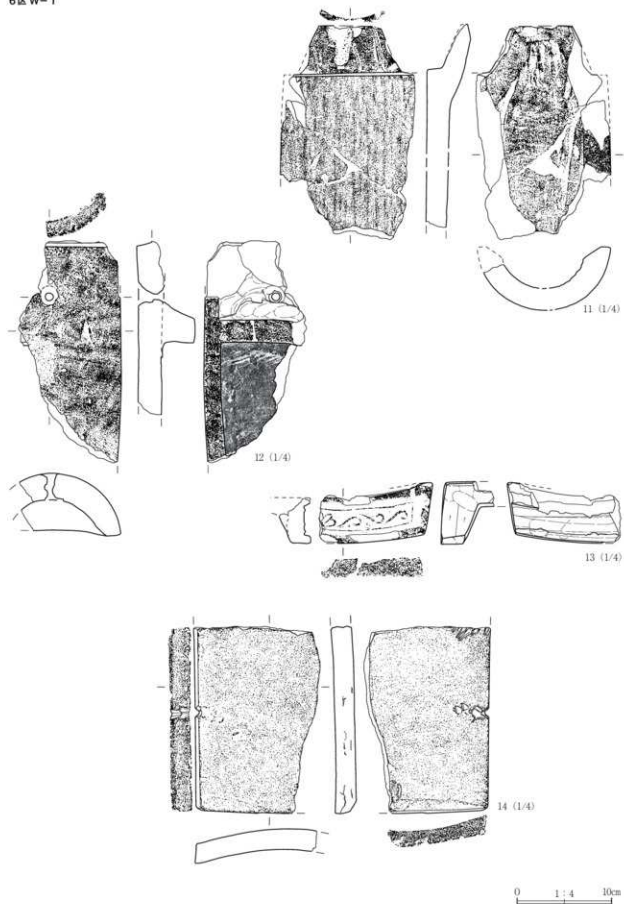


Fig.62 6区W-1号溝跡出土遺物(3)

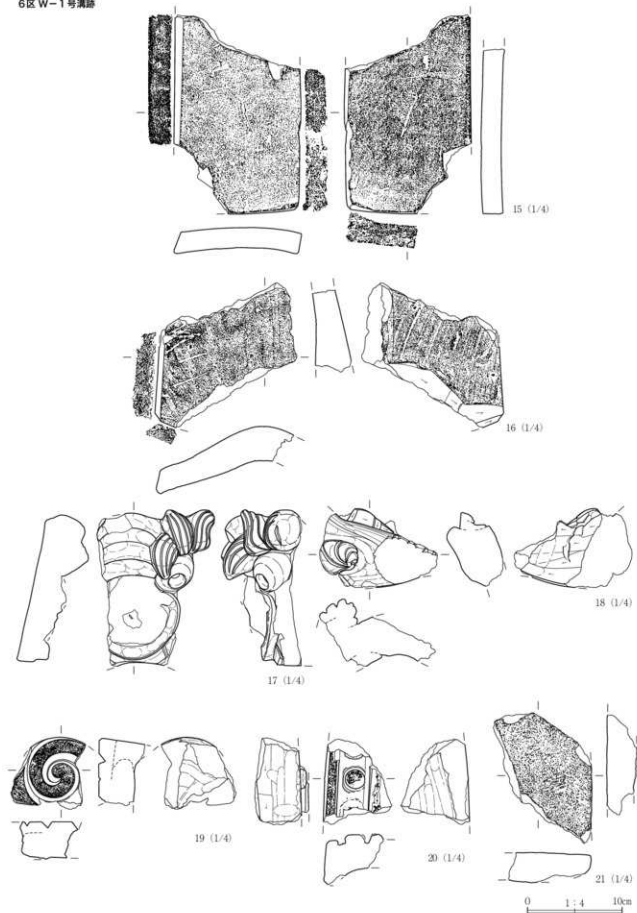
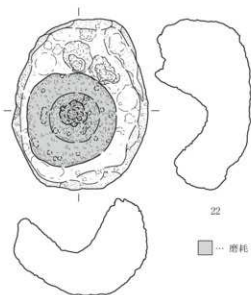
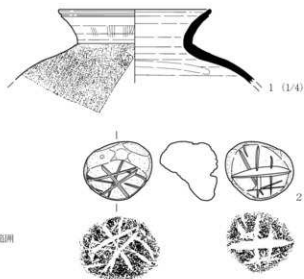


Fig.63 6区 W-1号溝跡出土遺物(4)

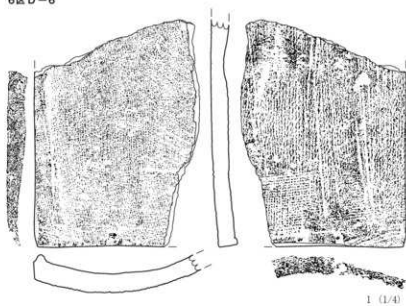
6区W-1



6区I-1



6区D-6



6区遺構外

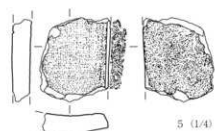
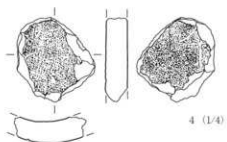
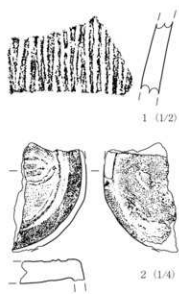


Fig64 6区W-1号溝跡(5)、I-1号井戸跡、D-6号土坑、遺構外出土遺物

6区遺構外

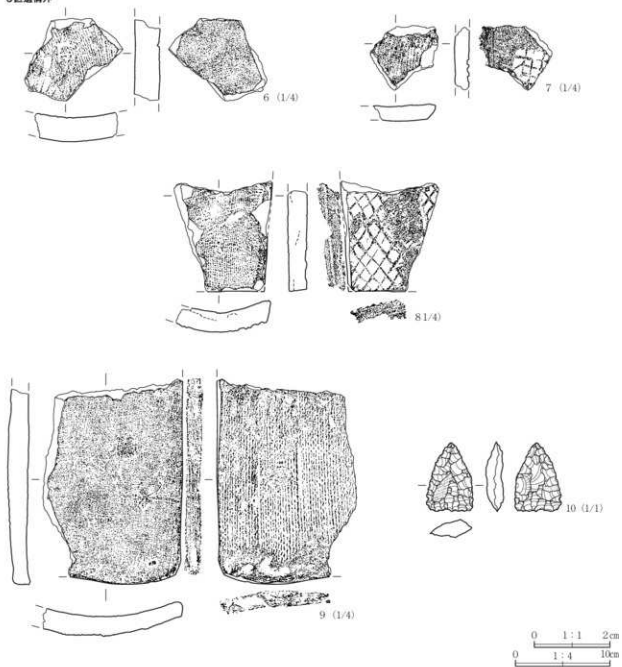


Fig.65 6区遺構外出土遺物

## VI 発掘調査の成果と課題

### 1 1・3区(足門線沿い調査区)と2・5区(蒼海城本丸南側調査区)

1・3区では合わせて、古墳時代後期の竪穴建物跡が2軒、平安時代の竪穴建物跡が4軒検出されている。これまでの調査において、1・3区周辺の既調査区からは6世紀末から11世紀半ばまでの竪穴建物跡が多く検出されており、この地域には古墳時代から平安時代まで連続と集落域が広がっていたことが明らかである。

特徴的な遺物として、1区の11号土坑と3区の1号竪穴建物跡から緑軸陶器片が発見されている。器種はいずれも皿で、釉薬の色調・器形の特徴が類似していることから同時期・同一産地のものである可能性が高い。周辺の蒼海(8)のA区、蒼海(22)の8区、蒼海(60)、蒼海(122)の2区などからも同様に緑軸陶器片が出土しており、特に蒼海(8)のA区は37点と集中している。本調査区を含めた一帯は、高級陶磁器などが多数出土するエリアとして認識されている(前橋市教育委員会 2013)。

2・5区周辺では、蒼海城縄張図(山崎 1978)と「蒼海城絵図」を元に作成された元総社蒼海遺跡群(31)周辺蒼海城想定図(佐野 2010)によると、松井屋敷と二の丸の間の南北方向の堀跡とされる遺構が蒼海(23)25・26地点、(36)5区、(105)、(135)において検出され、二の丸と瀬下豊後屋敷の間の南北方向の堀跡が蒼海(29)1区から、2・5区の南側に近接した蒼海(138)では二の丸の南面を区画する東西方向の堀跡が検出されている。

周辺蒼海城想定図によれば、2・5区は二の丸の内部にあたる。2区から89基、5区から182基のピットが検出されており、いずれも覆土の特徴から中世以後のピット群と考えられる。

今回の調査で検出されたピット群は、数回の建て替えも含め、二の丸内部に構築されたと考えられる掘立柱建物跡の柱穴となりうるピットも多く存在すると推測される。今回の報告では建物形状の復元について検討は適わなかったため、周辺の状況と合わせて今後の課題としたい。

### 2 4区

4区の位置する宮鍋神社周辺地域では、これまでに官衙関連遺構である礎石建物跡10棟と掘立柱建物跡5棟が検出されており、規模や配置等から官衙施設の倉庫群である可能性が高いとされている。また、これらの建物の時期は主に他の遺構との重複関係から8～9世紀頃のものと考えられている(前橋市教育委員会 2024)。

これまでに検出された建物跡にはSB〇〇〇、道路・溝跡にはSD〇〇〇の通し番号が付されており、近接する遺構として4区の西に布地業のSB014、東に総地業のSB037と布地業のSB038、南東には総地業のSB031と掘立柱建物のSB030などが位置している。

SB014とSB038は主軸方向が同じで、東西方向の一直線上に並ぶため、同一時期と推測される(前橋市教育委員会 2024)が、SB037は主軸の傾きはほぼ等しいものの、建物の重複関係からSB037の方がSB038より新しい。これは建物跡の大まかな変遷が掘立柱建物跡、布地業の建物跡、総地業の建物跡の順で新しいという推定と一致している(前橋市教育委員会 2022)。

本調査区では礎石建物跡や掘立柱建物跡などの官衙関連遺構は検出されなかった。しかし、SB014とSB038を結ぶような位置に浅いU字の溝状遺構の覆土が堅く締まる道路状遺構を検出しており、他の遺構との重複関係から、8世紀代以後に形成され10世紀代には廃絶していたと考えられ、道路状遺構が機能していたと想定される時期から周辺遺構との関連がうかがえる。

宮鍋神社周辺地域において、これまでに検出されている道路状遺構には古代の区画溝が埋没する過程もしくはは埋没した時点で上層に硬化面が形成される例と区画溝上層に形成されない道路状遺構がある。4区のA-1号道路状遺構は後者の遺構で、同様の道路状遺構は国府73トレンチのSB035と国府65bトレンチのSB033の

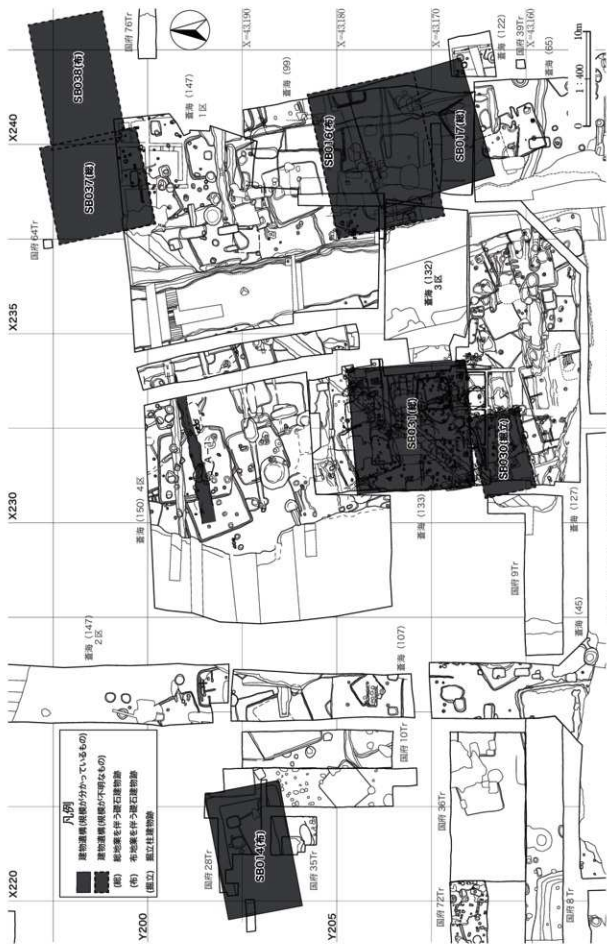


Fig.66 4区A-1号道路状遺構と周辺の官衙関連倉庫群

西側を沿うような位置に検出されている。国府73トレンチのA-1号道路状遺構は、形成された時期も8世紀以後～10世紀代と4区と共通するもので、これらの道路状遺構は当該期の宮舘神社周辺の土地の利用状況を考える上での重要な要素と成り得る。

### 3 6区検出の小見庵寺区画溝について

4区W-1号溝跡は、前章で記載したとおり木津博明氏によって呼称された小見庵寺の外周を区画する溝と想定される。区画溝は上野国分僧寺・尼寺中間地域のC1溝(北)、B1溝(南)、本遺跡(南)、蒼海(91街区)W-1・2号溝跡(東)で構成されており、それぞれの溝からは、廃棄された多量の瓦やかわらけが出土している。中間地域の調査所見によれば、出土遺物から区画溝の内部は14世紀に創建されて2群の前後関係が認められる基壇状遺構を伴う瓦葺建物と、その後15世紀半ばには土坑墓群として利用されて16世紀前半まで存続したとされている<sup>11)</sup>。また、C1溝底部付近からは木橋の橋脚痕が複数検出しており、その北ライン上は溝北側にある土塁痕跡が途切れることから、南面入口の可能性を指摘している。同様に蒼海(91街区)W-1溝跡においても、底部付近からピット2基が検出している。また、地山下層域の粘性の強い粗大なブロック土を含む土層が北側のC1・4溝覆土層上に堆積していることから、南側土塁痕跡を含めて土塁が全周していたことも示唆されている。

本遺跡での軒丸・軒平瓦は、木津氏による分類では軒丸瓦は第2・3・5・6種、軒平瓦は第2種が出土している。第1種軒平瓦は足利市宝福寺出土瓦と同范、第3・4種軒平瓦は佐野市佐野城出土瓦と同范である。足利市の鏡阿寺や榊崎寺を中心として、東国の軒平瓦の系譜を検討した大澤伸啓氏は、半截菊花唐草文は足利から上野国、鎌倉等東国、ひいては京都まで普及する足利家を象徴する瓦であるとしている。そのなかで6区W-1号溝跡でも出土している第2種軒平瓦(Fig62 13)は、唐草文が3反転で巻き方が弱く文様形態も窺えることから、14世紀末(榊崎寺IV期の前段階)の年代観を与えている<sup>12)</sup>。鬼瓦は3束に分けられた眉と大振りな球状眼(Fig63 17)、下顎で剥き出しの歯牙と1束の獸毛(同18)、鬼面外周で区画と珠が大型であることから、大棟鬼瓦の可能性のあるもの(同20)の3点は、写実的で立体感のある造形となっている。一方で獸毛を筋彫状の渦のみで平面的に表現する例(同19)もある。

各溝の規模については、上幅は遺構確認面の高さが後世の土地利用状況によって異なるために判断材料とするには心許ないが、底面レベルについては、北から南へ緩やかに下る地形であっても概ね1m以内の誤差に収まっている。これは(91街区)W-2号溝跡を該当させた場合であって、重複する新相のW-1号溝跡については、より低い底面レベルと開口の広い傾斜角であることから、本来はより大型の堀であったことも考えられる。出土した内耳鍋の年代は15世紀後半で、関東では享徳の乱によって関東全域が乱れていた時期にあたる。旧来の蒼海城は堀に囲まれた複数の館(居宅)が建ち並ぶ景観であったものを、この時期に接続構造として城に取り込むことで城郭化を図り防御性を高めていったことが想定されるが、このことが小見庵寺が寺域から墓域への転換を迫られ、勢力の趨勢が基壇をもつ寺院建築が再興されることがなかった要因の一つと考えられる。

### 4 おわりに

今回の調査では、元総社蒼海遺跡群南端の1・3区、倉庫群が検出する官街域の4区、遺跡地の北西側で中世小見庵寺の区画堀が検出した6区など、広範囲にわたり検出された遺構と遺物も時間幅のある調査成果となった。4区の位置する宮舘神社周辺地域においては礎石建物跡や掘立柱建物跡の発見が増加し、建物群の構造や時期についての様相が明らかになりつつある。しかし、建物跡以外の遺構もこの地域を構成する重要な要素であり、今後もより慎重な調査によって検出例が増加することで、この地域の全体像がより明確となることが期待される。小見庵寺の瓦については、本遺跡群内で多く出土する古代瓦とは異なり、中世の瓦は県内でも遺構を伴う出土事例は決して多くはない。当時の上杉、長尾、足利の動静を踏まえたうえで、関東圏に視野を広げて観察していくことが今後も求められる。

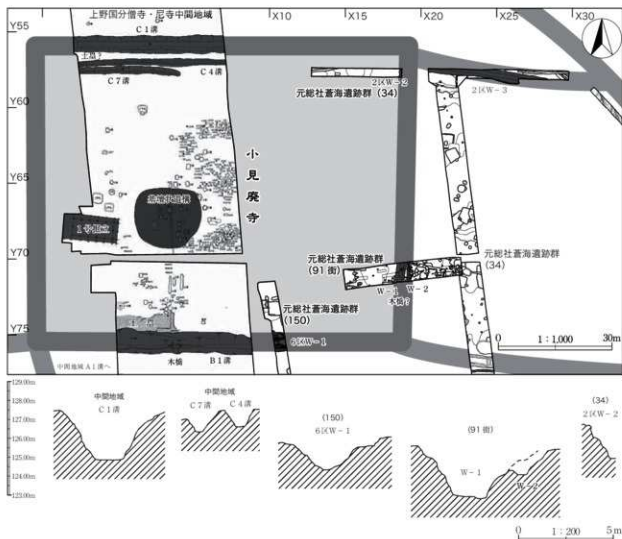


Fig.67 小見庵寺周辺状況

## 註

(1) 時代的背景については詳細な言及は避けるが、本津氏は「長尾景春の乱」を一例に挙げ、惣社長尾氏内部での変質が結果として寺院構造の変化に繋がった可能性を指摘されている。「第5章 考察」『上野国分僧寺・尼寺中間地域(1)』。

(2) 夫澤 2019

## 参考文献

### 論文等

- 山崎 一 1978 『群馬県古城築基の研究 上巻』 群馬県文化事業振興会  
 大澤伸啓 2019 「菊花譜草文軒平瓦の系譜」『中世瓦の考古学』 高志書院  
 本津博明 2019 「上野」『中世瓦の考古学』 高志書院

### 発掘調査報告書

- 財団法人群馬県歴史文化財調査事業団 1986 「上野国分僧寺・尼寺中間地域(1)」  
 財団法人群馬県歴史文化財調査事業団 1987 「上野国分僧寺・尼寺中間地域(2)」  
 前橋市教育委員会 2007 「元総社葺海道跡群(8)」  
 前橋市教育委員会 2010 「元総社葺海道跡群(31)」  
 前橋市教育委員会 2011 「元総社葺海道跡群(34)」  
 前橋市教育委員会 2013 「鑑定上野国府～平成23年度調査報告～」上野国府等範囲内容確認調査報告書Ⅰ  
 前橋市教育委員会 2022 「鑑定上野国府～令和2年度調査報告～」上野国府等範囲内容確認調査報告書Ⅱ  
 前橋市教育委員会 2023 「元総社葺海道跡群(91 街区)」  
 前橋市教育委員会 2024 「鑑定上野国府～令和4年度調査報告～」上野国府等範囲内容確認調査報告書Ⅲ  
 前橋市教育委員会 2024 「元総社葺海道跡群(147)」



# 写真図版



小見庵寺周辺の旧状 (米軍撮影 USA-R1250-109)





1 1区H-1号竖穴建物跡全景 (西から)



2 1区H-1号竖穴建物跡全景 (西から)



3 1区H-1号竖穴建物跡遺物出土状況 (西から)



4 1区H-2号竖穴建物跡全景 (西から)



5 1区H-3号竖穴建物跡全景 (西から)



6 1区H-4号竖穴建物跡全景 (西から)



7 1区H-5号竖穴建物跡土層堆積状態 (南西から)



1 1区W-1号溝跡全景 (西から)



2 1区W-2号溝跡全景 (南から)



3 1区W-3号溝跡全景 (北から)



4 1区W-4号溝跡全景 (北から)



5 1区O-1号落ち込み (東から)



1 1区調査区全景 (東から)



2 2区調査区全景 (南から)



3 3区調査区全景 (西から)



4 3区H-1号堅穴建物跡 (西から)



5 4区H-1号堅穴建物跡 (東から)



1 4区H-2号竖穴建物跡全景（東から）



2 4区H-4号竖穴建物跡全景（西から）



3 4区H-5号竖穴建物跡全景（南西から）



4 4区H-6号竖穴建物跡全景（西から）



5 4区H-6号竖穴建物跡全景（西から）



6 4区H-6号竖穴建物跡竈露出土状況（北から）



7 4区H-7号竖穴建物跡全景（南西から）



8 4区H-7号竖穴建物跡P5遺物出土状況（南西から）



1 4区H-7号竖穴建物跡遺物出土状況  
(南西から)



2 4区H-7号竖穴建物跡炭化物出土状況  
(北東から)



3 4区H-8号竖穴建物跡全景 (南西から)



4 4区H-9号竖穴建物跡全景 (西から)



5 4区H-10号竖穴建物跡全景 (西から)



6 4区H-11号竖穴建物跡全景 (西から)



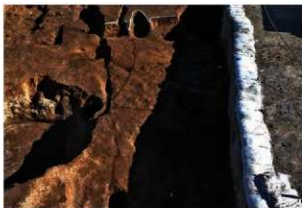
7 4区H-12号竖穴建物跡全景 (上が北)



8 4区H-13号竖穴建物跡全景 (西から)



1 4区H-13号竖穴建物跡床面  
被熱菌所検出状況(西から)



2 4区H-14号竖穴建物跡全景(西から)



3 4区H-14号竖穴建物跡全景(西から)



4 4区H-15号竖穴建物跡全景(西から)



5 4区H-16号竖穴建物跡全景(西から)



6 4区H-16号竖穴建物跡遺物出土状況  
(南西から)



7 4区H-17号竖穴建物跡全景(北西から)



8 4区H-18号竖穴建物跡全景(上が東)





1 4区H-19号竖穴建物跡全景(上が東)



2 4区H-19号竖穴建物跡遺物出土状況(北から)



3 4区H-20号竖穴建物跡全景(上が東)



4 4区H-20号竖穴建物跡P1遺物出土状況(東から)



5 4区H-21号竖穴建物跡全景(東から)



6 4区H-22号竖穴建物跡全景(東から)



7 4区A-1号道路状遺構検出状況(東から)



1 4区A-1号道路状遺構全景（東から）



2 4区A-1号道路状遺構全景（東側調査区）  
（西から）



3 4区A-1号道路状遺構土層堆積状況  
（南西から）



4 4区W-1号溝跡全景（上が西）



1 4区W-1号溝跡遺物出土状況(西から)



2 4区W-1号溝跡土層堆積状況(南から)



3 4区W-2号溝跡全景(東から)



4 4区W-3号溝跡検出状況(南東から)



5 4区W-3号溝跡全景(南東から)



1 4区W-4号溝跡全景 (東から)



2 4区W-7号溝跡全景 (北から)



3 4区W-8号溝跡全景 (西から)



4 4区W-5号溝跡全景 (西から)



5 4区W-9号溝跡全景 (南西から)



1 4区W-10号溝跡全景(北から)



2 4区W-11号溝跡全景(南から)



3 4区I-1号井戸跡全景(北から)



4 4区I-2号井戸跡全景(東から)



5 4区I-3号井戸跡全景(東から)



6 4区I-3号井戸跡土層堆積状況(南から)



7 4区礎石出土状況(南西から)



1 5区調査区全景(北から)



2 6区J-1号堅穴建物跡全景(西から)



3 6区H-1号堅穴建物跡全景(上が西)



4 6区H-2号堅穴建物跡全景(上が西)



5 6区W-1号溝跡土層堆積状況(東から)



6 6区W-2号溝跡全景(西から)

## 1区



## 2区



## 3区

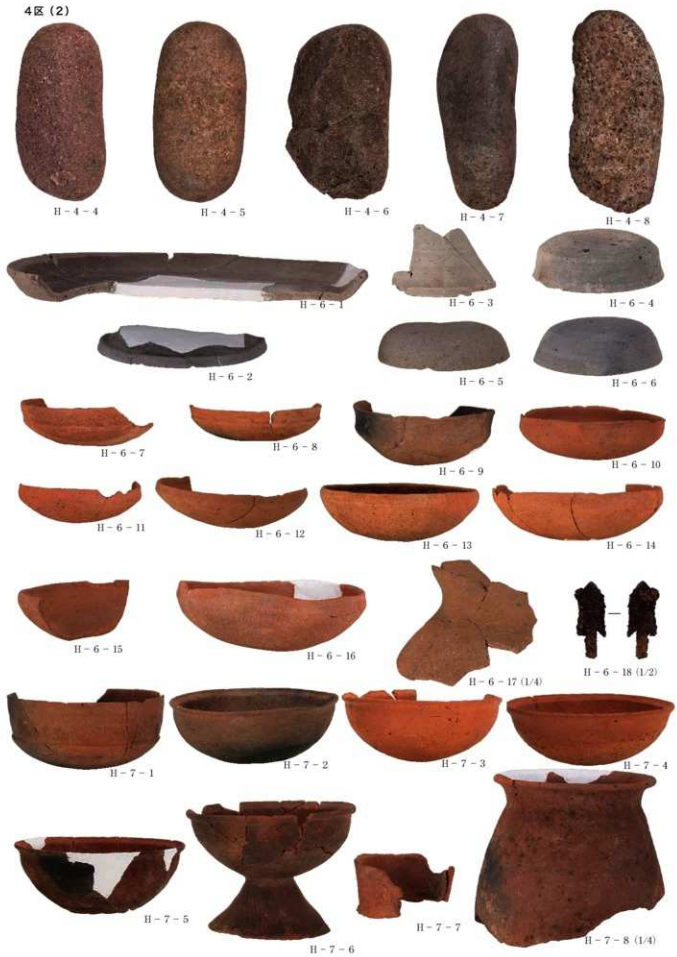


## 4区 (1)



PL.14

4区 (2)



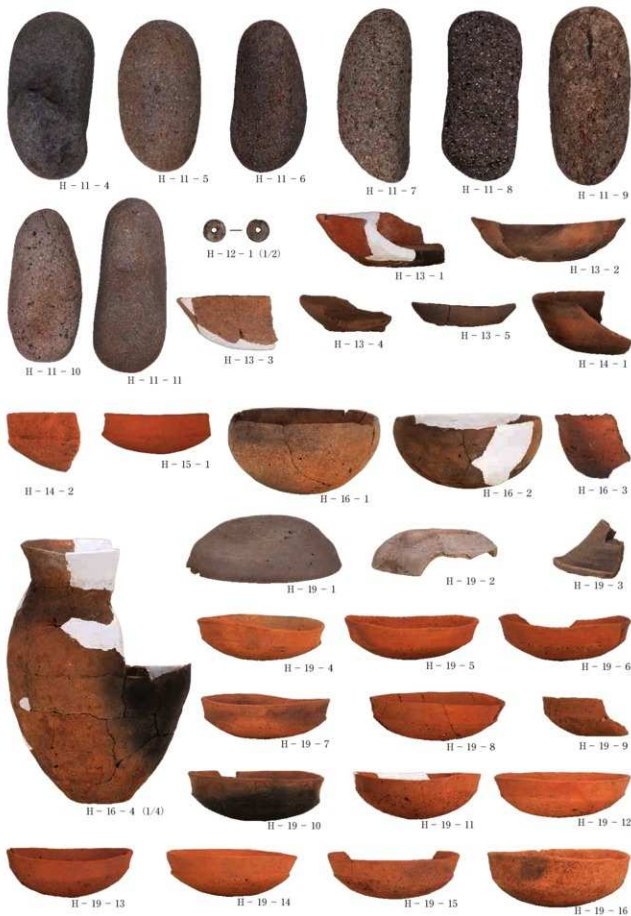


## 4区 (3)



PL.16

4区 (4)



## 4区 (5)



H-19-17



H-19-18



H-19-19



H-19-20 (1/4)



H-19-21 (1/4)



H-19-22 (1/4)



H-20-1



H-20-2



H-20-3 (1/4)



H-20-4 (1/4)



H-21-1 (1/4)



D-14-1



D-14-2



D-14-3



W-1-1



W-1-2



W-1-4 (1/4)



W-1-5



W-1-3 (1/4)

4区 (6)



5区



6区 (1)

6区(2)



W-1-6 (1/4)



W-1-7 (1/4)



W-1-8 (1/4)



W-1-9 (1/4)



W-1-13 (1/4)



W-1-11 (1/4)



W-1-10 (1/4)



W-1-12 (1/4)



W-1-14 (1/4)



W-1-15 (1/4)



W-1-16 (1/4)



文字資料



道橋外-4



道橋外-5



道橋外-6

## 抄 録

フリガナ	モトソウジャオウミイセキダン (150)
書名	元総社蒼海遺跡群 (150)
副書名	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	—
シリーズ名	—
シリーズ番号	—
編著者名	前田和昭・齋藤薫・村越純子
編集機関	前橋市教育委員会
編集機関所在地	〒317-0853 群馬県前橋市総社町三丁目11番地4
発行年月日	20241227

フリガナ	フリガナ	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号			
モトソウジャオウミイセキダン 元総社蒼海遺跡群 (150)	前橋市元総社 町ほか	10201	5A284	36°23'05" ほか	139°01'55" ほか	20230601 ～ 20240214	1,084 m <sup>2</sup>	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業

調査区	種別	時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
1区	集落跡 溝跡	古墳時代 ～中世	堅穴建物跡 溝跡	須恵器、土師器、白玉	古墳時代の集落跡、蒼海城の堀跡を検出
2区	館跡	中世以後	ピット	須恵器、粒状礫、宝篋印塔	中世以後の館跡を検出
3区	集落跡	古墳時代	堅穴建物跡	緑釉陶器、灰釉陶器、須恵器	古墳時代の集落跡を検出
4区	集落跡 溝跡	古墳時代 ～中世	堅穴建物跡 道路跡 溝跡	須恵器、土師器、葛籠石、砥石、鉄鍬、かわらけ、銭貨	古墳時代・平安時代の集落跡、8～9世紀頃と推定される道路状遺構を検出
5区	館跡	中世以後	ピット	須恵器	中世以後の館跡を検出
6区	集落跡 溝跡	縄文時代 ～中世	堅穴建物跡 溝跡	かわらけ、中世瓦	縄文時代・古墳時代の集落、小見庵寺の南限区画溝を検出

## 元総社蒼海遺跡群 (150)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2024年12月20日 印刷

2024年12月27日 発行

編集・発行 前橋市教育委員会事務局文化財保護課

〒371-0853 群馬県前橋市総社町三丁目11番地4

TEL. 027-280-6511

印刷

朝日印刷工業株式会社











